

翻刻『論語義疏』(大槻本)——顔淵篇・子路篇・憲問篇・衛靈公篇——

影山輝國

はじめに

前回の泰伯篇・子罕篇・郷党篇・先進篇(『年報』第三十二号 平成二十五年三月)に引き続き、今回は顔淵・子路・憲問・衛靈公四篇の翻刻を掲載発表する。四篇のうち、顔淵篇は平成二十年度卒業生の寺師香織さんが、子路篇は同年度卒業生の野田瑠奈さんが卒業論文として作成した翻刻を土台とし、それらをすべて点検し、訂正した。両君の翻刻はとてよよくできており、誤りは少なかった。また二人には、儒蔵本との文字の異同を記してもらったが、改めて武内本との異同を示した。

凡例

一、本訓読文は慶応義塾大学附属研究所斯道文庫に蔵せられる文明十九年鈔本『論語義疏』(いわゆる「大槻

本」)を、原文に附せられた訓点に従って読み下したものである。

一、原文は每半葉九行、毎行二十字、疏文小字双行であるが、翻刻に際してはこれにこだわらなかつた。

一、使用する漢字は、コンピュータ処理の上で可能な限り旧字体とした。

一、原文の異体字は、原則として正字に改めた。また、繰り返し符号で表記されているものは、相当する漢字に改めた。

一、原文にはカタカナで振仮名や送仮名が附せられているので、それらはみなカタカナを用いて表記した。その際、「メ」「リ」「寸」「云」「子」などは、それぞれ「シテ」「コト」「トキ」「イフ」「ネ」などに改めた。また、繰り返し符号で表記されているものは、相当するカタカナに改めた。

一、振仮名、送仮名には若干の例外を除き濁音符がないの

で、例外箇所を除き濁音符を付けることはしていない。
い。

一、振仮名と送仮名は、なるべく原書に忠実に従うことに努めたが、両者の判別が困難な場合、原則として活用語は語幹を振仮名と見做して漢字の脇に、活用語尾を送仮名と見做して漢字の下に表記した。その他の語もなるべく読みやすい形で表記した。

一、カタカナが、読み的一部分だけしか示していない場合は、残りの読みを推定し、ひらがなを用いて補った。その際、原則として歴史的仮名遣いに則り、音便形を用いていない。

一、頻繁に用いられる「日^ノ」、「則^ハ」は、それぞれ「ノたうはク」、「ときハ」とも読めるが、ここでは「ノたまはク」、「ときんハ」と訓じた。また、「欲」、「雖」は、「ほりす」、「いふとも」ではなく、「ほつす」、「いへと」と訓じた。

一、漢字の左右に二通りの訓がある場合は、右傍訓を優先して表記し、左傍訓は括弧に入れて表記した。間々、漢字の右側に二通りの訓がある事があるが、その場合はより漢字に近接する訓を優先して表記し、遠い訓は括弧に入れた。

一、漢字の右側に附せられた振仮名は右側に、左側に附せ

られた振仮名は左側に附した。推定して補った読みも、右側にあるべきものは右側に、左側にあるべきものは左側に附した。

一、訓読文中では不読字（置き字）はすべて省略した。どの文字を省略したかは、訓読文の前に示した白文（読点付き）から判断願いたい。

一、訓読文中では再読文字はその文字を再度表出して、あたかもその文字が二度使用されているかのごとく表記してある。その際、一々再読であることを示していないので、どの文字を再読したかについても、訓読文の前に示した白文から判断願いたい。

一、地名・人名・官名・書名などを示す朱引は、すべて省略した。

一、原文では句点と読点の区別がなく、すべて行の中央に朱点が附せられているので、ここでは句点を用いず、すべて読点を用いた。朱点はなるべく忠実に表示したが、明らかに誤り附けたと思われるものは訂正した。また、付け落しと思われる箇所には、読みやすさに資する最少の範囲で白抜き読点を補った。

一、原文には墨筆の縦線で、漢字の右脇に音読符、漢字間の中央に音合符、左側に訓合符が附せられている。これらはすべて忠実に再現するように努めたが、明らか

に誤りのあるものは訂正して読んだ。その際、一々注記することはしていない。

一、原文に書き入れられている心覚えのためと思われる文字や記号は省略した。

二、一部に書き加えられている刑昺の疏は、省略した。

一、各章末に、武内義雄刊『論語義疏』（大正十三年一月懷徳堂記念会発行「武内本」と略称する）との文字の異同を記した。武内本は誤植が少なからずあり、必ずしも拠るべき最善のテキストとは言えないが、多くの方が参考にすると思われるからである。

翻刻掲載にあたっては、大槻本を所蔵する慶応義塾大学附属研究所斯道文庫の承諾を得た。特に記して感謝の意を表す。

ヲ責メ「克ムルヲ謂、仁」者ニ非スンハ、己ヲ責メテ禮ニ復ルコト能ハ不、故ニ能ク「自」己ヲ責テ禮ニ復ヘルヲ、仁ト爲ス

【注】

馬融曰、尅己約身也、孔安國曰、復反也、身能反禮則爲仁矣、

馬融カ曰ク、己ヲ尅トハ身ヲ約ニスルソ、孔安國カ曰ク、復ハ反ナリ、身能ク禮ニ反ヘルヲ仁ト爲ス

【經】

一日尅己復禮、天下歸仁焉、

一日モ己ヲ尅テ禮ニ復ヘルトキハ、天下仁ニ歸ス、

【疏】

更解尅己復禮所以爲仁之義也、言人君若能一日尅己復禮、則天下之民、咸歸於仁君也、范寧云、亂世之主、不能一日尅己、故言一日也、

更ニ己ヲ尅メテ禮ニ復ルヲ仁ト爲ル所以ノ義ヲ解ス、

言ハ一人君若シ能ク一日モ己ヲ尅メテ禮ニ復ラハ、天下ノ民、咸クニ仁君ニ歸セン、范寧カ云ク、亂世ノ主、一日モ己ヲ尅ムルコト能ハ不、故ニ一日モト言フ、

【注】

馬融曰、一日猶見歸、况終身乎、

馬融カ曰ク、一日タモ猶ヲ歸セ見ル、况ヤ身ヲ終ルマテヲヤ、

【經】

爲仁由己、而由人乎哉、

仁ヲ爲ルコトハ己レニ由レリ、人ニ由ランヤ、

【疏】

行仁一日、而民見歸、所以是由己不由他人也、

仁ヲ行フコト一日モスレハ、而シテ民ニ歸セ見ル、是レ己ニ由テ他人ニ由ラ不ル所以ナリ、

【注】

孔安國曰、行善在己、不在人者也、

孔安國カ曰ク、善ヲ行フコトハ己ニ在リ、人ニ在ラズル者ナリ、

【疏】

范寧云、言爲仁在我、豈俟彼爲仁耶、

范寧カ云ク、言ハ仁ヲ爲ルコトハ我ニ在リ、豈ニ彼ヲ俟チテ仁ヲ爲ン耶、

【經】

顏淵曰、請問其目、

顏淵カ曰ク、其ノ目ヲ請ヒ問フ、

【疏】

淵又請求克己復禮之條目也、

淵又己ヲ克メテ禮ニ復ルノ條目ヲ請ヒ求ム、

【注】

荀氏曰、知其必有條目、故請問之也、

荀氏カ曰ク、其ノ必條自有ランコトヲ知ル、故ニ請ヒ問フ、

【經】

子曰、非禮勿視、非禮勿聽、非禮勿言、非禮勿動、

子曰ク、禮ニ非レハ視ルコト勿レ、禮ニ非レハ聽クコト勿レ、禮ニ非レハ言コト勿レ、禮ニ非レハ動クコト勿レ、

【疏】

此舉復禮之目也、既每事用禮、所以是復禮也、

此レハ禮ニ復ルノ目ヲ舉ク、既ニ事毎ニ禮ヲ用フ、是レ禮ニ復ヘル所以ナリ、

【注】

鄭玄曰、此四者、克己復禮之目也、

鄭玄カ曰ク、此ノ四ノ者ハ、己ヲ克メテ禮ニ復ヘルノ目ナ

り、

【經】

顔淵曰、回雖不敏、請事斯語矣、

顔淵カ曰ク、回不_レ敏ナリト雖モ、請フ斯ノ_レ語ヲ事トセ
ン、

【疏】

回聞條目、而敬受之也、敏達也、斯此也、言回雖不達仁禮
之理、而請敬事此語也、

回條_レ目ヲ聞テ、敬_テ之ヲ受ク、敏ハ達ナリ、斯ハ此ナ
リ、言_ハ回仁_レ禮ノ理ニ達セ不_ト雖、請フ敬_テ此ノ
語ヲ事トセン、

【注】

王肅曰、敬事此語、必行之、

王肅カ曰ク、敬_テ此ノ語ヲ事トシテ、必ス之ヲ行ハン、

(一) 「反返」、武内本作「返反」。

(二) 「克」、武内本作「尅」。下注及疏同。
(三) 「也」、武内本無此字。

【經】

仲弓問仁、

仲弓仁ヲ問フ、

【疏】

亦諮仁也、

亦_タ仁ヲ諮フ、

【經】

子曰、出門如見大賓、使民如承大祭、

子曰ク、門ヲ出ルトキニ大_レ賓ヲ見ルカ如クス、民ヲ使
フニ大_レ祭ニ_レ承_ルルカ如クス、

【疏】

亦答仁道也、言若行出門、恆起恭敬、如見大賓、見大賓必
起敬也、又若使民力役、亦恆用心敬之、如承事大祭、大祭

祭郊廟也。然范寧云、大賓君臣嘉會也、大祭國祭也、仁者舉動、使民事如此也、傳稱白季、出門如賓、承事如祭仁之則也、

亦仁道ヲ答フ、言ハ若シ行テ門ヲ出ルトキハ、恆ニ恭敬ヲ起スコト、大賓ヲ見ルカ如クス、大賓ヲ見ルトキハ必ス敬ヲ起ス、又若シ民ヲ使テ力役セ使ムルトキハ、亦恆ニ心ヲ用テ之ヲ敬スルコト、大祭ニ承ケル事ルカ如クス、大祭ハ郊廟ヲ祭ルソ。然ルニ范寧カ云ク、大賓トハ君臣ノ嘉會ソ、大祭トハ國祭ナリ、仁者ハ舉動、民ヲ使フニ事此ノ如シ、傳ニ白季ヲ稱ス、門ヲ出ルトキニ賓ノ如シ、事ヲ承ルコト祭ノ如ナルハ仁ノ則ナリ、

【注】
孔安國曰、爲仁之道、莫尚乎敬也、

孔安國カ曰ク、仁ヲ爲ルノ道、敬ヨリ尚レルハ莫シ、

【經】
己所不欲勿施於人、

己カ欲セズル所ヲ人ニ施スコト勿レ、

【疏】
恕己及物、則爲仁也、先二事明敬後一事明恕、恕敬二事乃爲仁也、

己ヲ恕テ物ニ及ス、則ハ仁ト爲、先キノ二事ハ敬ヲ明ス後ノ一事ハ恕ヲ明ス、恕敬ノ二事ヲ乃チ仁ト爲、

【注】
在邦無怨、在家無怨、

邦ニ在テモ怨ムルコト無ク、家ニ在テモ怨ムルコト無シ、

【疏】
在邦爲諸侯也、在家爲卿大夫也、既出門使民皆敬、又恕己及物、三事竝足、故爲民人所懷、無復相怨者也、

邦ニ在トハ諸侯爲ルソ、家ニ在トハ卿大夫爲ルソ、既ニ門ヲ出テテ民ヲ使フ皆ナ敬シ、又己ヲ恕テ物ニ及ス、三事竝ニ足ル、故ニ民一人ノ爲ニ懷ンセ（懷ンセ）所レテ、復タ相ヒ怨ムル者無シ、

【注】

苞氏曰、在邦爲諸侯也、在家爲卿大夫也、

苞氏カ曰ク、邦ニ在トハ諸侯爲ルソ、家ニ在トハ卿大夫爲
ルソ、

【經】

仲弓曰、雍雖不敏、請事斯語矣、

仲弓カ曰ク、雍不_レ敏ナリト雖モ、請フ斯ノ_レ語ヲ事トセ
ン、

【疏】

事用也、

事ハ用ナリ、

(一) 「祭」、武内本作「祀」。

(二) 「太」、武内本作「大」。

(三) 「大」、武内本作「太」。

【經】

司馬牛問仁、

司馬牛仁ヲ問フ、

【疏】

司馬牛是桓魋弟也、亦問仁也、

司馬牛ハ是レ桓魋^{タイ}カ弟ナリ、亦仁^{また}ヲ問フ、

【經】

子曰、仁者其言也訥、

子曰ク、仁_レ者ハ其ノ言^{コト}訥^{カタ}フス(仁ハ其レ言フコト訥
シ)、

【疏】

答之也、訥難也、古者言之不出、恐行之不逮、故仁者必不
易出言、故云、其言也訥。一云、仁道既深、不得輕說、故
言於人仁事、必爲難也。王弼云、情發於言、志淺則言疎、
思深則言訥也、

之ヲ答フ、**【經】**ハ難ナリ、古者（古ノ者）ノ言ノ出テ不
ルコトハ、行ノ速ハ不^{さら}ンコトヲ恐^{いじしへ}テナリ、故ニ仁者ハ必
ス易ク言ヲ出サ不^ス、故ニ云ク、其ノ言^{コト}詎^{コト}カス。一ニ云
ク、仁道ハ既ニ深シ、輕シク説クコトヲ得不^ス、故ニ人仁
ノ事ヲ言フコト、必ス難シト爲^ス。王弼カ云ク、情ハ言ニ發^{コト}
ス、志^{こころ}淺キ^{とせん}則^{コト}ハ言^{コト}疎ナリ、思^{とせん}イ^{コト}深キ^{とせん}則^{コト}ハ言^{コト}詎^{コト}カ
ス、

【注】

孔安國曰、詎難也、牛宋人弟子司馬犁也、

孔安國カ曰ク、詎ハ難、牛ハ宋人弟子司馬犁ソ、

【疏】

名牛也

名ハ牛

【經】

曰其言也詎、斯可謂之仁已矣乎、

曰ク其ノ言詎^{コト}カス、斯レ之ヲ仁ト謂フ可カラク已^{ノミ}カ矣、

【疏】

牛又疑云、言語之難、便可謂此爲仁乎。一云、不輕易言於
仁事、此便可謂爲仁乎、

牛又疑テ云ク、言^{コト}語ノ難キ、便チ此ヲ謂テ仁ト爲^ス可^スン
ヤ。一ニ云ク、輕^イ易ニ仁事ヲ言ハ不^さル、此レ便チ謂テ仁
ト爲^ス可^スンヤ、

【經】

子曰、爲之難、言之得無詎乎、

子曰、爲^ノ難、言^ノ得^ル無^ク詎^ハ乎、
子ノ曰ク、之ヲ爲ルコト難シ、之ヲ言フニ詎キコト無ク
トヲ得ンヤ、

【疏】

又答也、爲猶行也、凡行事不易、則言語豈得妄出而不難
乎。又一云、行仁既難、言仁豈得易、故江熙云、禮記云、
仁之爲器重、其爲道遠、舉者莫能勝也、行者莫能致也。勉
於仁者不亦難乎、夫易言仁者、不行之者也、行仁然後知勉
仁爲難、故不敢輕言也、

又答ナリ、爲ハ行ノ猶シ、凡ソ事ヲ行コトハ易カラ不^さル、

則ハ言語豈ニ妄ニ出シテ難カラズルコトヲ得ンヤ。又
一ニ云ク、仁ヲ行フコト既ニ難シ、仁ヲ言フコト豈ニ易
キコトヲ得ンヤ、故ニ江熙カ云ク。禮記ニ云ク、仁ノ器ノ
爲ルコト重ク、其ノ道爲ルコト遠ナリ、舉ル者能ク勝ユ
ルコト莫シ、行フ者能ク致ルコト莫シ。仁ヲ勉ムルコト
ハ亦タ難カラズヤ、夫レ易ク仁ヲ言フ者ハ、之ヲ行ハ不
ル者ナリ、仁ヲ行テ然シテ後ニ仁ヲ勉ムルコトノ難シト
爲ルコトヲ知ル、故ニ敢テ輕シク言ハズ、

【注】

孔安國曰、行仁難、言仁亦不得不難矣、

孔安國カ曰ク、仁ヲ行フコト難シ、仁ヲ言フコトモ亦難カ
ラズルコトヲ得ズ、

(一) 「得」、武内本作「可」。

(二) 「也」、武内本無此字。

【經】

司馬牛問君子、

司馬牛君子ヲ問フ、

【疏】

問行君子之道也、

君子ノ道ヲ行フコトヲ問フ、

【經】

子曰。君子不憂不懼、

子ノ曰ク、君子ハ憂ヘ不懼レズ、

【疏】

答也、君子坦蕩、故不憂懼也、

答ナリ、君子ハ坦蕩タリ、故ニ憂ヘ懼レズ、

【注】

孔安國曰、牛兄桓魋將爲亂、牛自宋來學、常憂懼、故孔子
解之、

孔安國カ曰ク、牛カ兄桓魋將ニ亂ヲ爲サント將、牛宋自
來リ學テ、常ニ憂ヘ懼ル、故ニ孔子之ヲ解ス、

【疏】言牛常愁其兄之罪過及己、故孔子釋云、君子不應憂懼者也、

【經】言ハ牛常ニ其ノ兄ノ罪過ノ己ニ及ハンコトヲ愁フ、故ニ孔子釋シテ云ク、君子ハ憂ヘ懼ル應ラ不ル者ナリ、

【經】曰。不憂不懼、斯可謂君子已乎、

【注】曰。憂ヘ不懼レ不、斯レヲ君子ト謂フ可ラク已乎、

【疏】牛嫌君子之行、不啻不憂懼而已、故又諍之、

牛君一子ノ行、啻憂ヘ懼レ不ル而一已ニ不ルカト嫌フ、故ニ又之ヲ諍フ、

【經】子曰、内省不疚、夫何憂何懼、

子ノ曰ク、内ニ省ルニ疚シカラ不、夫レ何ヲカ憂ヘ何ヲカ懼レン、

【疏】内省謂反自視己心也、疚病也、言人生若外無罪惡、内付視己心無有愆病、則何所憂懼乎、

内一省トハ反テ自己カ心ヲ視ルヲ謂フ、疚ハ病、言ハ人一生若シ外罪惡無ク、内ニ己カ心ヲ付リ視ルニ、愆病有ルコト無クシテ、何ノ憂ヘ懼ルル所ナラン乎、

【注】

荀氏曰、疚病也、内省無罪惡、無所可憂懼也、

荀氏カ曰ク、疚ハ病、内ニ省ルニ罪惡無レハ、憂ヘ懼ル可キ所無シ、

- (一) 「疚」、武内本作「疾」、下同。
- (二) 「所」、武内本無此字。

【經】

司馬牛憂

司馬牛憂テ

【疏】

爲其兄桓魋有罪、故已恆憂也、所以孔子前答云、君子不憂也、

其ノ兄桓魋罪有ルカ爲ニ、故ニ已恆ニ憂フ、所_レ以ニ孔子前ニ答テ云ク、君_レ子ハ憂ヘ不_レス、

【經】

曰人皆有兄弟、我獨亡、

曰ク人_レ皆兄弟有リ、我_レ獨リ亡シ、

【疏】

此所憂之事也、亡無也、牛兄行惡、必致殘滅、不且則夕、即今雖暫在、與無何異、故云我獨亡、

此レハ憂ル所ノ事ナリ、亡ハ無ナリ、牛カ兄惡ヲ行フ、必ス殘(殘)一滅ヲ致サンコト、且ニ不_レンハ夕_ニナラン、即チ今暫ク在ト雖、無キ與何_レ異ナラン、故ニ云ク我獨リ亡シ、

【注】

鄭玄曰、牛兄桓魋行惡、死喪無日、我獨爲無兄弟也、

鄭玄カ曰ク、牛カ兄桓魋惡ヲ行フ、死_レ喪センコト日無シ(無ケン)、我_レ獨リ兄弟無シト爲、

【疏】

無日、猶無後餘一日也、

日無トハ、後餘ノ一日無キカ猶シ、

【經】

子夏曰、商聞之矣、

子夏カ曰ク、商聞ク、

【疏】

商子夏名也、聞牛之言、故自稱名、而爲牛解之也、不敢言出己、故云聞之、

商ハ子夏カ名ナリ、牛カ言ヲ聞テ、故ニ自_レ名ヲ稱シテ、牛カ爲ニ之ヲ解ス、敢テ言フコト已ヨリ出テ不_レス、故ニ聞ク

ト云フ、

【經】

死生有命、富貴在天

死一生命有り、富一貴天ニ在リ

【疏】

此是我所聞、爲說不須憂之事也、言死生富貴、皆稟天所得、應至不可逆憂、亦不至不可逆求、故云、有命在天也。

然同是天命、而死生云命、富貴云天者、亦互之、而不可逃也、死生於事爲切、故云命、富貴比死生者爲泰、故云天、天比命、則天爲緩也、繆播云、死生者所稟之性分、富貴者、所遇之通塞、人能命養之以福。不能令所稟易分、分不可易命也、能修道以待賈、不能遭時必泰、泰不可必天也、天之爲言自然之勢運、不爲主人之貴賤也、

此レハ是レ我カ聞ク所ナリ、爲ニ須ク憂フ須ラ不ルノ事ヲ説ク、言ハ死一^ヘ生富貴ハ、皆天ニ稟テ得ル所ナリ、至ル應キヲ逆メ^{アラカシ}憂フ可^ヘ不^{カラ}、亦至ラ不ランヲ逆メ^{また}求ム可ラ不^ス、故ニ云ク、命有り天ニ在リト。然ルニ同ク是レ天一命ニシテ、死一^{また}生ニ命ト云ヒ、富一^{また}貴ニ天ト云フコトハ、亦之

ヲ互フ、而シテ逃ル可ラ不^ス、死一^{タシカ}生ハ事ニ於テ切^{タシカ}（一切）ナリト爲^ス、故ニ命ト云フ、富一^{ユタカ}貴ハ死生ニ比スレハ泰ナリト爲^ス、故ニ天ト云フ、天ヲ命ニ比スル、則ハ天ハ緩シト爲^ス、繆播カ云ク、死一^{ユタカ}生ハ稟クル所ノ性分、富一^{サイハイ}貴ハ、遇フ所ノ通一塞ナリ、人^{サイハイ}能ク命ノママニ養ワハ以テ福トス（養ヘハ福ヲ以テス）。稟ル所ヲ命テ分ヲ易ヘ令ルコト能ハ不^ス、分易フ可ラ不ルハ命ナリ、能ク道ヲ修メテ以テ賈^{アテヒ}ヲ待ツ、時ニ遭テ必ス泰ナルコト能ハ不^ス、泰ナルコト必ストス可^ヘ不^{カラ}ルハ天ナリ、天ノ言爲ルコト自然ノ勢運、人ノ貴一賤ヲ主^{ツカサトル}（主）ト爲^セ不^ス、

【經】

君子敬而無失、

君子ハ敬^{ツツシ}テ失スルコト無ク、

【疏】

死生富貴既理不易、故當委之天命、此處無憂、而此句以下、自可人事易爲修理也、敬而無失、是廣愛衆也、君子自敬己身、則與物無失者也、

死一^{また}生富一^{また}貴ハ既ニ理易^{カハ}ヲ不^ス、故ニ當ニ之ヲ天^{また}命ニ委^{マカ}ス當

シ、此ノ「處憂ルコト無シ、而シテ此ノ句ヨリ以下ハ、
自「人事ノ易ク爲（爲）」修ス可キノ理ナリ、敬「而
失スルコト無シトハ、是レ廣ク衆ヲ愛スルナリ、君「子ハ
自「己カ」身ヲ敬テ、則チ物與失スルコト無キ者ナリ、

【經】
與人恭而有禮、

人與「恭」シフシテ禮有ラハ、

【疏】
此謂恭而親仁也、人猶仁也、若彼有仁者、當恭而禮之也、

此レハ「恭」シテ仁ヲ親コトヲ謂フ、人ハ仁ノ猶シ、若シ
彼ノ仁者有ラハ、當ニ「恭」シフシテ之ヲ禮ス當シ、

【經】
四海之内皆爲兄弟也、

四「海」ノ内皆兄「弟」爲ラン、

【疏】

疎惡者無失、善者恭禮、故四海九州、皆可親禮如兄弟也、
惡「者」ヲ疎「シテ」失スルコト無ク、善「者」ニ「恭」シテ禮
ス、故ニ四「海」九「州」、皆親ク禮シテ兄「弟」ノ如ナル可シ、

【經】
君子何患乎無兄弟也、

君「子」何ソ兄「弟」無キコトヲ患「フ」、

【疏】
既遠、近可親、故不須憂患於無兄弟也、

既ニ遠近親ム可シ、故ニ須ク兄「弟」無キコトヲ憂ヘ「患」フ
須ラ不、

【注】

苞氏曰、君子疎惡而友賢、九州之人、皆可以禮親也、

苞氏カ曰ク、君「子」ハ惡ヲ疎「シテ」賢ヲ友トセハ、九「州」ノ
人、皆禮ヲ以テ親ス可シ、

【疏】

疎惡解敬而無失。友賢釋與人恭而有禮也、

惡ヲ疎トハ、敬テ失スル無コトヲ解ス。賢ヲ友トハ人與
ウヤウヤシフシテ、
恭、而禮有コトヲ釋ス、

(一) 「亡」下、武内本有「也」字。

(二) 「禮」、武内本作「敬」。

(三) 「也」、武内本無此字。

【經】

子路問明、

子路明ヲ問フ、

【疏】

問人行何事、而可謂之明乎、

問フ人何事ヲ行テカ、之ヲ明ト謂フ可キヤ、

【經】

子曰浸潤之譖、

子ノ曰ク浸潤ノ譖、

【疏】

答也、浸潤猶漸漬也、譖讒謗也、夫拙爲讒者、則人易覺、
巧爲讒者、日日漸漬、細進譖、當時使人受而不覺、如水之
浸潤漸漬久久必濕也、故謂能讒者、爲浸潤之譖也、

答ナリ、浸潤ハ漸漬(漬)ノ猶シ、譖ハ讒謗ナリ、夫
拙ク讒ヲ爲スハ、則チ人覺リ易シ、巧ニ讒ヲ爲スハ、
日ニ漸ク漬ク(漬ク)、細ニ譖ヲ進メテ、當時人ヲ使
テ受レ而覺ヘ不ラ使ルコト、水ノ浸潤漸漬シテ久ク久ク
シテ必ス濕スカ如シ、故ニ能ク讒スル者ヲ謂テ、浸潤ノ
譖ト爲ス、

【經】

膚受之愬

膚受ノ愬

【疏】

膚者、人肉皮上之薄縞也、愬者相訴訟讒也、拙相訴者、亦

易覺也、若巧相訴害者、亦日日積漸稍、進爲如人皮膚之受塵垢、當時不覺、久久方觀不淨、故謂能訴害人者、爲膚受之愬也、

膚トハ、人ノ肉ノ皮ノ上ノ薄キ縷シラ（縷シラ）ナリ、愬トハ相ヒ訴シヨラトハ、人ノ肉ノ皮ノ上ノ薄キ縷シラ（縷シラ）ナリ、讒ナリ、拙ク相ヒ訴ルハ、亦タ覺リ易シ、若シ巧ニ相ヒ訴ウツク害スル者ハ、亦日一日ニ積漸稍シヨラ（稍ク）シテ、進ムルコト人ノ皮ノ膚ノ塵ト垢ヲ受テ、當時覺ヘシテ、久ク久クシテ方ニ不淨ヲ觀ルカ如シ、故ニ能ク人ヲ訴ヤルヤ害スル者ヲ謂テ膚ト受ノ愬ト爲、

【經】 不行焉可謂明也已矣、

行ナハレ不ミルヲハ明ト謂フ可ヘカラク已ノミ、

【疏】 言人若覺彼浸譖膚訴害、使二事不行、則可謂爲有明也、

言イハコトハ人ト若シ彼ノ浸譖シシ膚ト訴サノ害ヲ覺サトテ、二事ヲ使シテ行ハレ不シラ使メハ、謂テ明有ト爲可シ、

【注】

鄭玄曰、譖人之言如水之浸潤、以漸成人之禍也、

鄭玄カ曰ク、譖人ノ言ハ水ノ浸ヤヤク潤スカ如シ、漸ク二人ノ禍ヲ成ス、

【疏】

此巧譖者

此レハ巧ニ譖ル者ナリ

【注】

馬融曰、膚受皮膚外語、非其内實也、

馬融カ曰ク、膚ト受ハ皮膚ノ外ト語ニシテ、其ノ内ト實ニ非ス、

【疏】

巧愬者也、如馬意、則謂内實之訴可受、若皮膚外語虛妄、則謂爲膚受也、然馬此注、與鄭不類也、若曲曰使相類則當云皮膚外語非内實者、即是膚愬積漸、入於皮膚非内實也、

巧ニ翹ル者ナリ、馬カ意ノ如キンハ、則チ謂ル内實ノ訴ハ受ク可シ、皮膚ノ外語虚妄ノ若キンハ、謂テ膚受ト爲、然ルニ馬カ此ノ注、鄭與類セ不、若シ曲ケテ曰テ相類セ使メハ當ニ云フ當シ皮膚ノ外語ニシテ内實ニ非ル者ナリ、即チ是ノ膚翹積漸ニシテ、皮膚ニ入テ内實ニ非ス、

【經】

浸潤之譖、膚受之翹、不行焉可謂遠也已矣、

浸潤ノ譖、膚受ノ翹、行ハレ不ルヲハ遠ト謂フ可ラク已、

【疏】

又廣答也、言若使二事不行、非唯是明、亦是高遠之德也、孫綽云、問明而及遠者、其有高旨乎、夫頼明察以勝讒、猶火發滅之以水、雖消災有方、亦已殆矣、若遠而絶之則、佞根玄拔、鑿巧無迹、而遠體默全、故知二辭雖同、而後喻彌深、微顯之義其在茲乎、顏延之云、譖潤不行、雖由於明、明見之深、乃出於體遠、體遠不對於情僞、故功歸於明見、斥言其功、故曰明、極言其本、故曰遠也、

又廣ク答フ、言ハ若シニ事ヲ使テ行ハレ不ラ使メハ、唯タ是レ明ノミニ非ス、亦タ是レ高遠ノ德ナリ、孫綽カ云ク、明ヲ問フ而シテ遠ニ及コトハ、其レ高旨有ル乎、夫レ明ヲ察ニ頼リテ讒ニ勝ツハ、火ヲ發スルトキニ之ヲ滅スニ水ヲ以テスルカ猶シ、災ヲ消スルニ方有リト雖モ、亦タ已ニ殆シ、若シ遠ニシテ之ヲ絶セハ、佞根玄ク拔ケテ、鑿（鑿）一巧迹無シ、而シテ遠ノ體ハ默シテ全シ、故ニ知ヌニ辭ハ同ト雖、後ノ喻ヘ彌深シ、微顯ノ義其レ茲ニ在ル乎、顏延之カ云ク、譖潤二行ハレ不ルハ、明ニ由ルト雖、明見ノ深キ、乃チ體ノ遠ヨリ出ツ、體ノ遠ハ情僞ヲ對セ不、故ニ功ヲ明見ニ歸シテ、斥シテ其ノ功ヲ言フ、故ニ明ト曰フ、極メテ其ノ本ヲ言フ、故ニ遠ト曰フ、

【注】

馬融曰、無此二者、非但爲明、其德行高遠、人莫能及之也、

馬融カ曰ク、此ノ二ノ者無キハ、但タ明ト爲ルノミニ非ス、其ノ德行高遠ニシテ、人能ク及フコト莫ケン、

(一) 「路」、武内本作「張」。

(一) 「爲」、武内本無此字。

(二) 「受」下、武内本有「之愬」二字。

【經】

子貢問政、

子貢政ヲ問フ、

【疏】

問爲政之法也、

政ヲ爲ルノ法ヲ問フ、

【經】

子曰、足食、足兵、令民信之矣、

子ノ曰ク、食ヲ足シ、兵ヲ足シ、民ヲ令テ信アラ令メヨ、

【疏】

答之也、食爲民本、故先須足食也、時澆後須防衛、故次足兵也、雖有食有兵、若君無信、則民衆離背、故必使民信之也、

之ニ答フ、食ハ民ノ本爲リ、故ニ先ツ須ク食ヲ足ラシム須シ、時澆ニシテ後子防衛ヲ須チフ、故ニ次ニ兵ヲ足ラシム、食有リ兵有リト雖モ、若シ君信無キ、則ハ民衆離背ス、故ニ必ス民ヲ使テ之ヲ信セ使ム、

【經】

子貢曰、必不得已、而去於斯三者何先、

子貢カ曰ク、必ス已ムコトヲ得不シテ、斯ノ三者ヲ去テハ何レカ先セン、

【疏】

已止也、子貢又諮云、已奉知治國必須食、兵、信、三事、若假令被逼必使除三事之一、而辭不得止、則三事先去何者邪、

已ハ止ナリ、子貢又諮テ云ク、己國ヲ治ムルニハ必ス食、兵、信ノ、三事ヲ須フヲ奉ケル知ル、若シ假令逼メ被レテ必ス三事ノ一ヲ除カ使メンニ、而ルヲ辭シテ止ムコトヲ得不シハ、三事先ツ何者ヲ去ケンヤ、

【經】

曰去兵、

ノたまは
曰ク兵ヲ去ケヨ、

【疏】

答也、兵比二者爲劣、若事不獲已、則先可去兵也、

答ナリ、兵ヲ二ノ者ニ比スレハ劣ナリト爲、若シ事已ムコトヲ獲不シハ、先ツ兵ヲ去ク可シ、

【經】

曰必不得已而去於斯二者何先、

イハ
曰ク必ス已ムコトヲ得不シテ斯ノ二ノ者ヲ去テハ何ヲカ
先セン、

【疏】

又子貢又問。雖餘食、信、二事、若假令又被逼使去二事一、則先去何者也、

また
又子貢又夕問フ。餘ノ食、信ノ、二事ト雖、若シ假令

またせ
又逼メ被テ二事ノ一ヲ去ケ使メハ、先ツ何者ヲカ去ケ
ン、

【經】

曰去食、

ノたまは
曰ク食ヲ去ケヨ、

【疏】

孔子又答云、若復被逼去二中之一、則先去食、

孔子又答テ云ク、若シ復々逼メ被テ二ノ中ノ一ヲ去ケハ、先ツ食ヲ去ケン、

【經】

自古皆有死、民不信不立、

古自リ皆死有リ、民信アラ不レハ立セ不、

【疏】

孔子既答云、去食、又恐子貢致嫌、故更此爲解之也、言人若不食、乃必致死、雖然自古迄今、雖復皆食、亦未有一人

不_レ死者、是食與不食、俱是有死也、而自古迄今、未有一國無信而國安立者、今推其二事、有死自古而有、無信國立自古而無、今寧從其有者、故我云去食也、故李充云、朝聞道夕死、孔子之所貴、捨生取義。孟軻之所尚、自古有不亡之道、而無有不死之人、故有殺身非喪己、苟存非不亡己也、

孔子既ニ答テ云ク、食ヲ去ヨト、又子貢カ嫌イヲ致サシコトヲ恐ル、故ニ更ニ此ニ爲ニ之ヲ解ス、言ハ人若シ食セ_レ不_レハ、乃チ必ス死ヲ致サン、然ト雖モ古自リ今ニ迄_レフマテ、復_レ夕皆食スト雖モ、亦未_レタ一人モ死セ_レ不_レル者有_レラ未、是レ食フト食ハ不_レル與、俱ニ是レ死有_レリ、而シテ古自リ今ニ迄_レフマテ、未_レタ一人モ信無シテ國安ク立ツ者有_レ未、今其ノ二ノ事ヲ推スニ、死有_レリ古自リシテ有_レリ、信無シテ國立ツコト古自リシテ無シ、今寧_レロ其ノ有_レル者ニ從ハンヤ、故ニ我云ク食ヲ去ヨト、故ニ李充カ云ク、朝二道ヲ聞テ夕ニ死スルハ、孔子ノ貴フ所ナリ、生ヲ捨テテ義ヲ取ルハ、孟軻ノ尚_レフ所ナリ、古自リ不_レ亡ノ道有_レリ、而シテ不_レ死ノ人有_レルコト無シ、故ニ身ヲ殺スコト有_レレトモ己_レヲ喪スニ非ス、苟_レモ存スレトモ己_レヲ亡サ_レ不_レルニハ非ス、

【注】孔安國曰、死者古今常道也、人皆有之、治邦、不可失信也、

孔安國カ曰ク、死ハ古_レ今常ノ道ナリ、人皆之_レ有_レリ、邦ヲ治ムルニハ、信ヲ失ス可_レラ不、

- (一) 「已」、武内本作「己」。
- (二) 「必」、武内本作「可」。
- (三) 「邪」、武内本作「耶」。

【經】

棘子城曰、君子質而已矣、何以爲文、

棘子城カ曰ク、君子ハ質而已、何_レヲ以テカ文ヲ爲_レン、

【疏】

棘子城云、君子所行、但備質樸而足、何必用於文華乎、

棘子城カ云ク、君子ノ行フ所、但夕質_レ樸ヲ備テ足ナン、何_レソ必シモ文_レ華ヲ用インヤ、

【注】

鄭玄曰、舊說云、棘子城衛大夫也、

鄭玄カ曰ク、舊說ニ云ク、棘子城ハ衛大夫、

【經】

子貢曰、惜乎夫子之說君子也、

子貢カ曰ク、惜ヲシイカテ乎夫子ノ君子ヲ說クコト、

【疏】

子貢聞子城之言、而譏之也、夫子謂呼子城爲夫子也、言汝所說君子、用質不用文、爲過失之甚、故云、惜乎夫子說君子、

子貢子城カ言ヲ聞テ、之ヲ譏ツシル、夫ハ子トハ謂イハル子城ヲ呼テ夫ト子ト爲ス、言ハ汝ノ說ク所ノ君子ハ、質ヲ用テ文ヲ用ヒトト、過シ失ト甚シト爲ス、故ニ云ク、惜イ乎夫ト子ノ君子ヲ說クコト、

【經】

駟不及舌、

駟モ舌ニ及ハス不ス、

【疏】

此所惜之事也、駟四馬也、古用四馬、共牽一車、故呼四馬爲駟也、人生過言一出口則、雖四馬駿足追之、亦所不及、故云、駟不及舌也、

此レハ惜ム所ノ事ナリ、駟ハ四馬ナリ、古ニハ四馬ヲ用フ、共ニ一車ヲ牽ク、故ニ四馬ヲ呼テ駟ト爲、人生過言一タヒ口ヨリ出ル則ハ、四馬ノ駿足之ヲ追フト雖モ、亦及ハ不ル所ナリ、故ニ云ク、駟モ舌ニ及ハ不ト、

【注】

鄭玄曰、惜乎夫子之說君子也、過言一出、駟馬追之不及舌也、

鄭玄カ曰ク、惜カテ乎夫ト子ノ君子ヲ說クコト、過ヒ言一ヒト出テヌルトキハ、駟馬之ヲ追トモ舌ニ及ハス不ス、

【經】

文猶質也、質猶文也、

文ハ質ノ猶シ、質ハ文ノ猶シ、

【疏】

更爲子城解汝所說君子、用質不用文、所以可惜之理也、將欲解之。故此先述其意也、言汝意云、文猶質、質猶文、故曰、何用文爲者耳、

更ニ子城力爲ニ汝力説ク所ノ君一子ハ、質ヲ用テ文ヲ用ヒス、惜ム可キ所以ノ理ヲ解ス、將ニ之ヲ解セント欲ス。故ニ此ニ先ツ其ノ意ヲ述フ、言ハ汝ノ意ニ云ク、文ハ質ノ猶シ、質ハ文ノ猶シ、故ニ曰ク、何ソ文ヲ用コトヲ爲ン者耳、

【經】

虎豹之鞞、猶犬羊之鞞也、

虎豹ノ鞞ツクリカハハ、犬羊ノ鞞ノ猶シ（猶キカハ）、

【疏】

述子城意竟、故此又譬之不可也、鞞者皮去毛之稱也、虎豹所以貴於犬羊者、政以毛文炳蔚爲異耳、今若取虎豹及犬羊皮、俱滅其毛、唯餘皮在、則誰復識其貴賤、別於虎豹與犬

羊乎、譬於君子、所以貴者、政以文華爲別、今遂若使質而不文則、何以別於君子與衆人乎、

子城力意ヲ述ヘ竟ル、故ニ此ニ又之ノ不可ナルコトヲ譬フ、鞞トハ皮ノ毛ヲ去ルノ稱ナリ、虎豹ノ犬羊ヨリ貴キ所以ハ、政ニ毛ノ文ノ炳蔚タルヲ以テ異ナリト爲ル耳、今若シ虎豹及ヒ犬羊ノ皮ヲ取テ、俱ニ其ノ毛ヲ滅シテ、唯タ餘ノ皮在ヲハ、誰カ復タ其ノ貴賤ヲ識テ、虎豹ト犬羊與ヲ別ンヤ、君子ニ譬フ、貴フ所以ハ、政ニ文華ヲ以テ別ト爲、今遂ニ若シ質ニシテ文アラ不ラ使メハ、何ヲ以テカ君子ト衆人與ヲ別カンヤ、

【注】

孔安國曰、皮去毛曰鞞、虎豹與犬羊別者、正以毛文異耳、今使文質同者、何以別虎豹與犬羊耶、

孔安國カ曰ク、皮ノ毛ヲ去ルヲ鞞ト曰フ、虎豹ト犬羊與ノ別ナルコトハ、正ニ毛ノ文ノ異ナルヲ以テスル耳、今文質ヲ使テ同シカラ使メハ、何ヲ以テカ虎豹ト犬羊與ヲ別カンヤ、

（一）「爲文」、武内本作「文爲」。

- (二) 「備」、武内本作「須」。
- (三) 「云」、武内本無此字。
- (四) 「也」、武内本無此字。
- (五) 「貌」、武内本作「豹」。
- (六) 「遂若」、武内本「若遂」。

【經】

哀公問於有若曰、年飢用不足如之何、

哀公有若二問テ曰ク、年飢シテ用足ラ不_ス如_イ之_カ何カセ
ン、

【疏】

魯哀公愚暗、政苛賦重、故民廢其業、所以積年飢荒、國用
不足、公苦此惡、故問有若、求不飢而用足之法也、

魯ノ哀公愚暗ニシテ、政_{まつりごと}苛_つク賦_つ重_つシ、故ニ民其ノ業
ヲ廢ス、年ヲ積テ飢_う荒スル所_{ゆゑん}以ナリ、國用足ラ不_ス、公
此ノ惡ニ苦ム、故ニ有若ニ問テ、飢_うセ不_ス而シテ用足ル
ノ法ヲ求ム、

【經】

有若對曰、盍徹乎、

有若對ヘテ曰ク、盍_ナソ徹_サセ盍_ヤル乎、

【疏】

盍何不也、徹謂十而稅一也、魯起宣公而十稅二、至于哀公
亦猶十二賦稅既重、民飢國乏、由於十二、故有若答云、今
依舊十一、故云何不徹也、

盍ハ何_レ不_レ、徹トハ十二ニシテ一ヲ稅スルヲ謂フ、魯ハ宣公
ヨリ起_ヲテ十二ニシテ二ヲ稅ス、哀公ニ至テ亦猶_{また}ヲ十カニニ
シテ賦_ツ稅既ニ重シ、民飢シ國乏_トシキコト、十カニニ由
ル、故ニ有若答テ云テ、今舊_{いまでも}ノ十一ニ依ラシム、故ニ云
ク何ソ徹セ_さ不_レル、

【注】

鄭玄曰、盍者何不也、周法十一而稅、謂之徹、徹通也、爲
天下之通法也、

鄭玄カ曰ク、盍ハ何_レ不_レ、周ノ法二十_ニニシテ稅スル、徹
ト謂フ、徹ハ通ナリ、天下ノ通法爲_タリ、

【疏】

徹字訓通、故漢武名徹而改天下宜言徹者、一切云通也、今依王制云、古者公田籍而不稅、鄭玄曰、籍之言借也、借民力作公田、美惡取於是、不稅民之所自治也、孟子曰、夏后氏五十而貢、殷人七十而助、周人百畝而徹、則所云古者謂殷時也、其實皆十一也、侃按如記註、夏家人盛大則、一夫受田五十畝、殷承夏末、民人稍少、故一夫受田七十畝、周承於紂、人民凋盡、故一夫受田百畝、三代雖異、同十分徹一、故徹一爲通法也、夏云貢者、是分田與民、作之、所獲隨豐儉、十分貢一、以上於王也、夏民猶淳、少於欺詐、故云貢也、殷人漸澆、不復所可信、故分田與民十分取一、爲君借民力以耕作、於一年豐儉、隨其所得還君、不復稅民私作者也、至周大文、而王畿內用夏之貢法、所以然者、爲去王近、爲王視聽所知兼、鄉遂公邑之吏、旦夕從民事、爲其役之、以公、使不得恤其私也、若王畿外邦國諸侯、悉用殷之助法、所以然者、爲諸侯專一國之政、貪暴稅民無法故也、故詩有雨我公田、遂及我私、又宣公十五年、初稅畝、傳曰、非禮也、穀出不過籍、以豐財也、按此文說、既有公私稅、又云不過籍、則知諸侯助法也、又以周禮載師論之、則、畿內用夏之貢法、其中有輕重、輕重不同、自各有意、此不復具言也、

徹ノ字一訓ハ通ナリ、故ニ漢武ノ名ハ徹天_一下宜_ク徹ト言フ宜キ者ヲ改メテ、一切通ト云フ、今王制ニ依テ云ク、古_二公_一田籍シテ稅セ不_レ、鄭玄カ曰ク、籍カ言ハ借ナリ、民ノ力ヲ借テ公田ヲ作ス、美惡是ヲ取ル、民ノ自_ミ治ムル所ヲ稅セ不_レ、孟子ニ曰ク、夏_一后_一氏ハ五_一十_一ニシテ貢ス、殷_一人ハ七_一十_一ニシテ助ス、周_一人ハ百_一畝ニシテ徹スル、則ハ古ト云フ所ハ殷ノ時ヲ謂フ、其ノ實ハ皆十一ナリ、侃按スルニ記ノ註ノ如キンハ、夏_一家_一八_一民_一人盛大ナル則ハ、一_一夫_一田ヲ受クルコト五_一十_一畝、殷_一ハ夏_一ノ末ニ承テ、民_一人稍_一少シ、故_二一_一夫_一田ヲ受コト七_一十_一畝、周ハ紂ニ承テ、人_一民凋_一盡ク、故_二一_一夫_一田ヲ受ルコト百_一畝、三_一代_一異ナリト雖モ、同ク十分ニシテ一ヲ徹ス、故_二一_一ヲ徹スルヲ通_一法ト爲_ス、夏_二貢_一ト云フコトハ、是レ田ヲ分テ民ニ與テ、之ヲ作ラシム、獲ル所豐儉ニ隨テ、十分ニシテ一ヲ貢シテ、王ニ上ル、夏ノ民猶ヲ淳ナリ、欺_キ詐_ルルコト少シ、故_二貢_一ト云フ、殷_一人ハ漸ク澆ナリ、復信アル可キ所ニ不_レ、故_二田ヲ分テ民ニ與_一ヘテ十分ニシテ一ヲ取テ、君ノ爲ニ民ノ力ヲ借テ耕_一作ス、一_一年ノ豐儉ニ於テ、其ノ得ル所ニ隨テ君ニ還ス、復民ノ私ニ作ル者ヲ稅セ不_レ、周_二至_一テハ大ニ文ナリ、而シテ王_一畿ノ内ハ夏ノ貢_一法ヲ用フ、然ル所以_ハ、王ヲ去ルコト近シト爲_ス、王ノ視_一聽_一シテ知_リ兼ヌル所爲_リ、鄉_一遂_一公邑ノ吏、

且一タ民事ニ從テ、其レ之ヲ役スルコトヲ爲ルコト、公ヲ以テス、其ノ私ヲ恤ムコトヲ得不ラ使ム、王畿ノ外邦國ノ諸侯ノ若キンハ、悉ニ殷ノ助ノ法ヲ用フ、然カ爾所^{ゆゑん}以ハ、諸侯ハ一國ノ政ヲ專シテ、貪暴ニシテ民ヲ税スルコト法無キカ爲^{タメ}ノ故ナリ、故ニ詩ニ我カ公田ニ雨テ、遂ニ我カ私ニ及スコト有リ、又宣公十一年ニ、初テ敵ニ税ス、傳ニ曰ク、禮ニ非スト、穀ノ出ルコト籍ニ過キ不、財ヲ豐^{ユタカ}ニス、此ノ二文ノ説ヲ按スルニ、既ニ公一私ノ税有リ、又云ク籍ニ過キ不ト、則チ知ヌ諸侯ハ助ノ法ナリ、又周禮ノ載師ヲ以テ之ヲ論スル則ハ、畿^き内ハ夏ノ貢^{こう}法ヲ用フ、其中輕^{その}重有リ、輕^{その}重同カラ不、自^{ヨのつからおの}各意有リ、此ニ復具^{また}ニ言ハ不、

【經】
曰。二吾猶不足、如之何其徹也、

曰ク、二ニシテモ吾猶^{わし}ヲ足ラ不、如^い之^か何ソ其レ徹セン、公聞有若使爲十一、故拒之也、言税十取二、吾國家之用、猶尚不足、今若爲令我十今取一乎、故云、如之何其徹也、

【疏】

公有若カ十一爲^タラ使^シムルコトヲ聞テ、故ニ之ヲ拒ク、言ハ十ヲ税シテ二ヲ取ル、吾カ國家ノ用、猶^ナ尚足ラ不、今若^{イカン}爲^ソ我^ヲ令^シテ十二シテ今一ヲ取ラ令^シメン乎、故ニ云ク、如^い之^か何ソ其レ徹セン、

【注】

孔安國曰、二謂十二而稅也、

孔安國カ曰ク、二トハ十二ニシテ税スルヲ謂フ、

【經】

對曰、百姓足君孰與不足、

對ヘテ曰ク、百^た姓足ンナハ君孰^たト與^{とも}ニカ足ラ不ラン、

【疏】

有若答君所以合十一之理也、言君若輕稅則、民下百姓得寬、各從其業、業從人寬則、家家豐足、民既豐足則、豈有事君而不足耶、故云、百姓足君孰與不足也、孰誰也、

有若君ノ十一ニ合フ（十一ニス合キ）所以ノ理ヲ答フ、言ハ君若シ税ヲ輕スル則ハ、民下百^た姓寬ヲ得テ、

各^{おの}其ノ業ニ從フ、業^ト從ヒ人寛ナル則^トハ、家^ト家豊^ト足ス、民^ト既ニ豊足スル則^トハ、豈^アニ君ニ事有テ而シテ足ラ^トン^ヤ耶、故ニ云ク、百^ト姓足ナハ君孰ト^ト與ニカ足ラ^トン^トト、孰ハ誰ナリ、

【經】

百姓不足、君孰與足、

百^ト姓足ラ^トン^トハ、君孰ト^ト與ニカ足ナ^トン、

【疏】

又云、君既重稅、一則民從公^ト先豐^ト、二則貧無糧^ト糧^ト、故家
家食空竭、人人不足、既人人不足、故君豈得足、故云、君
誰與足也、故江熙云、爲家者與一家俱足、乃可謂足、豈可
足已而謂之足也、夫儉以足用、寬以愛民、日計之、可不
足、而歲計則有餘、十二而行、日計可有餘、歲計則不足、
行十二而不足、不思損而益、是揚湯止沸、疾行遁影、有子
之所以發德音者也、

又^マタ云ク、君既ニ稅ヲ重フ^{タツト}（重クス）、一ナル則^トハ民公
ヲ從テ先ツ^{ユカ}豐ナラン、二ナル則^トハ貧糧^ト糧無シ、故ニ
家^ト家食^ト空ク竭テ、人^ト人足ラ^ト不^ト、既^ト二人^ト人足ラ^ト不^ト、故ニ

君豈^アニ足コトヲ得ンヤ、故ニ云ク、君誰ト^ト與ニカ足^トン、故
ニ江熙カ云ク、家爲ルコトハ一家與^ト俱ニ足ンナハ、乃チ
足ルト謂フ可シ、豈^アニ己ヲ足シテ而シテ之ヲ足ルト謂フ
可ケンヤ、夫レ儉^ト以テ用ヲ足シ、寬^ト以テ民ヲ愛セハ、
日ニ之ヲ計ルニ、足ラ^ト不^トル可シ、而シテ歲ニ計ラハ餘リ有
ラン、十一ニシテ行ハハ、日ニ計ルニ餘リ有ル可シ、歲
ニ計ル則^トハ足ラ^ト不^ト、十一ヲ行テ足ラ^ト不^トルコトハ、損シテ
（損スレトモ）益ヲ（益トスルコトヲ）思ハ^ト不^ト、是レ湯ヲ
揚^アテ沸クコトヲ止メ、疾^ト行テ影ヲ遁ル、有子カ德音ヲ發
スル所^ト以^トノ者ナリ、

【注】

孔安國曰、孰誰也、

孔安國カ曰ク、孰ハ誰、

- (一) 「二」下、武内本有「也」字。
- (二) 「之」、武内本無此字。
- (三) 「籍」、武内本作「藉」、下同。
- (四) 「按」、武内本作「案」。
- (五) 「註」、武内本作「注」。
- (六) 「大」、武内本作「多」。

- (七) 「論」上、武内本有「篇」字。
- (八) 「法」下、武内本有「也」字。
- (九) 「今」、武内本無此字。
- (一〇) 「先」、武内本作「失」。
- (一一) 「糧糧」、武内本作「糧粮」。

【經】

子張問崇德辨惑、

子張德ヲ崇ヒ惑ヲ辨センコトヲ問フ、

【疏】

問求崇重有德、辨別疑惑之法也、

有德ヲ崇ト重シ、疑ト惑ヲ辨別法ヲ問ヒテ求ム、

【注】

荀氏曰、辨別也、

荀氏カ曰ク、辨ハ別、

【經】

子曰、主忠信徒義崇德、

子ノ曰ク、忠信ヲ主トシテ義ニ徒ル徳ヲ崇ヒテナリ、

【疏】

此答崇德義也、言若能復以忠信爲主、又若見有義事、則徒意從之、此二條是崇德之法也、

此レハ徳ヲ崇フ義ヲ答フ、言ハ若シ能ク復タ忠信ヲ以テ主ト爲テ、又若シ義有ル事ヲ見テハ、意ヲ徒シテ之ニ從フ、此ノ二條ハ是レ徳ヲ崇フノ法ナリ、

【注】

荀氏曰、徒義見義則、徒意從之也、

荀氏カ曰ク、義ニ徒トハ義ヲ見ル則ハ、意ヲ徒シテ之ニ從フ、

【經】

愛之欲其生也、

愛スルトキハ其ノ生ケランコトヲ欲シ、

【疏】

此答辨惑也、中人之情、不能忘於愛惡、若有人從己、己則愛之、當愛此人時、必願其生活於世也、

此レハ惑ヲ辨スルコトヲ答フ、中一人ノ情、愛ト惡ヲ忘ルルコト能ハ不ス、若シ人有テ己ニ從トキハ、己則チ之ヲ愛シテ、此ノ人ヲ愛スル時ニ當テ、必ス其ノ世ニ生活セシコトヲ願フ、

【經】

惡之欲其死也、既欲其生也、又欲其死、其惑也、

惡^{にく}ミンスルトキハ其ノ死^{しな}シコトヲ欲ス、既ニ其ノ生^いランコトヲ欲シ、又其ノ死^{また}シコトヲ欲ス、其レ惑ヘルナリ、

【疏】

猶是前所愛者、而彼忽違己、己便憎惡、憎惡之既深、便願其死也。猶是一人、而愛憎生死、起於我心、我心不定、故爲惑矣、

猶ヲ是レ前ニ愛スル所ノ者ナリ、而ルヲ彼忽ニ己ニ違フトキハ、己便チ憎ミ惡ム、之ヲ憎ミ惡コト既ニ深シ、便チ其ノ死ヲ願フ。猶ヲ是レ一人ニシテ、愛ト憎生ト死ト、我カ心ヨリ起ル、我カ心定ラ不ス、故ニ惑ト爲ス、

【注】

苞氏曰、愛惡當有常、一欲生之、一欲死之、是心惑也、

苞氏カ曰ク、愛ト惡當ニ常有ル當シ、一^{ひと}生^たシコトヲ欲シ、一^{ひと}死^たシコトヲ欲ス、是レ心ノ惑ヘルナリ、

【經】

誠不以富、亦祇以異、

誠ニ以テ富マ不^シ、亦祇ニ以テ異ナリ、

【疏】

引詩證爲惑人之言^五、言生死不定之人、誠不足以致富、而只以爲異事行耳、

詩ヲ引テ惑ヲ爲ス人ヲ證ス、言ハ生ト死定ラ不ルノ人、誠ニ富ヲ致スニ足ラ不ス、而ルニ只タ異事ノ行ヲ爲ラク耳、

【注】

鄭玄曰、此詩小雅也、祇適也、言此行誠不可以致富、適以足爲異耳、取此詩之異義以非之也、

鄭玄カ曰ク、此レハ詩ノ小雅ナリ、祇ハ適、言ハ此ノ行誠ニ富ヲ致ス可ラ不、適ニ異ナリト爲ルニ足ルラク耳、此ノ詩ノ異義ヲ取テ之ヲ非ル、

(一) 「復」、武内本無此字。

(二) 「義」下、武内本有「之」字。

(三) 「其」、武内本作「是」。

(四) 「忽」、武内本無此字。

(五) 「之」、武内本作「也」。

(六) 「行耳」、武内本作「之行耳也」。

【經】

齊景公問政於孔子、

齊ノ景公、政ヲ孔子ニ問フ、

【疏】

于時齊弱、爲其臣陳桓所制、景公患之、故問政方法於孔子

也、

時于齊弱ニシテ、其ノ臣陳桓カ爲ニ制セ所ル、景公之ヲ患フ、故ニ政ノ方(方)法ヲ孔子ニ問フ、

【經】

孔子對曰、君君、臣臣、父父、子子、

孔子對ヘテ曰ク、君君タリ、臣臣タリ、父父タリ、子子タリ、

【疏】

孔子隨其政惡、而言之也、言爲風政之法、當使君行君德、故云、君君也、君德謂惠也、臣當行臣禮、故云、臣臣也、臣禮謂忠也、父爲父法、故云、父父也、父法謂慈也、子爲子道、故云、子子也、子道謂孝也、

孔子其ノ政ノ惡ニ隨テ、之ヲ言フ、言ハ風政ヲ爲ルノ法、當ニ君ヲ使テ君ノ德ヲ行ハ使ム當シ、故ニ云ク、君君タリト、君ノ德トハ惠ヲ謂フ、臣ハ當ニ臣ノ禮ヲ行フ當シ、故ニ云ク、臣臣タリト、臣ノ禮トハ忠ヲ謂フ、父ハ父ノ法ヲ爲、故ニ云ク、父父タリト、父ノ法トハ

慈ヲ謂フ、子ハ子ノ道ヲ爲ス、故ニ云ク、子_レ子タリト、子ノ道トハ孝ヲ謂フ、

【注】

孔安國曰、當此時、陳桓制齊、君不君、臣不臣、父不父、子不子、故以此對也、

孔安國カ曰ク、此ノ_レ時ニ當テ、陳桓齊ヲ制ス、君君タラ不_ス、臣臣タラ不_ス、父父タラ不_ス、子子タラ不_ス、故ニ此ヲ以テ對フ、

【經】

公曰、善哉、信如君不君、臣不臣、父不父、子不子、

公ノ曰ク、善イ_レ哉ヤ、信ニ如シ君君タラ不_ス、臣臣タラ不_ス、父父タラ不_ス、子子タラ不_スハ、

【疏】

公聞孔子言、而服之也、言我國信有此四事也、

公孔子ノ言ヲ聞テ、之ニ服ス、言ハ我カ國信ニ此ノ四ノ事有リ、

【經】

雖有粟、吾豈得而食諸、

粟有ト雖モ、吾レ豈ニ得テ食ハハンヤ、

【疏】

諸之也、公又言、國既方亂、我雖有粟米俸祿、我豈得長食之乎、

諸ハ之ナリ、公又タ言ク、國_レ既ニ方ニ亂レハ、我粟米俸_レ祿有ト雖モ、我豈ニ長ク之ヲ食コトヲ得ンヤ、

【注】

孔安國曰、言將危也、陳氏果滅齊也、

孔安國カ曰ク、言ハ將ニ危カラント將、陳氏ハ果シテ齊ヲ滅ス、

【疏】

後陳桓弑齊君是也、江熙云、景公喻旨、故復遠述四弊不食粟之憂、善其誠言也、

後二陳桓齊ノ君ヲ弑スル是ナリ、江熙カ云ク、景公旨ヲ喻ル、故ニ復遠ク四弊（弊）粟ヲ食ハ不ルノ憂ヲ述テ、其ノ誠言ヲ善ス、

(一) 「陳桓」、武内本作「陳恆」、下同。

(二) 「弑」、武内本作「殺」。

【經】

子曰、片言可以折獄者、其由也與、

子ノ曰ク、片言ニシテ獄ヲ折ム可キ者ハ、其レ由カ、

【疏】

片猶偏也、折獄、謂判辨獄訟之事也、由子路也、夫判辨獄訟、必須二家對辭、子路既能果斷、故偏聽一辭、而能折獄也。一云、子路性直、情無所隱者、若聽子路之辭、亦則一辭亦足也、故孫綽云、謂子路心亮、而言信、未嘗文過、以自衛、聽訟者、便宜以子路單辭爲正、不待對驗而後分明也、非謂子路聞人片言、而便能斷獄也、

片ハ偏ノ猶シ、獄ヲ折ルトハ、獄訟ノ事ヲ判辨スルヲ謂フ、由ハ子路ナリ、夫レ獄訟ヲ判辨スルコト、必ス

二家ノ對辭ヲ須ツ、子路既ニ能ク果斷ナリ、故ニ偏ニ一辭ヲ聽テ、能ク獄ヲ折ム。一二云ク、子路カ性直ニシテ、情隱ス所無キ者ナリ、若シ子路カ辭ヲ聽クトキハ、亦タ則チ一辭ニシテ亦タ足ル、故ニ孫綽カ云ク、謂ル子路カ心亮ニシテ（亮ナリ）、言信アリ、未嘗テ過ラカシムルヲ、自衛ル、訟ヲ聽ク者、便チ宜ク子路カ單辭ヲ以テ正ト爲宜シ、對驗ヲ待テ後二分明ナリトセ不、子路人ノ片言ヲ聞テ、便チ能ク獄ヲ斷ルコトヲ謂フニ非ス、

【注】

孔安國曰、片猶偏也、聽訟必須兩辭、以定是非、偏信一言、以折獄者、唯子路可也、

孔安國カ曰ク、片ハ偏ノ猶シ、訟ヲ聽クコトハ必ス兩辭ヲ須チテ、以テ是非ヲ定ム、偏ニ一言ヲ信シテ、獄ヲ折ムル者ハ、唯子路可ナリ、

【疏】

就此註意、亦得兩通也、

此ノ註ノ意ニ就クニ、亦タ兩ト通ヲ得タリ、

- (一) 「亮」、武内本作「高」。
- (二) 「註」、武内本作「注」。

【經】

子路無宿諾、

子路アラカシ宿メ諾スルコト無シ、

【疏】

宿猶逆也、諾猶許也、子路性篤信、恐臨時多故、曉有言不得行、故不逆言許人也、

宿ハ逆ノ猶シ、諾ハ許ノ猶シ、子路カ性信ニ篤シ、時ニ臨ステ故多ラン恐ル、言有テ行コトヲ得不サランコトヲ曉サドル、故ニ逆アラカシメ言テ人ニ許サ不、

【注】

宿猶豫也、子路篤信、恐臨時多故、故不豫諾也、

宿ハ豫ノ猶シ、子路信ニ篤シ、時ニ臨テ故多おほンコトヲ恐

ル、故ニ豫メ諾セ不、

- (一) 「也」、武内本無此字。

【經】

子曰、聽訟吾猶人也、

子ノ曰ク、訟ヲ聽クコトハ吾猶われなヲ人ノ猶シ、

【疏】

孔子言、若有訟而使_レ我聽出決之、則我與人_レ不異、故云吾猶人、

孔子ノ言ク、若シ訟有テ而シテ我使_レテ聽テ出テ之ヲ決セ使メハ、我人與異ナラ不、故ニ云ク吾猶われなヲ人ノ猶シト、

【注】

荀氏曰、言與人等也、

荀氏カ曰ク、言ハ人與等シ、

【經】必也使無訟乎、

必ス訟ヘ無ラ使メン乎、

【疏】言我所以異於人者、當訟未起而化之、使不訟耳、故孫綽云、夫訟之所生、先明其契、而後訟不起耳、若訟至後察則、不異於凡人也、此言防其本也、

【注】言ハ我カ人ニ異ナル所以ハ、當ニ訟ヘ未タ起ラ未シテ之ヲ化シテ、訟ヘ不ラ使ム當キ耳、故ニ孫綽カ云ク、夫レ訟ノ生スル所、先ツ其ノ契ヲ明ニシテ、而シテ後ニ訟ヘ起ラ不耳、若シ訟ヘ至テ後ニ察スル則ハ、凡人ニ異ラ不、此レハ言ハ其ノ本ヲ防ク、

【注】王肅曰、化之在前也、

王肅カ曰ク、之ヲ化スルコト前ニ在リ、

【經】子張問政、

子張政ヲ問フ、

【疏】問爲政方法也、

政ヲ爲ルノ方（方）法ヲ問フ、

【經】子曰、居之無倦、行之以忠、

子曰ク、居ルトキハ倦ムコト無シ、行フトキハ忠ヲ以テス、

【疏】答云、言身居政事則、莫懈倦、又凡所行用於民者、必盡忠心也、

答テ云ク、言ハ身政事ニ居ル則ハ、懈リ倦ムコト莫シ、又タ凡ソ民ニ行ヒ用ル所ハ、必ス忠心ヲ盡ス、

【注】

王肅曰、言爲政之道、居之於身無得懈倦、行之於民必以忠信之也矣、

王肅カ曰ク、言ハ政ヲ爲ルノ道、居ルトキハ身ニ於テ懈リ、倦ムコトヲ得ルコト無シ、行フトキハ民ニ於テ必ス忠信ヲ以テス、

【經】

子曰、君子博學於文、約之以禮、

子ノ曰ク、君子ハ博ク文ヲ學テ、之ヲ約^{ツマ}ヤカニスルニ禮ヲ以テス、

【疏】

能以禮約束也、

能ク禮ヲ以テ約束スルソ、

【經】

亦可以弗畔矣夫、

亦^マタ畔^ムカ弗^ル可^シ、

【疏】

畔違背也、言人廣學文章、而又以禮自約束、則亦得不違背正理也、

畔ハ違^ハ背ナリ、言ハ人廣ク文^イ章ヲ學テ、而シテ又禮ヲ以テ自^ミ約^ム束スル、則^トハ亦正^ト理ヲ違^ハ背セ^ズ不^ルコトヲ得^ウ、

【注】

鄭玄曰^ニ、弗畔不違道也、

鄭玄カ曰ク、畔カ弗トハ道ニ違ハ^ズ不^ルソ、

(一) 「鄭玄曰」、武内本無此三字。

【經】

子曰、君子成人之美、不成人之惡、

子ノ曰ク、君子ハ人ノ美ヲ成ス、人ノ惡ヲ成サ^ズ不^ス、

【疏】

美與己同、故成之也、惡與己異、故不成之也、

美己與同シ、故ニ之ヲ成ス、惡己與異ナリ、故ニ之ヲ成サ不、

【經】

小人反是、

小人ハ是レニ反ス、

【疏】

惡與己同、故成之也、美與己異、故不成之也、故與君子反、

惡己與同シ、故ニ之ヲ成ス、美己與異ナリ、故ニ之ヲ成サ不、故ニ君子與反ス、

(一) 「異」上、武内本有「背」字。

【經】

季康子問政於孔子、

季康子政ヲ孔子ニ問フ、

【疏】

亦問爲政之法於孔子也、

亦政ヲ爲ルノ法ヲ孔子ニ問フ、

【經】

孔子對曰、政者正也、

孔子對ヘテ曰ク、政ハ正ナリ、

【疏】

解字訓、以答之也、言所以謂治官爲政者、政訓中正之正也、

字訓ヲ解テ、之ニ答フ、言ハ官ヲ治ムルヲ謂テ政ト爲ル所_{ゆゑん}以ハ、政ハ中正ノ正ニ訓_き(訓)ス、

【經】

子師_ニ而正、孰敢不正、

子師ヒキイテ正ただサハ、孰たんにカ敢テ正シカラ不さラン、

【疏】

又解政所以訓正之義也、言民之從上、如影隨身表、若君上自率己身、爲正之事則、民下誰敢不正者耶、

又政ハ正ト訓スル所また以ノ義ヲ解ク、言ハ民ノ上ニ從フコト、影ノ身ト表ゆゑんトニ隨フカ如シ、若シ君ト上いせころ自みづから己おのれカ身ヲ率ヒキヒテ、正ホカノ事ヲ爲セハ、民ト下誰カ敢テ正シカラ不さラン者もヲヤ、

【注】

鄭玄曰、季康子魯上卿諸臣之帥也、

鄭玄カ曰ク、季康子ハ魯ノ上卿諸臣ノ帥スイソ、

【疏】

師猶先也、既爲上卿、故爲同朝諸臣之先也、李充云、我好靜、而民自正也、

師ハ先ノ猶ヒシ、既ニ上卿爲リ、故ニ同朝ノ諸臣ノ先爲リ、李充カ云ク、我靜わしヲ好コのみテ、民ヲのつから自正シ、

(一) 「師」、武内本作「帥」、下同。

【經】

季康子患盜問於孔子、

季康子盜ヲ患ヘテ孔子ニ問フ、

【疏】

患國內多偷盜、故問孔子。問於孔子求除盜之法也、

國ノ内偷盜多キコトヲ患フ、故ニ孔子ニ問テ。孔子ニ盜ヲ除クノ法ヲ求メンコトヲ問フ、

【經】

孔子對曰、苟子不欲、雖賞之不竊、

孔子對ヘテ曰ノたまはク、苟モ子欲セス不シハ、賞イワトスト雖スモ竊ヌスマス不シ、

【疏】

孔子答多盜之由也、子指季康子也、竊猶盜也、言民所以爲盜者、由汝貪欲不厭、故民從汝而爲盜耳、若汝心苟無欲、

假令重賞於民、令民爲盜、則民亦不爲也、是從汝故也、

孔子盜多キノ由ヲ答フ、子トハ季康子ヲ指ス、竊ハ盜ノ猶こシ、言ハ民ノ盜ヲ爲ル所以ハ、汝貪欲ニシテ厭ハ不たルニ由ル、故ニ民汝ニ從テ盜ヲ爲ラク耳、若シ汝ノ心苟モ欲無クンハ、假令民ヲ重賞シテ、民令テ盜ヲ爲令ムトモ、則チ民亦爲不、是レハ汝ニ從フ故ナリ、

【注】

孔安國曰、欲多情欲也、言民化於上、不從其所令、從其所好也、

孔安國カ曰ク、欲ハ情欲多キノ、言ハ民ノ上ニ化スルコト、其ノ令スル所ニ從ハ不、其ノ好ム所ニ從フ、

【疏】

雖賞不竊、是不從其所令也、康子患之、而民爲之不止、是從其所好也、李充云、我無欲、而民自朴者也、

賞スト雖竊マ不トイフ、是レ其ノ令スル所ニ從ハ不ルナリ、康子之ヲ患フ、而ルヲ民之ヲ爲シテ止マ不、是レ其ノ好ム所ニ從フナリ、李充カ云ク、我欲無シテ、而シテ民

自朴ナル者ナリ、

【經】

季康子問政於孔子曰、如殺無道、以就有道何如、

季康子政ヲ孔子ニ問テ曰ク、如シ無道ヲ殺シテ、有道人就サハ何如、

【疏】

就成也、康子問孔子而言、爲政欲并殺無道之人、而成就爵祿有道德者、其事好不、故云何如也、

就ハ成ナリ、康子孔子ニ問テ言ク、政ヲ爲テ并ニ無道ノ人ヲ殺シテ、爵祿ヲ有道德ノ者ニ成ト就セント欲ス、其ノ事好シヤ不ヤ、故ニ云ク何如ント、

【注】

孔安國曰、就成也、欲多殺以止奸也、

孔安國カ曰ク、就ハ成、多ク殺シテ以テ奸カシ（奸カクマシキ）ヲ止メマク欲ス、

【經】

孔子對曰、子爲政焉用殺、

孔子對ヘテ曰ク、子政ヲ爲ンニハ焉ソ殺ヲ用ヒン、

【疏】

孔子不許其殺也、言汝自爲政、爲政由汝、焉用多殺乎、

孔子其ノ殺ヲ許サ不、言ハ汝自政ヲ爲、政ヲ爲ルコトハ汝ニ由ル、焉ソ多殺ヲ用ンヤ、

【經】

子欲善而民善矣、

子善ヲ欲セハ民善ケン、

【疏】

民有道無道。終由於汝、汝若善則民自善、自善豈復無道乎、今之無道、由汝無道之故也、

民ノ有_レ道無_レ道。終ルニ汝ニ由ル、汝_レ若シ善クンハ民自_レ善ケン、自_レ善クンハ豈ニ復_レ夕無_レ道ナランヤ、今

ノ無_レ道ハ、汝_レ力無_レ道ノ故ニ由ル、

【經】

君子之德風也、小人之德草也、

君子ノ德ハ風ナリ、小人ノ德ハ草ナリ、

【疏】

更爲民從上之譬也、君子人君、小人民下也、言人君所行、其德如風也、民下所行其事如草、

更ニ民ノ上ニ從フノ譬ヲ爲、君子トハ人君ナリ、小人トハ民トナリ、言ハ人君ノ行フ所、其ノ德風ノ如シ、民ト下ノ行フ所其ノ事草ノ如シ、

【經】

草尚之風必偃、

草ニ風ヲ尚ウルトキハ必ス偃ス（偃_レク）、

【疏】

尚猶加也、偃臥也、言君如風、民如草、草上加風則、草必

臥、東西隨風、如民從君也、

(二) 「今」、武内本作「令」。

尚ハ加ノ猶シ、偃ハ臥ナリ、言ハ君ハ風ノ如ク、民ハ草ノ如シ、草ノ上ニ風ヲ加ル則ハ、草必ス臥ス、東西風ニ隨フコト、民ノ君ニ從フカ如シ、

【經】 子張問士、何如斯可謂之達、

子張士ヲ問フ、何如ナル斯レヲカ達ト謂フ可キ、

【注】

孔安國曰、亦欲令康子先自正也、偃仆也、

【疏】

士通謂大夫也、達謂身命通達也、子張問爲士之法、何若爲德行、而謂得爲達士耶也、

孔安國カ曰ク、亦康子ヲ令テ先ツ自正シカラ令メマク欲ス、偃ハ仆ス、

【疏】

仆亦踈臥也、

士トハ通シテ大_一夫ヲ謂フ、達トハ身_一命通_一達スルヲ謂フ、子張士_一爲_一ルノ法ヲ問フ、何_一若ナル德_一行ヲ爲_一シテカ、謂テ達_一士_一爲_一ルコトヲ得_一ンヤ、

仆ハ亦踈またシ(ツマツク踈)一臥ナリ、

【經】

子曰、何哉爾所謂達者矣、

【注】

加草以風、無不仆者、猶民之化於上也、

子ノ曰ク、何ソヤ爾カ謂ハ所ル達ハ、

草ニ加フルニ風ヲ以テスルトキハ、仆サ不トイフ者無シ、

【疏】

孔子知子張意非、故反質問之也、言汝意、謂若爲事、是達

猶シ民ノ上ニ化スルカ猶シ、

而問之也、故云、何哉爾所謂達者也、

孔子子張カ意ノ非ナルコトヲ知ル、故ニ反テ之ヲ質シ、
フ、言ハ汝カ意、若爲ナル事ヲ謂テカ、是ヲ達トシ
テ之ヲ問フヤ、故ニ云ク、何ソヤ爾カ謂ハ所ル達ハト、

【經】

子張對曰、在邦必聞、在家必聞、

子張對ヘテ曰ク、邦ニ在テモ必ス聞ヘ、家ニ在テモ必ス聞
フ、

【疏】

在邦、謂仕諸侯也、在家謂仕卿大夫也、子張答云、己所謂
達者、言若仕爲諸侯及卿大夫者、必竝使有聲譽遠聞者、是
爲達也、

邦ニ在ルトハ、諸侯ニ仕ルヲ謂フ、家ニ在ルトハ卿大夫
ニ仕ルヲ謂フ、子張答テ云ク、己カ謂フ所ノ達ハ、言
ハ若シ諸侯及ヒ卿大夫爲ル者ニ仕テ、必ス竝ニ聲譽遠聞
有ラ使ムル者、是ヲ達ト爲、

【注】

鄭玄曰、言士之所在、皆能有名譽也、

鄭玄カ曰ク、言ハ士ノ在ル所ハ、皆能ク名譽有リ、

【經】

子曰、是聞也、非達也、

子ノ曰ク、是レ聞ナリ、達ニ非ス、

【疏】

孔子曰、汝所言者、則聞耳、非是達也、繆協云、聞者達之
名、達者聞之實、而殉爲名者衆、體實者寡、故利名者飾
僞、敦實者歸眞、是以名分於聞、而道隔於達也、

孔子ノ曰ク、汝ノ言フ所ハ、則チ聞耳、是レ達ニ非ス、
繆協カ云ク、聞ハ達ノ名、達ハ聞ノ實ナリ、而ルヲ殉テ
名ヲ爲ス者ハ衆ニ（衆ク）、實ヲ體スル者ハ寡ナリ（寡
シ）、故ニ名ヲ利トスル者ハ僞リヲ飾リ、實ニ敦キ者ハ眞
ニ歸ル、是ヲ以テ名ハ聞ト分レ、道ハ達ト隔ル、

【經】

夫達者質直而好義、

夫レ達ハ質直ニシテ義ヲ好ム、

【疏】

既謂子張之達是聞、故此更爲其說達也、言夫達者、質性正直、而所好者義也、

既ニ子張カ達ヲ是ヲ聞ト謂フ、故ニ此ニ更ニ其ノ爲ニ達ヲ説ク、言ハ夫レ達者、質性正直ニシテ、好ム所ハ義ナリ、

【經】

察言而觀色、

言ヲ察ラカニシテ色ヲ觀ル、

【疏】

達者（四）又能察人言語、觀人容色者也、

達ハ又能ク人ノ言語ヲ察ラカニシテ、人ノ容色ヲ觀ル者

ナリ、

【經】

慮以下人、

慮ヲもんはかりテ以テ人ニ下ル、

【疏】

既察於言色、又須懷於謙退思以下人也、

既ニ言色ヲ察ニシテ、又須ク謙退ヲ懷イテ思テ以テ人ニ下ル須シ、

【注】

馬融曰、常有謙退之志、察言語、見顔色、知其所欲、其念慮常欲以下人也、

馬融カ曰ク、常ニ謙退ノ志有リ、言語ヲ察ニシ、顔色ヲ見テ、其欲スル所ヲ知ル、其レ念ヒテ常ニ人ニ下ラント欲ス、

【經】
在邦必達、在家必達、

邦ニ在テモ必ス達シ、家ニ在テモ必ス達ス、

【疏】
此人所在、必有此諸行、以達於人、故云必達也、

此ノ人ノ在ル所、必ス此ノ諸行有テ、人ニ達ス、故ニ必
ス達スト云フ、

【注】
馬融曰、謙尊而光、卑而不可踰也、

馬融カ曰ク、謙ハ尊シテ光レリ、卑フシテ踰フ可ラス、

【疏】
引謙卦、證慮以下人、所以是必達之義也、既謙光尊、不可
踰、故所在必達也、

謙ノ卦ヲ引テ、慮テ以テ人ニ下ルハ、是レ必ス達スル
所以ノ義ヲ證ス、既ニ謙ハ光リ尊シ、踰フ可ラス、故ニ

在ル所必ス達ス、

【經】
夫聞者、色取仁而行違、

夫レ聞ハ、色ノママニ仁ヲ取テ行フトキハ違イヌ、

【疏】
孔子更爲子張、說聞非達也、時多佞顏色、一往亦能假顏
色、爲仁而不能行之、故云、色取仁而行違也、

孔子更ニ子張カ爲ニ、聞ハ達ニ非ルコトヲ說ク、時ニ佞
顏色多シ、一往亦能ク顏色ヲ假テ、仁ヲ爲シテ之ヲ行
フトコト能ハス、故ニ云ク、色ノママニ仁ヲ取テ行フトキ
ハ違イヌ、

【經】
居之不疑、

居ルトキハ疑ハス不、

【疏】

既能爲假、能爲假、故居此假、而能使人不疑之也。非唯不爲他所疑而已、亦不自復自疑也、

既二能ク假ルコトヲ爲シテ、能ク假ルコトヲ爲ス、故二此ノ「假リニ居テ、能ク人ヲ使テ之ヲ疑ハ不ラ使ム。唯タ他ノ爲ニ疑ハ所不ル而」已ニ非ス、亦タ「自復タ自疑ハ不

【注】

馬融曰、此言佞人也、佞人假仁者之色、行之則違、安居其偽、而不自疑者也、

馬融カ曰ク、此ハ佞人ヲ言フ、佞人ハ仁者ノ色ヲ假テ、行フトキハ違イヌ、其ノ偽リニ安_レ居シテ、自疑ハ不_レル者ナリ、

【經】

在邦必聞、在家必聞、

邦ニ在テモ必ス聞ヘ、家ニ在テモ必ス聞フ、

【疏】

既佞人黨多、故所在必聞也、繆協云、世亂則佞人多、黨盛則、多聞、斯所謂歎衰運、疾弊俗、

既二佞人ハ黨多シ、故二在ル所必ス聞フ、繆協カ云ク、世「亂ルル則ハ佞人多ク、黨盛ナル則ハ、聞多シ、斯レ謂ハ所ル衰運ヲ歎シテ、弊俗ヲ疾ム、

【注】

馬融曰、佞人黨多也、

馬融カ曰ク、佞人ハ黨多シ、

【疏】

沈居士云、夫聞之與達、爲理自異、達者德立行成、聞者有名而已。夫君子深沖隱默、若長沮桀溺石門晨門、有德如此、始都不聞於世、近世魏魏蕩蕩、有實如此、而人都不知、是不聞也、竝終然顯稱名、則是達也。漢書稱。王莽始折節下士、鄉黨稱孝、州閭稱悌、至終然豺狼迹著、而母死不臨、班固云、此所謂在邦必聞、在家必聞、色取仁而行違者也、聞者達之名、達者聞之實、有實者必有名、有名者、不必有實、實深乎本、聞浮於末也、

沈居士カ云ク、夫レ聞ト達與、理爲ルコト自^{ヲのつから}異ナリ、
 達ハ德^ト立テ行^ト成ル、聞ハ名有ル而^レ已^ス。夫レ君子ハ深^ト
 沖ニシテ隱^ト默ス、長沮桀溺石門ノ晨門ノ若シ、徳有ル此
 ノ如シ、始メハ都テ世ニ聞ヘ不^ス、近^ト世魏^ト魏蕩^ト蕩タリ、
 實有ルコト此ノ如シ、而ルヲ人^ト都テ知ラ不^ス、是レ聞^トナラ
 不^ルナリ、竝^ニ終^ト然^トトシテ稱^ト名ニ顯ル、則ハ是レ達ナ
 リ。漢書ニ稱ク、王莽始メ節ヲ折イテ士ニ下ル、郷黨ニ
 ハ孝ト稱シ、州^ト閭ニハ悌ト稱ス、終^ト然^トトシテ豺^ト狼ノ迹^ト
^{アラハ}著ルルニ至ル、而シテ母^ト死シテ臨マ不^ス、班固カ云ク、此
 レ謂ハ所ル邦ニ在テモ必ス聞ヘ、家ニ在テモ必ス聞フ、色
 ノママニ仁ヲ取テ行フトキハ違フ者ナリ、聞ハ達ノ名
 達ハ聞ノ實、實有ル者ハ必ス名有リ、名有ル者ハ、必ス實
 有ラ不^ス、實ハ本^トニ深フシテ、聞ハ末ニ浮フ、

- (一) 「命」、武内本作「名」。
- (二) 「謂得」、武内本作「得謂」。
- (三) 「達者」、武内本作「者達」。
- (四) 「又」、武内本作「入」。
- (五) 「在」、武内本作「有」。
- (六) 「必」、武内本作「以」。
- (七) 「沖」、武内本作「淵」。
- (八) 「世」、武内本無此字。

- (九) 「魏魏」、武内本作「巍巍」。
- (一〇) 「終然」、武内本作「終年」、下同。
- (一一) 「實」、武内本作「家」。

【經】

樊遲從遊於舞雩之下、

樊遲從テ舞雩ノ下ニ遊ク、

【疏】

此舞雩之處、近孔子家、故孔子往遊其壇樹之下、而弟子樊
 遲從之、

此ノ舞^ト雩^トノ處、孔子ノ家ニ近シ、故ニ孔子往テ其ノ壇^ト
 樹ノ下ニ遊フ、而ルニ弟子樊遲之ニ從フ、

【注】

苞氏曰、舞雩之處、有壇壇樹木、故其下可遊也、

苞氏カ曰ク、舞^ト雩^トノ處ニ、壇^ト壇^ト樹^ト木有リ、故ニ其ノ下^ト
 遊ク可シ、

【經】

曰、敢問崇德、修慝、辨惑、

曰ク、敢テ德ヲ崇ヒ、慝ヲ修メ、惑ヲ辨セシコトヲ問フ、

【疏】

既從遊而問此三事也、修治也、慝惡也、謂治惡爲善也、問崇德、治惡、辨惑、之事也、

既ニ從テ遊^{あそび}而此ノ三事ヲ問フ、修ハ治ナリ、慝ハ惡ナリ、惡ヲ治メテ善ヲ爲スコトヲ謂フ、德ヲ崇ヒ、惡ヲ治メ、惑ヲ辨スルノ、事ヲ問フ、

【注】

孔安國曰、慝惡也、修治也、治惡爲善也、

孔安國カ曰ク、慝ハ惡、修ハ治、惡ヲ治メテ善ヲ爲ス、

【經】

子曰、善哉問、

子ノ曰ク、善ヒ哉ヤ問ヘルコト、

【疏】

將欲答之、故先美其問之善也、

將ニ之ヲ答ヘント欲^ス、故ニ先ツ其ノ問ノ善キコトヲ美ム、

【經】

先事後得、非崇德與、

先^{ワザ}事^{サキ}後^{ノチ}得^ル、非^ズ崇^ム德^ト與^ス、

【疏】

答崇德也、^(三)先事謂先爲勤勞之事也、後得謂後得祿位、已勞若能如此、豈非崇德與、言其是也、故范寧云、物莫不避勞而處逸、今以勞事爲先、得事爲後、所以崇德也、

德ヲ崇フコトヲ答フ、事ヲ先トハ先ツ勤勞ノ事ヲ爲ルヲ謂フ、得ルコトヲ後ニストハ後ニ祿位ヲ得ルヲ謂フ、已ニ勞スルコト若シ能ク此ノ如キンハ、豈ニ德ヲ崇フニ非スヤ、言ハ其レ是ナリ、故ニ范寧カ云ハク、物ノ勞ヲ避ケテ逸ニ處ラ不トイフコト莫シ、今勞事ヲ以先ト爲、得ル事ヲ後ト爲、德ヲ崇フ所以ナリ、

【注】 孔安國曰、先勞於事、然後得報也、

孔安國カ曰ク、先ツ事ニ勞シテ、然シテ後ニ報ヲ得、

【經】 攻其惡、毋攻人之惡、非修慝與、

其ノ惡ヲ攻メテ、人ノ惡ヲ攻ムルコト母シ、慝ヲ修ムルニ非ス與、

【疏】 答修慝也、政治也、言人但自治己身之惡、改之爲善、而不須知他人惡事、若能如此、豈非修慝也、

慝ヲ修ムルコトヲ答フ、攻ハ治ナリ、言ハ人但夕自己カ身ノ惡ヲ治メテ、之ヲ改ムルヲ善シト爲、而シテ須ク他人ノ惡事ヲ知ル須ラ不、若シ能ク此ノ如キンハ、豈ニ慝ヲ修ルニ非スヤ、

【經】 一朝之忿、忘其身、以及其親、非惑與、

一朝ノ忿ニ、其ノ身ヲ忘レテ、其ノ親ニ及ス、惑ヘルニ非スヤ、

【疏】

答辨惑也、君子有九思、忿則思難、故若人觸威者、則思後有患難、不敢遂肆我忿、以傷害於彼也、若遂肆忿、忘於其身、又災過及己親、此則己爲惑、故宜辨明知而不爲也、

惑ヲ辨スルコトヲ答フ、君子ハ九思有リ、忿ニハ難ヲ思フ、故ニ若シ人威ニ觸ルル者ハ、則チ後ニ患難有ランコトヲ思フ、敢テ遂ニ我カ忿ヲ肆ニシテ、彼ヲ傷害セ不、若シ遂ケテ忿ヲ肆ニスルトキハ、我カ身ヲ忘ス、又災過己カ親ニ及ス、此レ則チ己惑ヲ爲ルナリ、故ニ宜ク辨シ明カニ知テ爲不ル宜シ、

- (一) 「壇」、武内本作「檀」。
- (二) 「之」、武内本作「也」。
- (三) 「也」、武内本無此字。
- (四) 「勞」下、武内本有「也」字。
- (五) 「也」、武内本作「與」。
- (六) 「威」、武内本作「惑」。
- (七) 「於」、武内本無此字。

(八) 「己」、武内本作「已」。

【經】

樊遲問仁、

樊遲仁ヲ問フ、

【疏】

問爲仁之道也、

仁ヲ爲ルノ道ヲ問フ、

【經】

子曰愛人、

子ノ曰ク人ヲ愛ス、

【疏】

仁以惻隱濟衆、故曰愛人也、

仁ハ惻隱(惻隱)ヲ以テ衆ヲ濟フ、故ニ曰ク人ヲ愛ス

ト、

【經】

問智、

智ヲ問フ、

【疏】

樊遲又問智也、

樊遲又智ヲ問フ、

【經】

子曰知人、

子ノ曰ク人ヲ知ル、

【疏】

孔子答曰、能知人者、則爲智也、

孔子答テ曰ク、能ク人ヲ知ルハ、則チ智ト爲ス、

【經】

樊遲未達、

樊遲未^{いま}夕^す達^{たつ}七^{しち}未^{いま}、

【疏】

達猶曉也、已曉愛人之言、而問曉知人之旨也、

達ハ曉ノ猶^{こと}シ、已二人ヲ愛スルノ言ヲ曉^{さるとら}テ、而シテ人ヲ知ルノ旨ヲ曉^{さるとら}シコトヲ問フ、

【經】

子曰、舉直錯諸枉、能使枉者直、

子ノ曰ク、直キヲ舉テ枉^{まが}レルヲ錯^{あや}イテ、能ク枉^{まが}レル者ヲ使テ直カラ使ム、

【疏】

錯廢也、枉邪也、樊遲既未曉知人之旨、故孔子又爲說之也、言若舉正直之人、在位用之、而廢置邪枉之人、不用則、邪枉之人、皆改枉爲直以求舉之、

錯^ソハ廢ナリ、枉^マハ邪ナリ、樊遲既^{いま}ニ未^{いま}夕^す人ヲ知ルノ旨ヲ曉^{さるとら}ラ未^{いま}、故^{ゆゑ}ニ孔子又^{また}爲^なニ之ヲ說ク、言^いハ若^{ごと}シ正直ノ人ヲ舉^あテ、位^ゐニ在^あイテ之ヲ用テ、而シテ邪^{よこしま}枉^{まが}ノ人ヲ廢^すテ置^おク、

テ、用ヒ不^さル則^{すなは}ハ、邪^{よこしま}枉^{まが}ノ人、皆^{みな}枉^{まが}レルヲ改^{あら}メテ直^{ただ}ヲ爲^なテ舉^あセラレンコトヲ求ム、

【注】

荀氏曰、舉正直之人用之、廢置邪枉之人、則皆化爲直也、

荀氏カ曰ク、正^{ただ}直ノ人ヲ舉^あテ之ヲ用テ、邪^{よこしま}枉^{まが}ノ人ヲ廢^すテ置^おク、則^{すなは}ハ皆^{みな}化^かシテ直^{ただ}ヲ爲^なス、

【經】

樊遲退見子夏

樊遲退^{まひ}テ子夏二見^{まみ}テ

【疏】

樊遲猶未曉舉直錯諸枉之言、故退而往見子夏欲問之、

樊遲猶^{いま}ヲ未^{いま}夕^す直^{ただ}ヲ舉^あテ枉^{まが}レルヲ錯^{あや}ク言^いヲ曉^{さるとら}ラ未^{いま}、故^{ゆゑ}ニ退^{まひ}テ往^ゆテ子夏二見^{まみ}テ之ヲ問^とント欲^ほス、

【經】

曰、嚮也吾見於夫子而問智、子曰舉直錯諸枉、能使枉者

直、何謂也、

曰ク、嚮サキニ吾夫われ子こニ見まヘテ智ちヲ問とフ、子こノ曰いはク直ちキヲ
舉たテ枉かレルヲ錯さテ、能よク枉かレル者ものヲ使しテ直ちカラ使しムトハ、
何なにント謂いフコトソヤ、

【疏】

樊遲既見於子夏而述夫子之言、問之何謂也、

樊遲既まニ子夏まニ見まテ夫ま子まノ言まヲ述まテ、之まヲ問まフ何まト謂まフ
コトソヤ、

【經】

子夏曰、富哉是言乎、

子夏カ曰ク、富サカンナルカ哉カ是コノ言コト、

【疏】

子夏得問而曉孔子語、故先美之也、富盛也、云孔子之言甚
盛、

子夏問ヲ得テ孔子ノ語ヲ曉ル、故ニ先ツ之ヲ美ム、富ハ盛

ナリ、云ク孔子ノ言甚コトタ盛まナリ、

【注】

孔安國曰、富盛也、

孔安國カ曰ク、富ハ盛ナリ、

【經】

舜有天下、選於衆、舉臯陶、不仁者遠矣、

舜天カ下カヲ有タツテ、衆タニ選タテ、臯陶カヲ舉タケシカハ、不レ仁ニ
者ものハ遠サカリキ、

【疏】

引事以答舉直錯枉也、言舜昔有天位、選擇諸民衆中、舉得
臯陶、在位用之則、是舉直也、而不仁者不敢爲非、故云遠
矣、即是枉者直也、

事ヲ引テ以テ直キヲ舉テ枉レルヲ錯コトヲ答フ、言ハ
舜昔天カ位カヲ有タテ、諸民ノ衆中ニ選タヒ擇タテ、臯陶ヲ舉
得テ、位ニ在タイテ之ヲ用ル則ハ、是レ直キヲ舉ルナリ、
而シテ不レ仁ニ者ものハ敢テ非レ爲ス不レ、故ニ云ク遠サカリキト、即チ

是レ枉レル者ハ直キナリ、

【經】

湯有天下、選於衆、舉伊尹、不仁者遠矣、

湯天下ヲ有テ、衆ニ選テ、伊尹ヲ舉セシカハ、不仁者ハ遠リキ、

【疏】

恐樊遲猶未曉、故又舉一條事、

樊遲猶ヲ未タ曉ラ未ンコトヲ恐ル、故ニ又タ一條ノ事ヲ舉ク、

【注】

孔安國曰、言舜湯有天下、選擇於衆、舉臯陶伊尹、則不仁者遠矣、仁者至矣、

孔安國カ曰ク、言ハ舜湯天下ヲ有テ、衆ニ選ヒ擇テ、臯陶伊尹ヲ舉ケシカハ、不仁者ハ遠リキ、仁者ハ至リキ、

【疏】

蔡謨云、何謂不仁者遠、遠去也、若孔子言能使枉者去、則是智也、今云、能使枉者直、是化之也、孔子言其化、子夏謂之去者、亦爲商之未達、乃甚於樊遲也。子夏言此者、美舜湯之知人、臯陶伊尹之致治也、無緣說其道化之美、但言不仁者去、夫言遠者、豈必足涉遐路、身適異邦、賢愚相殊、是亦遠矣、故曰性相近也、習相遠也、不仁之人、感化遷善、去邪枉、正直是與、故謂遠也、案蔡氏之通、與孔氏無異、但孔氏云、不仁者遠、少爲紆耳、若昧而言之則、遠是遠惡行、更改爲善行也、

蔡謨カ云ク、何ソ不仁者ハ遠ルト謂フ、遠ハ去ナリ、孔子能ク枉レル者ヲ使テ去ラ使メハ、則チ是レ智ト言フカ若シ、今云ク、能ク枉レル者ヲ使テ直カラ使ムトハ、是レ之ヲ化スルナリ、孔子其ノ化ヲ言フ、子夏之ヲ去ト謂フコトハ、亦タ商カ未タ達セ未ルト爲ルコト、乃チ樊遲ヨリ甚シ。子夏此ヲ言フコトハ、舜湯ノ人ヲ知り、臯陶伊尹カ治ヲ致スコトヲ美ム、其ノ道ハ化ノ美ヲ説ク、但タ不仁者ハ去ルト言フニ縁無シ、夫レ遠ト言コトハ、豈ニ必ス足遐路ヲ涉リ、身異邦ニ適カンヤ、賢愚相ヒ殊ナリ、是レ亦タ遠ルナリ、故ニ曰ク性相ヒ近シ、習フトキハ相ヒ遠ル、不仁ノ人ハ、化ニ感シテ善ニ遷テ、邪

枉ヲ去テ、正直是レニト與ス、故ニ遠ルト謂フ、蔡氏カ通
ヲ案スルニ、孔氏與異ナルコト無シ、但夕孔氏カ云ク、
不仁者ハ遠ルト、少シ紆カルト爲ル耳、若シ味テ之ヲ言フ
則ハ、遠ハ是レ惡ト行ヲ遠テ、更メ改メテ善行ヲ爲ル
ナリ、

(一) 「正直」、武内本作「直正」。

(二) 「事」下、武内本有「也」字。

(三) 「遠」下、武内本有「者」字。

(四) 「涉」、武内本作「陟」。

(五) 「惡」上、武内本有「其」。

【經】

子貢問友、

子貢友ヲ問フ、

【疏】

諮求朋友之道也、

朋友ヲ求ムルノ道ヲ諮フ、

【經】

子曰、忠告而以善導之、

子ノ曰ク、忠シ告クルニ善ヲ以テシテ之ヲ導ク、

【疏】

朋友主切磋、若見有不善、當盡已忠告語之、又以善事更
相誘導也、

朋友ハ切ト磋トヲ主トス、若シ不ト善有ルヲ見テハ、當ニ己
カ忠ト心ヲ盡シテ之レニ告ケ語ル當シ、又善ト事ヲ以テ更
ニ相誘ト導ク、

【經】

否則止、無自辱焉、

否ナル則ハ止ム、自辱トメラルルコト無シ、

【疏】

否謂彼不見從也、若彼苟不見從則、使止而不重告也、若重
告不止則、彼容反見罵辱、故云、無自辱焉、

否^レナルトキトハ彼カ從^レハ見^レ不^レルヲ謂^フ、若^シ彼苟^モ從^レハ見^レ不^ル則^ハ、使^テ止^テ重^テ告^ケ不^ラ使^ム、若^シ重^テ告^テ止^マ不^ル則^ハ、彼反^テ罵^リ辱^セ見^ル容^シ、故^ニ云^ク、自^レ辱^ムルコト無^シ、

【注】

荀氏曰、忠告以是非告之也、以善導之、不見從則止、必言之或見辱也、

荀氏カ曰ク、忠^シ告^ルトハ是^レ非^ヲ以^テ之^レニ告^ルソ、善^ヲ以^テ之^ヲ導^クニ、從^ハ見^不ル則^ハ止^ム、必^ス之^ヲ言^フトキハ辱^シメ見^ルルコト或^リ、

【疏】

若必更言之也、或反見辱也、

若^シ必^ス更^ニ之^ヲ言^フトキハ、反^テ辱^シメ見^ルルコト或^リ、

(一) 「也」、武内本作「已」。

【經】
曾子曰、君子以文會友、

曾子カ曰ク、君^子ハ文^ヲ以^テ友^ヲ會^ス、

【疏】

言朋友相會以文德爲本也、

【注】
言^ハ朋^友相^ヒ會^スルニハ文^ヲ以^テ本^ト爲^ス、

【注】
孔安國曰、友以文德合也、

孔安國カ曰ク、友^ハ文^ヲ以^テ合^フ、

【經】

以友輔仁、

友^ヲ以^テ仁^ヲ輔^ク、

【疏】

所以須友者、政持輔成己仁之道故也、

友ヲ須ユル所以ハ、政ニ持ケテ己カ仁ノ道ヲ成ス
故ナリ、

【注】

孔安國曰、友有相切磋之道、所以輔成己之仁也、

孔安國カ曰ク、友ハ相ヒ切磋スルノ道有リ、己カ仁ヲ輔
ケ成ス所以ナリ、

(一) 「也」下、武内本有「講學以會友則道益明取善以
輔仁則德日進」十八字之疏（小字雙行）。大槻本以
小字補記而無訓點。

論語義疏卷第六

(一) 「卷」、武内本無此字。

(二) 「六」下、武内本有「經二千六十二字／注一千九
百四十六字」十六字（小字雙行）。

論語義疏卷第七子路／憲問 梁國子助教吳郡皇侃撰

論語子路第十三 何晏集解

疏

(一) 「子路／憲問」四字、小字雙行。

(二) 「解」下、武内本有「凡三十章」四字(小字單行)。

(三) 「疏」、武内本跳格。

【疏】

子路孔子弟子也、武爲三千之標者也、所以次前者、武劣於文、故子路次顏淵也、

子路ハ孔子ノ弟_一子ナリ、武三千ノ標_タ爲ル者ナリ、前二次ツル所_ユ以ハ、武ハ文ヨリ劣_イシ、故ニ子路ヲ顏淵ニ次ツ、

【經】

子路問政、

子路 政 ヲ問フ、

【疏】

問爲政之法也、

政 ヲ爲ルノ法ヲ問フ、

【經】

子曰、先之勞之、

子ノ曰ク、先ツシテ勞セシム、

【疏】

答也、先之謂先行德信及於民也、勞之謂使勞役也、爲政之法、先行德澤、然後乃可勞役也、

答ナリ、先トハ先ツ德ヲ行テ信ヲ民ニ及スヲ謂フ、勞セシムトハ勞_一役セ_シ使ムルヲ謂フ、政 ヲ爲ルノ法、先ツ德_一澤ヲ行テ、然シテ後乃チ勞_一役ス可シ、

【注】

孔安國曰、先導之以德、使民信之、然後勞之、易曰、說以使民、民忘其勞也、

孔安國カ曰ク、先ツ之ヲ導クニ德ヲ以テシテ、民ヲ使テ信
アラ使メテ、然シテ後ニ之ヲ勞ス、易ニ曰ラク、說ヨロコヒ
以テ民ヲ使フトキハ、民其ノ勞ヲ忘ルトイヘリ、

【疏】

引易證上先有德澤可悅、後乃可勞民也、

易ヲ引テ上ニ先ツ德澤ノ悅フ可キ有テ、後ニ乃チ民ヲ勞
セシム可シトイフコトヲ證ス、

【經】

請益

益請フ

【疏】

子路嫌爲政之法少、故就孔子、更求請益也、

子路 政まつりごとヲ爲ルノ法少シキナリト嫌フ、故ニ孔子ニ就
テ、更ニ求テ益請フ、

【經】

曰無倦、

曰ク倦ムコト無レ、

【疏】

孔子答曰、但行先之勞之二事、無有懈倦、則自爲足也、

孔子答テ曰ク、但夕先ツシテ勞セシムルノ二事ヲ行テ、
懈倦有ルコト無クンハ、自足レリト爲ン、

【注】

孔安國曰、子路嫌其少、故請益、曰無倦者、行此上事、無
倦則可也、

孔安國カ曰ク、子路其ノ少シキナルコトヲ嫌フ、故ニ益請
フ、曰ク倦ムコト無レトハ、此ノ上ノ事ヲ行テ、倦ムコ
ト無キ則ハ可ナリ、

(一) 「曰」、武内本作「云」。

【經】
仲弓爲季氏宰問政、

仲弓季氏カ宰ト爲テ(爲ラントシテ) 政まつりごとヲ問フ、

【疏】
仲弓將往費爲季氏采邑之宰、故先諮問孔子、求爲政之法、

仲弓將ニ費ヒニ往テ季氏カ采邑ノ宰爲ラント將、故ニ先ツ孔子ニ諮ヒ一問テ、政まつりごとヲ爲ルノ法ヲ求ム、

【經】
子曰、先有司

子ノのたまは曰ク、有司ヲ先ンセヨ

【疏】
有司謂彼邑官職屬吏之徒也、言爲政之法、未可自逞聰明、且先委任其屬吏、責以舊事、

有司トハ彼ノ邑ノ官職屬吏ノ徒ヲ謂フ、言ハ政まつりごとヲ爲ルノ法、未タ自聰ミつから明タクマシクヲ逞イカこころス可ラ未、且まタか(且ツ)

先ツ其ノ屬吏ニ委ユケ任マカシテ、責せムルニ舊事ヲ以テス、

【注】
王肅曰、言爲政、當先任有司、而後責其事也、

王肅カ曰ク、言ハ政まつりごとヲ爲ルコト、當ニ先ツ有司ニ任シテ、而シテ後ニ其ノ事ヲ責ム當シ、

【經】
赦小過、

小ユル過ヲ赦シテ、

【疏】
過誤也、又當放赦民間小過過誤犯之罪者也、

過誤ナリ、又當ニ民間ノ小過過誤シテ之ヲ犯ス罪ノ者ヲ放ユルシユル赦ス、

【經】
舉賢才、

賢才ヲ舉セヨ、

【疏】

又當舉民中有才智者、薦之於君者也、

又當二民一中ニ才智有ル者ヲ舉テ、之ヲ君ニ薦ム當キ者ナリ、

【經】

曰焉知賢才而舉之、

曰ク焉ソ賢才ヲ知テ之ヲ舉セン、

【疏】

焉安也、仲弓又諮曰、己識闇昧、豈辨得賢才、而可舉也、

焉ハ安ナリ、仲弓又諮テ曰ク、己識闇昧ナリ、豈ニ賢才ヲ辨シ得テ、而シテ學ス可ケンヤ、

【經】

曰舉爾所知、爾所不知、人其舍諸、

曰ク爾カ知レラン所ヲ舉セヨ、爾カ知レラ不ル所ヲハ、人其レ舍テメヤ、

【疏】

仲弓既曰、焉知賢才、故孔子又答曰、但隨爾識而舉之、爾所不知、他人舉之、汝爲民主、汝若好舉賢才、則民心必從汝所好、各各自舉其所知賢才、皆遂不見於棄捨、諸之也、人其捨於之乎、范寧曰、仲弓以非不欲舉賢才、識不知人也、孔子以所知者、則舉之、爾不知者、他人自舉之、各舉所知、則賢才豈棄乎、

仲弓既ニ曰ク、焉ソ賢才ヲ知ラント、故ニ孔子又答テ曰ク、但夕爾ノ識ニ隨テ之ヲ舉セヨ、爾ノ知レラ不ラソ所ヲハ、他人之ヲ舉セン、汝民主爲リ、汝若シ好テ賢才ヲ舉ケハ、則チ民心必ス汝ノ好ム所ニ從テ、各自其ノ知ル所ノ賢才ヲ舉ケン、皆遂ニ棄テ捨テラ見不、諸ハ之ナリ、人其レ之ヲ捨テンヤ、范寧カ曰ク、仲弓以テ賢才ヲ舉ケンコトヲ欲セ不ルニハ非ス、識人ヲ知ラ不ルナリ、孔子知レル所ノ者ヲ以、則チ之ヲ舉ケハ、爾ノ知ラ不ル者ヲハ、他人自之ヲ舉ン、各知ル所ヲ舉ケハ、則チ賢才豈ニ棄テメ乎、

【注】

孔安國曰、女所不知者、人將自舉之、各舉其所知、則賢才無遺也、

孔安國カ曰ク、女カ知レラ不ル所ヲハ、人將ニ自之ヲ舉ケント將、各其ノ知レル所ヲ舉ケハ、賢才遺ルコト無ケン、

- (一) 「法」下、武内本有「也」字。
- (二) 「也」、武内本無此字。
- (三) 「小過」、武内本作「小小」。
- (四) 「曰」、武内本作「云」。
- (五) 「舉」下、武内本有「之」字。
- (六) 「曰」、武内本作「云」。
- (七) 「曰」、武内本作「云」。
- (八) 「爾」、武内本作「所」。
- (九) 「各」上、武内本有「亦」字。
- (一〇) 「曰」、武内本作「云」。
- (一一) 「識」下、武内本有「闇」字。
- (一二) 「孔安國」、武内本作「馬融」。

【經】

子路曰、衛君待子而爲政、子將奚先、

子路カ曰ク、衛ノ君子ヲ待シテ政ヲ爲シニ、子將ニ奚レカ(奚レヲ)先シ將シ、

【疏】

子孔子也、奚何也、子路諍孔子曰、衛國之君、欲待子共爲政化、子若往衛與彼共爲政、則先行何事、爲風化也、

子トハ孔子ナリ、奚ハ何ナリ、子路孔子ニ諍テ曰ク、衛國ノ君、子ヲ待シテ共ニ政ヲ化シテ爲ント欲セハ、子若シ衛ニ往テ彼與共ニ政ヲ爲ハ、先ツ何事ヲカ行テ、風化ヲ爲シ、

【注】

苞氏曰、問往將何所先行也、

苞氏カ曰ク、問フ往テ將ニ何ヲカ先ツ行フ所ト將シ、

【經】

子曰、必也正名乎、

子ノ曰ク、必ス名ヲ(名ヲ)正シフセンカ、

【疏】

孔子答云、若必先行、正百物之名也、所以先須正名者、爲時昏禮亂、言語翻雜、名物失其本號、故爲政必以正名爲先也、所以下卷云、邦君之妻、君稱之曰夫人之屬、是正名之類也、

孔子答テ云ク、若シ必ス先ツ行ハ、百一物ノ名ヲ正フセン、先ツ須ク名ヲ正シフス須キ所以ハ、時昏ク禮亂テ、言語翻雜シテ、名物其ノ本號ヲ失スルカ爲ニ、故ニ政ヲ爲ハ必ス名ヲ正スルヲ以テ先ト爲ン、所以ニ下卷ニ云ク、邦君ノ妻ヲハ、君之ヲ稱シテハ夫人ト曰フノ屬、是レ名ヲ正シフスルノ類ナリ、

【注】

馬融曰、正百事之名也、

馬融カ曰ク、百一事ノ名ヲ正シフスルソ、

【疏】

韓詩外傳云、孔子侍坐季孫、季孫之宰通曰、君使人價馬、

其與之不乎、孔子曰、君取臣謂之取、不謂之價、季孫悟告宰曰、今日以來、云君有取謂之取、無曰假也、故孔子正假馬之名、而君臣之義定也、

韓詩外傳ニ云ク、孔子季孫ニ侍坐ス、季孫カ宰通シテ曰ク、君人ヲ使テ馬ヲ價ラ使、其レ之ヲ與ヘンヤ不ヤ、孔子ノ曰ク、君臣ニ取ル之ヲ取ルト謂フ、之ヲ價ルト謂ハス、季孫悟テ宰ニ告テ曰ク、今日ヨリ以來、君取ルコト有ラハ之ヲ取ルト謂テ、假ルト曰フコト無レト云フ、故ニ孔子馬ヲ假ルノ名ヲ正フシテ、而シテ君臣ノ義定マル、

【經】

子路曰、有是哉、子之迂也、奚其正、

子路カ曰ク、是レ有リヤ、子ノ迂レルナリ、奚ソ其レ正シフセン、

【疏】

迂遠也、子路聞孔子以正名爲先、以爲不是、故云有是哉、言正名非是也、又云、子之迂也、謂孔子所言正名於爲政之事、賒遠不近於事實、又云、奚其正、言何須正也、

迂ハ遠ナリ、子路孔子ノ名ヲ正ルヲ以テ先ト爲ルコトヲ聞テ、以テ是ナラ不ト爲、故ニ云ク是レ有り哉、言ハ名ヲ正セントイフコト是ニ非ス、又云ク、子ノ迂レルナリ、謂ル孔子ノ名ヲ正セント言フ所政ヲ爲ルノ事ニ於テ、賒カニ(賒)遠ニシテ事實ニ近カラ不、又云ク、奚ソ其レ正セン、言ハ何ソ正コトヲ須ン、

【注】

荀氏曰、迂猶遠也、言孔子之言、疏遠於事也、

荀氏カ曰ク、迂ハ遠ノ猶シ、言ハ孔子ノ言、事ニ疏遠ス、

【疏】

謂正名、與事相乖違者也、

謂ル名ヲ正スルコト、事與相ヒ乖(乖)違スル者ナリ、

【經】

子曰、野哉由也、

子ノ曰ク、野ナル哉由、

【疏】

野不達也、由子路名也、子路不曉正名之理也、便謂孔子言、遠於事實、故孔子責之野哉由也、所以前卷云、由誨汝知之乎、不知爲不知、是知也、

野ハ不達ナリ、由ハ子路カ名ナリ、子路名ヲ正スルノ理ヲ曉ラ不、便チ孔子ノ言ヲ謂テ、事實ニ遠レリトス、故ニ孔子之ヲ責ム野ナル哉由ト、所以前ノ卷ニ云ク、由汝ニ知レランコトヲ誨ヘン乎、知レラ不ルヲハ知レラ不ト爲ヨ、是レ知レルナリト、

【注】

孔安國曰、野猶不達也、

孔安國カ曰ク、野ハ不達ノ猶シ、

【經】

君子於其所不知、蓋闕如也、

君一子ハ其知ラ不ル所ニ於テ、蓋シ闕一如ス、

【疏】

既先責之云、野哉、此又戒之、言君子之人、若事於已有不知、則當闕而不言、今汝不知正名之義、便謂爲迂遠何乎、

既二先ツ之ヲ責メテ云ク、野ナル哉ト、此二又之ヲ戒ム、言ハ君子ノ人ハ、若シ事己ニ於テ知ラ不有ルヲハ、當二闕テ言ハ不ル當シ、今汝名ヲ正スルノ義ヲ知ラ不、便チ謂テ迂遠ナリト爲ルコトハ何ソ乎、

【注】

荀氏曰、君子於其所不知、當闕而勿據、今由不知正名之義、而謂之迂遠也、

荀氏カ曰ク、君子ハ其知ラ不ル所ニ於テ、當二闕イテ據ルコト勿カル當シ、今由名ヲ正スルノ義ヲ知ラ不、而シテ之ヲ迂遠ナリト謂フ、

【經】

名不正則、言不順、

名正シカラ不ル則ハ、言順ナラ不、

【疏】

戒之既竟、更又爲說正名之義、言所以爲政、先須正名、且夫名以召實、實以應名、今若倒錯不正則、當言語紕僻、不得順序也、

之ヲ戒ムルコト既二竟テ、更二又爲二名ヲ正スルノ義ヲ説ク、言ハ政ヲ爲ルコトハ、先ツ須ク名ヲ正ス須キ所ナリ、且ツ夫レ名ハ以テ實ヲ召フ、實ハ名ニ應ス、今若シ倒錯シテ正カラ不ル則ハ、當二言一語紕僻シテ（紕レ僻ンテ）、順序ナルコトヲ得不ル當シ、

【經】

言不順則、事不成、

言順ナラ不ル則ハ、事成ラ不、

【疏】

事謂國家所行之事、若言不從順序則、故政行觸事不成也、

事トハ國一家行フ所ノ事ヲ謂フ、若シ言順序ニ從ハ不ル則ハ、故二政一行事ニ觸テ成ラ不、

【經】 事不成則、禮樂不興、

事成ワサラキ不スルト則トハ、禮樂興フコラス不、

【疏】

興猶行也、若國事多失則、禮樂之教、不通行也、

興ハ行ノ猶トシ、若シ國事失多キ則トハ、禮樂ノ教をシヘ、通シ行ハレ不、

【經】

禮樂不興則、刑罰不中、

禮樂興ラ不スルト則トハ、刑罰中アラス不、

【疏】

禮以安上治民、樂以移風易俗、若其不行則、君上不安、惡風不移、故有淫刑濫罰、不中於道理也、

禮ハ以テ上ヲ安ンシ民ヲ治ム、樂ハ以テ風ヲ移シ俗ヲ易フ、若シ其レ行ハレ不スルト則トハ、君上安ラ不、惡風移ラ

不ス、故二淫刑濫罰有テ、道理ニ中ラ不、

【注】

苞氏曰、禮以安上、樂以移風、二者不行則、有淫刑濫罰也、

苞氏カ曰ク、禮ハ上ヲ安ンシ、樂ハ以テ風ヲ移ス、二ツノ者行ハレ不スルト則トハ、淫刑濫罰有リ、

【經】

刑罰不中則、民無所措手足、

刑罰中アラス不スルト則トハ、民手足ヲ措クニ所無シ、

【疏】

措猶置立也、刑罰既濫、故下民畏懼刑罰之濫、所以踰天踏地、不敢自安、是無所自措立手足也、

措ハ置立ノ猶トシ、刑罰既ニ濫ル、故ニ下ニ民刑罰ノ濫ヲ畏レ懼ル、所以ニ天ニ踰リ地ニ踏ス、敢テ自安カラ不、是レ自手足ヲ措キ立ル所無キナリ、

【經】

故君子名之必可言也、

故二君一子ハ之ヲ名クルコト必ス言フ可クス、

【疏】

既民無所措手足、由於名之不正、故君子爲政者、宜正其名、必使順序而可言也、

既二民手一足ヲ措クニ所無キコト、名ノ正カラ不ルニ由ル、故二君一子ノ政ヲ爲ルコトハ、宜ク其ノ名ヲ正フシテ、必ス順序ニシテ言フ可ラ使ム宜シ、

【經】

言之必可行也、

之ヲ言フコト必ス行フ可クス、

【疏】

言既順序則、事所以可行也、

言フコト既二順序ナル則ハ、事行フ可キ所以ナリ、

【注】

王肅曰、所名之事、必可得而明言也、所言之事、必可得而遵行也、

王肅カ曰ク、名クル所ノ事、必ス得テ明カニ言フ可クス、言フ所ノ事、必ス得テ遵イ行フ可クス、

【經】

君子於其言、無所苟而已矣、

君一子ハ其ノ言ニ於テ、苟モスル所無ラマク而已、

【疏】

言必使可行、政於其言不得苟且、而不正也。鄭注云、正名謂正書字也、古者曰名、今世曰字、禮記曰、百名已上、則書之於策、孔子見時教不行、故欲正其文字之誤、

言ハ必ス行フ可ラ使ム、政ニ其ノ言ニ於テ苟且ニシテ、正カラ不ルコトヲ得不。鄭カ注ニ云ク、名ヲ正スルトハ書一文字ヲ正スルヲ謂フ、古ニ者名ト曰フ、今世ハ字ト曰フ、禮記ニ曰ク、百名已上ハ、之ヲ策ニ書ス、孔子時ニ教ヘノ行ハレ不ルヲ見ル、故ニ其ノ文字ノ誤ヲ正セ

ント欲^ス

- (一) 「曰」、武内本作「云」。
- (二) 「云」、武内本作「曰」。
- (三) 「云」、武内本作「曰」。
- (四) 「違」、武内本作「遠」。
- (五) 「也」、武内本無此字。
- (六) 「便」、武内本作「更」。
- (七) 「之」下、武内本有「云」字。
- (八) 「又」、武内本無此字。
- (九) 「有」下、武内本有「所」字。
- (一〇) 「今」、武内本作「名」。
- (一一) 「當」、武内本無此字。
- (一二) 「故」、武内本無此字。
- (一三) 「措」、武内本作「錯」。
- (一四) 「措」、武内本作「錯」。

【經】

樊遲請學稼、

樊遲稼^カ(稼)學^マヒント請フ、

【疏】

樊須字子遲、稼者種穀之名、樊遲請於孔子、求學種五穀之術也、

樊須字ハ子遲、稼トハ穀ヲ種ルノ名ナリ、樊遲孔子ニ請テ、五穀ヲ種ルノ術ヲ學ヒンコトヲ求ム、

【經】

子曰、吾不如老農、

子ノ曰ク、吾老^{ワレ}農ニ如カ不^ス、

【疏】

農者濃也、是耕田之人也、言耕田所以使國家倉廩濃厚也、樊遲既請學稼於孔子、孔子言、我門唯有先王之典籍、非耕稼之所、汝若欲學稼、當就農夫之老者學之、故云、吾不如老農、

農ハ濃ナリ、是レ耕田ノ人ナリ、言ハ耕田ハ國家ノ倉廩ヲ使テ濃厚ナラ使ムル所以ナリ、樊遲既ニ稼ヲ學ヒンコトヲ孔子ニ請フ、孔子ノ言ク、我方門ハ唯先王ノ典籍ニ有リ、耕稼ノ所ニ非ス、汝若シ稼ヲ學ント欲

ハ、當ニ農一夫ノ老一者ニ就テ之ヲ學フ當シ、故ニ云ク、
吾老一農ニ如カ不、

【經】
請學爲圃、

圃爲ルコトヲ學ヒント請フ、

【疏】
圃者、種菜之事也、既請農不許、又更就孔子、求學種菜之術也、

圃トハ、菜ヲ種ルノ事ナリ、既ニ農ヲ請フニ許サ不、又更ニ孔子ニ就テ、菜ヲ種ルノ術ヲ學ンコトヲ求ム、

【經】
子曰。吾不如老圃、

子ノ曰ク。吾老一圃ニ如カ不、

【疏】
又答曰、我不如種菜之老圃者也、

又答ヘテ曰ク、我菜ヲ種ルノ老一圃者ニ如カ不、

【注】
馬融曰、樹五穀曰稼、

馬融カ曰ク、五一穀ヲ樹ウルヲ稼ト曰フ、

【疏】
樹種殖也、五穀黍稷稻粱之屬、種之曰稼、收斂曰穡、稼猶嫁也、言種穀欲其滋長田苗、如人嫁娶生於子孫也、穡吝嗇也、言穀熟而斂藏之、如慳貪吝嗇之人聚物也、

樹ハ種一殖ナリ、五一穀トハ黍(黍) 稷(稷) 稻粱ノ屬ナリ、之ヲ種ルヲ稼ト曰フ、收一斂スルヲ穡ト曰フ、稼ハ嫁ノ猶シ、言ハ穀ヲ種テハ其ノ田一苗ヲ滋ク長セン(滋シ長スル) コトヲ欲スルコト、人ノ嫁一娶シテ子一孫ヲ生スルカ如シ、穡ハ吝一嗇(吝) ナリ、言ハ穀一熟シテ之ヲ斂一藏(斂藏) スルコト、慳一貪吝一嗇ノ人ノ物ヲ聚ムルカ如シ、

【注】
樹菜蔬曰圃、

菜ソ蔬ソヲ樹ルヲ圃ト曰フ、

【疏】
蔬猶菜也、種菜曰圃、圃之言布也、取其分布於地、若種菓實、則曰園、園之言蕃也、種菓於園外、爲蕃盛也、

蔬ハ菜ノ猶シ、菜ヲ種ルヲ圃ト曰フ、圃カ言ハ布ナリ、其ノ地ニ分レ布スルヲ取ル、若シ菓ト實ヲ種ル、則ハ園ト曰フ、園カ言ハ蕃ナリ、菓ヲ園ト外ニ種ヘテ、蕃ト盛スルカ爲ナリ、

【經】
樊遲出、

樊遲いで出ヌ、

【疏】
既請二者、不爲師所許、故出去、

既二ノ者ヲ請テ、師ノ爲ニ許サ所不、故ニ出テ去ル、

【經】
子曰、小人哉樊須

子ノ曰ク、小人ナル哉樊須

【疏】
小人是貪利者也、樊遲出後孔子呼名罵之、君子喻於義、小人喻於利、樊遲在孔子之門、不請學仁義忠信之道、而學求利之術、故云小人也、

小一人トハ是レ利ヲ貪ル者ナリ、樊遲出テ後チ孔子名ヲ呼テ之ヲ罵ル、君子ハ義ニ喻ル、小一人ハ利ニ喻ル。樊遲孔子ノ門ニ在テ、仁義忠信ノ道ヲ學ンコトヲ請ハ不シテ、利ヲ求ムルノ術ヲ學フ、故ニ小一人ト云フ、

【經】
上好禮則、民莫敢不敬、

カミ
上禮ヲ好ム則ハ、民敢テ敬セ不トイフコト莫シ、

【疏】

責之既竟、此又說學君子之道、勝學小人之事也、言上若好禮則、民下誰敢不敬、故云莫敢不敬、禮主敬故也、

之ヲ責ムルコト既ニ竟テ、此ニ又君子ノ道ヲ學フカ、小人ノ事ヲ學フニ勝レルコトヲ説ク、言ハ上ハ若シ禮ヲ好ム則ハ、民下誰カ敢テ敬不シ、故ニ云ク敢テ敬セ不トイフコト莫シ、禮ハ敬ヲ主トスルカ故ナリ、

【經】

上好義則、民莫敢不服、

上義ヲ好ム則ハ、民敢テ服セ不トイフコト莫シ、

【疏】

君若裁斷得宜、則民下皆服、義者宜也、

君若シ裁(裁)斷(斷)シテ宜ヲ得ル、則ハ民下皆服ス、義ハ宜ナリ、

【經】

上好信則、民莫敢不用情、

上信ヲ好ム則ハ、民敢テ情ヲ用ヒ不トイフコト莫シ、

【疏】

君上若好信、則民下有敬、不復欺、故相與皆盡於情理也、李充曰、用情猶盡忠也、行禮不求敬、而民自敬、好義不以服民、而民自服、施信不以結心、民自盡信、言民之從上、猶影之隨形也、

君上若シ信ヲ好ム、則ハ民下敬有テ、復タ欺カ不、故ニ相ヒ與ニ皆情理ヲ盡セリ、李充カ曰ク、情ヲ用ルトハ忠ヲ盡ストイハンカ猶シ、禮ヲ行フトキハ敬ヲ求メ不レトモ、而モ民自敬シ、義ヲ好ムトキハ民ヲ服セ不トモ、民自服シ、信ヲ施ストキハ心ヲ結ハ不レトモ、民自信ヲ盡ス、言ハ民ノ上ニ從フコト、影ノ形ニ隨フカ猶シ、

【注】

孔安國曰、情情實也、言民化其上、各以情實應也、

孔安國カ曰ク、情ハ情實ソ、言ハ民ノ其ノ上ニ化スルコト、各情實ヲ以テ應ス、

【經】

夫如是則、四方之民、襁負其子而至矣、

夫レ是ノ如クナル則ハ、四方ノ民、其ノ子ヲ襁負シテ至ル、

【疏】

夫發語端也、是者此也、負子以器曰襁、言上若好行上三事、夫得如此、四方之民、大小歸化、故竝器負其子、而來至也、李充云、負子以器、言化之所感、不召而自來、

夫トハ語ヲ發スルノ端ナリ、是ハ此ナリ、子ヲ負フニ器ヲ以テスルヲ襁ト曰フ、言ハ上「若シ好テ上ノ三事ヲ行フコト、夫レ此ノ如ナルコトヲ得ルトキハ、四方ノ民、大一小化ニ歸ス、故ニ竝ニ其ノ子ヲ器負シテ、來リ至ル、李充カ云ク、子ヲ負フニ器ヲ以テストハ、言ハ化ノ感スル所、召サ不トモ自來ル、

【經】

焉用稼、

焉ソ稼ヲ用ヒン、

【疏】

焉猶何也、行此三事、而四方自歸、則何用學稼乎、李充曰、余謂、樊遲雖非入室之流、然亦從遊待側、對揚崇德辨惑之義、且聖教殷勤唯學爲先、故言、君子謀道不謀食、又曰、耕也餒在其中矣、學也祿在其中矣、而遲親、稟明誨、乃諮圃稼、何頑之甚哉、縱使樊遲欲舍學營生、猶足知非聖師之謀矣、將恐三千之徒、雖同學聖門、而未能皆忘榮祿、道教之益、奢惰之患切、簞食不改其樂者、唯顏回堪之耳、遲之斯問、將必有由、亦如宰我問喪之謂也、

焉ハ何ノ猶シ、此ノ三事ヲ行テ、而シテ四方自歸スル、則ハ何ソ稼ヲ學コトヲ用シ乎。李充カ曰ク、余謂ラク、樊遲ハ入室ノ流ニ非スト雖、然トモ亦從遊シ側ニ待テ、徳ヲ崇ヒ惑ヲ辨スルノ義ヲ對揚ス、且夕（且ツ）聖教ハ殷勤ニシテ唯夕學ヲ先キト爲、故ニ言ク、君子ハ道ヲ謀テ食ヲ謀ラ不、又曰ク、耕ストキハ餒其ノ中ニ在リ、學フトキハ祿其ノ中ニ在リ、而ルヲ遲親ク、明誨ヲ稟テ、乃チ圃稼ヲ諮フコトハ、何ソ頑ナルコト甚キヤ、縱使樊遲學ヲ舍テテ生ヲ營マント欲ストモ、猶ヲ聖師ノ謀コトニ非ルコトヲ知ルニ足ラン、將ニ恐クハ三千ノ徒、同ク聖門ニ學フト雖モ、而トモ未夕皆榮祿ヲ忘ルルコト能ハ未、道教ノ益、奢惰ノ患ヘ切ナリ、簞食

シテ其ノ「樂ヲ改メ不ルハ、唯夕顔回之ニ堪タル耳、遅カ
斯ノ問、將ニ必由有ラント將、亦夕宰我カ喪ヲ問フノ謂ノ
如シ、

【注】

荀氏曰、禮義與信足以成德、何用學稼以教民乎、負者以器
曰穡也、

荀氏カ曰ク、禮「義」ト信與德ヲ成スニ足レリ、何ソ稼ヲ學
フコトヲ用テ民ヲ教ヘンヤ、負「者」器ヲ以テスルヲ穡ト曰
フ、

【疏】

穡者以竹爲之、或云以布爲之、今蠻夷猶以布帨、裹兒負之
背也、

穡ハ竹ヲ以之ヲ爲ス、或ハ云ク布ヲ以之ヲ爲ス、今ノ蠻
夷ノ布帨ヲ以、兒ヲ裹テ背ニ負フカ猶シ、

(一) 「吾」、武内本無此字。

(二) 「曰」、武内本作「云」。

(三) 「稷稻」、武内本作「稻稷」。

(四) 「梁」、武内本作「梁」。

(五) 「嫁」、武内本作「稼」。

(六) 「園」、武内本作「圃」。

(七) 「須」下、武内本有「也」字。

(八) 「好」、武内本無此字。

(九) 「有」、武内本作「盡」。

(一〇) 「盡」、武内本作「服」。

(一一) 「曰」、武内本作「云」。

(一二) 「求」上、武内本有「以」字。

(一三) 「民」上、武内本有「而」字。

(一四) 「曰」、武内本作「云」。

(一五) 「待」、武内本作「待」。

(一六) 「甚」上、武内本有「固」字。

【經】

子曰、誦詩三百、

子ノ曰ク、詩三百ヲ誦ス、

【疏】

不用文背文而念曰誦、亦曰口讀曰誦、詩有三百五篇、云三
百舉全數也、言人能誦詩之至也、

文ヲ用不シテ文ニ背テ念スルヲ誦ト曰フ、亦曰ク口ニ
讀ムヲ誦ト曰フ、詩ハ三百五十篇有リ、三百ト云フコト
ハ全一數ヲ擧ク、言ハ人能ク詩ヲ誦スルコト至レリ、

【經】

授之以政不達、

之二授クルニ政ヲ以テスルトキハ達セ不、

【疏】

達猶曉也、詩有六義、國風二雅、竝是爲政之法、今授政與
此誦詩之人、不能曉解也、袁氏曰、詩有三百篇、是以爲政
者也、

達ハ曉ノ猶シ、詩ニ六義有リ、國風二雅、竝ニ是レ政
ヲ爲ルノ法ナリ、今政ヲ授テ此ノ詩ヲ誦ムノ人ニ與レハ、
曉リ解ルコト能ハ不、袁氏カ曰ク、詩ハ三百篇有リ、
是レ政ヲ爲ル者ナリ、

【經】

使於四方、不能專對、

四方ニ使イセシムレハ、專リ對フルコト能ハ不、

【疏】

專猶獨也、孔子語鯉曰、不學詩無以言、又曰可以群可以
怨、邇之事父、遠之事君、多識於草木鳥獸之名者、今使此
誦詩之人、聘問隣國而不能專獨應對也、袁氏曰、古人使賦
詩而答對、

專ハ獨ノ猶シ、孔子鯉ニ語テ曰ク、詩學ヒ不シハ以テ
言フ無シト、又タ曰ク群ツ可ク怨ツ可シ、邇ク父ニ
事ツリ、遠クハ君ニ事ル、多ク草木鳥獸ノ名ヲ識ル者
ナリ、今此ノ詩ヲ誦スルノ人ヲ使テ、隣國ニ聘問セ使ム
レハ而シテ專ラ獨リ應對スルコト能ハ不、袁氏カ曰ク、
古人ハ詩ヲ賦シテ答對セ使ム、

【經】

雖多亦奚以爲、

多シト雖モ亦タ奚ヲ以テカ爲ン、

【疏】

奚何也、誦詩宜曉政、而今不達、又應專對而今不能、雖復

誦詩之多、亦何所爲用哉、故云亦奚以爲也、

奚ハ何ナリ、詩ヲ誦テハ宜ク政ヲ曉ル宜シ、而ルヲ今達セ
不、又專ラ「對フ應クシテ而ルヲ今能ハ不ンハ、復詩ヲ誦
スルコト多シト雖、亦何ソ用ルト爲ル所ナラン哉、故ニ
云ク亦奚ヲ以テカ爲ント、

【注】

專猶獨

專ハ獨ノ猶シ

(一) 「曰」、武内本作「云」、下同。

(二) 「邇」、武内本作「近」。

(三) 「獨」下、武内本有「也」字。

【經】

子曰、其身正、不令而行、

子ノ曰ク、其ノ身正キトキハ、令セ不レトモ行ン、

【疏】

如直形而影自直、范寧曰、上能正己以牽物、則下不令而自
從也、

形ヲ直クシテ影自直キカ如シ、范寧カ曰ク、上能ク己
ヲ正フシテ物ヲ牽ク、則ハ下令セ不トモ自從フ、

【經】

其身不正、雖令不從、

其ノ身正カラ不ルトキハ、令スト雖モ從ハ不ス、

【疏】

如曲表而求直影、影終不直也、范寧曰、上行理僻而、制下
使正、猶立邪表責直影、猶東行求郢、而此終年不得也、

表ヲ曲テ影ヲ直センコトヲ求ムルカ如シ、影終ニ直カラ
不、范寧カ曰ク、上理ヲ行フコト僻(僻)ニシテ、下ヲ
制シテ正カラ使ムルコト、邪表ヲ立テ直影ヲ責ムルカ猶
シ、東ニ行テ郢ヲ求ムルカ猶シ、而ルヲ此レ年ヲ終トモ
得不、

【注】
令教令也、

令ハ教令ソ、

- (一) 「曰」、武内本作「云」、下同。
- (二) 「牽」、武内本作「率」。
- (三) 「也」、武内本作「矣」。

【經】

子曰、魯衛之政兄弟、

子ノ曰ク、魯衛ノ政ハ兄弟ナリ、

【疏】

魯是周公之封、衛是康叔之封、周公康叔是兄弟、當周公初時、則二國風化政亦俱能治化如兄弟、至周末、二國風化俱惡、亦如兄弟、故衛瓘曰、言治亂略同也、

魯ハ是レ周公ノ封、衛ハ是レ康叔ノ封、周公康叔ハ是レ兄弟ナリ、周公ノ初ノ時ニ當テ、則チ二國ノ風化政亦俱ニ能ク治化スルコト兄弟ノ如シ、周ノ末ニ至テ、

二國ノ風化俱ニ惡シキコト、亦兄弟ノ如シ、故ニ衛瓘カ曰ク、言ハ治亂略同シ、

【注】

苞氏曰、魯周公之封、衛康叔之封也、周公康叔既爲兄弟、康叔睦於周公、其國之政亦如兄弟也、

苞氏カ曰ク、魯ハ周公ノ封、衛ハ康叔ノ封、周公康叔既ニ兄弟爲リ、康叔周公ニ睦マシ、其ノ國ノ政モ亦タ兄弟ノ如シ、

【疏】

睦親也、言康叔親於周公、故風政得和好也、

睦ハ親ナリ、言ハ康叔周公ニ親シ、故ニ風政和好スルコトヲ得タリ、

- (一) 「曰」、武内本作「云」。

【經】

子曰、衛公子荆善居室、

子ノ曰ク、衛ノ公子荆善ク室ニ居ル、

【疏】

衛公子荆是衛家公子也、諸侯之庶子、竝稱公子、居其家能治不爲奢侈、故曰善居室、

衛ノ公子荆ハ是レ衛ノ家ノ公子ナリ、諸侯ノ庶子ヲ、竝ニ公子ト稱ス、其ノ家ニ居テ能ク治テ奢(侈)ヲ爲サス不、故ニ曰ク善ク室ニ居ル、

【注】

王肅曰、荆與蘧瑗史鱣竝爲君子也、

王肅カ曰ク、荆ト蘧瑗史鱣與竝ニ君子爲リ、

【疏】

蘧瑗字伯玉。後卷云、君子哉蘧伯玉亦是也、呉公子札出聘于國、適衛說蘧瑗史狗史鱣公子荆公子叔公子朝曰、衛多君子、未有患已、事在春秋第十九卷、襄公十九年也、

蘧瑗字ハ伯玉。後ノ卷ニ云ク、君ナナル哉蘧伯玉ト亦是ナリ、呉ノ公子札出テ國ニ聘シテ、衛ニ適ク蘧瑗史狗史鱣

公子荆公子叔公子朝ヲ説テ曰ク、衛ニ君子多シ、未タ患ヘ有ラ未ル已、事ハ春秋ノ第十九ノ卷、襄公十九年ニ在リ、

【經】

始有曰、苟合矣、

始メ有ルトキニシテ曰ク、苟クモ合フ、

【疏】

此是善居室之事、始有、謂爲居初有財帛時也、曰猶云也、苟苟且也、苟且非本意也、于時人皆無而爲有、虛而爲盈、奢華過實、子荆初有財帛、不敢言己才力所招、但云是苟且遇合而已、

此レハ是レ善ク室ニ居ルノ事ナリ、始メ有リトハ、居セント爲テ初メ財帛有ル時ヲ謂フ、曰ハ云ノ猶シ、苟ハ苟且ナリ、苟且ハ本意ニ非サルナリ、時于人皆無ケレト有リト爲、虚ケレトモ盈テリト爲、奢華實ニ過タリ、子荆初メ財帛有ルトキニ、敢テ己才力ノ招ク所ト言ハス不、但タ云ク是レ苟且モ遇ヒ合フ而已、

【經】

少有曰苟完矣、

少シ^レ有ルトキニ曰ク苟モ完シ^{マズ}、

【疏】

少有、謂更^云後少勝於始有時多也、既少勝於前始有、但云苟且、得自全完而已、不敢言欲爲久富貴也、

少シ^レ有ルトハ、更ニ後ニ少シ始メ^レ有ル時ニ勝リテ多キヲ謂フ、既ニ少シ前ニ始メ有ルニ勝レリ、但夕云ク苟^{イヤシク}且モ、自^{ミづから}全ク完^{マツたき}コトヲ得タル而已、敢テ久ク富^ミ貴^タ爲ランコトヲ欲スト言ハ不^ず、

【經】

富有曰苟美矣、

富^{サカシ}ニ有ルトキニ曰ク苟クモ美シ^ヨ、

【疏】

富有、謂家道遂大富時也、亦云苟且爲美、非是性之所欲、故云苟美矣、

富^{さかん}ニ有ルトハ、家道遂ニ大ニ富メル時ヲ謂フ、亦夕云ク苟^{イヤシク}且モ美ヲ爲ス、是レ性ノ欲スル所ニ非ス、故ニ苟モ美シト云フ、

(一) 「曰」、武内本作「謂」。

(二) 「室」下、武内本有「也」字。

(三) 「國」上、武内本有「上」字。

(四) 「春秋第十九卷」、武内本施括號而間隔之。

(五) 「十」上、武内本有「二」字。

(六) 「後」、武内本作「復多」。

(七) 「多」、武内本無此字。

【經】

子適衛冉子僕、

子衛ニ適クトキニ冉子僕タリ、

【疏】

適往也、僕御車也、孔子往衛。冉有時爲孔子御車也、

適ハ往ナリ、僕ハ御車ナリ、孔子衛ニ往ク。冉有時ニ孔子ノ御車爲リ、

【注】孔安國曰、孔子之衛冉有御也、

孔安國カ曰ク、孔子衛ニ之クトキニ冉有御タリ、

【經】子曰、庶矣哉、

子ノ曰ク、庶モロモロアルカナ、

【疏】庶衆也、孔子歎衛人民之衆多也矣、

庶ハ衆ナリ、孔子衛ノ人民ノ衆多ナルコトヲ歎ス、

【注】孔安國曰、庶衆也、言衛民衆多也、

孔安國カ曰ク、庶ハ衆ナリ、言ハ衛ノ民衆多ナリ、

【經】冉有曰、既庶矣、又何加焉、

冉有カ曰ク、既ニ庶モロモロアリ、又何ヲカな加ヘン、

【疏】加益也、冉有言、其民既衆多、復何以滋之也、

加ハ益ナリ、冉有カ言ク、其ノ民既ニ衆多ナリ、復タ何ヲ以テカ之ヲ滋マサン、

【經】曰富之、

曰ク富なマサン、

【疏】孔子曰、宜益以富、

孔子ノ曰ク、宜ク益スルニ富ヲ以テス宜シ、

【經】曰既富矣、又何加焉、

曰ク既ニ富メリ、又何ヲカな加ヘン、

【疏】

再有又問、既已富益、又復何以益之、

再有又問フ、既「已」ニ富「ミ」益ス、又タ「復」タ何ヲ「以」テカ之ヲ益サン、

【經】

曰教之、

ノ名は 曰ク教ヘン、

【疏】

既富而後可以教化之、范寧曰、衣食足當訓義方也、

既ニ富テ而シテ後ニ之ヲ教「化」ス可シ、范寧カ曰ク、衣「食」足テ當ニ義「方」ヲ訓「フ」當シ、

(一) 「曰」、武内本作「云」。

(二) 「曰」、武内本作「云」。

【經】

子曰。苟有用我者。期月而已可也、

子ノ「曰」ク、苟ニ我ヲ用ルコト有ラハ、期「月」而「已」ニシテ可ナラン、

【疏】

苟誠也、期月謂年一周也、可者未足之辭也、言若誠能用我、爲治政者、一年即可小治也、一年天氣一周變、故人情亦小改也、

苟ハ誠ナリ、期「月」トハ年ノ一「周」ヲ謂フ、可ハ未タ足ラ未ルノ辭ナリ、言「ハ」若シ誠ニ能ク我ヲ用テ、政ヲ治コトヲ爲シメハ、一「年」ニハ即チ小シ「治」ル可シ、一「年」ハ天「氣」一「周」シテ變ス、故二人「情」モ亦小シ「改」マル、

【經】

三年有成、

三年ニシテ成ルコト有ラン、

【疏】

成大成也、三年一閏是天道一成、故爲政治、若得三年、風政亦成也、

成ルトハ大ニ成スルツ、三十年一閏シテ是レ天道一ト成ス、故ニ政一治ヲ爲スコト、若シ三十年ヲ得ハ、風一政亦一成リナシ、

【注】

孔安國曰、言誠有用我於政事者、期月而可、以行其政教、必三年乃有成功也、

孔安國カ曰ク、言ハ誠ニ我政一事ニ用ルコト有ラハ、期一月ニシテ可ナラシ、其ノ政一教ヲ行ハハ、必ス三年ニシテ乃シ成一功有ラン、

【經】

子曰、善人爲邦、百年亦可以勝殘去殺矣、

子ノ曰ク、善一人ノ邦ヲ爲ムルコト、百年ニシテ亦タ殘のたまは
(殘)ニ勝チ殺ヲ去ツ可シ、

【疏】

善人謂賢人也、爲者治也、爲邦謂爲諸侯也、勝殘、謂政教理勝、而殘暴之人不起也、去殺、謂無復刑殺也、言賢人爲諸侯、已百年則、殘暴不起、所以刑辟無用、袁氏曰、善人

謂體善德賢人也、言化當有漸也、任善用賢、則可止刑、任惡則殺愈生也、

善一人トハ賢一人ヲ謂フ、爲ハ治ナリ、邦ヲ爲トハ諸侯爲ルヲ謂フ、殘ニ勝トハ、政一教ノ理一勝テ、殘一暴ノ人起ラ不ルヲ謂フ、殺ヲ去トハ、復タ刑一殺無キヲ謂フ、言ハ賢一人諸侯ト爲テ、已二百年ナラハ、殘一暴起ラ不、所以ニ刑一辟用ルコト無シ、袁氏カ曰ク、善一人トハ善一德ヲ體スル賢一人ヲ謂フ、言ハ化ハ當ニ漸有ル當シ、善ニ任シ賢ヲ用ル、則ハ刑ヲ止ム可シ、惡ニ任スル則ハ殺一愈生ス、

【注】

王肅曰、勝殘者、勝殘暴之人、使不爲惡也、去殺、去不用刑殺也、

王肅カ曰ク、殘ニ勝ツトハ、殘一暴ノ人ニ勝テ、惡ヲ爲不ラ使ム、殺ヲ去トハ、去刑一殺ヲ用イ不ルソ、

【經】

誠哉是事也、

誠ナル、哉是ノ事、

【疏】

誠信也、古舊有此語、故孔子稱而美信之、

誠ハ信ナリ、古舊此ノ語有リ、故ニ孔子稱シ、而美メテ之ヲ信ス、

【注】

孔安國曰、古有此言、故孔子信也、

孔安國方曰ク、古ニ此ノ言有リ、故ニ孔子信ス、

- (一) 「愈」、武内本作「愈」。
- (二) 「去」、武内本作「者」。

【經】

子曰、如有王者、必世而後仁、

子ノ曰ク、如シ王者有ラハ、必ス世ニシテ而シテ後ニ仁アラン、

【疏】

王者、謂聖人爲天子也、世三十年也、聖人化速、故三十年而政乃大成、必須世者、舊被惡化之民、已盡、新生之民、得三十年、則所稟聖化易成、故顏延曰、革命之王、必漸化物以善道、染亂之民、未能從道爲化、不得無威刑之用、則仁施未全、改物之道必須易世、使正化德教、不行暴亂、則刑罰可措、仁功可成、樂肇曰、習亂俗、雖立法刑、而外必猶未能化也、必待世變人改生、習治道、然後仁化成也、刑措成康、化隆文景、由亂民之世易、既泰之俗遠也、

王者トハ、聖人ノ天子爲ルヲ謂フ、世トハ三十二年ナリ、聖人ノ化ハ速ナリ、故ニ三十二年ニシテ政乃シ大成ス、必ス世ヲ須ルコトハ、舊ト惡ト化ヲ被ルノ民、已ニ盡テ、新ニ生スルノ民、三十二年ヲ得テ、則チ稟クル所ノ聖化成リ易シ、故ニ顏延カ曰ク、命ヲ革ムルノ王、必ス漸ク物ヲ化スルニ善道ヲ以スルトキハ、亂ニ染マルノ民、未タ道ニ從テ化ヲ爲スコト能ハ未、威刑ノ用無コトヲ得サル、則ハ仁施未タ全ラ未、物ヲ改ルノ道必ス須ク世ヲ易ヘテ、正ニ德ヲ教ヲ化ラ使ム須シ、暴亂ヲ行ハサル、則ハ刑罰措ク可シ、仁功成ル可シ、樂肇カ曰ク、亂ニ習フノ俗、法刑ヲ畏ルト雖モ、而トモ外必

ス猶ヲ未タ化スルコト能ハ未、必ス世ヲ待テ人ヲ變シ生ヲ改メテ、治道ニ習テ、然シテ後ニ仁化成ル、刑成康ニ措キ、化文景ニ隆ナリ、亂民ノ世易リ、既泰ノ俗遠ルニ由テナリ、

【注】

孔安國曰、三十年曰世、如有受命王者、必三十年仁政乃成也、

孔安國カ曰ク、三十一年ヲ世ト曰フ、如シ命ヲ受クル王者有ラハ、必ス三十一年ニシテ仁政乃成リナム、

(一) 「三十」、武内本作「卅」、下疏同。

(二) 「延」下、武内本有「之」字。

(三) 「也」、武内本無此字。

(四) 「既泰」、武内本作「殷泰」。

【經】

子曰、苟正其身矣、於從政乎、何有、

子ノ曰ク、苟ニ其ノ身ヲ正フセハ、政ニ從フニ於テ、何カ有ラン、

【疏】

苟誠也、言誠能自正其身、則爲政不難、故曰何有、

苟ハ誠ナリ、言ハ誠ニ能ク自其ノ身ヲ正セハ、政ヲ爲ルコト難カラ不、故ニ曰ク何カ有ラント、

【經】

不能正其身、如正人何、

其ノ身ヲ正フスルコト能ハ不シハ、人ヲ正シフスルコトヲ如何、

【疏】

其身不正、雖令不從、故云如正人何也、故江熙曰、從政者、以正人爲事也、身不正那能正人乎、

其ノ身正カラ不レハ、令スト雖モ從ハ不、故ニ云ク人ヲ正フスルコト如何、故ニ江熙カ曰ク、政ニ從フ者ハ、人ヲ正スルヲ以テ事ト爲、身正カラ不シハ那ソ能ク人ヲ正セン乎、

(一) 「曰」、武内本作「云」。

(二) 「其身」、武内本作「身其」。

【經】

冉子退朝、

冉子朝ヨリ退ル、

【疏】

退朝、謂旦朝(一)竟而還家、朝廷(二)云退也、

朝退トハ、旦ニ朝シ、竟テ家ニ還ルヲ謂フ、朝廷ニ退ト云フ、

【注】

周生烈曰、謂罷朝於魯君也、

周生烈方曰ク、魯ノ君ニ朝スルヨリ罷ルヲ謂フ、

【疏】

冉子爾時仕季氏、旦上朝於魯君、當是季氏冉有從之朝魯君也、

冉子爾ノ時ニ季氏ニ仕フ、旦ニ魯ノ君ニ上朝ス、當ニ是レ季氏ニ冉有之ニ從テ魯ノ君ニ朝スナル當シ、

【經】

子曰、何晏也、

子ノ曰ク、何ソ(一)晏カツシ、

【疏】

晏晚也、冉子還晚於常朝、故孔子問之、今還何晏也、范寧曰、冉求早朝晚退、故孔子疑而問也、

晏ハ晚ナリ、冉子還ルコト常ノ朝ヨリ晚シ、故ニ孔子之ヲ問フ、今還ルコト何ソ晏キ、范寧方曰ク、冉求早ニ朝シ晚ニ退ク、故ニ孔子疑テ問フ、

【經】

對曰有政

對ヘテ曰ク 政(一)有ツ

【疏】

答所以退晚之由也、言在朝論於政事、故至晏也、

退コトノ晚キ所^{ゆゑん}以^いノ由ヲ答フ、言^{いふころ}ハ朝ニ在テ政事ヲ論ス、故ニ至ルコト^い晏シ、

【注】

馬融曰、政者有所改更匡正也、

馬融カ曰ク、政トハ改^{アツカ}メ更^カヘ匡^{タタ}シ^{タタ}正^{タタ}ス所有ルソ、

【經】

子曰其事也、

子^{のたまは}ノ曰^{コト}ク其^レ事ナラン、

【疏】

孔子謂冉有所云有政、非之也、應是凡所行小事耳、故云其事也、

孔子冉有カ^{まつりこ}政^{コト}有ルト云フ所ヲ謂テ、之ヲ非ル、是レ凡ソ行フ所ノ小事ナル應キ耳、故ニ云ク其^レ事ナラン、

【注】

馬融曰、事者凡所行常事也、

馬融カ曰ク、事トハ凡ソ行フ所常ノ事ソ、

【經】

如有政、雖不吾以吾其與聞之、

如^モシ^{まつりこ}政^{コト}有ラハ、吾^{われ}以^{モチ}イラレト^ス不ト^{いへともわれ}雖^{いへともわれ}吾其^レ與^{アツカ}リ^{アツカ}聞^カカ^カン、

【疏】

孔子更説所以知非政之由也、以用也、言若必是有政事、雖不吾既必應用、而吾既爲卿大夫、亦當必應參預聞之、今既不聞、則知汝所論、非關政也、

孔子更ニ^{まつりごと}政^{コト}ニ非ルコトヲ知ル所^{ゆゑん}以^いノ由ヲ説ク、以ハ用、言^{いふころ}ハ若シ必ス是レ政事有ラハ、吾既ニ必ス用イラル應ニ^{へキ}不ト^{あらず}雖モ、吾既ニ卿大夫爲リ、亦當ニ必ス應^レ參シテ之ヲ預リ^レ聞ク當シ、今既ニ聞カ不^さル、則ハ汝ノ論スル所、^{まつりごと}政^{コト}ニ關ルニ^{あらざる}非^{コト}ヲ知ル、

【注】

馬融曰、如有政（五）非常之事、我爲大夫、雖不見任用、必當與聞也、

馬融カ曰ク、如シ（モ）政（まつりごと）非常ノ事ト有ラハ、我大夫爲リ、任（レ）用セ見レ不ト雖モ、必ス當ニ與リ聞ク當シ、

【疏】

樂肇（六）曰、案稱政事冉有季路、未有不知其名、而不能職其事者、斯蓋微言、以譏季氏專政之辭、若以家臣無專政之理則、二三子爲宰、而問政者多矣、未聞夫子有譏焉、

樂肇カ曰ク、案スルニ政ノ事ニハ冉有季路ト稱ス、未タ其ノ名ヲ知ラ不ンハ有ラ未、而ルヲ其ノ事ヲ職ルコト（職）（職スルコト）能ハ不ルコトハ、斯レ蓋シ微言ナリ、季（モトト）氏カ政（まつりごと）ヲ專スルコトヲ譏ルノ辭ナリ、若シ家臣政（まつりごと）ヲ專スルノ理無（なき）ヲ以テセハ、二三子宰ト爲テ、政（まつりごと）ヲ問フ者多シ、未タ夫（レ）子ノ譏リ有ルコトヲ聞カ未、

- (一) 「且」、武内本作「且」、下同。
- (二) 「云」、武内本作「曰」。

(三) 「曰」、武内本作「云」。

(四) 「也」、武内本作「之」。

(五) 「政」下、武内本有「事」字。

(六) 「曰」、武内本作「云」。

【經】

定公問、一言而可以興邦有諸、

定公問ハク、一（レ）言ニシテ邦ヲ興ス可キコト有リヤ、

【疏】

定公魯君也、諸之也、問孔子有出一言、而能興邦者不乎、

定公ハ魯ノ君ナリ、諸ハ之ナリ、孔子ニ問フ一（レ）言ニ出テ、能ク邦ヲ興ス者有リヤ不ヤ、

【經】

孔子對曰、言不可以若是、

孔子對ヘテ曰ク、言ノ是ノ若クナルハアル可ラ不、

【疏】

若是者猶如此也、答曰、豈有出言而興得邦國乎、言不可得頓如此也、

若是ハ如_レ此ノ猶_シ、答テ曰ク、豈ニ言_ニ出テ邦國ヲ興シ得ルコト有シヤ、言ハ頓_ニ此ノ如ナルコトヲ得可_レラ不_ス、

【經】

其幾、

其レ幾_キハアリ、

【疏】

幾近也、然一言雖不可即使興、而有可近於興邦者、故云其幾也、

幾ハ近ナリ、然ルニ一言ニシテ即チ興ラ使ム可_レラ不_ト雖、邦ヲ興スニ近カル可_キ者有_リ、故ニ云ク其レ幾_キハアリ、

【注】

王肅曰、以其大要、一言不能正興國也、幾近也、有近一言可興國也、

王肅カ曰ク、其ノ大_ニ要ヲ以テスルニ、一言ニシテ國ヲ正シ興スコト能ハ_シ不_ス、幾ハ近、一言ニシテ國ヲ興ス可_キニ近キハ有_リ、

【經】

人之言而曰、爲君難、爲臣不易、

人ノ言フ_トシテ曰ク、君爲ルコト難シ、臣爲ルコト易カラ_ス不_ス、

【疏】

此已下、是一言近興邦之言、設有人云、在上爲君、既爲人主、不可輕脫、罪歸元首、故爲難也。又云爲人臣者、國家之事、應知無不爲也、必致身竭命、故云不易也、

此ヨリ已_レ下ハ、是レ一言ニシテ邦ヲ興スニ近キノ言ナリ、有ル_レ人ヲ設テ云ク、上ニ在テ君ト爲テ、既二人_ノ主爲ルコト、輕_レ脫ス可_レラ不_ス、罪元_ノ首ニ歸ス、故ニ難シト

爲^ス。又^マタ云ク人^一臣^ヲ爲^ル者ハ、國^一家ノ事、知^テ爲^ス不^トイフコト無^カル應^ヘシ、必^ズ身^ヲ致^シ命^ヲ竭^ス、故^ニ易^{カラ}不^ト云^フ、

【經】

如^ク知^フ爲^ル君^難也、不^レ幾^乎一^言而^レ興^ル邦^乎、

如^モシ君^ヲ爲^ルコトノ難^キコトヲ知^ラハ、一^言ニシテ邦^ヲ興^ススニ幾^{チカ}カラ不^ス、

【疏】

如^ク若^ク也、若^ク知^フ爲^ル君^難、而^レ云^フ不^レ敢^テ作^ル此^言、則^チ豈^ニ不^レ近^ク一^言興^ル邦^乎、不^レ云^フ爲^ル臣^不易^者、從^テ可^ク知^ル也、且^ニ君^道尊^貴、爲^ル人^所貪^ム、故^ニ特^ニ舉^ル君^也、

如^ハ若^クナリ、若^シ君^ヲ爲^ルコトノ難^キコトヲ知^テ、敢^テ此^ノ言^ヲ作^サ不^ト云^ハハ、豈^ニ一^言ニシテ邦^ヲ興^スニ近^{カラ}不^ヤ、臣^ヲ爲^ルコト易^{カラ}不^トイフコトヲ云^ハ不^ルコトハ、從^テ知^ヌ可^シ、且^ツ君^道ハ尊^貴ナリ、人^ノ貪^ル所^ヲ爲^リ、故^ニ特^ニ二^君ヲ舉^ク、

【注】

孔^安國曰、事^不可^ク以^テ一^言而^レ成^也、知^ル如^ク此^則可^ク近^也、

孔^安國カ曰ク、事^ヲ以^テ一^言ニシテ成^ス可^ク不^レ、此^ノ如^クナルコトヲ知^ルハ近^{カル}可^シ、

【經】

曰^ク一^言而^レ可^ク以^テ喪^ル邦^有諸[、]

曰^ク一^言ニシテ邦^ヲ喪^ス可^キコト有^リヤ、

【疏】

定^公又^レ問^フ、有^リ一^言而^レ令^ル邦^國即^チ喪^者不^乎、

定^公又^レ問^フ、一^言ニシテ邦^國ヲ令^テ喪^サ令^ムル者^有リヤ不^ヤ、

【經】

孔^子對^曰、言^不可^ク以^テ若^シ是[、]其^幾也、

孔^子對^ヘテ曰^ク、言^ノ是^ノ若^クナルハアル可^ラ不^レ、其^レ幾^キハアリ、

【疏】

亦如前答、亦有言近之者也、

亦前ノ答ノ如シ、亦言ノ之レニ近キ者有リ、

【經】

人之言曰、予無樂乎爲君、唯其言而樂莫予違也、

人ノ言フトシテ曰ク、予君爲ルコトヲ樂ムコト無シ、唯
タ其レ言フトシテ予ニ違フコト莫キコトヲ樂ム、

【疏】

此舉近喪邦之言也、設有人言、我本無樂爲人之君上、所以
樂爲之者、正言我有言語、而人異我、無敢違拒我者、爲此
故、所以樂爲君耳、

此レハ邦ヲ喪スニ近キノ言ヲ擧ク、有ル一人ヲ設テ言
ク、我本人ノ君上爲ルコトヲ樂ムコト無シ、之レ爲ルコ
トヲ樂ム所以ハ、正ニ言ハ我言語有ルトキニ、而シ
テ人我ニ異ナリ、敢テ我ニ違ヒ拒ク者無シ、此ヲ爲ス故
ニ、所以ニ君爲ルコトヲ樂ム耳、

【注】

孔安國曰、言無樂於爲君、所樂者、唯樂其言而不見違也、

孔安國カ曰ク、言ハ君爲ルコトヲ樂ムコト無シ、樂ム
所ハ、唯タ其ノ言フトキニシテ違ヘ見レ不ルコトヲ樂ム、

【經】

如其善而莫之違也、不亦善乎、

如シ其レ善ニシテ違フコト莫キトキハ、亦タ善カラ不ヤ、

【疏】

將說其惡、故先發此句也、此若爲君、而出言必善、而民不
違、如此者、乃可爲善耳、故云不亦善乎、

將ニ其ノ惡ヲ說カント將、故ニ先ツ此ノ句ヲ發ス、此レ若
シ君ト爲テ、言ヲ出スコト必ス善ニシテ、民違ハ不ルコ
ト、此ノ如シハ、乃チ善シト爲可キ耳、故ニ亦タ善カラ不
ヤト云フ、

【經】

如不善而莫之違也、不幾乎一言而喪邦乎、

如シ不_レ善ニシテ違フコト莫キトキハ、一_レ言ニシテ邦ヲ喪スニ幾カラ不_レ乎、

【疏】

又答、若爲君、而言不善、使不違則、此言不近一言而喪邦乎、

又答フ、若シ君ト爲テ、言善カラ不_レ違ハ不_レラ使メハ、此ノ言一_レ言ニシテ邦ヲ喪スニ近カラ不_レヤ、

【注】

孔安國曰、人君所言、善無違之者則善也、其所言、不善而無敢違之者、則近一言而喪國也、

孔安國カ曰ク、人君ノ言フ所、善ニシテ之ニ違フ者無キ則ハ善ナリ、其ノ言フ所、不_レ善ニシテ敢テ之ニ違フ者無キ、則ハ一_レ言ニシテ國ヲ喪スニ近シ、

- (一) 「曰」、武内本作「云」。
- (二) 「之」、武内本作「君」。
- (三) 「拒」、武内本作「距」。
- (四) 「使」下、武内本有「民若」二字。

【經】
葉公問政、

葉公 政ヲ問フ、

【疏】

葉公亦問孔子爲政之道、

葉公亦孔子ニ 政ヲ爲ルノ道ヲ問フ、

【經】

子曰近者悦遠者來、

子ノ 曰ク近キ者悦フトキハ遠キ者來ル、

【疏】

言爲政之道、若能使近民、懽悅則、遠人來至也、江熙曰、邊國之人、豪氣不除、物情不附、故以悦近以論之、

言ハ 政ヲ爲ルノ道、若シ能ク近_レ民ヲ使テ、懽_レ悦ハ使ムル則ハ、遠_レ人來リ至ラン、江熙カ曰ク、邊國ノ人、豪_レ氣除ラ不_レス、物情附カ不_レス、故ニ近キヲ悦ハシムル

ヲ以テ之ヲ論ス、

(一)「曰」、武内本作「云」。

【經】

子夏爲莒父宰問政、

子夏莒父ノ宰ト爲テ 政ヲ問フ、

【疏】

子夏欲往莒父爲宰、故先問孔子爲政之法、

子夏莒父ニ往テ宰爲ラント欲、故ニ先ツ孔子ニ 政ヲ爲
ルノ法ヲ問フ、

【注】

鄭玄曰、舊說曰、莒父魯下邑也、

鄭玄カ曰ク、舊說ニ曰ク、莒父ハ魯ノ下邑ト、

【經】

子曰、無欲速、

子ノ曰ク、速ケンセマク欲ルコト無シ、

【疏】

言爲政之道、每當閑緩不得倉卒求速成也、

言ハ 政ヲ爲ルノ道、每ニ當ニ閑緩ニシテ倉卒ニ速
ニ成ランコトヲ求ルコトヲ得不ル當シ、

【經】

毋見小利、

小利ヲ見ルコト毋レ、

【疏】

政者有恆、不得見小財利、而曲法爲之、

政ハ恆有リ、小財ノ利ヲ見テ、法ヲ曲テ之ヲ爲コトヲ
得不レ、

【經】

欲速則不達、

速すみやくケンセマク欲とぎきはスル 則すなはチ達とぎセ不ス、

【疏】
解欲速之累也、若不安緩、每事而欲速成、則不通達於事理也、

速すみやくセマク欲とぎスルノ累ルイ(累イ)ヲ解ク、若シ安緩ナラ不スシテ、事ト毎ごとニ速すみやくト成なりラ欲とぎル、則すなはチ事ト理ト通達セ不ス、

【經】
見小利則、大事不成

小利ヲ見ル則とぎんハ、大事成ラ不ス

【疏】
若見小利、而枉四法曲教、則爲政之大事、無所成就也、

若シ小利ヲ見テ、法ヲ枉まケ教ヲ曲ル、則とぎんハ政まつりごとヲ爲スルノ大事、成就スル所無シ、

【注】
孔安國曰、事不可以速成、而欲其速不達矣、見小利妨大事

則、大事不成也、

孔安國カ曰ク、事速ニ成ル可へラ不ス、其ノ速ナランコトヲ欲スルトキハ達セ不ス、小利ヲ見テ大事ヲ妨ル則とぎんハ、大事成ラ不ス、

- (一) 「法」下、武内本有「也」字。
- (二) 「卒」、武内本作「率」。
- (三) 「者」、武内本作「貴」。
- (四) 「枉」、武内本作「枉」。
- (五) 「不」上、武内本有「則」字。

【經】
葉公語孔子曰、吾黨有直躬者、

葉公孔子ニ語テ曰ク、吾カ黨ニ躬ヲ直クスル者有リ、

【疏】
葉公稱己郷黨中有直躬之人、欲自矜誇於孔子也、

葉公己カ郷黨ノ中ニ躬ヲ直スルノ人有リト稱シテ、自みづから孔子ニ矜ケラ誇クワ(矜ホシ誇ホシル)セント欲ス、

【注】

孔安國曰、直躬、直躬而行也、

孔安國カ曰ク、躬ヲ直フスルトハ、躬ヲ直クシテ行ソ、

【疏】

躬猶身之、言無所邪曲也、

躬ハ身ノ猶シ、言ハ邪曲ナル所無シ、

【經】

其父攘羊而子證之、

其ノ父羊ヲ攘メハ子之ヲ證ス、

【疏】

此直躬者也、攘盜也、言黨中有人行直、其父盜羊、而子告失羊主、證明道父之盜也、

此ハ躬ヲ直スル者ナリ、攘ハ盜ナリ、言ハ黨中二人有リ直ヲ行フ、其ノ父羊ヲ盜ム、而ルヲ子羊ヲ失フノ主ニ告テ、證シ明ニシテ父ノ盜ト道フ、

【注】

周生烈曰、有因而盜曰攘、

周生烈カ曰ク、因有テ盜ムヲ攘ト曰フ、

【疏】

謂他人物、來己家、而藏隱取之、謂之攘也、

謂ル他一人ノ物、己カ家ニ來ル、而シテ藏シ隱シテ之ヲ取ルヲ、之ヲ攘ト謂フ、

【經】

孔子曰、吾黨之直者異於是、

孔子ノ曰ク、吾カ黨ノ直キ者ハ是レニ異ナリ、

【疏】

拒於葉公、故云、吾黨中有直行者、則異於證父之盜爲直也、

葉公ヲ拒ク、故ニ云ク、吾カ黨ノ中ニ行ヲ直フスル者有リ、則チ父ノ盜ヲ證スヲ直ト爲ルニ異ナリ、

【經】

父爲子隱、子爲父隱、直在其中矣、

父ハ子ノ爲ニ隱シ、子ハ父ノ爲ニ隱ス、直キコト其ノ中ニ在リ、

【疏】

孔子舉所異者、言爲風政者、以孝悌爲主、父子天性、率由自然至情、宜應相隱、若隱惜則、自不爲非、故云直在其中矣、不知相隱、則人倫之義盡矣、樊光曰、父爲子隱者、欲求子孝也、父必先爲慈、家風曲父、故先稱父、范寧曰、夫所謂直者、以不失其道也、若父子不相隱諱、則傷教破義長不孝之風、焉以爲直哉、故相隱乃可爲直耳、今王法則許期親以上、得相爲隱、不問其罪、蓋合先王之典章、江熙曰、葉公見聖人之訓、動有隱諱、故舉直躬、欲以訾毀儒教、抗提行中國、夫子答之、辭正而義切、荆蠻之豪喪其誇、

孔子異ナル所ノ者ヲ擧ク、言ハ風ハ風ヲ爲ル者ハ、孝悌ヲ以主ト爲、父一子ハ天一性ナリ、率ツテ自然ノ至一情ニ由ル、宜ク相ヒ隱ス應シ、若シ隱シ惜ム則ハ、自非ヲ爲不、故ニ云ク直キコト其ノ中ニ在リト、相ヒ隱

スコトヲ知不ル、則ハ人倫ノ義盡ク、樊光カ曰ク、父ハ子ノ爲ニ隱ストハ、子ノ孝ヲ求メント欲、父ハ必ス先ツ慈ヲ爲シテ、家一風父ニ曲ル、故ニ先ツ父ト稱ス、范寧カ曰ク、夫レ謂ハ所ル直トハ、其ノ道ヲ失セ不ルナリ、若シ父一子相ヒ隱シ諱マ不シハ、教ヲ傷リ義ヲ破テ不孝ノ風ヲ長ス、焉ノ以直ト爲ン哉、故ニ相隱スハ乃チ直ト爲可キ耳、今王法ハ則チ期親以上ハ、相ヒ爲ニ隱スコトヲ得ルコトヲ許ス、其ノ罪ヲ問ハ不、蓋シ先王ノ典章ニ合フカ、江熙カ曰ク、葉公聖一人ノ訓ヲ見ルニ、動スレハ隱シ諱ムコト有リ、故ニ躬ヲ直スルヲ擧テ、儒一教ヲ警リ毀ツテ、抗（抗）一提シテ中一國ニ行ハマク欲ス、夫一子之ヲ答フ、辭ハ正シク義一切ナリ、荆蠻ノ豪モ其ノ誇リヲ喪サン、

- (一) 「躬」、武内本作「身」。
- (二) 「之」、武内本作「也」。
- (三) 「言」下、武内本有「言」字。
- (四) 「告」、武内本作「與」。
- (五) 「羊」下、武内本有「之」字。
- (六) 「攘」下、武内本有「也」字。
- (七) 「也」、武内本作「者」。
- (八) 「不」上、武内本有「若」字。

(九) 「曰」、武内本作「云」、下同。

(一〇) 「曲」、武内本作「由」。

(一一) 「夫」下、武内本有「子」字。

(一二) 「誇」下、武内本有「矣」字。

【經】

樊遲問仁、

樊遲仁ヲ問フ、

【疏】

問孔子行仁之道也、

孔子ニ仁ヲ行フノ道ヲ問フ、

【經】

子曰居處恭、

子ノ曰ク居^{ノたまは}處ニシテ恭アリ、

【疏】

答仁道、居謂常居、恆以恭遜爲用也、燕居温温是也、

仁道ヲ答フ、居トハ常ニ居ルヲ謂フ、恆ニ恭遜ヲ以テ用ト爲、燕居ニハ温^ス温タリトイフ是ナリ、

【經】

執事敬、

事ヲ執テハ敬アリ、

【疏】

謂行禮執事時、禮主於敬也、

禮ヲ行ヒ事ヲ執ル時ヲ謂フ、禮ハ敬ヲ主トス、

【經】

與人忠、

人與^ト忠アリ、

【疏】

謂交接朋友時、宜盡忠不相欺、

朋^ト友ト交接スル時ヲ謂フ、宜ク忠ヲ盡シテ相ヒ^ト欺カ不^ス

ル宜シ、

【經】
雖之夷狄、不可棄也、

夷狄ニ之クト雖、棄ツ可不、

【疏】

假令之人夷狄、無禮義之處、亦不可捨棄於此三事、此則是仁也、江熙曰、恭、敬、忠、君子任性而行己、所以爲仁也、本不爲外物、故以夷狄、不可棄而不行也、若不行於無常、則僞斯見矣、僞見則去仁邈也、

假^{タトヒ}令人夷狄ノ、禮^レ義無キ處ニ之クトモ、亦此ノ三事ヲ捨テ棄ツ可ラ不、此レハ則チ是レ仁ナリ、江熙カ曰ク、恭、敬、忠ハ、君^ノ子性ニ任シテ己ヲ行テ、仁ヲ爲ル所以ナリ、本ト外物爲ラ不、故ニ夷狄ヲ以テ、棄テ行ハ不^ル可ラ不、若シ常無キヲ行ハ不^ル、則ハ僞^トリス二見ル、僞^ハリ見ルル則ハ仁ヲ去ルコト邈カナリ、

【注】

荀氏曰、雖之夷狄無禮義之處、不可棄去而不行也、

荀氏カ曰ク、夷狄ノ禮^レ義無キ處ニ之クト雖モ、棄テ去テ行ハ不^スンハアル可不、

(一) 「人」、武内本作「入」。

(二) 「日」、武内本作「云」。

(三) 「不」上、武内本有「猶」字。

【經】

子貢問曰、何如斯可謂之士矣、

子貢問テ曰ク、何^イ如ナルスレヲカ士ト謂フ可キ、

【疏】

謂問在朝爲士之法、是卿大夫可知也、

謂ル朝ニ在テ士爲ルノ法ヲ問フ、是レ卿大夫ハ知ヌ可シ、

【經】

子曰、行己有恥、

子ノ曰ク、己ヲ行フニ恥^ハ有リ、

【疏】

答士行也、言自行己身、恆有可恥之事、故不爲也、李充曰、居正惜者、當遲退、必無者其唯有恥乎、是以當其宜行、則恥己之不及、及其宜止、則恥己之不免、爲人臣、則恥其君不如堯舜、處濁世則、恥獨不爲君子、將出言則、恥躬之不逮、是故孔子之稱丘明、亦貴其同恥義、苟孝悌之先者也、

士ノ行ヲ答フ、言ハ自己カ身ヲ行フコト、恆ニ恥ツ可キノ事有リ、故ニ爲不、李充カ曰ク、居正ニ惜ム者ハ、當ニ遅ク退ク當シ、必ス無キ者ハ其唯タ恥有ル乎、是ヲ以テ其ノ宜ク行フ宜キニ當テハ、己カ及ハ不ンコトヲ恥ツ、其ノ宜ク止ム宜キニ及テハ、己カ免レ不ルコトヲ恥ツ、人臣爲ル、則ハ其ノ君ノ堯舜ニ如カ不ルコトヲ恥ツ、濁世ニ處ル則ハ、獨リ君子爲ラ不ルコトヲ恥ツ、將ニ言ヲ出サント將ル則ハ、躬ノ逮ハ不ンコトヲ恥ツ、是ノ故ニ孔子丘明ヲ稱シテ、亦其ノ恥ヲ同スルノ義ヲ貴フ、苟ニ孝悌ノ先ナル者ナリ、

【注】

孔安國曰、有恥、有所不爲也、

孔安國カ曰ク、恥有トハ、爲不ル所有ルソ、

【經】

使於四方、不辱君命、

四方ニ使シテ、君命ヲ辱メ不ルヲ、

【疏】

君號令出使於四方之國、則必使稱當不使君命之見凌辱也、故李充曰、古之良使者、受命不受辭、事有權宜則、與時消息、排患釋難、解紛挫銳者、可謂良也、

君ノ號令出テテ四方ノ國ニ使スル、則ハ必ス使イ當ニ君ノ命ノ凌(凌)辱セ見レ使メ不ル當キコトヲ稱ス、故ニ李充カ曰ク、古ノ良使ハ、命ヲ受テ辭ヲ受ケ不、事權宜有ル則ハ、時與消息ス、患ヲ排シ難ヲ釋キ、紛ヲ解シ銳(銳)ヲ挫ク者ヲ、良ト謂ツ可シ、

【經】

可謂士矣、

士ト謂ツ可シ、

【經】

能有恥及不辱二事、竝行無虧、乃可謂爲士矣、此行最高、故在先也、

能ク恥有リ及ヒ辱メ不トイフノ二事、竝ニ行テ虧クコト無シハ、乃シ謂テ士ト爲可シ、此ノ行最モ高シ、故ニ先ニ在リ、

【經】

曰敢問其次、

曰ク敢テ其ノ次ヲ問フ、

【疏】

子貢問士之上者、故敢更問士之次者、

子貢士ノ上タル者ヲ問ク、故ニ敢テ更ニ士ノ次ナル者ヲ問フ、

【經】

曰宗族稱孝、鄉黨稱悌焉、

曰ク宗族ニハ孝ト稱ス、鄉黨ニハ悌ト稱ス、

【疏】

孝是事父母爲近、悌是事兄長爲遠、宗族爲近、近故稱孝、鄉黨爲遠、故稱悌也、繆協曰、雖孝稱於宗族、悌及於鄉黨、而孝或爲未優、使於四方、猶未能備、故爲之次者也、

孝ハ是レ父_ニ母_ニ事ル近シト爲、悌ハ是レ兄_ニ長_ニ事ル遠シト爲、宗_ニ族_ハ近シト爲、近キカ_レ故ニ孝ト稱ス、鄉_ニ黨_ハ遠シト爲、故ニ悌ト稱ス、繆協カ曰ク、孝ヲハ宗_ニ族_ニ稱シ、悌ヲハ鄉_ニ黨_ニ及スト雖モ、孝ハ或ハ未タ優カナラ未ト爲、四_ニ方_ニ使シテ、猶ヲ未タ備ルコト能未、故ニ之ヲ次ト爲ル者ナリ、

【經】

曰敢問其次、

曰ク敢テ其ノ次ヲ問フ、

【疏】

子貢又問求次於士者也、

子貢又士二次ク者ヲ問ヒ「求ム、

【經】

曰言必信、行必果、

曰ク言ハ必ス信アリ、行ハ必ス果ス、

【疏】

此答士之次也、君子達士、貞而不諒、言不期苟信、捨藏隨時、何期必遂、若小行之士、必須信、行必須果也、

此レハ士ノ次ヲ答フ、君子ノ達士ハ、貞ニシテ諒アラ不、言苟モ「信ヲ期セ不、捨藏時ニ隨フ、何ソ必ス遂ケンコトヲ期セン、若シ小「行ノ士ハ、必ス信ヲ須フ、行ハ必ス果ヲ須フ、

【經】

硜硜然小人哉、

硜「硜然タル小「人ナリ、

【疏】

果必信爲譬也、硜硜堅正難移之貌也、小人爲惡、堅執難化、今小人之士、必行信果、守志不廻、如小人也、

果ニシテ必ス信アルノ譬ヲ爲ス、硜「硜ハ堅「正ニシテ移リ難キノ貌ナリ、小「人ハ惡ヲ爲スコト、堅ク「執テ化シ難シ、今小「人ノ士、必ス信果ヲ行テ、志ヲ守ルコト廻ラサ不ルコト、小「人ノ如シ、

【經】

抑亦可以爲次矣、

抑モ亦タ次ト爲可シ、

【疏】

抑語助也、凡事欲強使相關、亦多云抑也、言此小行亦強可爲士之次也、李充曰、言可覆而行必成、雖爲小器、取其能有所立、繆協曰、果成也、言必合乎信、行必期諸成、君子之體、其業大哉、雖行硜硜小器、而能必信必果者、取其共有成、抑亦可爲士之次也、

抑ハ語ノ助ナリ、凡ソ「事ハ強テ相ヒ「關ラ使メント欲ル

二ハ、亦タ多ク抑ト云フ、言ハ此ノ小一_レ行亦タ強テ士ノ次ト爲可シ、李充カ曰ク、言覆(覆)ス可クシテ行必ス成ス、小一_レ器爲リト雖モ、其ノ能ク立ル所有ルニ取ル、繆協カ曰ク、果ハ成ナリ、言ハ必ス信ニ合ヒ、行ハ必ス成サシコトヲ期ス、君一_レ子ノ體ハ、其ノ業大ナル哉、經一_レ經タル小一_レ器ヲ行フト雖、能ク必ス信アリ必ス果ス者ハ、其ノ共ニ成コト有ルニ取ル、抑モ亦タ士ノ次ト爲可シ、

【注】

鄭玄曰、行必果、所欲行必敢爲之、經經者小人之貌也、抑亦其次、言可以爲次也、

鄭玄カ曰ク、行ハ必ス果ストハ、行ハマク欲スル所ヲハ必ス敢テ之ヲ爲ルソ、經一_レ經ハ小一人ノ貌、抑モ亦其ノ次トハ、言ハ次ト爲可シ、

【經】

曰今之從政者何如、

曰ク今ノ政ニ從フ者ハ何如、

【疏】

子貢又問曰、今士之從政者、復云何如、

子貢又問テ曰ク、今士ノ政ニ從フ者、復タ云ク何如、

【經】

子曰、噫、斗筭之人何足算也、

子曰ク、噫、斗筭ノ人何ソ算フルニ足ラン、

【疏】

噫、不平聲、筭竹器也、容一斗二升、故云斗筭也、算數也、子貢已聞古之是、而又問今之非、故云噫也、不平之聲既竟、故又云今之人也、言今之小人器量、如斗筭之器耳、何足數也、

噫ハ、不_一平ノ聲ナリ、筭ハ竹一_レ器ナリ、一_一斗二_一升ヲ容ル、故ニ斗一_レ筭ト云フ、算ハ數ナリ、子貢已ニ古ノ是ヲ聞テ、又今ノ非ヲ問フ、故ニ噫ト云フ、不_一平ノ聲既ニ一_レ竟ル、故ニ又タ今ノ人ト云フ、言ハ今ノ小一人ノ器一_レ量、斗一_レ筭ノ器ノ如キ耳、何ソ足ラン數ルニ、

【注】

鄭玄曰、噫心不平之聲、^(九)管竹器、容斗二升者也、算數也、

鄭玄カ曰ク、噫ハ心ノ不_一平ノ聲ソ、管ハ竹_一器、斗_一二_一升ヲ容ルル者ナリ、算ハ數、

(一) 「曰」、武内本作「云」。

(二) 「獨」、武内本無此字。

(三) 「曰」、武内本作「云」。

(四) 「必」上、武内本有「言」字。

(五) 「曰」、武内本作「云」。

(六) 「曰」、武内本作「云」。

(七) 「哉」、武内本作「矣」。

(八) 「共」、武内本無此字。

(九) 「聲」下、武内本有「也」字。

【經】

子曰、不得中行而與之、

子ノ曰^{ノたまは}ク、中_一行ヲ得^{クミ}テ之ニ與^スセ不_一ハ、

【疏】

中行、行能得其中者、當時僞多實少、無復所行得中之人、故孔子歎曰、^(一)不得中行而與之、謂共處於世乎、

中_一行トハ、行能ク其ノ中ヲ得ル者ナリ、當_一時僞リ_一多シテ實_一少シ、復行フ所中ヲ得ルノ人無シ、故ニ孔子歎シテ曰ク、中_一行ヲ得^{ノたまは}テ之レニ與^{クミ}セ不_一ハトハ、共二世ニ處ルヲ謂フ、

【經】

必也狂狷乎、

必ス狂^{ゲン}狷^カカ、

【疏】

狂謂應直進而不退也、狷謂應進而不退者也、二人雖不得中道、而能各任天然、而不爲欺詐、故孔子曰、既不得中道者、而與之、而得與此二人、亦好、故云狂狷乎、言世亦無此人、江熙曰、狂者知進而不知退、知取而不知與、狷者急狹能有所不爲、皆不中道也、然率其天真不爲僞也、季世澆薄言與實違背、心以惡時飾詐以誇物、是以錄狂狷之一法也、

狂トハ直ニ進テ退カ不ル應キヲ謂フ、狷トハ進ム應クシテ退カ不ル者ヲ謂フ、二人ハ中道ヲ得不ト雖、而トモ能ク各天^{マカセ}然ニ任テ、欺キ詐ルコトヲ爲^セ不^ス、故ニ孔子ノ曰ク、既ニ中道ノ者ヲ得テ、之ニ與^クセ不^シンハ、此ノ二人ニ與^スコトヲ得ハ、亦タ好ケン、故ニ云ク狂^ハ狷カト、言^ハハ世ニ亦此ノ人無シ、江熙カ曰ク、狂^者ハ進^{コト}ヲ知テ退^{コト}ヲ知ラ不^ス、取ルコトヲ知テ與^ルコトヲ知ラ不^ス、狷^者ハ急^ノ狹^ク（狹ニシテ）能ク爲^セ不^ル所有リ、皆^中道ナラ不^ス、然トモ其ノ天^ニ真^ニ率^ツテ僞^ヲ爲^セ不^ス、季世澆^薄ニシテ言^實與^違背^ス、心^以テ時^ニ詐^リヲ飾^テ物^ニ誇^ルコトヲ惡^ム、是^ヲ以^テ狂^狷ノ一^法ヲ録^ス、

【注】

荀氏曰、中行、行能得其中者也、言不得中行、則欲得狂狷也、

荀氏カ曰ク、中行トハ、行能ク其ノ中ヲ得ル者ソ、言ハ中^行ヲ得^不シ^ハ、狂^狷ヲ得^マク^欲ス、

【經】

狂者進取、狷者有所不爲也、

狂^者ハ進^テ取^ル、狷^者ハ爲^不ル^所有^リ、

【疏】

此說狂狷之行、言狂者不爲惡、唯直進取善、故云進取、狷者應進而不遷、故云有所不爲也、

此レハ狂^狷ノ行^ヲ說^ク、言^ハ狂^者ハ惡^ヲ爲^セ不^ス、唯^タ直^ニ進^テ善^ヲ取^ル、故^ニ云^ク進^テ取^ルト、狷^者ハ進^ンテ遷^ラ不^ル應^シ、故^ニ云^ク爲^不ル^所有^リ、

【注】

荀氏曰、狂者進取於善道、

荀氏カ曰ク、狂^者ハ進^テ善^道ヲ取^ル、

【疏】

進而不爲惡、故云取善道也、

進^テ惡^ヲ爲^セ不^ス、故^ニ善^道ヲ取^ルト云^フ、

【注】

狷者守節無爲、

狷者ハ節ヲ守テ爲ルコト無シ、

【疏】
不進、故云守節無爲也、

進マ不、故ニ云ク節ヲ守テ爲ルコト無シ、

【注】
欲得此二人者、以時多進退、取其恆一者也、

此ノ二人ヲ得マク欲スルコトハ、時ノ進退多キヲ以テ、
其ノ恆一二取ル者ナリ、

【疏】
說時多僞、而狂狷天然恆一、故云取之也、

時僞リ多キコトヲ説ク、而ルヲ狂狷ハ天然恆一ナリ、
故ニ云ク之ヲ取ルト、

- (一) 「曰」、武内本作「云」。
- (二) 「進」、武内本作「退」。
- (三) 「退」、武内本作「進」。

(四) 「曰」、武内本作「云」。

(五) 「曰」、武内本作「云」。

(六) 「所」下、武内本有「所」字。

(七) 「狷」下、武内本有「者」字。

(八) 「者」、武内本無此字。

【經】
子曰、南人有言、曰、人而無恆、不可以作巫醫、

子ノ曰ク、南人言ヘルコト有り、曰ク、人トシテ恆無
キヲハ、以テ巫醫モ(巫醫ニモ)作ム可ラ不、

【疏】
南人南國人也、無恆、用行無常也、巫接事鬼神者、醫能治
人病者、南人舊有言云、人若用行不恆者、則巫醫爲治之不
差、故云不可作巫醫也、

南人トハ南國一人ナリ、恆無トハ、行ヲ用ルコト常無シ、
巫ハ鬼神ニ接ハリ事ル者ナリ、醫ハ能ク人ノ病ヲ治ムル
者ナリ、南人舊ト言ヘルコト有り云ク、人若シ行ヲ用ル
コト恆アラ不ハ、則チ巫醫モ爲(爲)シテ之ヲ差サ
不、故ニ巫醫モ作ム可ラ不ト云フ、

【注】

孔安國曰、南人南國之人也、鄭玄曰、言巫醫、不能治無常之人也、

孔安國カ曰ク、南人ハ南國ノ人ソ、鄭玄カ曰ク、言ハ巫醫モ、常無キノ人ヲ治ムルコト能ハ不、

【疏】

一云、言人不可使無恆之人爲巫醫也、衛瓘曰、言無恆之人、乃不可以爲巫醫、巫醫則疑誤人也、而況其餘乎、

一ニ云ク、言ハ人恆無キノ人ヲ使テ巫醫ニモ爲サ使ム可不、衛瓘カ曰ク、言ハ恆無キノ人ハ、乃チ巫醫ニモ爲ス可ラ不、巫醫ハ則チ人ヲ疑誤ス、而ルヲ況ヤ其ノ餘ヲヤ、

【經】

善夫

善イ夫

【疏】

孔子述南人言、故先稱之、而後云善夫也矣、

孔子南人ノ言ヲ述フ、故ニ先ツ之ヲ稱シテ、而シテ後ニ善イ夫ト云フ、

【注】

荀氏曰、善南人之言也、

荀氏カ曰ク、南人ノ言ヲ善スルソ、

【經】

不恆其德、或承之羞、

其ノ德ヲ恆ニセルトキハ、或ニ羞（羞）ヲ承ク、

【疏】

孔子引易恆卦不恆之辭、證無恆之惡、言人若爲德、不恆則必羞辱承之、羞辱必承、而云或者、或常也、言羞辱常承之也、何以知或是常、案詩云、如松柏之茂、無不爾或承、鄭玄曰、或常也、老子曰、湛兮似或存、河上公注云、或常也、

孔子易ノ恆ノ卦ノ恆アラ不ルノ辭ヲ引テ、恆無キノ惡ヲ證ス、言ハ人若シ德ヲ爲ルコト、恆アラ不ル則ハ必ス羞辱之ヲ承ク、羞辱ヲ必ス承ク、而ルヲ或ト云フコトハ、或ハ常ナリ、言ハ羞辱常ニ之ヲ承ク、何ヲ以テカ或ハ是レ常ト知ルヤ、案スルニ詩ニ云ク、松柏ノ茂スルカ如シ、爾或ニ承ケ不トイフコト無シ、鄭玄カ曰ク、或ハ常ナリ、老子ノ曰ク、湛タルコト兮或ニ存スルニ似タリ、河上公カ注ニ云ク、或ハ常ナリ、

【注】

孔安國曰、此易恆卦之辭也、言德無常、則羞辱承之也、

孔安國カ曰ク、此ハ易ノ恆ノ卦ノ辭ナリ、言ハ德常無キトキハ、羞辱ヲ承ク、

【經】

子曰、不占而已矣、

子曰ク、占ハ不ラク而已、

【疏】

此記者又引禮記孔子語、來證無恆之惡也、言無恆人、非唯

不可作巫醫而已、亦不可爲作卜筮、卜筮亦不能占無恆之人、故云不占而已矣、禮記云、南人有言曰、人而無恆不可爲作卜筮、古之遺言、與龜與筮、猶不知、而況於人乎、是明南人有兩時兩語、故孔子兩稱之、而禮記論語亦各有所錄也、

此レハ記者又禮記ノ孔子ノ語ヲ引キ、來テ恆無キノ惡ヲ證ス、言ハ恆無キノ人ハ、唯巫醫ノ作ム可ラ不ル而已ニ非ス、亦ト筮モ作ムルコトヲ爲ス可不、ト筮モ亦タ恆無キノ人ヲ占フコト能ハ不、故ニ云ク占ハ不ク而已、禮記ニ云ク、南人言ヘルコト有リ曰ク、人トシテ恆無キトキハト筮モ爲作ム可ラ不トハ、古ノ遺言ナリ、龜與筮與、猶ヲ知ラ不、而ルヲ況ヤ人ニ於テヤ、是レ明ケシ南人兩時ニシテ兩語有リ、故ニ孔子兩タヒ之ヲ稱ス、而ルヲ禮記論語亦各録スル所有リ、

【注】

鄭玄曰、易所以占吉凶也、無恆之人、易所不占也、

鄭玄カ曰ク、易ハ吉凶ヲ占フ所以ナリ、恆無キノ人ヲハ、易モ占ハ不ル所ナリ、

- (一) 「言」、武内本無此字。
- (二) 「曰」、武内本作「云」。
- (三) 「鄭玄曰」、武内本作「鄭云」。

【經】

子曰、君子和而不同、

子ノ曰ク、君子ハ和シテ同セズ、

【疏】

和、謂心不爭也、不同謂立志各異也、君子之人千萬、千萬其心和如一、而所習立之志業不同也、

和トハ、心爭ハ不^スルヲ謂フ、同セズトハ志ヲ立ツルコト各異ナルヲ謂フ、君子ノ人千萬、千萬其ノ心和スルコト一ノ如シ、而トモ習ヒ立ツル所ノ志業同カラズ、

【經】

小人同而不和、

小人ハ同シテ和セズ、

【疏】

小人爲惡如一、故云同也、好鬪爭、故云不和也、

小人ハ惡ヲ爲ルコト一ノ如シ、故二同ト云フ、鬪爭ヲ好ム、故二和セズト云フ、

【注】

君子心和、然其所見各異、故曰不同、小人所嗜好者同、然各爭其利、故曰不和也、

君子ハ心^ハ和ス、然トモ其ノ見ル所各異ナリ、故二同セズト曰フ、小人ハ嗜好^ミ好ム所ノ者同シ、然トモ各其ノ利ヲ爭フ、故二和セズト曰フ、

【經】

子貢問曰、鄉人皆好之何如、

子貢問テ曰ク、郷人^ハ郷人ヲ皆好セハ何如、

【疏】

子貢問孔子云、設有一人、爲郷人、共所崇好之則、此人如何、

子貢孔子ニ問テ云ク、設イ一一人有テ、郷人ノ爲ニ、共ニ崇ヒ好レ所レハ、此ノ人如イ何、

【經】

子曰未可也、

子ノ曰ク未レ可ナリ、

【疏】

孔子不許、故云未可也、知所以未可者、設一郷皆惡、而此人爲惡、與物同黨、故爲衆人、共見稱美、故未可信也、

孔子許サ不ス、故ニ未レ可ナリト云フ、知ヌ未レ可ナル所以ハ、設イ一一人皆ナ惡シテ、此ノ人惡ヲ爲シテ、物與黨ヲ同ス、故ニ衆人ノ爲ニ、共ニ稱美セ見ル、故ニ未レ可ナル所以ト云フ、

【經】

郷人皆惡之如何、

郷人ヒト（郷人ヲ）皆惡ミセハ如何、

【疏】

既云皆好爲未可、故更問、設其郷之人、皆共憎惡此人、則何如、

既ニ皆好セラルルヲ云テ未レ可ナリト爲ス、故ニ更ニ問フ、設ヒ其ノ郷ノ人、皆共ニ此ノ人ヲ憎ミ惡マハ、何レ如、

【經】

子曰未可也、

子ノ曰ク未レ可ナリ、

【疏】

孔子亦所以未許者、設一郷皆惡、而此人獨爲善、不與衆同、故爲群惡、所疾、故未可信也、

孔子亦未レ許サ未レ可ナル所以ハ、設ヒ一一人皆ナ惡シテ、此ノ人獨リ善ヲ爲ルコト、衆與同カラ不ス、故ニ群レ惡ノ爲ニ、疾マ所、故ニ未レ可ナル所以ト云フ、

【經】

不如、郷人之善者好之、其不善者惡之也、

如カ不^レ、郷^一人ノ善キ者ニハ好セラレ(善キ者ヲハ好シ)、其ノ善カラ不^ル者ニハ惡セラレンニハ(善カラ不^ル者ヲハ惡セシニハ)、

【疏】

向答既竝云未可、故此說其可之事也、言若此人爲郷人善者所好、又爲不善者所惡、如此、則是善人、乃可信也、

向ニ答ルニ既ニ竝ニ未^レ可ナリト云フ、故ニ此ニ其ノ可^レノ事ヲ説ク、言ハ若シ此ノ人郷人ノ善キ者ノ爲ニハ好セ所レ、又不^レ善ノ者ノ爲ニハ惡セ所レン、此ノ如キンハ、則チ是レ善人ナリ、乃チ信ス可シ、

【注】

孔安國曰、善人善己、惡人惡己、是善善明、

孔安國カ曰ク、善人己ヲ善シ、惡人己ヲ惡ス、是レ善ヲ善スルコト明カニ、

【疏】

己爲善人、爲善人之所好、故是善善明也、

己善人爲リ、善人ノ爲ニ好セ所ル、故ニ是レ善ヲ善スルコト明ナリ、

【經】

惡惡著也、

惡ヲ惡スルコト著ナリ、

【疏】

惡人惡己、則非己惡、故是惡惡著也。一通云、子貢問孔子曰、與一郷人、皆親好何如、孔子答云、未可、又問曰、舉一郷人、皆爲疎惡何如、孔子之答云、未可、既頻答未可、所以故更爲說云、不如擇郷人善者、與之親好、若不善者、與之爲疎惡也、

惡人己ヲ惡ムコトハ、己カ惡ニ非ス、故ニ是レ惡ヲ惡スルコト著ナリ。一通ニ云ク、子貢孔子ニ問テ曰ク、一郷ノ人與、皆親好セハ何如、孔子答云ク、未可ナリ、又夕問テ曰ク、一郷ノ人ヲ舉シテ(舉ツテ)、皆疎惡(疎シ惡ム)ヲ爲ハ何如、孔子答テ云ク、未可ナリト、既ニ頻リニ未^レ可ナリト答フ、所以ニ故ニ更ニ爲ニ說テ云ク、如カ不郷人ノ善キ者ヲ擇テ、之レ與

親ト好シ、若シ不ト善ト者ニハ、之コレト與ト疎ト惡トヲ爲センニハ、

(一) 「爲」武内本無此字。

(二) 「之」、武内本作「又」。

【經】

子曰、君子易事而難說也、

子ノのたまは曰ク、君ト子ハ事ツカヘ易やすくシテ說ヨロコハシメ難かたシ、

【疏】

君子忠恕、故易事也、照見物理、不可欺詐、故難悅也、說音悅、

君ト子ハ忠ト恕トアリ、故ツカニ事ツカヘ易やすくシ、物ツカ理ツカヲ照ツカ見ツカシテ、欺イキツカ詐ツカル可へから不ス、故ツカニ悅ツカシメ難かたシ、說ツカノ音ツカハ悅ツカ、

【注】

孔安國曰、不責備於一人、故易事也、

孔安國カ曰ク、責ツカメ不ツカ一ツカ人ツカニ備ツカナランコトヲ、故ツカニ事ツカヘ易やすくシ、

【經】

說之不以道不說也、

之ツカヲ說ヨロコハシムルニ道ツカヲ以テセ不まレハ說よこハ不ス、

【疏】

此釋難悅也、君子既照識理深、若人以非道理之事、來求使之悅、已則識之、故不悅也、

此レハ悅ツカハシメ難かたキコトヲ釋ツカス、君ト子ハ既ツカニ照ツカ識ツカスルコト理ツカ深ツカシ、若ツカシ人ツカ道ツカ理ツカニ非ツカルノ事ツカヲ以テ、來ツカテ之ツカヲ使ツカテ悅ツカハ使ツカメンコトヲ求ツカムルニ、已おのレツカ則ツカチ之ツカヲ識ツカル、故ツカニ悅ツカハ不ス、

【經】

及其使人也器之、

其その人ツカヲ使ツカフニ及ツカテハ器ツカノママニス、

【疏】

此釋易事也、器猶能也、君子既不責備於一人、故隨人之能、而用之。不過分責人、故易事、

此レハ事^{ツカ}ヘ易キコトヲ釋ス、器ハ能^{ツク}ノ猶シ、君^{ミコト}子ハ既ニ
一人ニ備^{ツク}コトヲ責メ不^ス、故ニ人ノ能^{ツク}ニ隨テ、之ヲ用
フ。分ニ過^ステ人ヲ責メ不^ス、故ニ事^{ツカ}ヘ易シ、

【注】

孔安國曰、度才而任官也、

孔安國カ曰ク、オラ度^{ハカ}ツテ官ニ任ス、

【經】

小人難事而易說、

小人ハ事^{ツカ}ヘ難シテ說^{ヨウ}シメ易シ、

【疏】

小人不識道理、故難事也、可以非法欺之也、

小人ハ道^{ミチ}理ヲ識ラ不^ス、故ニ事^{ツカ}ヘ難シ、非^カ法ヲ以^{モテ}之ヲ欺
ク可シ、

【經】

說之雖不以道說也、

之ヲ說^{トウ}ハシムルニ道ヲ以テセ不^スト雖モ說^{トウ}フ、

【疏】

此釋易悅也、既不識道理、故雖不以道之事悅之、亦既悅
也、

此レハ悦^{ヨウ}シメ易キコトヲ釋ス、既ニ道^{ミチ}理ヲ識ラ不^ス、故
ニ道ノ事ヲ以テ之ヲ悦^{ヨウ}シメ不^スト雖モ、亦^タ既ニ悦^{ヨウ}フ、

【經】

及其使人也求備焉、

其ノ人ヲ使フニ及テハ備^{ツク}コトヲ求ム、

【疏】

此解難事也、不惻度他人器量、而過分責人、故難事也、

此レハ事^{ツカ}ヘ難キコトヲ解ス、他^タ人ノ器^{ハカ}量ヲ惻^{ハカ}リ度^{ハカ}ラ不^ス、
分ニ過^ステ人ヲ責ム、故ニ事^{ツカ}ヘ難シ、

(二) 「說音悅」、武内本用括號圍此三字、以爲後人旁記
之詞。

(二) 「也」、武内本作「之」。

【經】

子曰、君子泰而不驕、

子ノ曰ク、君子ハ泰ニシテ驕ラ不、

【疏】

君子坦蕩蕩、心貌怡平、是泰而不爲僞慢也、

君一子ハ坦一蕩一蕩タリ、心一貌怡(怡)一平ス、是レ泰ニシテ僞一慢ヲ爲不ルナリ、

【經】

小人驕而不泰、

小人ハ驕テ泰ラ不、

【疏】

小人性好輕凌、而心恆戚戚、自縱泰、是驕而不泰也、

小人ハ性輕一凌ヲ好ム、而トモ心一恆ニ戚一戚タリ、自

縦ニ一泰ナリ、是レ驕テ泰カナラ不ルナリ、

【注】

君子自縱泰、似驕、而不驕、小人拘忌、而實自驕矜也、

君一子ハ自一縱ニ泰ニシテ、驕レルニ似レリ、而レトモ驕ラ不、小人ハ拘一忌メトモ、實ハ自驕リ矜レリ、

【疏】

多拘忌、是不泰也、

拘一忌ムコト多シ、是レ泰ナラ不ルナリ、

【經】

子曰剛、毅、木、訥、近仁、

子ノ曰ク剛、毅、木、訥ハ、仁ニ近シ、

【疏】

言此四事、與仁相似、故云近仁、剛者性無求欲、仁者靜、故剛者近仁也。毅者性果敢、仁者必有勇、周窮濟急、殺身成仁、故毅者近仁也。木者質朴、仁者不尚花飾。故木者近

仁也。訥者言語遲鈍、仁者慎言、故訥者近仁也、

言いふことハ此ノ四ノ事ハ、仁與相ト似タリ、故ニ仁ニ近シト云フ、剛者ハ性欲ヲ求ムルコト無シ、仁者ハ靜ナリ、故ニ剛者ハ仁ニ近シ。毅者ハ性果キ敢ナリ、仁者ハ必ス勇有リ、窮アヲ周まねシ急クヲ濟スフ、身ヲ殺シテモ仁ヲ成ス、故ニ毅者ハ仁ニ近シ。木者ハ質ハ朴ハナリ、仁者ハ花シ飾ヨクヲ尚ヒ不ス。故ニ木者ハ仁ニ近シ。訥者ハ言語遲鈍ナリ、仁者ハ言ヲ慎ム、故ニ訥者ハ仁ニ近シ、

【注】

王肅曰、剛無欲也、毅果敢也、木質樸也、訥遲鈍也、有此四者近於仁也、

王肅カ曰ク、剛ハ無欲、毅ハ果敢、木ハ質樸、訥ハ遲鈍ナリ、此ノ四ノ者有テ仁ニ近シ、

(一) 「花」、武内本作「華」。

【經】

子路問曰、何如斯可謂士矣、

子路問テ曰ク、何イ如カナルスレヲカ士ト謂フ可キ、

【疏】

問爲士之行、和悅切磋之道也、

士爲ルノ行、和ハ悅ハ切ハ磋ハノ道ヲ問フ、

【經】

子曰、切切惓惓怡怡如也、可謂士矣、

子ノ曰のたまはク、切セツ切セツ惓ウレ惓ウレ怡イ怡イ如ニタリ、士ト謂ツ可シ、

【疏】

答也、切切惓惓、相切磋之貌也、怡怡和從之貌也、言爲士之法、必須有切磋、又須和從也、

答ナリ、切切惓惓ハ、相ヒ切セツ磋セツスルノ貌ナリ、怡怡ハ和ハ從ハノ貌ナリ、言コトハ士爲ルノ法、必ス須ク切セツ磋セツ有ル須シ、又和ハ從ハヲ須スフ、

【經】

朋友切切惓惓、

朋_レ友_二ハ切_レ切_レ悒_一、

【疏】

向_レ答_レ雖_レ合_レ曰_レ怡_レ怡_レ之_レ事_、而_レ不_レ可_レ專_レ施_一一_レ人_、故_レ更_レ分_レ之_レ也_、若_レ是_レ朋友_レ義_レ在_レ相_レ益_、故_レ須_レ切_レ悒_一也_、

向_レノ_レ答_レハ合_レセテ怡_レ怡_レノ事_ヲ曰_レフト雖_モ、專_ラ一_レ人_ニ施_ス可_ラ不_ス、故_ニ更_ニ之_ヲ分_ツ、若_シ是_レ朋_友ノ義_ハ相_レヒ_レ益_スル_ニ在_リ、故_ニ切_レ悒_ヲ須_フ、

【經】

兄弟_レ怡_レ怡_レ如_レ也_、

兄_レ弟_二ハ怡_レ怡_レ如_レタ_リ、

【疏】

兄弟_レ骨肉_レ理_レ在_レ和_レ順_、故_レ須_レ怡_レ怡_レ如_レ也_、繆_協曰_、以_レ爲_レ朋_友不_レ唯_レ切_レ磋_、亦_レ貴_レ和_レ諧_、兄_弟非_レ但_レ怡_レ怡_、亦_レ須_レ戒_厲、然_レ友_道缺_レ則_、面_朋而_レ匿_怨、兄_弟道_レ缺_レ則_、闕_牆而_レ外_侮、何_者憂_レ樂_本殊_、故_レ重_弊至_于恨_匿、將_レ欲_レ矯_之、故_云、朋_友切_レ切_レ悒_悒、兄_弟怡_怡如_レ也_、悒_悒相_レ切_レ責_之貌_也、怡_怡和_レ順_之貌_也、

兄_レ弟_二ハ骨_レ肉_ノ理_レ和_レ順_ニ在_リ、故_ニ怡_レ怡_レ如_レヲ_須フ、繆_協カ_レ曰_ク、以_レ爲_レラ_ク朋_友ハ唯_切レ_レ磋_スル_ノミ_ニ不_ス、亦_レ和_レ諧_{（諧）}ヲ_貴フ、兄_レ弟_ハ但_タ夕_レ怡_レ怡_{タル}ノ_レミ_ニ非_ス、亦_タ戒_レ厲_{（厲）}ヲ_須フト_{（朋}友_ハ唯_切レ_レ磋_スル_ノミ_ニ不_ス、亦_レ和_レ諧_{（諧）}ヲ_貴フ、兄_レ弟_ハ但_タ夕_レ怡_レ怡_{タル}ノ_レミ_ニ非_ス、亦_タ戒_レ厲_{（厲）}ヲ_須フト_以爲_レヘ_リ）、然_トモ友_道缺_クル_レ則_ハ、面_朋ニ_シテ_レ怨_ヲ匿_ス、兄_レ弟_ノ道_レ缺_{クル}則_ハ、牆_ニ闕_イテ_レ外_侮ル、何_者憂_レ樂_本殊_ナリ、故_ニ重_弊（弊）恨_レ匿_ニ至_ル、將_ニ之_ヲ矯_サント_レ欲_ス、故_ニ云_ク、朋_友二_ハ切_レ切_レ悒_悒、兄_レ弟_二ハ怡_レ怡_レ如_レタ_リト、悒_悒ハ相_レヒ_レ切_レ責_{（責）}ス_ルノ_レ貌_ナリ、怡_怡ハ和_レ順_ノ貌_ナリ、

【注】

馬融曰、切_レ切_レ悒_悒、相_レ責_之貌_、怡_怡和_レ順_之貌_也、

馬融カ_レ曰_ク、切_レ切_レ悒_悒ハ、相_レ責_ムル_ノ貌_、怡_怡ハ和_レ順_ノ貌_ナリ、

(一) 「如」下、武内本有「也」字。

(二) 「曰」、武内本作「云」。

- (三) 「之」、武内本作「三」。
- (四) 「日」、武内本作「云」。
- (五) 「如」、武内本無此字。
- (六) 「責」上、武内本有「切」字。

【經】

子曰、善人教民七年、亦可以即戎矣、

子ノ曰ク、善人ノ民ヲ教ルコト七年ニシテ、亦戎ツハモノニ即ク可シ、

【疏】

善人賢人也、即戎謂就兵戰之事、夫教民三年一考、九歲三考、三考黜陟幽明、待其成者、九年則正可也、今日三曰七年者、是兩考已竟、新入三考之初者也、若有急不假待九年、則七年考亦可、亦可者、未全好之名、繆協曰、亦可以即戎、未盡善義也、江熙曰、子曰苟有用我者期月而以可三年有成善人之教、不逮機理、倍於聖人、亦可有成、六年之外民可用也、

善人トハ賢人ナリ、戎ニ即ルトハ兵戰ノ事ニ就カムルヲ謂フ、夫レ民ヲ教ルコト三年一考カンカフ(考)シ、九

歲三考ス、三考シテ幽明ヲ黜チユツ(黜)陟チヨク(陟)ス、其ノ成ルヲ待ツコトハ、九年ニシテ則チ正ニ可ナリ、今七年ト曰フコトハ、是レ兩考已ニ竟テ、新ニ三考ノ初ニ入ル者ナリ、若シ急有テ假ニ九年ヲ待タズ、則ハ七年ノ考ハ亦タ可ナリ、亦タ可ナリトハ、未タ全好ノ名ニ未ス、繆協カ曰ク、亦タ戎ニ即ク可シトハ、未タ善ヲ盡サ未ルノ義ナリ、江熙カ曰ク、子ノ曰ク苟ニ我ヲ用ルコト有ラハ期一月ニシテ以テ可ナランニ三年ニシテ成ルコト有ラント善人ノ教ハ、機理ニ速ハ不、聖人ニ倍シテ、亦成ルコト有ル可シ、六年ノ外ハ民用フ可シ、

【注】

荀氏曰、即戎、就兵可攻戰也、

荀氏カ曰ク、戎ニ即クトハ、兵ニ就ケテ攻メ戰フ可キノ、

- (一) 「其」、武内本作「具」。
- (二) 「日」、武内本作「云」。
- (三) 「急」上、武内本有「可」字。
- (四) 「日」、武内本作「云」。
- (五) 「日」、武内本作「云」。
- (六) 「可」、武内本作「何」。

(七) 「可」下、武内本有「以」字。

【經】

子曰、以不教民戰、是謂棄之、

子ノ曰ク、教ヘ不^レル民ヲ以テ戰ハシムル、是ヲ棄ツト謂フ、

【疏】

民命可重、故孔子慎戰、所以教至七年、猶曰亦可、若不經教戰、而使之戰、是謂棄擲民也、江熙曰、善人教民如斯、乃可即戎、況乎不及善人、而馳驅不習之民、戰。以肉餒虎、徒棄而已也、琳公曰、言德教不及於民、而令就戰、民無不死也、必致破敗、故曰棄也、

民命重^シス可^シ、故ニ孔子戰ヲ慎ム、所以ニ教ヘテ七年ニ至テ、猶ヲ曰ク亦タ可ナリ、若シ戰ヲ教ルコトヲ經不シテ、(教ルコトヲ經不シテ戰ハシム、而シテ)之ヲ使テ戰ハ使ムル、是レヲ民スト棄擲スト謂フ、江熙カ曰ク、善人ノ民ヲ教ルコトスノ如シテ、乃チ戎ニ即ク可シ、況ヤ善人ニ及ハ不シテ、習ハ不^レル民ヲ馳セ^テ驅リテ、戰ハシムルハ、肉ヲ以テ虎ニ餒ル、徒ニ棄ル而已、琳公カ曰ク、

言ハ德教民ニ及ハ不シテ、戰ニ就カ令ムルハ、民死セ不^ストイフコト無シ、必ス破敗ヲ致ス、故ニ棄ツト曰フ、

【注】

馬融曰、言用不習民、使之攻戰、必破敗、是謂棄之也、

馬融カ曰ク、言ハ習ハ不^レル民ヲ用テ、之ヲ使テ攻メ^テ戰ハ使ムルトキハ、必ス破^レ敗^レル、是ヲ棄ツト謂フ、

(一) 「曰」、武内本作「云」。

(二) 「餒」、武内本作「餒」。

(三) 「也」、武内本無此字。

論語憲問第十四 何晏集解^三

(一) 「解」下、武内本有「凡卅四章」四字(小字單行)、別行跳格有「疏」字。

【疏】

憲者弟子原憲也、問者問於孔子進任之法也、所以次前者、顔路既允文允武、則學優者、宜任、故憲問次於子路也、

憲ハ弟^一子原憲ナリ、問トハ孔子ニ進^一仕^一ノ法ヲ問フ、前ニ次ツル所^一以^一ハ、顔路ハ既ニ允^二文^二允^二武^二ナリ、則チ學テ^一優^ユル者ハ、宜ク仕^フ宜シ、故ニ憲問ヲ子路ニ次ツ、

【經】

憲問恥、

憲恥ヲ問フ、

【疏】

弟子原憲問孔子凡行事、最爲可恥者也、

弟^一子原^一憲孔子ニ凡ソ事ヲ行フニ、最モ恥ツ可シト爲^スル者

ヲ問フ、

【經】

子曰、邦有道穀、

子ノ^{のたまは}曰ク、邦道有ルトキハ穀^(ル穀)ス、

【疏】

答可恥事也、將言可恥者、先舉不恥者也、穀祿也、若有道則、以可仕而食其祿也、

恥ツ可キ事ヲ答フ、將ニ恥ツ可キ者ヲ言ハント將、先ツ恥チ^ス不^ル者ヲ舉ク、穀ハ祿ナリ、若シ道有ル^ト則^ハ、仕^ヘテ其ノ祿ヲ食ム可シ、

【注】

孔安國曰、穀祿也、邦有道、當食其祿也、

孔安國カ曰ク、穀ハ祿、邦道有ルトキハ、當ニ其ノ祿ヲ食ム^ハ當シ、

【經】

邦無道穀恥也、

邦道無キトキニ穀スルハ恥ナリ、

【疏】

此可恥者、若君無道、而仕食其祿、則可爲恥也、

此レハ恥ツ可キ者ナリ、若シ君無道ニシテ、仕テ其ノ祿ヲ食ム、則ハ恥ト爲可シ、

【注】

孔安國曰、君無道、而在其朝、食其祿、是恥辱也、

孔安國カ曰ク、君道無キトキニシテ、其ノ朝ニ在テ、其ノ祿ヲ食ムハ、是レ恥辱ナリ、

【經】

克、伐、怨、欲、不行焉、可以爲仁矣、

克、伐、怨、欲、行ハレ不ルヲハ、仁ト爲可シヤ、

【疏】

克勝也、謂性好凌人也、伐謂有功而自稱、怨謂小小忌怨、欲貪欲也、原憲又問、若人能不行此四事、可以得爲仁也、

克ハ勝ナリ、性好テ人ヲ凌クヲ謂フ、伐トハ功有テ自稱スルヲ謂フ、怨トハ小ノ小ノ忌怨ヲ謂フ、欲ハ貪欲ナリ、原憲又問フ、若シ人能ク此ノ四事ヲ行ハレ不シハ、仁ト爲ルコトヲ得可シヤ、

【注】

馬融曰、尅好勝人也、伐自伐其功也、怨忌小怨也、欲貪也、

馬融カ曰ク、尅ハ人ニ勝ンコトヲ好ムソ、伐ハ自其ノ功ニ伐ルソ、怨ハ忌、小怨ソ、欲ハ貪欲ソ、

【經】

子曰、可以爲難矣、仁則吾不知也、

子曰ク、難シト爲可シ、仁ハ則チ吾知ラ不、

【疏】

孔子不許、能不行前四事、則爲難耳、謂爲仁、則非吾所知也、仁者必不伐。不伐必有仁、顏淵無伐善、夷齊無怨、老子曰、少私寡欲、此皆是仁也、公綽之不欲、孟之反不伐、原憲蓬室、不怨則未及於仁、故不知也、

孔子許サ不、能ク前ノ四ノ事ニ行ハレ不ルハ、則チ難シト
ル爲ル耳、謂テ仁ト爲ルコトハ、則チ吾知ル所ニ非ス、
仁者ハ必ス伐ラ不。伐ラ不シテ、必ス仁有ルハ、顏淵善
ニ伐ルコト無シ、夷齊怨ルコト無シ、老子ノ曰ク、私
少ク欲寡シ、此レハ皆是レ仁ナリ、公綽カ不欲、孟之反
カ不伐(伐ラ不)、原憲カ蓬室、怨ミ不ルモ則チ未タ仁
ニ及ハ未、故ニ知ラ不、

【注】

荀氏曰、此四者、行之難者、未足以爲仁也、

荀氏カ曰ク、此ノ四ノ者ハ、行ノ難キ者ナリ、未タ仁ト爲
ルニ足ラ未、

(一) 「故」下、武内本有「云」字。

【經】

子曰、士而懷居、不足以爲士矣、

子曰ク、士トシテ居ヲ懷ニスルハ、士ト爲ルニ足ラ不、

【疏】

懷居、猶求安也、不足爲士、謂非士也、君士也、君子居無
求安、士也、若懷居非爲士也、

居ヲ懷ニスルトハ、安ヲ求ルトイハンカ猶シ、士ト爲ルニ
足ラ不トハ、士ニ非ルヲ謂フ、君士也、君子ハ居安カラ
ント求ムル無キハ、士ナリ、若シ居ヲ懷ンセハ士ト爲ルニ
非ス、

【注】

士當志道、不求安、而懷其居、非士也、

士ハ當ニ道ニ志シテ、安ヲ求メ不ル當シ、而ルヲ其ノ居
ヲ懷ニスルハ、士ニ非ス、

(一) 「求」上、武内本有「居」字。

(二) 「君士也」、武内本無此三字。

【經】

子曰、邦有道、危言危行、

子ノ曰ク、邦道有ルトキハ、言ヲ危シフシ行ヲ危ス、

【疏】

危厲也、君若有道、必以正理處人、故民以可得嚴厲其言行也、

危ハ厲ナリ、君若シ道有ルトキハ、必正理ヲ以テ人ニ處ス、故二民以其ノ言行ヲ嚴厲スルコトヲ得可シ、

【注】

荀氏曰、危厲也、邦有道、可以厲言行也、

荀氏カ曰ク、危ハ厲、邦道有ルトキハ、以テ言行ヲ危シフス可シ、

【經】

邦無道、危行言遜、

邦道無キトキハ、行ヲ危シ言遜フ、

【疏】

君若無道、必以非理罪人、故民下所行、乃嚴厲不同亂俗、而言不可厲、厲必獲罪。當遜順隨時也、江熙曰、仁者豈以歲寒、虧貞松之高志、於言語可以免害、知者愈深、孔子曰、諸吾將仕矣、此皆遜辭以遠害也、

君若シ無道ナルトキハ、必ス非理ヲ以テ人ヲ罪ス、故二民下ノ行フ所、乃チ嚴厲ニシテ亂俗ニ同カラズ、而シテ言ハ厲ス可_ヘ不_ス、厲スルトキハ、必_カ罪ヲ獲_ル、當_レ二遜順ニシテ時ニ隨フ當シ、江熙カ曰ク、仁者ハ豈ニ歲寒ヲ以テ、貞松ノ高志ヲ虧カンヤ、言語ニ於テ以テ害ヲ免ル可シ、知者ノ愈_ニ深キナリ、孔子ノ曰ク、諸吾レ將ニ仕ヘント將_ニ、此レ皆遜辭ヲ遜ヘテ害ニ遠ルナリ、

【注】

遜順也、厲行不隨俗、順言以遠害也、

遜ハ順ナリ、行ヲ厲フシテ俗ニ隨ハ_ス不_ス、言ヲ順ニシテ害ニ遠ル、

(一) 「曰」、武内本作「云」。

(二) 「知者」、武内本作「志知」。

【經】

子曰、有德者必有言、

子ノ曰ク、徳有ル者ハ必ス言有リ、

【疏】

既有德則、其言語必中、故必有言也、

既ニ徳有ル則ハ、其ノ言語必ス中タル、故ニ必ス言有リ、

【注】

徳不可以憶中、故必有言也、

徳ハ憶リテ中ツ可^ヘ不^カス、故ニ必ス言有リ、

【疏】

夫徳之爲事、必先有言語、教諭然後其徳成、故有徳者、必有言、有言是不可憶中度也、

夫レ徳ノ事爲ルコト、必ス先ツ言ハ語有テ、教ヘ諭シテ然シテ後ニ其ノ徳成ル、故ニ徳有ル者ハ、必ス言有リ、

ルコト是レ憶^{オモ}度ス可^ヘラ不^レトモ度ニ中タル、

【經】

有言者、不必有徳、

言有ル者ハ、必ス徳有ラ不^ス、

【疏】

人必多言、故不必有徳也、殷仲湛曰、修理蹈道、徳之義也、由徳有言、言則未^ミ矣、末可矯、而本無假、故有徳者、必有言、有言者、不必有徳也、李充曰、甘辭利口、似是而非者、佞巧之言也、敷陳成敗、合連縱橫者、說客之言也、凌誇之談、多方論者、辨士之言也、德音高合發、爲明訓、聲滿天下、若出全有徳之言也、故有徳必有言、有言不必有徳也、

人必ス多^ク言ナルトキハ、故ニ必ス徳有ラ不^ス、殷仲湛カ曰ク、理ヲ修メ道ヲ蹈ムハ、徳ノ義ナリ、徳ニ由テ言有リ、言ハ則チ末ナリ、末ハ矯ル可シ、本ハ假ルコト無シ、故ニ有^リ徳ハ、必ス言有リ、言有ル者ハ、必ス徳有ラ不^ス、李充カ曰ク、甘^ク辭利^ク口ハ、是ニ似テ非ナル者ナリ、佞巧ノ言ナリ、成^リ敗ヲ敷^キ陳^スシテ、縱橫ヲ合連

スル者ハ、説客ノ言ナリ、凌誇（凌キ誇ル）ノ談、方論多キ者ハ、辨士ノ言ナリ。德音高ク合（合ヒ）ハ、明訓（訓）爲リ、聲天下ニ滿ツ、若シ出ルトキハ、全キハ有（有）徳ノ言ナリ、故ニ有（有）徳ハ必ス言有リ、言有ルモノハ、必（必）徳有ラズ、

【經】

仁者必有勇、

仁者ハ必ス勇有リ、

【疏】

殺身成仁、故必有勇也、

身ヲ殺シテモ仁ヲ成ス、故ニ必ス勇有リ、

【經】

勇者不必有仁、

勇者ハ必ス仁有ラズ、

【疏】

暴虎馮河、不必有仁也、殷仲湛曰、誠愛無私、仁之理也、見危授命、若身手之相救焉、存道忘生、斯爲仁矣。若夫強以肆武、勇以勝物、陵超、在於要利輕死、元非以爲仁、故云仁者必有勇。勇者不必仁、李充曰、陸行不避虎兇者、獵夫之勇也、水行不避蛟龍者、漁父之勇也、鋒刃交於前、視死若生者、烈士之勇也。知窮之有命、知通之有時、臨大難、而不懼者、仁者之勇也、故仁者必有勇。勇者不必有仁、

暴虎馮河ハ、必ス仁有ラズ、殷仲湛方曰ク、誠ニ愛シテ私無キハ、仁ノ理ナリ、危ヲ見テ命ヲ授ルコト、身手ノ相ヒ救カ若シ、道ヲ存シテ生ヲ忘ス、斯レ仁ヲ爲ルナリ。若シ夫レ強ニシテ以テ武ヲ肆ニシ、勇ニシテ以テ物ニ勝チ、陵キ超ルハ、利ヲ要シ（要メ）死ヲ輕ンスルニ在リ、元仁ヲ爲ルニ非ス、故ニ云ク仁者ハ必ス勇有リ。勇者ハ必ス仁アラズ、李充方曰ク、陸行シテ虎兇ヲ避ケ不ルハ、獵夫ノ勇ナリ、水行シテ蛟（蛟）龍ヲ避ケ不ルハ、漁父ノ勇ナリ、鋒刃前ニ交テ、死ヲ視テ生ノ若クスル者ハ、烈士ノ勇ナリ。窮ノ命有ルコトヲ知り、通ノ時有ルコトヲ知テ、大難ニ臨テ、懼レ不ルハ、仁者ノ勇ナリ、故ニ仁者ハ必ス勇有リ。勇者ハ必ス仁

有ラ^ス不、

- (一) 「度」、武内本作「事」。
- (二) 「殷仲堪曰」、武内本作「殷仲堪云」、下同。
- (三) 「末」、武内本作「未」、下同。
- (四) 「合連縱橫」、武内本作「合縱連橫」。
- (五) 「曰」、武内本作「云」。
- (六) 「刃」、武内本作「刃」。
- (七) 「仁」下、武内本有「也」字。

【經】
南宮适

南宮^{クワフ}适

【疏】
性南宮。名适。字敬叔

性ハ南宮。名ハ适。字ハ敬叔

【注】

孔安國曰、适南宮敬叔。魯大夫也、

孔安國カ曰ク、适ハ南宮敬叔。魯ノ大夫ソ、

【經】
問於孔子曰、羿善射、奡盪舟、

孔子ニ問テ曰ク、羿善ク射、奡舟ヲ盪ス、

【疏】

适問孔子之事也、曰古有一人、名羿而善能射、故云羿善射、淮南子云、堯時有十日、竝出、草木焦枯、堯命羿令射之、中其九日、日中鳥皆死焉、奡者古時多力人也、盪推也、舟船也、能陸地推舟也、

适カ孔子ニ問フノ事ナリ、曰ク古ニ一人有リ、名ハ羿而シテ善^{ユク}能射^{ユマイ}ル、故ニ云ク羿善ク射ルト、淮南子ニ云ク、堯ノ時十ノ日有リ、竝ヒ出テ、草木焦^{シヨフ}(堯)枯ス、堯羿ニ命シテ之ヲ射サ令ム、其ノ九ノ日ニ中ツ、日ノ中ノ鳥皆死ス、奡ハ古ノ時ノ多力ノ人ナリ、盪ハ推ナリ、舟ハ船ナリ、能ク陸地ニ舟ヲ推ス、

【注】

孔安國曰、羿有窮之君也、

孔安國カ曰ク、羿ハ有窮ノ君、

【疏】

有窮夏時諸侯國名也、其君名羿也、

有窮ハ夏ノ時ノ諸侯ノ國ノ名ナリ、其ノ君名ハ羿、

【注】

篡夏后相之位、

夏后相ノ位ヲ篡フ、

【疏】

篡奪也、夏后禹之後世爲天子、名相即位爲君、有窮之君篡夏后相之位、殺奪也、

篡ハ奪ナリ、夏后ハ禹ノ後世ニ天子爲リ、名ハ相位ニ即イテ君爲リ、有窮ノ君夏后相ノ位ヲ篡ヘリ、殺シテ奪フソ、

【注】

其臣寒泥殺之、

其ノ臣寒泥之ヲ殺シツ、

【疏】

羿奪相位、而自立爲君、其位號有窮之君、不修德政、好畋獵、臣寒泥殺之、而篡其位、

羿相ノ位ヲ奪テ、自立シテ君爲リ、其ノ位ヲ有窮ノ君ト

號ス、德一政ヲ修メ不畋獵ヲ好ム、臣寒泥之ヲ殺シテ、其ノ位ヲ篡ム、

【注】

因其室而生稟、

其ノ室ニ因テ稟ヲ生メリ、

【疏】

因猶通也、室妻也、泥既殺羿而通於羿妻、遂有孕生稟、

因ハ通ノ猶シ、室ハ妻ナリ、泥既ニ羿ヲ殺シテ羿カ妻ニ通シテ、遂ニ孕ムコト有テ稟ヲ生メリ、

【注】 稟多力、能陸地行舟、

稟多力ニシテ、能ク陸地ニ舟ヲ行ル、

【經】 俱不得其死然、

俱ニ其ノ死然ヲ得不^ス、

【疏】 稟是泥之子、多力於陸地推舟、

【疏】 言羿稟二人雖能射及多力、俱爲人所殺、不終天壽、故云俱不得其死然、

稟ハ是レ泥カ子、多力ニシテ陸地ニ於テ舟ヲ推ス、

【注】 爲夏后少康所殺也、

【注】 一言ハ羿稟ノ二人能ク射及ヒ多力ナリト雖、俱二人ノ爲ニ殺サ所^ル、天ノ壽ヲ終ヘ不^ス、故ニ俱ニ其ノ死然ヲ得不^スト云フ、

夏后少康ノ爲ニ殺サ所^ル、

【注】 孔安國曰、此二子者、皆不得以壽終也、

【疏】 夏后少康亦夏禹後世子孫、又殺稟、而自立爲天子也、

孔安國カ曰ク、此ノ二子ハ、皆壽ヲ以テ終ルコトヲ得不^ス、

夏后少康ハ亦夏ノ禹後一世ノ子孫ナリ、又稟ヲ殺シテ、自立シテ天子爲リ、

【經】 禹稷躬稼而有天下、

禹稷躬稼シテ天下ヲ有ツ、

【疏】

禹夏禹。禹帝姓姒。名文命、黃帝玄孫也、鯀之子、謚法受禪成功曰禹、治水九年也、稷后稷。事舜蒔百穀也、躬稼播種也、有天下謂爲天子也、言禹身治溝洫、手足胼胝、勤勞九州、稷播種百穀、二人不爲篡、竝有德爲民、禹即身爲天子、稷子孫爲天子、适所問孔子者、孔子之德比於禹稷則、孔子亦當必有王位、

禹ハ夏ノ禹。禹帝姓ハ姒。名ハ文命、黃帝ノ玄孫ナリ、鯀カ子ナリ、謚ノ法ニ禪ヲ受テ功ヲ成スヲ禹ト曰フ、水ヲ治ムルコト九年、稷ハ后稷。舜ニ事テ百穀ヲ蒔ウ、躬稼スルトハ播シ種ルソ、天ト下ヲ有ツヲ天子爲リト謂フ、言ハ禹身ヲ溝洫ヲ治テ、手足胼胝(胼)一胝(胝)シテ、九州ニ勤勞ス、稷ハ百穀ヲ播シ種フ、二人篡フコトヲ爲サズ、竝ニ德有テ民ノ爲ニス、禹ハ即チ身天子爲リ、稷ハ子孫天子爲リ、适カ孔子ニ問フ所ハ、孔子ノ德ヲ禹稷ニ比スレハ、孔子亦當ニ必ス王位ヲ有ツ當シ、

【經】

夫子不答、

夫一子答へ不、

【疏】

孔子知适以禹稷比己、故謙而不答也、

孔子适カ禹稷ヲ以己ニ比スルコトヲ知テ、故ニ謙シテ答セ不、

【注】

馬融曰、禹盡力於溝洫、稷播殖百穀、故曰躬稼也、禹及其身、

馬融カ曰ク、禹ハ力ヲ溝洫ニ盡ス、稷百穀ヲ播殖ウ、故ニ躬稼スト曰フ、禹ハ其ノ身ニ及ヘリ、

【疏】

禹身得天子也、

禹ハ身天子ヲ得タリ、

【注】

稷及後世、

稷ハ後_レ世ニ及ヘリ、

【疏】

文王武王得天下也、

文王武王天_レ下ヲ得、

【注】

皆王也、

皆王タリ、

【疏】

皆爲天子也、

皆天_レ子爲リ、

【注】

适意欲以禹稷比孔子、孔子謙、故不答也、

适カ_レ意禹稷ヲ以孔子ニ比セマク欲ス、孔子謙ス、故ニ答ヘ不_ス、

【經】

南宮适出、

南宮适出テヌ、

【疏】

孔子不答、适自退出、

孔子答ヘ不_ス、适_{ミツカ}自退キ_レ出ツ、

【經】

子曰、君子哉若人、尚德哉若人、

子ノ曰ク、君子ナル哉_{カチカクコト}。若_{ヒト}キ_レ人、徳ヲ尚フ哉_{カチカクコト}。若_{ヒト}キ_レ人、

【疏】

孔子不對面答是謙也、适出後而美之、欲天下皆知尚徳也、若人如此人也、言适知賤於羿奭、貴重禹稷、所以君子、尚徳、如此人也、

孔子對_レ面ニ适ニ答ヘ不_ルハ是_レ謙ナリ、适出テ_レ後之ヲ美_ホ

メテ、天下ニ皆德ヲ尚フコトヲ知ラシメント欲ス、若一人ハ如一人ナリ、言ハ适羿稷ヲ賤シテ、禹稷ヲ貴重スルコトヲ知ル、所以ニ君子ナルカナ、德ヲ尚フカナ、此ノ如キ人トイフ、

【注】

孔安國曰、賤不義、

孔安國カ曰ク、不義ヲ賤ンシテ、

【疏】

羿稷之不義、故适賤之、

羿稷不義ナリ、故二适之ヲ賤ス、

【注】

而貴有德、

有德ヲ貴フ、

【疏】

禹稷有德、故貴重也、

禹稷德有リ、故二貴重ス、

【注】

故曰君子也、

故二君子ト曰フ、

【疏】

然就此南官适非周有士之南官适也、

然ルニ此ノ南官适ニ就クニ周ノ士ノ南官适ニ有ルニ非ス、

(一) 「性」、武内本作「姓」。

(二) 「曰」、武内本作「云」。

(三) 「焦」、武内本作「焦」。

(四) 「也」、武内本作「之」。

(五) 「畋」、武内本作「田」。

(六) 「夏后」、武内本無此二字。

(七) 「也」、武内本無此字。

(八) 「足」下、武内本有「時」字。

(九) 「孔」上、武内本有「以」字。

(一〇)「位」下、武内本有「也」字。

【經】

子曰、君子而不仁者有矣夫、

子ノ曰ク、君子ニシテ仁アラ^キ不^ル者有ラン、

【疏】

此謂賢人已下、不仁之君子也、未能圓足、時有不仁、如管氏有三歸、官事不攝、後則一匡天下、九韜諸侯、是長也、袁氏云、此君子無定名也、利仁慕爲仁者、不能盡體仁、時有不仁一迹也、夫語助也、

此レハ賢一人已下、不仁ノ君子ヲ謂フ、未タ圓足スルコト能ハ未、時ニ不仁有リ、管氏カ三歸有リ、官ノ事攝セ^ズ不^ルカ如シ、後ニ則チ一タヒ天^下ヲ匡^シフシテ、九タヒ諸侯ニ韜タリ、是レ長ナリ、袁氏カ云ク、此ノ君子ハ定マル名無シ、仁ヲ利トシテ仁ヲ爲ルコトヲ慕フ者ハ、盡^スニ仁ヲ體スルコト能ハ不、時ニ不仁ノ一迹有リ、夫ハ語ノ助ナリ、

【經】

未有、小人而仁者也、

未^タ有^ラ未、小人ニシテ仁アル者ハ、

【疏】

小人併爲惡事、未能有行民善達於仁道、故云而仁者也、又袁氏曰、小人性不及仁道、故不能及仁事者也、

小人ハ併シナカラ惡事ヲ爲ス、未タ民ヲ行フコト有テ善ク仁道ニ達スルコト能ハ未、故ニ云ク而仁者也ト、又袁氏カ曰ク、小人ハ性仁道ニ及ハ不、故ニ仁ノ事ニ及フコト能ハ不^ル者ナリ、

【注】

孔安國曰、雖曰君子、猶未能備也、

孔安國カ曰ク、君子ト曰フト雖モ、猶ヲ未タ備ナルコト能ハ未、

【疏】

王弼云、謂假君子、以甚小人之辭、君子無不仁也、

王弼カ云ク、謂ル君一子ヲ假テ、小一人ヲ甚ハナハタシフスルノ辭ナリ、君一子ハ仁アラ不トイウコト無シ、

(一) 「而」上、武内本有「未有小人」四字。

【經】

子曰、愛之能勿勞乎、

子ノ曰ク、愛セハ能ク勞スルコト（勞フ）勿ランヤ、

【疏】

愛慕也、凡人在志在心、見形於外也、既有心愛慕、此人學問之道、不無勞賴之辭也、

愛ハ慕ナリ、凡ソ一人志在テ心ニ在ルトキハ、外ニ見レアラム形ル、既ニ心有テ此ノ人學問ノ道ヲ、愛慕セハ、勞アラス（勞）一賴ヨル（賴）ノ辭無クンハ不、

【經】

忠焉能勿誨乎、

忠セハ能ク誨ウルコト勿ランヤ、

【疏】

忠者盡中心也、誨教也、有人盡忠心、來者不無教誨之辭、

忠トハ中心ヲ盡スソ、誨ハ教ナリ、人有リ忠、心ヲ盡シテ、來ラハ教一誨ノ辭無クンハ不、

【注】

孔安國曰、言人有所愛、必欲勞來之、有所忠、必欲教誨之也、

孔安國カ曰ク、言ハ人愛スル所有ルトキハ、必ス之ヲ勞來セマク欲ス、忠スル所有ルトキハ、必ス之ヲ教一誨セマク欲、

【疏】

李充曰、愛志不能不勞心、盡忠不能不教誨、

李充カ曰ク、志ヲ愛セハ能ク心ヲ勞セ不アラヌハ不、忠ヲ盡サハ能ク教誨セ不アラヌハ不、

(一) 「在」、武内本作「有」。

(二) 「忠」、武内本作「中」。

(三) 「辭」下、武内本有「也」字。

【經】
子曰。爲命、

子ノ曰ク。命爲ルトキニ、

【疏】
爲作也、命君命也、此謂鄭國之事也、作盟會之書也、

爲ハ作^{サク}、命ハ君一命ナリ、此レハ鄭一國ノ事ヲ謂フ、盟一會
ノ書ヲ作ルソ、

【經】
裨諶草創之、

裨諶^{ヒシ}草創^{サク}(創^{ハシム})ス、

【疏】
裨諶鄭國大夫、性靜怯弱、謂其君作盟會之辭、則入於草野
之中、以創之獲之、

裨諶ハ鄭國ノ大夫、性靜ニシテ怯^{カウ}(怯^イ)弱ナリ、謂ル
其ノ君盟一會ノ辭ヲ作ラシムル、則ハ草野^{ハシム}ノ中ニ入テ、
之ヲ創^{ハシム}メテ之ヲ獲^ウ、

【注】
孔安國曰、卑諶鄭大夫氏名也、謀於野則獲、謀於國則否、

孔安國カ曰ク、卑諶ハ鄭ノ大夫ノ氏名ソ、野ニ謀ル則ハ
獲^ウ、國ニ謀ル則ハ否^エス、

【疏】
此注是春秋十九卷、魯襄公三十一年傳語也、獲得也、諶入
野、爲盟會之辭、則成、於國中、則辭不成也、

此ノ注ハ是レ春秋ノ十九ノ卷、魯ノ襄公三十一一年ノ傳
ノ語ナリ、獲ハ得ナリ、諶野ニ入テ、盟一會ノ辭ヲ爲ル^{ツク}、
則ハ成ル、國中ニ於テスル、則ハ辭ハ成ラ^ス不、

【注】
鄭國將有諸侯之事則、使乘車以適野、而謀作盟會之辭也、

鄭國將ニ諸侯ノ事有^{コト}ラント將ル則ハ、車ニ乘シテ野ニ適^{ユキ}

テ、盟會ノ辭ヲ謀ヲ作セ使ム、

【經】

世叔討論之、

世叔タラ討ト論ス、

【疏】

世叔亦是鄭大夫也、討治也、論者評也、世叔有不能草創、學問寡才藻、盟會之辭、但能討論治正、謀三所造之辭、

世叔モ亦是またレ鄭ノ大夫ナリ、討ハ治ナリ、論ハ評ナリ、世叔草一創スルコト能ハなハなルコト有リ、學問才一藻寡シ、盟會ノ辭、但タ能ク討一論治一正シテ、造ル所ノ辭ヲ謀ル、

【經】

行人子羽修飾之、

行一人子羽修一飾ス、

【疏】

子羽亦鄭大夫。行人是掌使者、官名也、不能治創四、又不能

討治五、但能取前人所創治者、更唯彫修飾之、

子羽モ亦鄭またノ大夫ナリ。行人ハ是レ使一者ヲ掌ツカサトル、官ノ名ナリ、治メ一創ルコト能ハなハなス、又討治スルコト能ハなハなス、但タ能ク前一人ノ創メ一治ル所ノ者ヲ取テ、更ニ唯タ彫修シテ之ヲ飾ル、

【經】

東里子產潤色之、

東里ノ子產潤一色ス、

【疏】

居鄭之東里、因爲氏姓、又公孫僑名亦曰國僑字子產。才學過超前之三賢、加添潤色、周旋盟會之辭也、有此四賢、鮮有過失、

鄭ノ東里ニ居ル、因テ氏一姓ト爲ス、又ハ公孫僑名ハ亦國僑ト曰フ字ハ子產。才學前ノ三一賢ニ過スキ一超ヘタリ、潤色ヲ加ヘ一添ヘ、盟會ノ辭ヲ周一旋ス、此ノ四一賢有リ、過一失有ルコト鮮スシ、

【注】

馬融曰、世叔鄭大夫游吉也、討治也、卑謹既造謀、世叔復治而論之、詳而審之也、行人掌使之官也、子羽公孫揮也、子產居東里、因以爲號也、更此四賢、而成、故鮮有敗事也、

- (三) 「謀」、武内本作「謹」。
- (四) 「治」、武内本作「始」。
- (五) 「但」、武内本無此字。
- (六) 「所」、武内本無此字。
- (七) 「唯」、武内本無此字。

馬融カ曰ク、世叔ハ鄭ノ大夫游吉ソ、討ハ治、卑謹既ニハカクテ、謀ヲ造ス、世叔復タ治メテ之ヲ論シテ、詳ニシテ之ヲ審ニス、行人ハ使ヲ掌ルノ官ソ、子羽ハ公孫揮ナリ、子產ハ東里ニ居ル、因テ號ト爲、此ノ四賢ヲ更ヘテ、成ス、故ニ敗事有ルコト鮮シ、

【經】
或問子產

或ヒト子產ヲ問フ

【疏】

或人問於孔子。鄭之子產德行於民何如、

或ル人孔子ニ問フ。鄭ノ子產德行民ニ於テ何如、

【疏】

更經也、鮮少也、事經此裨諶等之四人也、故鄭國少有敗事也、

更ハ經ナリ、鮮ハ少ナリ、事此ノ裨諶等ノ四人ヲ經、故ニ鄭國敗事有ルコト少シ、

【經】

子曰。惠人也、

子ノ曰ク、惠人ナリ、

(一) 「氏」、武内本無此字。

(二) 「春秋十九卷」、武内本用括號圍此五字、以爲後人旁記之詞。

【疏】

答或人也、言子産之德、於民不吝家資、拯救於民、甚有恩惠、故云惠人也、

或ル^ス人ニ答フ、言^{いふ}ハ子産カ徳、民ニ於テ家^ヲ資^ヲ吝マ^フ不、民ヲ拯^ス（拯^ス）救ス、甚タ恩^ハ惠^{ナリ}有リ、故ニ惠^ハ人ト云フ、

【注】

孔安國曰、惠愛也、子産古之遺愛也、

孔安國カ曰ク、惠ハ愛、子産ハ古ノ遺^レ愛ナリ、

【疏】

子産徳行流於後世、有古人之遺風、子産卒、仲尼聞之出涕曰、古之遺愛也、事在春秋第二十四卷、魯照公廿四年冬也、

子産カ徳^ハ行^ハ後^ニ世^ニ流^ルハル、古^ハ人^ノ遺^レ風^{ナリ}有リ、子産卒ス、仲尼之ヲ聞テ涕ヲ出シテ曰ク、古ノ遺^レ愛ナリ、事ハ春秋第二十四卷、魯ノ照公廿四年ノ冬ニ在リ、

【經】

問子西

子西ヲ問フ

【疏】

或人又問孔子鄭之大夫子西德業如何、鄭之公孫夏、或云楚令尹子西。

或ル^ス人又孔子ニ鄭ノ大夫子西カ德業如何ト問フ、鄭ノ公孫夏ナリ。或ハ云ク楚ノ令尹子西ト。

【經】

曰。彼哉彼哉、

曰ク、彼^カヲサ^ヘ哉^ヤ、彼^カヲサ^ヘ哉^ヤ、

【疏】

又答或人、言人自是彼人耳、無別行可稱也、

又或ル^ス人ニ答フ、言^{いふ}ハ人^ハ自^ラ是^レ彼^ノ人^耳、別^レ行^ハノ稱^ス可^キ無^シ、

【注】

馬融曰、子西鄭大夫、彼哉彼哉、言無足稱也、或曰楚令尹子西也、

馬融カ曰ク、子西ハ鄭ノ大夫ナリ、かれをさへ彼かれをさへ哉やトハ、いふこと言ハ稱スルニ足ルコト無キノ、或ハ曰ク楚ノ令尹子西ト、

【經】

問管仲、

管仲ヲ問フ、

【疏】

更或人問孔子齊大夫管仲之德行於民何如也④矣、

更ニ或ル人孔子ニ齊ノ大夫管仲カ德行民ニ於テ何イカント如ト問フ、

【經】

曰。人也、

ノたまは曰ク。人ナリ、

【疏】

⑤答管仲是人也、

管仲ハ是レ人ナリト答フ、

【注】

猶詩言所謂伊人也、

なほ猶シ詩ニ謂ハ所ル伊イノ人ト言フカ猶シ、イ

【疏】

詩曰⑥、所謂伊人於焉逍遙、是美此人、今云管仲人也、是美管仲也、

詩ニ曰ラク、謂ハ所ル伊イノ人焉ココニ於テ逍遙ス(逍遙ム)、是レハ此ノ人ヲ美ム、今管仲ハ人ナリト云フ、是レ管仲ヲ美ナリ、

【經】

奪伯氏駢邑三百、

伯氏駢邑三百ヲ奪ツ、

【疏】

釋所以是人之事也、伯氏名偃。大夫、駢邑者、伯氏所食采邑也、時伯氏有罪、管仲相齊削奪伯氏之地、三百家也、

是レ人ナリトイフ所以ノ事ヲ釋ス、伯氏名ハ偃。大夫ナリ、駢邑ハ、伯氏カ食ム所ノ采邑ナリ、時ニ伯氏罪有リ、管仲齊ニ相トシテ伯氏カ地、三百家ヲ削リ奪フ、

【經】

飯蔬食没齒、無怨言、

蔬食ヲ飯シテ(飯ツテ)齒ヲ没レトモ、怨ムル言無シ、

【疏】

飯猶食也、蔬猶麤也、没終、齒年也、伯氏食邑時、家資豊足、奪邑之後、至死而貧、但食麤糲、以終餘年、不敢有怨言也、所以然者、明管仲奪當理。故不怨也、

飯ハ食ノ猶シ、蔬ハ麤ノ猶シ、没ハ終ナリ、齒ハ年ナリ、伯氏邑ヲ食ム時ハ、家資豊足ス、邑ヲ奪ハレテ後、死ニ

至ルマテ貧シ、但ニ麤糲(糲)ヲ食テ、餘年ヲ終フ、敢テ怨ムル言有ラ不、然ル所不、明ケシ管仲カ奪フコト理ニ當ルコトヲ。故ニ怨ミ不、

【注】

孔安國曰、伯氏齊大夫、駢邑地名也、齒年也、伯氏食邑三百家、管仲奪之、使至蔬食而没齒、無怨言、以當其理故也、

孔安國カ曰ク、伯氏ハ齊ノ大夫、駢邑ハ地ノ名ソ、齒ハ年、伯氏カ食邑三百家ヲ、管仲之ヲ奪テ、蔬食シテ齒ヲ没ルニ至ラ使ムレトモ、怨ムル言無シ、其ノ理ニ當タルヲ以テノ故ナリ、

(一) 「第二十四卷」、武内本用括號圍此五字、以爲後人旁記之詞。

(二) 「照」、武内本作「昭」。

(三) 「廿」、武内本作「二十」。

(四) 「何如」、武内本作「如何」。

(五) 「答」下、武内本有「云」字。

(六) 「曰」、武内本作「云」。

(七) 「奪」下、武内本有「之」字。

【經】
子曰、貧而無怨難、

子ノ曰ク、貧シテ怨ルコト無キハ難ク、

【疏】
貧交困於飢寒、所以有怨、若能無怨者、則爲難矣、江熙曰、顏原無怨、不可及也、

貧トキハ交飢寒ニ困ム、所以ニ怨ミ有リ、若シ能ク怨ミ無キ者ハ、則チ難シト爲、江熙カ曰ク、顏原怨ミ無シ、及フ可ラ不、

【經】
富而無驕易、

富テ驕ルコト無キハ易シ、

【疏】
富貴豊足、無所應怨、然應無驕、則爲易也、江熙曰、若子

貢不驕、猶可能也、

富貴豊足スルトキハ、怨ム應キ所無シ、然ルニ驕リ無カ
ル應キハ、則チ易シト爲、江熙カ曰ク、子貢カ驕ラ不ルカ
若キンハ、猶ヲ能クス可シ、

(一) 「江熙曰」、武内本作「江熙云」、下同。

【經】
子曰、孟公綽爲趙魏老則優、

子ノ曰ク、孟公綽趙魏老爲ル則ハ優ナリ、

【疏】
此明人生性分、各有所能、趙魏皆晉地也、老者采邑之室老也、優猶寬閑也、公綽性靜寡欲、若爲采邑之臣、時今則寬緩有餘裕也、

此レハ人ノ生性分、各能クスル所有ルコトヲ明ス、趙魏ハ皆晉ノ地ナリ、老トハ采邑ノ室老ナリ、優ハ寬閑ノ猶シ、公綽カ性靜ニシテ欲寡シ、若シ采邑ノ臣爲ラハ、時今則子貢緩ニシテ餘裕(裕)有ラン、

【經】
不可以爲藤薛大夫也、

藤薛ノ大夫爲ル可ラ不^ス、

【疏】

藤薛皆小國、職煩、公綽不能爲大夫也、

藤薛ハ皆小國ナリ。職^{ワツ}煩シ、公綽大夫爲ルコト能ハ
不^シ、

【注】

孔安國曰、公綽魯大夫也、趙魏皆晉卿也、家臣稱老、公綽
性寡欲、趙魏貪賢、

孔安國カ曰ク、公綽ハ魯ノ大夫ナリ、趙魏ハ皆晉ノ卿ナ
リ、家臣ヲ老ト稱ス、公綽カ性欲寡シ、趙魏ハ賢ヲ貪
ル、

【疏】

賢人多、職不煩雜、故家臣無事、所以優也、

賢人職ニ多フシテ、煩雜ナラ不^ス、故ニ家臣無事ニシ
テ、優ナル所以ナリ、

【注】

家老無職、故優、藤薛小國、大夫職煩、故不可爲也、

家老職無シ、故ニ優ナリ、藤薛ハ小國ニシテ、大夫ハ職
煩シ、故ニ爲可ラ不^ス、

【疏】

藤薛二國、不貪賢、賢人小、其職事煩雜、故不可使公綽爲
之、

藤薛ノ二國ハ、賢ヲ貪ラ不^ス、賢人小クシテ、其ノ職事
煩雜ナリ、故ニ公綽ヲ使テ之ヲ爲使ム可ラ不^ス、

(一) 「晉」下、武内本有「卿」字。

(二) 「臣」、武内本無此字。

(三) 「今」、武内本無此字。

(四) 「也」下、武内本有「矣」字。

(五) 「事」、武内本無此字。

【經】

子路問成人、

子路成人一人ヲ問フ、

【疏】

問人何所行徳可爲成人乎、

人何ノ行ノ所ノ徳アリテカ成人ト爲可キ乎ト問フ、

【經】

曰若臧武仲之知、

ノたまは
曰ク臧武仲力知、

【疏】

答、若徳成人者、智如臧武仲、然武仲唯有求立後於魯、而孔子所譏、此亦非知者、齊侯將與臧紇田。臧孫聞之、見齊侯、與之言伐晉、對曰、多則多矣、抑君似鼠、夫鼠晝伏夜動、不穴於寢廟、畏人故也、今君聞晉之亂、而後作焉、寧將事之、非鼠如何、乃弗與田、臧孫知齊侯將敗、不欲受其邑、故以比鼠欲使怒而止、仲尼曰、智之難也、有臧武仲之

知、謂能避齊過、而不容於魯國、抑有由也、作不順而施不怒也、夫夏書曰、念茲在茲、順事恕施也、此是智也、事在春秋第十七卷、襄公二十三年也、

答ナリ、徳成人ノ若キンハ、智臧武仲力如ケン、然ルニ武仲唯タ魯ニ後立テンコトヲ求ルコト有リ、而ルヲ孔子ノ譏ル所ナリ、此レ亦タ知者ニ非ス、齊侯將ニ臧紇ニ田ヲ與ヘント將、臧孫之ヲ聞テ、齊侯ニ見ユ、之與晉ヲ伐タシコトヲ言フ、對ヘテ曰ク、多ナルコトハ多ナリ、抑君ハ鼠ニ似リ、夫レ鼠ハ晝ハ伏シ夜ハ動ク、寢廟ニ穴ホラズ、人ヲ畏ルル故ナリ、今君晉ノ亂ヲ聞テ、而シテ後ニ魯ヲ作ス、寧キトキハ將ニ之ニ事ヘント將、鼠ニ非シテ如何、乃チ田ヲ與ヘ弗、臧孫齊侯ノ將ニ敗レント將ルコトヲ知テ、其ノ邑ヲ受ケンコトヲ欲セ不、故ニ以テ鼠ニ比シテ怒テ止メ使メマク欲ス、仲尼ノ曰ク、智ノ難キナリ、臧武仲力知有レトモ、能ク齊ノ過ヲ避ルコトヲ謂フ、而ルヲ魯國ニ容ラレ不ルコトハ、抑由有リ、不順ヲ作テ不_レ恕ヲ施セハナリ、夫レ夏書ニ曰ク、茲レヲ念コト茲ニ在リ、事ヲ順ニシテ恕テ施スナリ、此レハ是レ智ナリ、事ハ春秋ノ第十七ノ卷、襄公二十三年ニ在リ、

【注】

馬融曰、魯大夫臧孫紇也、

馬融カ曰ク、魯ノ大夫臧孫紇コソノ、

【經】

公綽之不欲、

公綽シヤクカ不_レ欲、

【疏】

非須智如武仲。又須無欲如公綽不欲不貪欲、所以唯能爲趙魏老也、范寧ノ曰、不欲不營財利也、

智モチウヲ須ルコト武仲カ如ナルノミニ非ス。又須ク無_レ欲公綽カ不_レ欲ニシテ貪_レ欲アラ不カ如クナル須シ、所以コソニ唯タ能ク趙魏ノ老爲リ、范寧カ曰ク、不_レ欲トハ財利ヲ營イトマ不ルナリ、

【注】

馬融曰、魯大夫孟公綽也

馬融カ曰ク、魯ノ大夫孟公綽ノ

【經】

卞莊子之勇、

卞莊子カ勇、

【疏】

又非但公綽之無欲、又須勇如卞莊子之勇、莊子能獨格虎、一云、卞莊子與家臣卞莊壽、途中見兩虎共食一牛、莊子欲前以劔揮之、家臣曰、牛者虎之美食、牛盡虎之未飽、二虎必鬪、大者傷、小者亡、然後可以揮之、信而言之、果如卞壽之言也、

又但タ公綽カ無_レ欲ノミニ非ス、又須ク勇卞莊子カ勇ノ如ナル須シ、莊子ハ能ク獨リ虎ヲ格ツ、一ニ云ク、卞莊子家_レ臣卞莊壽與、途_レ中ニ兩虎ノ共ニ一牛ヲ食ムヲ見ル、莊子前_ニシテ劔ヲ以テ之ヲ揮タント欲ス、家_レ臣ノ曰ク、牛ハ虎ノ美_レ食ナリ、牛_レ盡テ虎未タ飽カ未_レシハ、二虎必ス鬪ハン、大ナル者ハ傷ツキ、小シキナル者ハ亡ン、然シテ後ニ之ヲ揮ツ可シ、信トシテ之ヲ言フ、果タシテ卞壽カ言ノ如シ、

【注】周生烈曰、下邑大夫也、

周生烈カ曰ク、下邑シ大夫ソ、

【經】

冉求之藝、

冉求カ藝ノ若クニシテ、

【疏】

又非但勇如莊子。又須有智（三）如求也、

又タ但タ勇莊子カ如ナルノミニ非ス。又須ク智求カ如クナル有ル須シ、

【經】

文之以禮樂、

之ヲ文ルニ禮樂ヲ以テス、

【疏】

言備有上四人之才智、又須加禮樂、以文飾之也、

言ハ備ニ上ノ四一人ノ才智有テ、又須ク禮樂ヲ加ヘテ、之ヲ文リ飾ル須シ、

【注】

孔安國曰、加之以禮樂、文成也、

孔安國カ曰ク、之レニ加ルニ禮樂ヲ以テ、文リ成スソ、

【經】

亦可以爲成人矣、

亦タ成人ト爲可シ、

【疏】

亦可未足之辭、言才智如上四人、又加禮樂、則亦可謂爲成、明人之難也、

亦一可トハ未タ足ラ未ルノ辭ナリ、言ハ才智上ノ四一人ノ如ニシテ、又禮樂ヲ加ル、則ハ亦謂テ成ト爲可シ、明

ケシ人ノ難キコトヲ、

【經】

曰今之成人者、何必然、

曰ク今ノ成人ハ、何ソ必スシモ然ラン、

【疏】

曰者謂也、向之所答、是說古之成人耳、若今之成人、亦不必然也、

曰ハ謂ナリ、向ノ答ル所ハ、是レ古ノ成人ヲ説ク耳、今ノ成人ノ若キンハ、亦必シモ然ラズ、

【經】

見利思義、

利ヲ見テハ義ヲ思フ、

【疏】

此已下說下成人之法、是今也、若見財利、思是仁義、合宜之財、然後可取、顏特進曰、見利思義、雖不及公綽之

不欲、猶顧義也、

此レヨリ已下ハ成人ノ法ヲ説ク、是レハ今ナリ、若シ財利ヲ見テハ、是ニ仁義ヲ思フ、宜ニ合フノ財ニシテ、然シテ後ニ取ル可シ、顏特進カ曰ク、利ヲ見テハ義ヲ思フトス、公綽カ不_レ欲ニ及ハ不_レト雖モ、猶ヲ義ヲ顧ルナリ、

馬融曰、義然後取、不苟得也、

馬融曰、義然後取、不苟得也、

【注】

馬融曰、義然後取、不苟得也、

馬融カ曰ク、義アツテ然シテ後ニ取ル、苟モ得不_レ、

【經】

見危授命、

危キヲ見テハ命ヲ授ク、

【疏】

若見其君之危、則當授命竭身不苟免也、曲禮云、臨財無苟得、臨難無苟免、是也、顏特進曰、見危授命、雖不及下莊子之勇、猶顧義不苟免也、

子之勇、猶顧義不苟免也、

若シ其ノ君ノ危ヲ見テハ、則チ當ニ命ヲ授ケ身ヲ竭シテ
苟^{イヤシク}モ免レ不^スル當シ、曲禮ニ云ク、財ニ臨テ苟モ^レ得ルコ
ト無ク、難ニ臨テ苟モ免ルルコト無シト、是ナリ、顔特進
カ曰ク、危ヲ見テハ命ヲ授クトハ、卜^ス莊子カ勇ニ及ハ不^ト
雖、猶ヲ義ヲ顧テ苟モ^レ免レ不^ス、

【經】

久要不忘平生之言、

久^一要ニシテ平^一生ノ言ヲ忘レ不^ス、

【疏】

久要、舊約也、平生者、少年時也、言成人、平生期約、雖
久至今、不得忘^(一六)小時之言、

久^一要ハ、舊^一約ナリ、平^一生ハ、少^一年ノ時ナリ、言^ハ
成^一人ハ、平^一生約ヲ期ス、久^一シテ今ニ至ルト雖モ、小^一時
ノ言ヲ忘ルルコトヲ得^不ス、

【經】

亦可以爲成人矣、

亦成^一人ト爲^ス可シ、

【疏】

言如見利思義、竭身致命、至老不忘平生之言、則亦可得爲
今之成人也、

言^ハハ利ヲ見テハ義ヲ思ヒ、身ヲ竭シテ命ヲ致シ、老ニ
至ルマテ平^一生ノ言ヲ忘レ不^ルカ如キンハ、亦得テ今ノ成^一
人ト爲^ス可シ、

【注】

孔安國曰、久要舊約也、平生猶少時也、

孔安國カ曰ク、久^一要ハ舊^一約ソ、平^一生ハ猶^一少^一時ノ
言、

(一) 「答」下、武内本有「也」字。

(二) 「智」上、武内本有「使」字。

(三) 「知」、武内本作「智」。

(四) 「知」、武内本作「智」。

(五) 「過」、武内本作「禍」、「謂能避齊禍」、武内本用

括號圍此五字、以爲後人旁記之詞。

(六) 「春秋第十七卷」、武内本用括號圍此六字、以爲後人旁記之詞。

(七) 「二十」、武内本作「廿」。

(八) 「非」下、武内本有「唯」字。

(九) 「曰」、武内本作「云」。

(一〇) 「格」、武内本作「格」。

(一一) 「之」、武内本無此字。

(一二) 「智」、武内本作「藝」。

(一三) 「是」、武内本無此字。

(一四) 「顏特進曰」、武内本作「顏特進云」、下同。

(一五) 「思」上、武内本有「取」字。

(一六) 「小」、武内本作「少」。

(一七) 「可以」、武内本作「以可」。

【經】

子問公叔文子於公明賈

子公叔文子ヲ公明賈ニ問テ

【疏】

孔子見公明賈相訪、而問公叔文子之事、時公明賈仕公叔文子、故問之者也、

孔子公明賈カ相ヒ「訪」ヲ見テ、公叔文子カ事ヲ問フ、時ニ公明賈公叔文子ニ仕フ、故ニ之ヲ問フ者ナリ、

【經】

曰信乎。夫子不言、不笑、不取乎、

曰ク信ナル乎。夫子言ハ不、笑ハ不、取ラ不、

【疏】

此是問公叔文子之事也、夫子呼公叔文子爲夫子、言人傳文子平生不言、不笑、不取財利、此三事悉孔子未信、故見公明賈而問曰也

此レハ是レ公叔文子カ事ヲ問フ、夫トトトハ公叔文子ヲ呼テ夫トトト爲、言ハ人文子平生言ハ不、笑不、財利ヲ取ラ不ト傳フ、此ノ三事悉ニ孔子未タ信セ未、故ニ公明賈ニ見テ問テ曰ク

【注】

孔安國曰、公叔文子衛大夫公孫拔也、文諡也、

孔安國カ曰ク、公叔文子ハ衛ノ大夫公孫拔ソ、文ハ諡、

【經】 公明賈對曰、以告者過也、

公明賈對へテ曰ク、以テ「告ス者」ノ「過」ナリ、

【疏】 過誤也、答孔子曰、文子有此三事、是爲誤耳、實理不然、

過ハ誤ナリ、孔子ニ答テ曰ク、文子此ノ三事有リトハ、是レ誤ヲ爲ス耳、實理ハ然ラズ、

【經】 夫子時然後言、人不厭其言也、

夫「子」ハ時「アツテ」然シテ「後」ニ言フ、人其ノ「言フ」コトヲ厭ハズ、

【疏】 先云是告者誤、後答言似實事對、言我夫子、非時不語、語必得之中、既得之中、故世人不厭其言也、

先ツ是レハ「告ス」者ノ「誤」ト云テ、後ニ答テ「言フ」ニ實「事」ヲ

以テ對フ、言「ハ我カ夫」子、時ニ非レハ語ラズ、語ルトキハ必ス中ヲ得、既ニ中ヲ得、故ニ世「人」其ノ「言」コトヲ厭ハズ、

【經】 樂然後笑、人不厭其笑也、

樂ミアツテ然シテ「後」ニ笑フ、人其ノ笑コトヲ厭ハズ、

【疏】 夫笑爲樂、若不樂、而強笑必爲人所厭。更云事言訖然笑也、

夫レ笑ヒハ樂ヲ爲ス、若シ樂マ「不」シテ、強テ笑ハ必ス人ノ爲ニ厭カ所。更ニ云ク事言ヒ「訖」テ然「フ」笑フ、

【經】 義然後取、人不厭其取也、

義アツテ然シテ「後」ニ取ル、人其ノ「取ル」コトヲ厭ハズ、

【疏】

夫取利、若非義取則、爲人所厭、我夫子見得思義、義而後取、故人不厭其取也、

夫レ利ヲ取ルコト、若シ義ニ非シテ取ル則ハ、人ノ爲ニ厭ハ所、我カ夫レ子得ルヲ見テハ義ヲ思フ、義アツテ而シテ後ニ取ル、故ニ人其ノ取ルコトヲ厭ハ不、

【經】

子曰。其然、

子ノ曰ク。其レ然ナリ（然ナランヤ）、

【疏】

然如此也、言今汝所說者、當如此也、

然ハ如此、言ハ今汝ノ說ク所ノ者、當ニ此ノ如クナル當シ、

【經】

豈其然乎

豈ニ其レ然ラン乎

【疏】

謂人所傳三事、不言、不笑。不取、豈容如此乎。一云、其然、是驚其如此、豈其然乎、其不能悉如此也、袁氏曰、其然然之也、此則善之者、恐其不能、故設疑辭、

謂ル人ノ傳ル所ノ三事、言ハ不、笑ハ不、取ラ不、豈ニ此ノ如クナル容ケンヤ。一ニ云ク、其レ然リヤトハ、是レ其ノ此ノ如クナルニ驚ク、豈ニ其レ然ラン乎トハ、其レ悉ニ此ノ如ナルコト能ハ不、袁氏カ曰ク、其レ然ナリトハ之ヲ然ンス、此レ則チ之ヲ善スル者ナリ、其ノ能ハ不ンコトヲ恐ル、故ニ疑辭ヲ設ク、

【注】

馬融曰、美其得道、

馬融カ曰ク、其ノ道ヲ得ルコトヲ美メテ、

【疏】

釋其然也

其レ然トイフコトヲ釋ス

【注】

嫌其不能悉然也、

其ノ悉こせりク然ルコト能ハ不まルコトヲ嫌まフ、

【疏】

釋豈其然也乎、^(八)

豈ニ其レ然ンヤトイフコトヲ釋ス、

- (一) 「曰」、武内本作「之」。
- (二) 「也」、武内本無此字。
- (三) 「曰」、武内本作「云」。
- (四) 「然」下、武内本有「也」字。
- (五) 「然」下、武内本有「後」字。
- (六) 「曰」、武内本作「云」。
- (七) 「也」、武内本無此字。
- (八) 「乎」、武内本無此字。

【經】

子曰、臧武仲以防求爲後於魯

子ノ曰ク、臧武仲防ヲ以テ魯ニ後のチ爲ランコトヲ求ム

【疏】

姓臧。名紇。武諡也。防是武仲故食采邑也、爲後謂立後也、武仲魯襄公廿三年、爲孟氏所譖、出奔邾、後從邾還防、而使人請於魯、爲其後於防、故云以防求爲後於魯、

姓ハ臧。名ハ紇コツ。武ハ諡ナリ、防ハ是レ武仲カ故采ヲ食ム邑ナリ、爲後ハ謂ル立後ナリ、武仲魯ノ襄公廿三年ニ、孟氏ノ爲ニ譖チラ所テ、邾ニ出奔ス、後ニ邾從リ防ニ還テ、而シテ人ヲ使テ魯ニ請テ、其ノ後ヲ防ニ爲テ使ム、故ニ云ク防ヲ以テ魯ニ後のチ爲ランコトヲ求ムト、

【經】

雖曰不要君吾不信也、

君ヲ要（要）セ不ト曰フト雖モ吾ハ信セ不、
ナイカシロニス

【疏】

要謂要君也、不先盡忠、而先欺君也、武仲出奔、而猶求立後於其故邑、時人皆謂武仲此事非要、孔子據其理、是要、故云、雖曰不要吾不信也、是不信時人不要之言也、袁氏曰、奔不越境、而據私邑、求立先人之後、此正要君也、

要トハ君ヲ要スルヲ謂フ、先ツ忠ヲ盡サ不シテ、先ツ君ヲ欺ク、武仲出奔ス、而トモ猶ヲ其ノ故一邑ニ後立ンコトヲ求ム、時ノ人皆武仲カ此ノ事要スルニ非ト謂フ、孔子其ノ理ニ據ル、是レ要スルナリ、故ニ云ク、要セ不ト曰フト雖モ吾ハ信セ不、是レハ時ノ人ノ要セ不ルノ言ヲ信セ不ルナリ、袁氏カ曰ク、奔テ境ヲ越ヘ不、而ルニ私ノ一邑ニ據ツテ、先一人ノ後ヲ立ンコトヲ求ム、此レ正ニ君ヲ要スルナリ、

【注】

孔安國曰、防武仲故邑也、

孔安國カ曰ク、防ハ武仲カ故一邑、

【疏】

武仲食邑於防、既已出奔故邑、

武仲邑ヲ防ニ食ム、既已ニ故一邑出奔ス、

【注】

爲後立後也、

爲一後ハ立一後、

【疏】

其既自出奔、欲更立後於防、

其レ既ニ自出奔シテ、更ニ後ヲ防ニ立テマク欲ス、

【注】

魯襄公二十三年、武仲爲孟氏所譖出奔邾、

魯ノ襄公二十三年ニ、武仲孟氏ノ爲ニ譖チ所レテ邾ニ出奔ス、

【疏】

季武子無適子、有公子鉏、是公彌也。及紇是悼子也、季氏愛紇欲立之。又公子鉏年長、而臧紇謀爲立紇、季氏從之。孟孫死、又廢大立小、是依季氏家用事、故孟氏家惡臧紇、

閉門譖於季孫曰、臧氏將爲亂、不使我葬、欲爲公鉏讎臧氏、季孫不信、後孟氏除葬道、臧孫使正夫助之、除於東門、介甲從己而視之、孟氏又告季孫、怒命攻臧氏之家、臧紇斬鹿門之關、以出奔邾、

季武子適子無シ、公子鉏有リ、是レハ公彌ナリ。及ヒ紇是レハ悼子ナリ、季氏紇ヲ愛シテ之ヲ立ント欲。又公子鉏年長ス、而ルヲ臧紇謀テ爲ニ紇ヲ立ツ、季氏之ニ從フ。孟孫死ス、又大ヲ廢ス小ヲ立ツ、是レ季氏カ家ニ事ヲ用ルニ依ル、故ニ孟氏カ家ニ臧紇ヲ惡ンテ、門ヲ閉テ季孫ニ譖テ曰ク、臧氏將ニ亂ヲ爲サント將、我ヲ使テ葬ヲ使メ不、公鉏カ爲ニ臧氏ニ讎セント欲ス、季孫信セ不、後ニ孟氏葬ノ道ヲ除フ、臧孫正夫ヲ使テ之ヲ助テ、東門ヲ除ハ使ム、介甲己ニ從ヘテ之ヲ視ル、孟氏又季孫ニ告ク、怒リ命シテ臧氏カ家ヲ攻メシム、臧紇鹿門ノ關ヲ斬ツテ、邾ニ出奔ス、

【注】
自邾如防使以大蔡納請、

邾自り防ニ如イテ大蔡ヲ以テ納レ請ハ使メテ、

【疏】
大蔡は大龜也、納進也、進龜請立後、臧紇有異母兄臧賈臧爲二人、在鑄在舅氏國也、紇在邾先遣使以龜告魯求立爲後、賈聞命矣、再拜受龜、而使弟臧爲、以納請、紇遣使、後乃自邾還防、

大蔡ハ是レ大龜ナリ、納ハ進ナリ、龜ヲ進テ後立テテニコトヲ請フ、臧紇カ異母兄臧賈臧爲ノ二人有リ、鑄ニ在リ舅氏ノ國ニ在リ、紇邾ニ在テ先ツ使ヲ遣シテ龜ヲ以魯ニ告ケ遣メテ後ヲ立テ爲テニコトヲ求ム、賈命ヲ聞テ、再拜シテ龜ヲ受テ、弟ノ臧爲ヲ使ハシテ、納レ請ハ使ム、紇使ヲ遣ワシテ、後乃チ邾自り防ニ還ル、

【注】
曰紇非敢害也、智不足也、

曰ク紇敢テ害セントハ非ス、智ノ足ラ不レハナリ、

【疏】

紇至防使臧爲、爲使至魯傳紇之言、初孟氏譖紇以甲自隨、謂欲爲亂、季孫信而攻之、故紇今謝之而言、己以介甲從己、而視之、非敢欲爲害、正是智不足也、

紇防ニ至テ臧爲ヲ使ス、使ト爲テ魯ニ至テ紇カ言ヲ傳フ、初メ孟氏紇ヲ譜ルニ甲ヲ以テ自隨ヘテ、亂ヲ爲サマク欲スト謂フ、季孫信シテ之ヲ攻ム、故ニ紇今之ヲ謝シテ言ク、己介一甲ヲ以テ己ニ從ヘテ、之ヲ視ルコトハ、敢テ害ヲ爲サマク欲スルニ非ス、正ニ是レ智ノ足ラ不ルナリ、

【注】

非敢私請、苟守先祀、

敢私請フニ非ス、苟モ先祀ヲ守ランナリ、

【疏】

又言、今日之請、非敢私求、求還、正是欲求立後、守先人之祀、是爲先人之請、

又タ言ク、今日ノ請コト、敢テ私ニ求ルニハ非ス、還シコトヲ求ルコトハ、正ニ是レ後立テンコトヲ求テ、先一人ノ祀（祀）ヲ守ント欲ス、是レ先一人ノ爲ニ請ナリ、

【注】

無廢二勲、

二勲ヲ廢スルコト無クンハ、

【疏】

二勲是臧文仲宣叔也、是紇之祖父、竝於魯有功勲、今願得立祀、是不敢廢二世之勲也、

二勲トハ是レ臧文仲宣叔ナリ、是レ紇カ祖一父ナリ、竝ニ魯ニ於テ功勲有リ、今願ハ祀ヲ立コトヲ得ハ、是レ敢テ二世ノ勲ヲ廢セ不ルナリ、

【注】

敢不避邑、

敢テ邑ヲ避ラ不、

【疏】

若二勲大勲不廢、得有守祀之人、則紇敢不避邑、

若シ二勲ノ大勲廢セ不シテ、祀ヲ守ルノ人有ルコトヲ得ハ、紇敢テ邑ヲ避ラ不、

【注】
乃立臧爲

乃子臧爲ヲ立ツ

【疏】
魯得請^(一)、仍立臧爲、爲後也、所以立臧爲^(二)、于時又私自爲
請求立己^(三)、

魯請フコトヲ得テ、仍子臧爲ヲ立テテ、後ト爲^(四)、臧爲ヲ立
ツル所^(五)以ハ、時于又私ニ自請テ己ヲ立テ^(六)ンコトヲ求ム
ルカ爲ナリ、

【注】
紇致防而奔齊、

紇防ヲ致シテ齊ニ奔ル、

【疏】
紇得立臧爲^(一)竟、故致防與臧爲而奔齊、

紇臧爲ヲ立ルコトヲ得^(二)竟^(三)テ、故ニ防ヲ致シテ臧爲ニ與ヘ

テ齊ニ奔ル、

【注】
此所謂要君也、

此レ謂ハ所ル君ヲ要スルナリ（要ス）、
ナイカシロニ

【疏】

還據私邑、求爲先而立後、要望魯邑、即此是要君也、事在
春秋第十七卷、襄公二十三年傳也、

還テ私ノ邑ニ據テ、先ノ爲ニ後立テ^(一)ンコトヲ求テ、望ヲ
魯ノ邑ニ要ス（要ム）、即チ此レハ是レ君ヲ要スルナリ、事
ハ春秋第十七ノ卷、襄公二十三年ノ傳ニ在リ、

(一) 「廿」、武内本作「二十」。

(二) 「求」、武内本無此字。

(三) 「曰」、武内本作「云」。

(四) 「也」、武内本無此字。

(五) 「防」下、武内本有「也」字。

(六) 「使」下、武内本有「爲」字。

(七) 「在舅氏國也」、武内本用括號圍此五字、武内本校

勅記用括號圍「在舅氏之國也」六字、以爲後人旁記之詞。

(八) 「今」、武内本作「令」。

(九) 「求」、武内本無此字。

(一〇) 「二勲」、武内本無此二字。

(一一) 「請」上、武内本有「紘」字。

(一二) 「立」下、武内本有「者」字。

(一三) 「請求立己」、武内本作「請求立立己也」。

(一四) 「爲」下、武内本有「後」字。

(一五) 「春秋第十七卷」、武内本用括號圍此六字、以爲衍。

(一六) 「二十」、武内本作「廿」。

(一七) 「傳」上、武内本有「之」字。

【經】

子曰、晉文公譎而不正、

子ノ曰ク、晉ノ文公譎ツテ正カラズ、

【疏】

晉文公是晉獻公之子重耳也、初爲驪姬之難、遂出奔新城遊歷諸國、至二十八年、受命爲侯伯、遂爲之主、此評其有失

也、譎詭詐也、文公爲霸主、行詭詐而不得爲正禮、時天子是周襄王微弱、文公欲爲霸主、大合諸侯、而欲事天子、以爲名義、自嫌強大不敢朝天子、乃喻諸天子令出敗狩、因此盡君臣之禮、天子遂至晉河陽之地、此是文公譎而不正禮也、事在春秋七卷僖二十八年、

晉ノ文公トハ是レ晉ノ獻公ノ子重耳ナリ、初メ驪姬カ難ノ爲ニ、遂ニ新城ニ出テ奔シテ諸國ヲ遊歴ス、二十八年ニ至テ、命ヲ受テ侯伯爲リ、遂ニ之カ主爲リ、此レハ其ノ失有ルコトヲ評ス、譎ハ詭(詭)詐、文公覇主ト爲テ、詭詐ヲ行テ正禮ヲ爲スコトヲ得ズ、時天子ハ是レ周ノ襄王微弱ナリ、文公覇主爲ランコトヲ欲ス、大ニ諸侯ヲ合セテ、天子ニ事テ、名義ヲ爲サント欲ス、自強一大ニシテ敢テ天子ニ朝セズ嫌イアリ、乃チ天子ニ喻シテ敗狩ニ出テ令メテ、此ニ因テ君臣ノ禮ヲ盡サシム、天子遂ニ晉ノ河陽ノ地ニ至ル、此レハ是レ文公譎テ禮ヲ正フセズルナリ、事ハ春秋七卷僖二十八年ニ在リ、

【注】

鄭玄曰、譎者詐也、謂召於天子而使諸侯朝之、仲尼曰、以臣召君、不可以訓、故書曰、天王狩于河陽、是譎而不正也、

鄭玄カ曰ク、譎ハ詐ソウ、天子ヲ召シテ諸侯ヲ使テ之レニ朝セ使ムルヲ謂フ、仲尼ノ曰ク、臣ヲ以テ君ヲ召ス、訓ス可ラ不ス、故ニ書シテ曰ク、天子河陽ニ狩スト、是レ譎テ正カラ不ルナリ、

【疏】

此臣無召君之禮、而文公召之、故不爲教訓也、故春秋不云晉公召君、但云天王狩于河陽、言是天子自狩以至河陽也、

此レハ臣トシテ君ヲ召スノ禮無シ、而ルヲ文公之ヲ召ス、故ニ教訓ト爲不ス、故ニ春秋ニ晉公君ヲ召スト云ハ不ス、但タ云ク天子河陽ニ狩スト、言ハ是レ天子自狩シテ河陽ニ至ル、

【經】

齊桓公正而不譎、

齊ノ桓公ハ正シテ譎ラ不ス、

【疏】

此是齊侯爲霸主、依正而行、不爲詐譎、是勝於晉文公也、江熙曰、言此二君霸迹不同、而所以翼佐天子、綏諸侯、車

無異轍、書無異文也、

此レハ是レ齊侯霸主ト爲テ、正ニ依テ行テ、詐譎ヲ爲不ス、是レ晉ノ文公ニ勝ルナリ、江熙カ曰ク、言ハ此ノ二君霸迹同カラ不ス、而トモ天子ヲ翼佐シ、諸侯ヲ綏シテ、車ニ異轍無ク、書ニ異文無ラシムル所以ナリ、

【注】

馬融曰、伐楚以公義、責苞茅之貢不入、問昭王南征不還、是正而不譎也、

馬融カ曰ク、楚ヲ伐ツトキ公義ヲ以テ、苞茅ノ貢ノ入ラ不ルヲ責ム、昭王ノ南征シテ還ラ不ルコトヲ問フ、是レ正フシテ譎ラ不ルナリ、

【疏】

魯僖公三年冬、齊侯與蔡姬乘舟于圃、蕩公、蔡姬齊侯夫人、蕩搖也、是搖蕩船也、公懼變色禁之不可、公怒歸之、未之絶也、蔡人嫁之。至明年四年春、齊侯之師侵蔡、蔡潰散也、遂伐楚、楚子使與師言曰、君處北海、寡人處南海、是風馬牛不相及也、不慮君之涉吾地也、何故。齊侯使管仲對曰、昔召康公命我先君太公曰、五侯九伯汝實征之、以使

輔周室。賜我先君、履東至于海、西至于河、南至于穆陵、北至于無椽、爾貢包茅不入、王祭不供、無以縮酒、寡人是徵、昭王南征不還、寡人是問、對曰、貢之不入、寡君之罪也、敢不供給、昭王之不還、君其問諸水濱。案春秋齊伐楚責此二事、是正不譎也、楚地出好茅、貢王祭、將縮酒、縮酒者、謂束茅而灌之以酒、謂之縮酒、楚既久不貢茅、故周王祭時、無茅以供縮酒、乃就齊徵求之、又昭王是成王之孫、南巡狩涉漢、船壞而溺死、周人諱而不赴、諸侯不知其故、故問之、所以伐楚、楚受不貢包茅之失、而不受昭王溺水咎、于時溺水之地、不屬楚境、故云問諸水濱也、事在春秋第五卷、僖四年春也、

魯ノ僖公三年ノ冬、齊侯蔡姬與舟二囿ニ乗テ、公ヲ蕩ル、蔡姬ハ齊侯ノ夫人ナリ、蕩ハ搖、是レ船ヲ搖リ蕩スルナリ、公懼リテ色ヲ變テ之禁ムルニ可カ不、公怒テ之ヲ歸ス、未タ絶セ未、蔡人之ヲ嫁セシム。明年四年ノ春ニ至テ、齊侯ノ師蔡ヲ侵ス、蔡潰エ散ス、遂ニ楚ヲ伐ツ、楚子ノ使師與言テ曰ク、君ハ北海ニ處リ、寡人ハ南海ニ處ル、是レ風スル馬牛タモ相ヒ及ハ不、慮ラ不リキ君ノ吾方地ニ涉ルコト、何ノ故ソヤ。齊侯管仲ヲ使ハシテ對ヘテ曰ク、昔召康公我カ先君太公ニ命シテ曰ク、五

侯九伯汝實ニ之ヲ征シテ、周室ヲ輔ケ使メヨト。我先君ニ賜ツテ、履テ東ハ海ニ至リ、西ハ河ニ至リ、南ハ穆陵ニ至リ、北ハ無椽ニ至ル、爾ノ貢ノ包茅入ラ不、王祭ニ供セ不レハ、酒ヲ縮ムコト無シ、寡人はヲ徵ス、昭王南征シテ還ラ不、寡人はヲ問フ、對ヘテ曰ク、貢ノ入ラ不ルハ、寡君ノ罪ナリ、敢テ供給セランヤ、昭王ノ還ラ不ルコトハ、君其レ諸水濱ニ問ヘ。春秋ヲ案スルニ齊楚ヲ伐テ此ノ二事ヲ責ム、是レ正シテ譎ラ不ルナリ、楚ノ地ヨリ好キ茅ヲ出シテ、王祭ニ貢ス、將ニ酒ヲ縮マント將、酒ヲ縮ムトハ、謂ル茅ヲ束テ之レニ灌クニ酒ヲ以テス、之ヲ酒ヲ縮ムト謂フ、楚既ニ久ク茅ヲ貢セ不、故ニ周王ノ祭時ニ、茅ノ以テ酒ヲ縮ムニ供スル無シ、乃チ就テ齊之ヲ徵シ求ム、又昭王ハ是レ成王ノ孫、南ノカタ巡狩シテ漢ヲ涉ル、船壞レテ溺死ス、周人諱テ赴ゲ不、諸侯其ノ故ヲ知ラ不、故ニ之ヲ問フ、楚ヲ伐ツ所以ナリ、楚包茅ヲ貢セ不ルノ失ヲ受テ、昭王ノ水ニ溺ルルノ咎ヲ受ケ不、時于水ニ溺ルルノ地、楚ノ境ニ屬セ不、故ニ云フ水濱ニ問ヘト、事ハ春秋第五卷、僖力四一年ノ春ニ在リ、

(一) 「二」、武内本作「三」。

(二) 「春秋七卷」、武内本無此四字、以爲衍。

(三) 「僖」下、武内本有「公」字。

(四) 「二十」、武内本作「廿」。

(五) 「曰」、武内本作「云」。

(六) 「車」上、武内本有「使」字。

(七) 「綏」上、武内本有「以」字。

(八) 「是」上、武内本有「唯」字。

(九) 「使」、武内本作「爽」。

(一〇) 「椽」、武内本作「棣」。

(一一) 「案」、武内本作「接」。

(一二) 「齊」下、武内本有「侯」字。

(一三) 「水」下、武内本有「之」字。

(一四) 「春秋第五卷」、武内本用括號圍此五字、以爲
衍。

【經】

子路曰、桓公殺公子糾、

子路力曰ク、桓公公子糾ヲ殺ストキニ、

【疏】

桓公是齊公之子、名小白也、是僖公庶子、子糾是桓公之庶
兄、桓公與子糾爭國、而殺子糾也、

桓公ハ是レ齊公ノ子、名ハ小白、是レ僖公ノ庶子ナリ、
子糾ハ是レ桓公ノ庶兄ナリ、桓公子糾與國ヲ爭フ、而シ
テ子糾ヲ殺ス、

【經】

召忽死之、

召忽死ス、

【疏】

召忽、是子糾之傅、子糾被殺、故召忽赴敵、而同死也、

召忽ハ是レ子糾ノ傅フ（傅）ナリ、子糾殺サ被ル、故ニ召忽
敵ニ赴オモムイテ、同ク死ス、ヲテ

【經】

管仲不死、

管仲死セズ、

【疏】

管仲亦是子糾輔相、召忽既死、管仲猶生、故曰不死、

管仲モ亦「是レ子糾カ輔」相ナリ、召忽ハ既ニ「死ス、管仲猶「生ス、故ニ死セ不ト」曰フ、

【經】

曰未仁乎、

曰ク未タ仁アラ未乎、

【疏】

曰者謂也、是時人物議者、皆謂管仲不死、是不仁之人也、管仲非唯不死、亦廻復輔相桓公、故無仁恩也、

曰ハ謂ナリ、是ノ「時人」物ノ議者（議ル者）、皆ナ管仲カ死セ不ルヲ、是ヲ不仁ノ人ト謂フ、管仲唯死セ不ルノミニ非ス、亦廻ツテ「復タ桓公ニ輔」相タリ、故ニ仁「恩」無シ、

【注】

孔安國曰、齊襄公立無常、

孔安國カ曰ク、齊ノ襄公立テ常無シ、

【疏】

此注至召忽死之、竝是春秋魯莊公八年傳文、是記前事之事也、襄公者是齊僖公之適子、名諸兒。作倪字、呼、是桓公之兄、既得立爲君、風化不恆、爲政惡、故曰無常、

此ノ注ヨリ召忽死ストイフニ至ルマテ、竝ニ是レ春秋ニ魯ノ莊公八年ノ傳ノ文ナリ、是レハ前事ノ事ヲ記ス、襄公ハ是齊ノ僖公ノ適子、名ハ諸兒。倪ノ字ニ作テ、呼、是レ桓公ノ兄ナリ、既立テ君爲ルコトヲ得テ、風化恆アラ不、政ヲ爲ルコト惡シ、故ニ常無シト曰フ、

【注】

鮑叔牙曰、君使民慢、亂將作矣、

鮑叔牙カ曰ク、君民ヲ使フコト慢ナリ、亂將ニ作ラント將トイヒテ、

【疏】

齊僖公有三子、長是襄公是、鮑叔牙者小白之輔、適次子糾是庶、小者是小伯也、亦是庶、僖公薨、襄公繼父之位、爲君、政不常、相見襄公風政無常、故云亂將作矣、

齊ノ僖公三子有リ、長ハ是レ襄公是ナリ、鮑叔牙ハ小白ノ輔ナリ、適ノ次ハ子糾是レハ庶ナリ、小者^ハ是レ小伯ナリ、亦タ是モ庶ナリ、僖公薨ス、襄公父ノ位ヲ繼テ、君爲^タリ、政^{マコト}常アラ不^ス、襄公ノ風政常無キヲ相見ル、故ニ亂將ニ作^ヲラント將ト云フ、

【注】

奉公子小白出奔莒、

公子小白ヲ奉シテ莒ニ出奔ス、

【疏】

叔牙見襄公危政、不居亂邦、故奉小白奔往莒國、

叔牙襄公ノ危政ヲ見テ、亂邦ニ居ラ不^ス、故ニ小白ヲ奉シテ奔テ莒國ニ往ク、

【注】

襄公從弟公孫無知殺襄公

襄公ノ從弟^{イイトコ}（從弟）公孫無知襄公ヲ殺ス

【疏】

小白奔後、而襄公從弟公母弟夷仲年之子。名無知作亂、而殺襄公、自立爲君、禮諸侯之子曰公子、公子之子曰公孫、公孫之子曰公族、

小白奔テ^{の子}後、而シテ襄公ノ從弟^{イイトコ}（從弟）公ノ母弟夷仲年カ子ナリ。名ハ無知亂ヲ作シテ、襄公ヲ殺シテ、自^{イイトコ}立シテ君ト爲ル、禮ニ諸侯ノ子ヲ公子ト曰ヒ、公子ノ子ヲ公孫ト曰ヒ、公孫ノ子ヲ公族ト曰フ、

【注】

管夷吾召忽奉公子糾出奔魯、

管夷吾召忽公子糾ヲ奉シテ魯ニ出奔ス、

【疏】

夷吾管仲也、襄公死後管仲邵忽二人、奉持子糾、出奔魯、

夷吾ハ管仲ナリ、襄公死シテ後管仲邵忽ノ二人、子糾ヲ奉持シテ、魯ニ出奔ス、

【注】
齊人殺無知

齊人無知ヲ殺ス

【疏】

齊人は雍廩也、子糾出奔後、公孫得爲君、惡虐于雍廩、齊大夫也、至九年春、雍廩殺無知、

齊人トハ是レ雍廩ナリ、子糾出奔シテ後、公孫君爲ルコトヲ得テ、雍廩ニ惡虐ナリ。齊ノ大夫ナリ、九年ノ春ニ至テ、雍廩無知ヲ殺ス、

【注】
魯伐齊納子糾

魯齊ヲ伐ツテ子糾ヲ納ル

【疏】

子糾奔魯、齊人又殺無知、而齊無君、至魯莊公九年夏四月、伐齊入子糾欲擬立爲齊君、納入也、

子糾魯ニ奔ル、齊人又無知ヲ殺ス、而シテ齊ニ君無シ、魯ノ莊公九年ノ夏四月ニ至テ、齊ヲ伐テ子糾ヲ入テ立テテ齊君ト爲ント欲擬ス、納ハ入ナリ、

【注】

小白自莒先入、是爲桓公、

小白莒自り先ツ入ル、是レヲ桓公ト爲ス、

【疏】

小白先奔在莒、聞魯伐齊納子糾、故先子糾而入、遂爲君、死諡爲桓公、

小白先ツ奔テ莒ニ在リ、魯齊ヲ伐テ子糾ヲ納ルト聞キ、故ニ子糾ニ先テ入テ、遂ニ君ト爲ル、死シテ諡シテ桓公ト爲ス、

【注】

乃殺子糾召忽死也、

乃チ子糾ヲ殺ストキ召忽死ス、

【疏】

小白既入得爲君、遂殺庶兄子糾于生竇、在魯地也、故云桓公殺公子糾、召忽死之。一云、召忽投河而死、事在春秋第三卷、莊公八年九年、

小白既二入テ君爲ルコトヲ得テ、遂二庶兄子糾ヲ生竇ニ殺ス、魯ノ地ニ在リ、故ニ云ク桓公公子糾ヲ殺、召忽之二死スト。一ニ云ク、召忽河ニ投シテ死スト、事ハ春秋第三卷、莊公八年九年ニ在リ、

【經】

子曰、桓公九合諸侯、不以兵車、

子ノ曰ク、桓公九タヒ諸侯ヲ合ハスレトモ、兵車ヲ以テセ_スルコトハ、

【疏】

孔子答子路說管仲有仁之迹、齊桓公爲霸主、遂經九過、盟會諸侯、不用兵車、而能辨也、不用兵車、而諸侯九合、管仲力也、史記云、兵車之會三、乘車之會六、穀梁傳云、衣裳之會十一、范寧注曰、十三年會北杏、十五年又會鄆、十六年會幽、二十七年又會幽、僖元年會于禚、二年會于貫、

三年會于陽穀、四年盟于召陵、五年會于首止、七年會于寧母、九年會于葵丘、凡十一會、又非十一會、鄭不取北杏及陽穀、爲九會、

孔子子路ニ答ルニ管仲仁有ルノ迹ヲ説ク、齊ノ桓公覇主ト爲テ、遂ニ九過、諸侯ヲ盟會スルコトヲ經レトモ、兵車ヲ用ヒ不シテ、而シテ能ク辨ス、兵車ヲ用ヒ不シテ、諸侯ヲ九タヒ合スルコトハ、管仲力ナリ、史記ニ云ク、兵車ノ會三タヒ、乘車ノ會六タヒ、穀梁傳ニ云ク、衣裳ノ會十一ト、范寧力注ニ曰、十三年ニ北杏ニ會シ、十五年ニ又鄆ニ會シ、十六年ニ幽ニ會シ、二十七年ニ又幽ニ會ス、僖力元年ニ禚ニ會シ、二年ニ貫ニ會シ、三年ニ陽穀ニ會シ、四年ニ召陵ニ盟シ、五年ニ首止ニ會シ、七年ニ寧母ニ會シ、九年ニ葵丘ニ會、凡ソ十一會ナリ、又タハ十一會ニ非ス、鄭ハ北杏及ヒ陽穀ヲ取ラ不シテ、九會ト爲ス、

【經】

管仲之力也、如其仁如其仁、

管仲力ナリ、其ノ仁ニ如カンヤ其ノ仁ニ如カンヤ、

【疏】

管仲不用民力、而天下平靜、誰如管仲之仁^(二)智乎、再言之者、深美其仁也、

管仲民ノ力ヲ用ヒ不シテ、天下平靜ナリ、誰カ管仲カ仁智ニ如カンヤ、再ヒ之ヲ言コトハ、深ク其ノ仁ヲ美テナリ、

【注】

孔安國曰、誰如管仲之仁矣、

孔安國カ曰ク、誰カ管仲カ仁ニ如カン、

- (一) 「故」下、武内本有「爲」字。
- (二) 「事」、武内本作「時」。
- (三) 「政」下、武内本有「之」字。
- (四) 「伯」、武内本作「白」。
- (五) 「春秋第三卷」、武内本無此五字。
- (六) 「年」下、武内本有「也」字。
- (七) 「合」、武内本作「會」。
- (八) 「仲」下、武内本有「之」字。
- (九) 「曰」、武内本作「云」。

(一〇) 「又非十一會」、武内本用括號圍此五字、武内本

校勘記用括號圍「又非十一會鄭」六字、曰「疑非皇疏之文」。

(一一) 「仁」、武内本無此字。

【經】

子貢曰、管仲非仁者與、

子貢カ曰ク、管仲ハ仁者ニ非ス與、

【疏】

問孔子、嫌管仲非是仁者也、

孔子ニ問テ、管仲ハ是レ仁者ニ非スト嫌フ、

【經】

桓公殺公子糾不能死、又相之、

桓公公子糾ヲ殺ストキニ死スルコト能ハ不、又之カ相タリ、

【疏】

此管仲非仁也迹、言管仲是子糾之相而桓公是子糾之賊。管仲既不爲子糾致命殺讎、而更相桓公非爲仁也、

此レハ管仲カ仁ニ非ルノ迹ナリ、言ハ管仲ハ是レ子糾カ相ナリ而ルヲ桓公ハ是レ子糾ノ賊ナリ。管仲既ニ子糾ノ爲ニ命ヲ致シテ讎ヲ殺サ不、而ルヲ更ニ桓公ニ相タルハ仁ト爲ルニ非ス、

【經】

子曰、管仲相桓公霸諸侯、一匡天下、

子ノ曰ク、管仲桓公ニ相トシテ諸侯ニ覇トシテ、一ツニ天下ヲ匡シウス、

【疏】

孔子說管仲爲仁之迹也、管仲得相桓公者、管仲爲子糾爭國、管仲射桓公中鉤帶、子糾死、管仲奔魯、初鮑叔牙與管仲同於南陽、拯相敬重叔牙、叔牙後相桓公、而欲取管仲、還無漸、因告老辭位、桓公問叔牙誰復堪爲相者、牙曰、唯管仲堪之。桓公曰、管仲射朕鉤帶、殆近死、今日豈可相乎、牙曰、在君爲君謂忠也、至君有急、當射彼人鉤帶、桓

公從之、遣使告魯不放欲殺管仲、遣使者曰、管仲射我君鉤帶、君自斬之、魯還之、遂得爲相。莊九年夏云、小白既先入、而魯猶輔子糾、至秋齊與魯戰于乾時、魯師敗績、鮑叔牙志欲生管仲、乘勝進軍來告魯曰、子糾親、請君討之、管召讎也、請受而甘心焉、子糾是我親也、我不忍殺、欲令魯殺之、管仲召忽是我欲自得而殺之、魯乃殺子糾于生寶、召忽死之、管仲請囚、鮑叔牙受之及堂阜而脫之、遂使爲相也、霸諸侯使輔天子、合諸侯、故曰霸諸侯也、一匡天下、一切皆正也、

孔子管仲カ仁ヲ爲ルノ迹ヲ説ク、管仲桓公ニ相タルコトヲ得ルコトハ、管仲子糾カ國ヲ爭フカ爲ニ、管仲桓公ヲ射テ鉤帶ニ中ツ、子糾死ス、管仲魯ニ奔ル、初メ鮑叔牙管仲與同ク南陽ニ於テ、拯イ相ケテ叔牙ヲ敬重ス、叔牙後ニ桓公ニ相トシテ、管仲ヲ取ラント欲ス、還スニ漸無シ（還テ漸ムルコト無シ）、因テ老ヲ告テ位ヲ辭ス、桓公叔牙ニ問フ誰カ復タ相爲ルニ堪ヘン、牙カ曰ク、唯管仲之ニ堪ヘン。桓公ノ曰ク、管仲ハ朕カ鉤帶ヲ射テ、殆ト死ニ近シ、今日豈ニ相タル可ケン乎、牙カ曰ク、君ニ在テ君ノ爲ニスルハ謂ル忠ナリ、君ノ急有ルニ至テハ、當ニ彼ノ人ノ鉤帶ヲ射ル當シ、桓公之ニ從フ、使ヲ遣テ魯ニ放サ不シテ管仲ヲ殺サント欲スト告ケ遣メテ、使者ヲ遣シテ

曰ク、管仲ハ我カ「君ノ鉤「帶ヲ射ル、君「自之ヲ斬ラン、魯之ヲ還ス、遂ニ相爲ルコトヲ得タリ。莊カ九ノ年ノ夏ニ云ク、小白既ニ先ツ入ル、而ルヲ魯猶ヲ子糾ヲ輔ク、秋ニ至テ齊魯與乾時ニ戰フ、魯ノ帥敗レ續「續「ル、鮑叔牙カ志「管仲ヲ生ケント欲シテ、勝ツニ乘シテ軍ヲ進メテ來テ魯ニ告テ曰ク、子糾ハ親ナリ、請フ「君之ヲ討セヨ、管召ハ讎ナリ、請フ受テ心ヲ甘セン、子糾ハ是レ我カ「親ナリ、我殺スニ忍ヒ不、魯ヲ令テ之ヲ殺サ令欲ス、管仲召忽ハ是レ我「自得テ殺サント欲ス、魯乃チ子糾ヲ生寶ニ殺ス、召忽之ニ死ス、管仲囚ハレント請フ、鮑叔牙之ヲ受テ堂阜ニ及テ之ヲ脱シテ、遂ニ相爲ラ使ム、諸侯ニ覇トシテ天子ヲ輔ケ使ム、諸侯ヲ合ス、故ニ曰「諸侯ニ覇トシテ、一ツニ天子トナラ「匡ス、一切皆「正シ、

【注】

馬融曰、匡正也、天子微弱、桓公率諸侯以尊周室、一正天下也、

馬融カ曰ク、匡ハ正、天子微「弱ナリ、桓公諸侯ヲ率ヒテ周室ヲ尊テ、一天「下ヲ正フス、

【經】

民到于今受其賜、

民今ニ到ルマテ其ノ「賜ヲ受ク、

【疏】

賜猶恩惠也、于時夷狄侵逼中華、得管仲匡霸桓公、今不爲夷狄所侵、皆由管仲之恩賜也、

賜ハ恩「惠ノ猶シ、時于夷「狄中「華ヲ侵シ「逼ム「侵「逼、管仲ヲ得テ匡シテ桓公ヲ霸タラシム。今夷「狄ノ爲ニ侵サ所不ルコトハ、皆管仲カ恩「賜ニ由テナリ、

【注】

受其賜者、謂不被髮左衽之惠也、

其ノ「賜ヲ受クトハ、髮ヲ被リ衽ヲ左ニセ不ルノ惠ヲ謂フ、

【疏】

王弼曰、于時戎狄交侵、亡荆滅衛、管仲攘戎狄、而封之、南服楚師、北伐山戎、而中國不移、故曰受其賜也、

王弼カ曰、時于戎狄交、侵シテ、荆ヲ亡シ衛ヲ滅ス、
管仲戎狄ヲ攘ツテ、之ヲ封シ、南ハ楚ノ師ヲ服シ、北ハ
山戎ヲ伐テ、中國移ラ不、故ニ其ノ賜ヲ受ト曰フ、

【經】
微管仲、吾其被髮左衽矣、

管仲微カツセハ、吾其レ髮ヲ被リ衽(衽)ヲ左ニシテマ
シ、

【疏】
此舉受賜之事也、被髮不結也、左衽衣前也、從右來向左、
孔子言、若無管仲則、今我亦爲夷狄、故被髮左衽矣、

此レハ賜ヲ受クルノ事ヲ擧ク、髮ヲ被ルトハ結ハ不ルナ
リ、衽ヲ左ニスルトハ衣ノ前、右從リ來テ左ニ向フソ、孔
子ノ言ク、若シ管仲無カツセハ、今我亦夷狄ト爲ンナ
マシ、故ニ髮ヲ被リ衽ヲ左ニセシ、

【注】
馬融曰、微無也、無管仲則、君不君、臣不臣、皆爲夷狄
也、

馬融カ曰ク、微ハ無、管仲無カツセハ、君君タラ不、臣臣
タラ不、皆夷狄ト爲ンナマシ、

【經】
豈若匹夫匹婦之爲諒也、自經於溝瀆而莫之知也、

豈一夫一匹婦ノ諒ヲ爲ルカ、自溝瀆ニ經レテ知ラルル
コト莫キカ若クナランヤ、

【疏】
孔子更語子貢、喻召忽死之、不足爲多、管仲不死不足爲小
也、諒信也、匹夫匹婦無大德、而守於小信、則其宜也、自
經謂經死於溝瀆中也、溝瀆小處、非宜死之處也、君子直而
不諒、事存濟時濟世、豈執守小信、自死於溝瀆、而世莫知
者乎、喻管仲存於大業、不爲召忽守小信。而或云召忽投河
而死、故云溝瀆、或云、自經自縊也、白虎通云、匹夫匹婦
者、謂庶人也、言其無德及遠、但夫婦相爲配匹而已、

孔子更ニ子貢ニ語テ、召忽カ死ノ、多シト爲ルニ足ラ不、
管仲カ死セ不ルモ小キト爲ルニ足ラ不ルコトヲ喻ス、諒
ハ信ナリ、匹夫匹婦ハ大德無シ、而ルヲ小信ヲ守ル、
則ハ其レ宜ヘナリ、自經トハ溝瀆ノ中ニ經死スルヲ

謂フ、溝瀆ハ小處ナリ、宜ク死ス宜キ處ニ非ス、君子ハ直ニシテ諒アラ不、事時ヲ濟イ世ヲ濟フニ存ス、豈ニ小信ヲ執リ守テ、自溝瀆ニ死シテ、世ニ知ラルル者莫ランヤ、管仲大業ヲ存シテ、召忽カ小信ヲ守ルコトヲ爲スルコトヲ諭ス。而ルヲ或ハ云ク召忽河ニ投シテ死ス、故ニ溝瀆ト云フ、或ハ云ク、自經ハ自縊（縊）、白虎通ニ云、匹夫匹婦トハ、庶人ヲ謂フ、言ハ其レ德遠ニ及フコト無シ、但夕夫婦相ヒ配匹爲ル而已、

【注】

王肅曰、經經死於溝瀆之中也、管仲召忽之於公子糾、君臣之義未正成、故死之未足深嘉、不死未足多非、

王肅カ曰ク、經ハ溝瀆ノ中ニ經死スルソ、管仲召忽カ公子糾ニ於ケルコト、君臣ノ義未タ正シク成ラ未、故ニ死スレトモ未タ深ク嘉スルニ足ラ未、死セ不レトモ未タ多ク非ルニ足ラ未、

【疏】

二人竝足爲是非也、

二人竝ニ是非爲ルニ足レリ、

【注】

死事既難、亦在於過厚、

死ノ事ハ既ニ難シ、亦タ過キ厚キニ在リ、

【疏】

死是人生之難、而召忽於子糾、未成君臣、今爲之死、亦是過厚、不及管仲不死也、

死ハ是レ人生ノ難キナリ、而ルヲ召忽子糾ニ於テ、未タ君臣ヲ成サ未、今之カ爲ニ死ス、亦タ是レ過厚ニシテ、管仲カ死セ不ルニ及ハ不、

【注】

故仲尼但美管仲之功、亦不言召忽不當死也、

故ニ仲尼但タ管仲カ功ヲ美メテ、亦召忽當ニ死ス當不ト言ハ不、

(一) 「也」、武内本作「乎」。

(二) 「此」下、武内本有「舉」字。

(三) 「也」、武内本作「之」。

(四) 「桓」、武内本無此字。

(五) 「管」、武内本無此字。

(六) 「帥」、武内本作「師」。

(七) 「子糾親請君討之管召讎也請受而甘心焉」、武内本用括號圍此十七字、以爲衍。

(八) 「其」、武内本無此字。

(九) 「也」、武内本無此字。

(一〇) 「矣」下、武内本有「也」字。

(一一) 「經」、武内本作「經」、下同。

【經】

公叔文子之臣大夫僕

公叔文子カ臣大夫僕セシ

【疏】

即前孔子所問公明賈之文子也、有臣名僕亦爲大夫、二

即子前二孔子ノ公明賈ニ問フ所ノ文子ナリ、臣有リ名ハ僕

亦大夫ト爲ル、また

【經】

與文子同升諸公、

文子與ト同ト公ニ升ル、のほ

【疏】

升朝也、諸之也、公衛君也、文子是衛大夫。僕本是家臣、見之有才德、不將爲己之臣、恐掩賢才、乃薦於衛君、衛君用之、亦爲大夫、與文子尊卑使敵、恆與文子齊列同班者也、

朝のほニ升ルソ、諸ハ之ナリ、公トハ衛ノ君ナリ、文子ハ是レ衛ノ大夫。僕ハ本ト是レ家臣ナリ、之カ才徳有ルヲ見テ將ニ己カ臣ト爲ント爲セト將不、賢才ヲ掩ハンコトヲ恐テ、乃チ衛ノ君ニ薦ム、衛ノ君之ヲ用テ、亦大夫ト爲ス、文子與尊卑敵セ使ム、恆ツニ文子與齊ク同一班ニ列スル者ナリ、もろ

【注】

孔安國曰、大夫僕本文子家臣也、薦之使與己並爲大夫、同升在公朝也、

孔安國カ曰ク、大夫撰ハ本文子カ家一臣ナリ、之ヲ薦メテ
己與竝ニ大夫爲ラ使メテ、同ク升テ公一朝ニ在リ、

【經】

子聞之曰、可以爲文矣、

子聞テ曰ク、文ト爲可シ、

【疏】

子孔子也、聞文字與家臣同升、而美之也、言諡文也、以其
德行必大、得諡爲文矣、諡音誌、

子トハ孔子ナリ、文字カ家一臣與同ク升ルト聞テ、之ヲ美
ム、文ト諡セント言コトハ、其ノ德行必大ナルヲ以、
諡シテ文ト爲ルコトヲ得タリ、諡ノ音ハ誌、

【注】

孔安國曰、言行如是、可諡爲文也、

孔安國カ曰ク、言ハ行是ノ如キンハ、諡シテ文ト爲可
シ、

- (一) 「夫」下、武内本有「也」字。
- (二) 「諡」下、武内本有「爲」字。

【經】

子曰、衛靈公之無道久也、

子ノ曰ク、衛ノ靈公無道ナルコト久シ、

【疏】

孔子歎衛君無道、

孔子衛ノ君ノ無道ヲ歎ス、

【經】

康子曰、夫如是奚而不喪、

康子カ曰ク、夫レ是ノ如キンハ奚トシテカ喪ヒ不ル、

【疏】

康子魯季康子也、夫指衛靈公也、奚何也、康子聞孔子歎衛
君無道、故致其言、夫無道者、必須喪傾邦、靈公奚無道行
意、不喪亡其國乎、

康子トハ魯ノ季康子ナリ、夫トハ衛ノ靈公ヲ指ス、奚ハ何ナリ、康子孔子ノ衛ノ君ノ無道ヲ歎スルヲ聞ク、故ニ其ノ言ヲ致ス、夫レ無道ナル者ハ、必ス須ク邦ヲ喪傾ス須シ、靈公奚ソ無道ノ行アリテ、其ノ國ヲ喪亡セズルヤ、

【經】

孔子曰、仲叔圉治賓客、祝鮀治宗廟、王孫賈治軍旅、夫如是奚其喪、

孔子ノ曰ク、仲叔圉ハ賓客ヲ治ム、祝鮀ハ宗廟ヲ治ム、王孫賈ハ軍旅ヲ治ム、夫レ是ノ如キンハ、奚ソ其レ喪ヒン、

【疏】

孔子答康子言靈公無道、邦國不喪之由也、此三臣各掌其政也、喪亡也、或問靈公無道、焉得有好臣、答曰、或是先人老臣未去者也、或靈公少時可得良臣、而後無道、故臣未去也、

孔子康子ニ答テ靈公無道ナレドモ、邦國ノ喪ヒ不ルノ由ヲ言フ、此ノ三臣各其ノ政ヲ掌ル、喪ハ亡ナリ、或

ヒト問フ靈公無道ナリ、焉ソ好臣有ルコトヲ得ン、答テ曰ク、或ハ是レ先人ノ老臣未去ラ未ル者ナリ、或ハ靈公少カツシ時ニ良臣ヲ得可シ、而シテ後無道ナリ、故ニ臣未去ラ未、

【注】

孔安國曰、言君雖無道、所任矣各當其才、何爲當亡乎也、

孔安國カ曰ク、言ハ君無道ナリト雖モ、任スル所各其ノ才ニ當ル、何爲ソ當亡フ當キ乎、

- (一) 「君」、武内本無此字。
- (二) 「聞」、武内本作「問」。
- (三) 「國」、武内本作「邦」。
- (四) 「問」下、武内本有「曰」字。
- (五) 「或」下、武内本有「是」字。
- (六) 「矣」、武内本作「者」。

【經】

子曰、其言之不悖、則其爲之難、

子曰曰ク、其レ言フニ悖ズ不ルトキハ（悖ズ不ルコト

ハ、其レ爲ルニ難シ、

【疏】

怍慙也、人内心虚詐者、外言貌必慙、若内有其實則、外貌無慙、時多虚妄、無慙怍也、故王弼曰、情動於中、而外形於言、情正實、而後言之不作、

怍ハ慙ナリ、人内ニ心虚ニ詐ナル者ハ、外言ニ貌必ス慙アリ、若シ内ニ其ノ實有ル則ハ、外ニ貌慙ルコト、時ニ虚ニ妄多シテ、慙ニ怍無シ、故ニ王弼カ曰ク、情中ニ動テ、外言ニ形ハル、情正實ニシテ、而シテ後之ヲ言コト怍チ不、

【注】

馬融曰、怍慙也、内有其實則、言之不慙、積其實者、爲之難也、

馬融カ曰ク、怍ハ慙、内ニ其ノ實有ル則ハ、之ヲ言フニ慙チ不、其ノ實ヲ積ム者ハ、之ヲ爲ルニ難シ、

(一) 「難」下、武内本有「也」字。

(二) 「也」、武内本作「少」。

【經】

陳成子殺簡公、

陳成子簡公ヲ殺ス、

【疏】

陳桓也、諡成子。魯哀公十四年甲午、齊陳桓殺其君主于舒州、

陳桓ナリ、諡ハ成子。魯ノ哀公十四年甲午、齊ノ陳桓其ノ君主ヲ舒州ニ殺ス、

【經】

孔子沐浴而朝、告於哀公

孔子沐浴シテ朝シテ、哀公ニ告ケテ

【疏】

魯齊同盟、分災救患、故齊亂則、魯宜討之、禮臣下凡欲告君諮謀、必先沐浴、孔子是臣、故先沐浴、告於哀公、孔丘三日齊而請伐齊、

魯齊ハ同盟ニシテ、災ヲ分テ患救フ、故ニ齊亂ルル則ハ、魯宜ク之ヲ討ス宜シ、禮ニ臣ト下凡ソ君ニ告ケテ謀ヲ諮ハント欲ルトキハ、必ス先ツ沐浴ス、孔子ハ是レ臣ナリ、故ニ先ツ沐浴シテ、哀公ニ告ク、孔丘三ノ日齊シテ齊ヲ伐タント請フ、

【經】

曰陳桓殺其君、請討之、

ノ_{なまは}曰ク陳桓其ノ君ヲ殺ス、請フ之ヲ討セン、

【疏】

此哀公之事也、哀公言、魯爲齊弱久矣、子之伐之將若之何。對曰、陳桓殺其君、民之不與者半、以魯衆加齊之半、可克也、是孔子對曰也、

此レハ哀公ノ事ナリ、哀公ノ言ク、魯齊ノ爲ニ弱サルルコト久シ、子之ヲ伐タンコト將ニ若_ニ之_カ何。對ヘテ曰ク、陳桓其ノ君ヲ殺ス、民ノ與セ_ズル者半ナリ、魯ノ衆ヲ以テ齊ノ半ニ加ヘハ、克_カツ可シ、是レ孔子ノ對テ曰フナリ、

【注】

馬融曰、陳成子齊大夫陳桓也、將告君、故先齊、齊必沐浴也、

馬融カ曰ク、陳成子ハ齊ノ大夫陳桓ソ、將ニ君ニ告サント將、故ニ先ツ齊ス、齊スルトキハ必ス沐浴ス、

【經】

公曰、告夫二三子、

公ノ曰ク、夫ノ二三子ニ告ケヨ、

【疏】

二三子是三卿、仲孫叔孫季孫、公得孔子告、不敢自行、更令孔子往告三卿、孔子辭之而不告也、

二三子トハ是レ三卿、仲孫叔孫季孫ナリ、公孔子ノ告コトヲ得テ、敢テ自行ハ不_ス、更ニ孔子ヲ令テ往テ三卿ニ告ケ令ム、孔子之ヲ辭シテ告ケ不_ストイフ、

【注】

孔安國曰、謂三卿也、

孔安國カ曰ク、三卿ヲ謂フソ、

【經】

孔子曰、以吾從大夫之後、不敢不告也、

孔子ノ曰ク、吾大夫ノ後ニ從ヘルヲ以テ、敢テ告サ不
ンハ不、

【疏】

孔子得公令告三卿、故言此答之、言我是大夫、大夫聞事、
應告先主君、云從大夫之後者、孔子謙也、

孔子公ノ三卿ニ告ケ令ムルコトヲ得、故ニ此ヲ言テ之ニ
答フ、言ハ我ハ是レ大夫ナリ、大夫ハ事ヲ聞テ、先ツ
主君ニ告ク應シ、大夫ノ後ニ從フト云フハ、孔子ノ謙ナ
リ、

【經】

君曰、告夫二三子者、

君ノ曰ク、夫ノ二三子ノ者ニ告ケヨト、

【疏】

我禮應告君、本不應告三子、今君令我告三子、我當往告、

我禮ニ君ニ告ク應シ、本三子ニ告ク應不、今君我ヲ令テ
三子ニ告ケ令ム、我當ニ往テ告ク當シ、

【注】

馬融曰、我於禮當告君、不當告三子、君使我往、故復往
也、

馬融カ曰ク、我禮ニ於テ當ニ君ニ告ス當シ、當ニ三子
ニ告ク當カラ不、君我ヲ使テ往カ使ム、故ニ復タ往ク、

【經】

之二三子、

二三子ニ之ク、

【疏】

之往也、孔子從君命而往、

之ハ往ナリ、孔子君ノ命ニ從テ往ク、

【經】

告不可、

不可ナリト告ク、

【疏】

三子告孔子曰、不可討齊也、

三子孔子ニ告テ曰ク、齊ヲ討ス可ラ不^ス、

【經】

孔子曰、以吾從大夫之後、不敢不告、

孔子ノ曰ク、吾^{われ}大夫ノ後^{しりえ}ニ從ヘルヲ以テ、敢テ告サ不^スンハ不^{アラヌ}、

【疏】

三子既告孔子云、齊不可討、故孔子復以此辭、語之曰止也、

三子既ニ孔子ニ告テ云ク、齊ハ討ス可^{へからヌ}不^ス、故ニ孔子復^{また}此ノ辭ヲ以テ、之ニ語テ曰テ止ム、

【注】

馬融曰、孔子由君命、之二三子、告不可、故復以此辭、語之而止之也、

馬融カ曰ク、孔子君^し命ニ由テ、二三子ニ之^ユク、不可ナリト告ク、故ニ復^{また}此ノ辭ヲ以テ、之レニ語テ止ム、

(一) 「陳桓」、武内本作「陳恆」、下同。

(二) 「主」、武内本作「壬」。

(三) 「之」、武内本無此字。

(四) 「也」、武内本無此字。

(五) 「先」、武内本作「于」。

(六) 「令」、武内本作「使」。

【經】

子路問事君、

子路君ニ事ヘンコトヲ問フ、

【疏】

問孔子求事君之法、

孔子二問テ君ニ事ルノ法ヲ求ム、

【經】

子曰。勿欺^二之^一而犯之、

子ノ曰ク。欺クコト勿クシテ犯セ、

【疏】

答事君、當先盡忠、而不欺也、君若有過、則必犯顏而諫^三之、禮云、事君有犯、而無隱、事親者、有隱而無犯、

君ニ事コトヲ答フ、當ニ先ツ忠ヲ盡シテ、欺カ不^レル當シ、君^レ若シ過チ有ル、則ハ必ス顏ヲ犯シテ之ヲ諫ム、禮ニ云ク、君ニ事ルニハ犯スコト有リ、隱スコト無シ、親ニ事ルニハ、隱スコト有テ犯スコト無シ、

【注】

孔安國曰、事君之道、義不可欺、當能犯顏色諫爭也、

孔安國カ曰ク、君ニ^{つかうまつ}事ルノ道、義欺ク^{へからヌ}可不、當ニ能ク顏^へ色ヲ犯シテ諫メ^レ爭フ當シ、

(一) 「之」、武内本作「也」。

(二) 「之」下、武内本有「也」字。

(三) 「者」、武内本無此字。

【經】

子曰、君子上達、

子ノ曰ク、君子ハ上達ス、

【疏】

上達者、達於仁義也、

上達トハ、仁^レ義ニ達スルソ、

【經】

小人下達、

小人ハ下^レ達ス、

【疏】

下達、謂達於財利、所以與君子反也、

下^レ達トハ、財^レ利ニ達スルヲ謂フ、君子與^ト反スル所^ト以^テナ
リ、

【注】

本爲上、末爲下也、

本ヲ上ト爲、末ヲ下ト爲^シ、

【疏】

明今古有異也、

今^レ古異有ルコトヲ明ス、

【經】

子曰、古之學者爲己、

子ノ曰ク、古ノ學者ハ己^{おのレ}カ爲ニス、

【疏】

古人所學、己未善、故學先王之道、欲以自己行之、成己而
己也、

古^レ人ノ學フ所ハ、己^{おのレ}未タ善カラ未、故ニ先^レ王ノ道ヲ學
テ、自己^レヲ以テ之ヲ行テ、己ヲ成サント欲スル而已^ミ、

【經】

今之學者爲人、

今ノ學者ハ人ノ爲ニス、

【疏】

今之世學、非復爲補己之行闕、正是圖能勝人、欲爲人言己
之美、非爲己行不足也、

今ノ世ノ學ハ、復タ己^{おのレ}カ行ノ^レ闕^{かくる}コトヲ補ハント爲ルニ
非ス、正ニ是レ能ク人ニ勝^マンコトヲ圖^へリテ、人ノ爲ニ己^{おのレ}
カ美^{タメ}ヲ言ハレンコトヲ欲ス、己^{おのレ}カ行ノ足ラ不ルカ爲ニス
ルニ非ス、

【注】

孔安國曰、爲己、履而行之也、爲人。徒能言之也、

孔安國カ曰ク、己^{おのレ}カ爲ニストハ、履^フンテ之ヲ行ソ、人ノ
爲ニストハ、徒^タタニ^{タメ}（徒ツテ）能ク之ヲ言フソ、

【經】

徒空也、爲人言之而已無其行也、一云、徒則圖也、言徒爲人說也、

徒ハ空ナリ、人ノ爲ニ之ヲ言フ而已其ノ行フ無シ、一ニ云ク、徒ハ圖ハカツテ（圖）ナリ、言ハ徒テ人ノ爲ニ說クノミ

（一）「非」下、武内本有「以」字。

【經】

蘧伯玉使人於孔子、

蘧伯玉人ヲ孔子ニ使ハス、

【疏】

使人往孔子處、

人ヲ使テ孔子ノ處ニ往カ使ム、

【經】

孔子與之坐而問焉、

孔子之レ與坐シテ問テ、

【疏】

孔子與伯玉之使者、坐而問之、

孔子伯玉カ使者與、坐シテ之レニ問フ、

【注】

孔安國曰、伯玉衛大夫蘧瑗也、

孔安國カ曰ク、伯玉ハ衛ノ大夫蘧瑗キヨシノ、

【經】

曰、夫子何爲、

曰ノたまはク、夫ナニ子何スヲカ爲ル、

【疏】

此孔子所問之事、孔子指伯玉爲夫子、問使者、汝家夫子、何所爲耶、

此レハ孔子ノ問フ所ノ事ナリ、孔子伯玉ヲ指シテ夫子ト

爲^ス、使^レ者二問フ、汝カ^レ家ノ夫^レ子、何ノ爲^ル所カアル耶^ヤ、

【經】

對曰、夫子欲寡其過、而未能也、

對ヘテ曰ク、夫^レ子其ノ^レ過チ寡^クカラマク欲スレトモ、未
夕能ハ未^ス、

【疏】

使者答言、我家夫子恆自修省、夙夜戒愼、欲自寡少於過
失、而未能寡於過也、

使^レ者答テ言ク、我カ^レ家ノ夫^レ子恆ニ自^レ修^レ省^{シテ}（修メ
省^テ）、夙^レ夜ニ戒^レ愼^{シテ}、自^レ過^レ失^寡、少^カランコト
ヲ欲^レトモ、未^ス夕過^チ寡^キコト能^ハ未^ス、

【注】

言夫子欲寡其過、而未能無過也

言^ハ夫^レ子其ノ^レ過^チ寡^クマク欲スレトモ、未^ス夕過^チ無
キコト能^ハ未^ス

【經】

使者出、

使^レ者出テヌ、

【疏】

使者答竟而出、

使^レ者答ヘ竟テ出テヌ、

【經】

子曰、使乎使乎、

子ノ^レ曰ク、使^{ナル}乎使^{ナル}乎、

【疏】

孔子美使者之爲美、故再言使乎者、言伯玉所使得爲其人
也、顏子尚未能無過、况伯玉乎、而使^者曰、未能、是得伯
玉之心、而不見欺也、

孔子使^レ者ノ美^ク爲^ルコトヲ美ム、故ニ再ヒ使^{ナル}乎ト言フ
コトハ、言^ハ伯玉カ使^フ所^ノ其ノ^レ人爲^ルコトヲ得^{タリ}、

顔子スラ尚ヲ未タ過チ無キコト能ハ未、況ヤ伯玉ヲヤ、而ルヲ使^レ者ノ曰ク、未タ能ハ未ト、是^スレ伯玉カ心ヲ得テ、欺カ見^レ不、

【注】

陳群曰、再言使乎、善之也、言使得其人也、

陳群カ曰ク、再ヒ使^レ乎ト言コトハ、之ヲ善スレハナリ、言^ハ使スルニ其ノ^レ人ヲ得タリ、

- (一) 「爲」上、武内本有「作」字。
- (二) 「曰」、武内本作「云」。

【經】

子曰、不在其位、不謀其政、

子ノ曰ク、其ノ^レ位ニ在ラ不レハ、其ノ^レ政ヲ謀ラ不、

【疏】

誠人各專己職、不得濫謀圖他人之政也、

人^ノ各^ノ己^ノカ^ノ職ヲ專ニシテ、濫ニ他^ノ人ノ政ヲ謀リ^テ圖

ルコトヲ得^不レト誠ム、

【經】

曾子曰、君子思不出其位、

曾子カ曰ク、君子ハ思フコト其ノ^レ位ヲ出テ不、

【疏】

君子思慮、當己分内、不得出己之外、而思他人事、思於分外、徒勞不得、袁氏曰、不求分外、

君^ノ子ノ思慮ハ、己カ分^ノ内ニ當テ、己カ外ニ出ルコトヲ得^不、而ルヲ他^ノ人ノ事ヲ思テ、分^ノ外ヲ思フトキハ、徒^ニ勞シテ得^不、袁氏カ曰ク、分^ノ外ヲ求メ^不、

【注】

孔安國曰、不越其職也、

孔安國カ曰ク、其ノ^レ職ヲ越ヘ^不、

- (一) 「曰」、武内本作「云」。

【經】

子曰、君子恥其言之過其行也、

子ノ曰ク、君一子ハ其ノ言ノ其ノ行ニ過キンコトヲ恥ツ、

【疏】

君子之人、顧言慎行、若空出言、而不能行遍、是言過其行也、君子恥之、小人則否、

君一子ノ人、言ヲ顧ミ行ヲ慎ム、若シ空ク言ヲ出シテ、而シテ行コト遍キコト能ハ不ルハ、是レ言其ノ行ニ過ケルナリ、君一子ハ之ヲ恥ツ、小人ハ則チ否ス、

【經】

子曰、君子道者三、我無能焉、

子ノ曰ク、君一子ノ道ハ三ツ、我能クスルコト無シ、

【疏】

言君子所行之道者三、夫子自謙、我不能行其一也、我者孔子自言也、

いふことろ

言ハ君子ノ行フ所ノ道ハ三ツ、夫子自ラ謙シテ、我其ノ一ツヲモ行フコト能ハ不トイフ、我ト者孔子ノ自言イナリ、

【經】

仁者不憂、

仁者ハ憂ヘ不ス、

【疏】

一、樂天知命、内省不疾、は無憂、

一ナリ、天ヲ樂ミ命ヲ知ル、内ニ省ルニ、疾シカラ不ス、是憂ヘ無キナリ、

【經】

智者不惑、

智者ハ惑ハ不ス、

【疏】

二、智者以昭了爲用、は無疑惑、

二ナリ、智_ト者ハ昭_ト了_ラヲ以テ用ト爲_ス、是レ疑_ト惑_ト無キナリ、

道之也、

【經】

勇者不懼、

勇_ト者ハ懼_レ不_ス、

【疏】

三、既有才力、是以捍難衛侮、是无懼敵也、

三ナリ、既ニ才_ト力_ト有_リ、是_ラ以_テ難_ヲ捍_キ侮_リヲ衛_リキ、
是_レ敵_ヲ懼_ルルコト無_シ、

【經】

子貢曰、夫子自道也、

子貢カ曰ク、夫_ト子_ト自_ラ道_ツシク、

【疏】

孔子曰_(三)無、而實有也、故子貢曰_(三)、孔子自道說也。江熙曰_(四)、
聖人體、是極於冲虚、是以忘其神武、遺其靈智、遂與衆
人、齊其能否、故曰我無能焉、子貢識其天真、故曰夫子自

孔子無_{シト}道_ノ曰_フ、而トモ實ニ有_リ、故ニ子貢カ曰ク、孔

子_ト自_ラ道_ト說_{スト}。江熙カ曰ク、聖人ノ體ハ、是_レ冲

(冲)虚_ヲ極_ム、是_ラ以_テ其_ノ神_ト武_ヲ忘_レ、其_ノ靈_ト智_ヲ

遺_テ、遂ニ衆_ト人_ト與_、其_ノ能_ト否_ヲ齊_ス、故ニ曰ク我

レ能_クスルコト無_{シト}、子貢、其_ノ天_ト真_ヲ識_ル、故ニ曰

ク夫_ト子_ト自_ラ道_シクト、

(一) 「道」、武内本作「導」。

(二) 「曰」、武内本作「云」。

(三) 「曰」、武内本作「云」。

(四) 「曰」、武内本作「云」。

【經】

子貢方人、

子貢人ヲ方_ス、

【疏】

方比方人也、子貢以甲比乙、論彼此之勝劣者、

方トハ人ヲ比方スルソ、子貢ハ甲ヲ以テ乙ニ比ス、彼此ノ勝劣ヲ論スル者ナリ、

【注】

孔安國曰、比方人也、

孔安國カ曰ク、人ヲ比方ス、

【經】

子曰、賜也賢乎我夫哉、

子ノ曰ク、賜我ニ賢レルカナ、

【疏】

夫人行難知、故比方人優劣之不易、誰聞己之劣、故聖人不言、聖人不言、而子貢專輒比方之、故抑之而賢乎哉、

夫レ人ノ行ハ知り難シ、故二人優劣ヲ比方スルコト易ラ不、誰カ己カ劣ヲ聞カン、故二聖人ハ言ハ不、聖人スラ言ハ不、而ルヲ子貢專ラ輒ク之ヲ比方センヤ、故二之ヲ抑フ賢レル乎哉ト、

【經】

我則不暇、

我ハ暇アラ不、

【疏】

事既爲難、故我則不暇有比方之說、

事既ニ難シト爲、故二我ハ比方ノ說有ルニ暇アラ不、

【注】

孔安國曰、不暇比方人也、

孔安國カ曰ク、人ヲ比方スルニ暇アラ不、

【疏】

江熙曰、比方人、不得不長短相傾、聖人誨人不倦、豈當相臧否、故云我則不暇、是以問師之賢、而無毀譽、長物之風於是乎、

江熙カ曰ク、人ヲ比方スルトキハ、長短相傾カ不ルコトヲ得不、聖人ハ人ヲ誨ヘテ倦マ不、豈二當二相ヒ臧否ス

當ケンヤ、故ニ云ク我ハ則チ暇アラ不ト、是ヲ以テ師ハ賢レリヤト問フ、而ルヲ毀譽スルコト（毀リ譽ム）無シ、物ニ長タルノ風是ニ於テ乎、

(一) 「誰」上、武内本有「且」字。

(二) 「而」下、武内本有「云」字。

(三) 「曰」、武内本作「云」。

(四) 「臧」、武内本作「藏」。

【經】

子曰、不患人不知、患己無能也、

子ノ曰ク、人ノ己ヲ知ラ不ルコトヲ患ヘ不レ、己カ能無キコトヲ患ヘヨ、

【疏】

言不患人之不知我之有才能也、正患無才能以與人知耳、

言ハ人ノ我カ才能有ルコトヲ知ラ不ルコトヲ患ヘ不レ、正ニ才能ノ以テ人ノ與ニ知ラルルコト無キコトヲ患ヘ、

【注】

王肅曰、徒患己之無德也、

王肅カ曰ク、徒タニ己カ德無キコトヲ患ヘヨ、

(一) 「也」、武内本無此字。

(二) 「德」、武内本作「能」。

【經】

子曰、不逆詐、

子ノ曰ク、逆メ詐ラント不、

【疏】

逆者返也、君子含弘接納、不得逆欺物以詐僞也、李充曰、物有似真而僞、亦有似僞而真者、信僭則懼及僞人、詐濫則懼及真人、寧信詐則、爲教之道弘也、

逆ハ返ナリ、君子ハ含弘接納シテ、逆メ物ヲ欺テ詐リ、僞ルトスルコトヲ得不、李充カ曰ク、物真ニ似テ僞ル有リ、亦僞ニ似テ真ナル者有リ、信僭フ則ハ僞人ニ及ハンコトヲ懼ル、詐リ濫ナル（濫ルル）則ハ真

人ニ及ハントコトヲ懼ル、信ソ詐ソヲ寧マクスル則トモハ、教ヲ爲スノ道ミチ弘シ、

【經】

不憶不信、

億カナラス信アラ不ラントセ不ス、

【疏】

億憶必也、事必須驗。不得憶必懸期人之不信、李充曰、人而無信不知其可也、然閉邪存誠、不在善察、若見失信於前、必憶其無信於後、則容長之風虧、而改過之路鮮矣、億音憶、

億ハ億一必ナリ、事ハ必ス須オヘク驗ココロム須シ。億一必ス懸カナラカ二人ノ信アラ不ト期コトヲ得不ス、李充カ曰ク、人トシテ信無キトキハ其ノ可ナルコトヲ知ラ不ス、然トモ邪ヲ閉チ誠ヲ存スルハ、善一察ニ在ラ不ス、若シ信ヲ前ニ失スルコトヲ見テ、其ノ信ノ後ニ無シコトヲ必カナラ億ストスル、則ハ容イレル(容)一長ノ風一虧ケテ、過アヤヲ改ムルノ路一鮮シ、億ノ音ハ憶、

【經】

抑亦先覺者是賢乎、

抑オモ亦モ先サト覺モル者モ是レ賢ナランヤ、

【疏】

言若逆詐、及憶不信者、此乃是先少覺人情者耳、寧可謂是爲賢者之行乎、李充曰、夫至覺忘覺。不爲覺以求先覺、先覺雖覺、同逆詐之不覺也、

言ハ若シ逆アラカシメ詐ラントシ、及ヒ億カナラス信アラ不トスル者ハ、此レ乃チ是レ先ツ少シ人ノ情ヲ覺ル者耳、寧ウシ口是レ賢者爲ルノ行ト謂フ可シヤ、李充カ曰ク、夫レ至一覺ハ覺ヲ忘ス。覺ヲ爲シテ先一覺ヲ求メ不ス、先一覺覺ルト雖モ、逆アラカシメ一詐ラントスルカ覺ニ不ルト同シ、

【注】

孔安國曰、先覺人情者、是寧能爲賢乎、或時反怨人也、

孔安國カ曰ク、先ツ人ノ情ヲ覺ル者、是レ寧ウシ口能ク賢ナリト爲シヤ、或シクハ時ニ一反テ人ヲ怨ミシム、

【疏】

言先覺或濫、則反受怨責也、顔特進曰、能無此者、雖未窮明理、而亦先覺之次也、

言ハ先覺或ハ濫リナル則ハ、反テ怨責（責）ヲ受ク、顔特進力曰ク、能ク此レ無キ者ハ、未タ明理ヲ窮メ未ト雖、抑亦タ先覺ノ次ナリ（次ナランヤ）、

(一) 「李充曰」、武内本作「李充云」、下同。

(二) 「閉」、武内本作「閑」。

(三) 「鮮」、武内本作「塞」。

(四) 「德音憶」、武内本用括號圍此三字、疑出後人旁記

之詞、非皇疏本文。

(五) 「先」、武内本無此字。

(六) 「曰」、武内本作「云」。

(七) 「而」下、武内本有「抑」字。

【經】

微生畝謂孔子曰、丘何爲是栖栖者與、無乃爲佞乎、

微生畝孔子ニ謂テ曰ク、丘何爲ソ是レ栖栖タル者與、無乃佞ヲ爲シカ、

【疏】

微生畝見孔子東西遑遑屢適不合、故呼孔子名而問之也、言丘何是爲此栖栖乎、將欲行詐佞之事於時世乎也、

微生畝孔子ノ東西ニ遑遑トシテ屢イテ合ハ不ルヲ見ル、故ニ孔子ノ名ヲ呼テ之ヲ問フ、言ハ丘何ソ是レ此ノ栖栖タルコトヲ爲ス乎、將ニ詐佞ノ事ヲ時世ニ行ハント欲スルヤ、

【注】

荀氏曰、微生姓也、畝名也、

荀氏カ曰ク、微生ハ姓、畝ハ名ナリ、

【經】

孔子對曰、非敢爲佞也疾固也、

孔子對ヘテ曰ク、佞ヲ爲ントニハ非ス固キヲ疾ンデナリ、

【疏】

孔子答曰、我之栖栖、非敢詐佞、政是忿疾世固陋、我欲行

道以化之故耳、

孔子答ヘテ「曰ク、我カ栖^{ノたまは}栖タルハ敢テ許^{ノたまは}倭センニハ非ス、政ニ^レ是レ世ノ固陋ヲ忿^{イガ}リ疾テ、我道ヲ行テ之ヲ化セント欲スル故^{ユヘノミ}耳、

【注】

苞氏曰、疾世固陋、欲行道以化人之也、

苞氏カ曰ク、世ノ固陋ナルヲ疾^{ニク}ンテ、道ヲ行テ人ヲ化セント欲ス、

(一) 「曰」、武内本作「云」。

【經】

子曰、驥不稱其力、稱其德也、

子ノ曰^{ノたまは}ク、驥ハ其ノ力ヲ稱セ^ス不、其ノ德ヲ稱ス、

【疏】

驥者馬之上善也、于時輕德重力、故孔子引譬言之也、言伯樂驥非重其力、政是稱其美德耳、驥既如此、而人亦宜然、

驥ハ馬ノ上^ニ善ナリ、時^ニ于德ヲ輕ンシカラ重ンス、故ニ孔子譬^{たと}ヘヲ引テ之ヲ言フ、言^{いふこと}ハ伯樂カ驥ハ其ノ力ヲ重ス

ルニ非ス、政ニ^レ是レ其ノ美^ニ德ヲ稱スル耳、驥スラ既ニ此ノ如シ、而ルヲ人モ亦^レ宜^{よろし}ク然^{しか}ル宜^よシ、

【注】

鄭玄曰、德者謂調良之德也、

鄭玄カ曰ク、徳トハ調良ノ徳ヲ謂フ、

【疏】

江熙曰^三、稱伯樂、曰驥有力、而不稱、君子雖有兼能、而惟稱其德也、

江熙カ曰ク、伯樂ヲ稱シテ、曰ク驥ハ力有^{ちかう}レトモ、稱セ不^ス、君子ハ兼^レ能有^リト雖モ、惟^タタ其ノ徳ヲ稱ス、

(一) 「樂」下、武内本有「曰」字。

(二) 「曰」、武内本作「云」。

【經】

或曰、以德報怨何如、

或ヒトノ曰ク、徳ヲ以テ怨ヲ報セハ何^{イカン}如^カ、

【疏】

或人問孔子曰、彼與此有怨、而此人欲行徳以報彼怨、其事理何如也、

或ル^レ人孔子ニ問テ曰ク、彼ト此與怨有リ、而ルヲ此ノ^レ人徳ヲ行テ以テ彼ノ怨ヲ報セント欲ス、其ノ事^レ理何^{イカン}如^カ、

【經】

子曰、何以報徳、

子ノ曰ク、何ヲ^レ以テカ徳ヲ報セン、

【疏】

孔子不許也、言彼有怨、而徳以報彼、彼有徳於此、則又何以報之也、

孔子許サ不^ス、言^{いふこと}ハ彼怨^かミ有ル、而ルヲ徳ヲ^レ以テ彼ヲ報セハ、彼カ徳此ニ有ラハ、則チ又何ヲ^レ以テカ之ヲ報セン、

【注】

徳恩惠之徳也、

徳ハ恩^レ惠^レノ徳ソ、

【經】

以直報怨、以德報徳、

直ヲ以テ怨ヲ報シ、徳ヲ以テ徳ヲ報ス、

【疏】

既不許以德報怨、故更答以此也、不許以德報怨、言與我有怨者、我宜用直道報之、若與我有徳者、我以備徳報也、所以不持徳報怨者、若行怨而徳報者、則天下皆行怨、以要徳報之、如^ニ之者、是取怨之道也、

既ニ徳ヲ以テ怨ヲ報スルコトヲ許サ不^ス、故ニ更ニ答ルニ此ヲ以テス、徳ヲ以テ怨ヲ報スルコトヲ許サ不^ルコトハ、言^{いふこと}ハ我與怨^ミ有ラハ、我宜^く直^道ヲ用テ之ヲ報ス宜シ、若シ我與徳有ラハ、我^レ以徳ヲ備^テ報セン、徳ヲ持テ怨ヲ報セ^ル所^レ以ハ、若シ怨ヲ行テ徳報セハ、天下皆怨ヲ行テ、以テ徳^レ報ヲ要^スセン(要メン)、之ノ如ハ、是レ怨

ヲ取ルノ道ナリ、

- (一) 「彼」上、武内本有「設」字。
- (二) 「也」、武内本作「之」。
- (三) 「之」、武内本作「此」。

【經】

子曰、莫我知也夫、

子ノ曰ク、我ヲ知ルコト莫イ夫、

【疏】

莫無也、孔子歎世人無知我也、

莫ハ無ナリ、孔子世一人ノ我ヲ知ルコト無コトヲ歎ス、

【經】

子貢曰、何爲其莫知子也、

子貢カ曰ク、何爲ソ其レ子ヲ知ルコト莫ラン、

【疏】

子貢怪夫子有此言、云何謂莫知子乎、何爲猶若爲也、

子貢夫一人ノ此ノ言有ルコトヲ怪シム、云何ソ子ヲ知ルコト莫ト謂フヤ、何爲トハ若爲(若爲ソ)ノ猶シ、

【注】

子貢怪夫子言、何爲莫知己、故問也、

子貢夫一人ノ言ヲ怪シム、何爲ソ己ヲ知ルコト莫ラントイフ、故二問フ、

【經】

子曰、不怨天、不尤人、

子ノ曰ク、天ヲモ怨ミ不、人ヲモ尤メ不、

【疏】

孔子答無知我之事、尤責也、言我不見用、而世人咸言、我應怨天責人、而我實無此心也、人不見知、而我不責人、夫不見用、我亦不怨天也、

孔子我ヲ知ルコト無キノ事ヲ答フ、尤ハ責ナリ（責ム）、
言ハ我用ヒ見レ不、而ルヲ世人咸ニ言フ、我天ヲ
怨ミ人ヲ責ム應シト、而ルヲ我實ニ此ノ心無シ、人ニ知ラ
見不トモ、我人ヲモ責メ不、夫レ用ヒ見レ不レトモ、我亦
天ヲモ怨ミ不、

【注】

馬融曰、孔子不用於世、而不怨天、人不知己、亦不尤人
也、

馬融カ曰ク、孔子世ニ用ヒラレ不レトモ、天ヲモ怨ミ不、
人己ヲ知ラ不レトモ、亦人ヲモ尤メ不、

【經】

下學而上達、

下學シテ上達ス、

【疏】

解無知我所以不怨天、不尤人之由也、下學學人事、上達達
天命、我既學人事、人事有否有泰、故不尤人、上達天命、
天命有窮有通、故我不怨天也、

我ヲ知ルコト無レトモ天ヲモ怨ミ不、人ヲモ尤メ不ル
所以ノ由ヲ解ク、下學トハ人事ヲ學フソ、上達トハ
天命ニ達スルソ、我既ニ人事ヲ學フ、人事ハ否有リ泰
有リ、故二人ヲモ尤メ不、上天ノ命ニ達ス、天命ハ窮有リ
通有リ、故ニ我天ヲモ怨ミ不、

【注】

孔安國曰、下學人事、上知天命也、

孔安國カ曰ク、下ツカタ人事ヲ學テ、上ツカタ天命ヲ知
ル、

【經】

知我者、其天乎、

我ヲ知ル者ハ、其レ天カ、

【疏】

人不見知我、我不怨不尤者、唯天知之耳、

人我ヲ見知セ不レトモ、我怨ミ不尤メ不ルコトハ、唯天
天之ヲ知ル耳、

【注】

聖人與天地合其德、故曰唯天知己也、

聖人ハ天ト地ト與其ノ德ヲ合フ、故ニ唯タ天ノミ己ヲ知ルト曰フ、

【疏】

聖人徳合天地、天地無可怨責、故我亦不怨責之也、

聖人ハ徳天ト地ト合フ、天ト地トハ怨責ス可キ無シ、故ニ我モ亦タ之ヲ怨責セズ、

(一) 「也」、武内本作「者」。

(二) 「夫」、武内本作「天」。

(三) 「故」下、武内本有「我」字。

(四) 「其」下、武内本有「唯」字。

(五) 「可」、武内本無此字。

(六) 「我」、武内本無此字。

【經】

公伯寮愬子路於季孫、

公伯寮子路ヲ季孫ニ愬フ、

【疏】

愬譖也、子路時仕季氏、而伯寮讒季氏、令信譖、譖子路也、

愬ハ譖ナリ、子路時ニ季氏ニ仕フ、而ルヲ伯寮季氏ニ讒ス、譖ヲ信セ令メテ、子路ヲ譖ス、

【注】

馬融曰、愬譖也、伯寮魯人弟子也、

馬融カ曰ク、愬ハ譖、伯寮ハ魯ノ人弟子ソ、

【疏】

亦是孔子弟子、其家在魯、故云魯人弟子也、

亦是モ孔子ノ弟子ナリ、其ノ家魯ニ在リ、故ニ魯人弟子ト云フ、

【經】

子服景伯以告、

子服景伯告ス、

【疏】

子服景伯聞伯寮譖子路、故告孔子、

子服景伯伯寮カ子路ヲ譖スルヲ聞ク、故ニ孔子ニ告ス、

【注】

馬融曰、魯大夫、子服何忌也、告告孔子也、

馬融カ曰ク、魯ノ大夫、子服何忌ノ、告ストハ孔子ニ告
ソ、

【經】

曰、夫子固有惑志、

曰ク、夫子固ニ惑ヘル志有リ、

【疏】

此景伯所告之辭、夫子者季孫爲夫子也、惑志、謂季孫信伯
寮之讒子路也、

此レハ景伯カ告ス所ノ辭ナリ、夫子トハ季孫ヲ夫子ト爲ス
惑ヘル志トハ、謂ル季孫カ伯寮カ子路ヲ讒スルヲ信
スルソ、

【注】

孔安國曰、季孫信讒、恚子路也、

孔安國カ曰ク、季孫讒ヲ信シテ、子路ニ恚ム、

【經】

於公伯寮也、吾力猶能肆諸市朝、

公伯寮ニ於テ、吾カ力猶ヲ能ク市朝ニ肆セシメン、

【疏】

景伯既告孔子曰、季子猶有惑志、而又說此助子路。使子路
無罪、而伯寮致死、言若於他人絃有豪勢者、則吾力勢不能
誅耳、主於伯寮者、則吾之力勢、是能使季孫審子路之無
罪、而殺伯寮於市朝也、肆者殺而陳尸也、

景伯既ニ孔子ニ告シテ曰ク、季氏猶ヲ惑ヘル志有リ、
而ルヲ又此ヲ說テ子路ヲ助ケテ、子路ヲ使テ罪無カラ使メ

テ、而シテ伯寮ヲ死ニ致サン、言ハ若シ他一人ノ絃ヤカニ豪勢有ル者ニ於テハ、吾カ力一勢誅スルコト能ハ不ル耳、伯寮ヲ主トシテハ、則チ吾カ力一勢、是レ能ク季孫ヲ使テ子路カ罪無コトヲ審ラカニセ使メテ、伯寮ヲ市朝ニ殺サン、肆トハ殺シテ尸ヲ陳フルゾ、

【注】

鄭玄曰、吾勢能辨子路之無罪於季孫、使之誅伯寮而肆也、有罪既刑、陳其尸曰肆也、

鄭玄カ曰ク、吾カ一勢ヒ能ク子路カ季孫ニ罪無キコトヲ辨シテ、之ヲ使テ伯寮ヲ誅シテ肆セ使メン、罪有ルトキニ既ニ刑シテ、其ノ尸ヲ陳スルヲ肆ト曰フ、

【疏】

殷禮、殺大夫已上於朝、殺士於市、殺而猶陳曝其尸、以示百姓曰肆也、

殷ノ禮ニ、大夫已上ヲハ朝ニ殺ス、士ヲ市ニ殺ス、殺シテ猶ヲ其ノ尸ヲ陳ヘ曝シテ、百姓ニ示スヲ肆ト曰フ、

【經】

子曰、道之將行也與命也、

子ノ曰ク、道ノ將ニ行ハレント將ルモ命ナリ、

【疏】

孔子答景伯、以子路無罪、言人死生有命、非伯寮之譖、如何、言人之道德得行於世者、此是天之命也、

孔子景伯ニ答ルニ、子路カ罪無キヲ以テス、言ハ人ハ死一生命有リ、伯寮カ譖モ、如何トモスルニ非ス、言ハ人ノ道一德世ニ行ハルルコトヲ得ルコトハ、此レハ是レ天ノ命ナリ、

【經】

道之將廢也與命也、公伯寮其如命何、

道ノ將ニ廢レナント將ルモ命ナリ、公伯寮其レ命ヲ如何、

【疏】

又言、人君道廢墜、不用於世者、此亦是天之命也、子路之道廢興、由天之命耳、雖公伯寮之譖、其能違天命、而興廢

於子路耶。江熙（註）曰、夫子使景伯辨子路則不過、季孫爲甚拒之、則逆其區區之誠、故以行廢之命期之、或有如不救、而大救也、

又ノ言ク、人ノ君ノ道廢ツイ墜シテ、世ニ用ラレズ不ルコトハ、此レモ亦是レ天ノ命ナリ、子路カ道ノ廢興、天ノ命ニ由ルラク耳、公伯寮カ譖ト雖、其レ能ク天ノ命ニ違タカツテ、子路ヲ興ア廢センヤ。江熙カ曰ク、夫ノ子景伯ヲ使シテ子路カ過アヤアラズ不ルコトヲ辨セ使メハ、季孫甚タ之ヲ拒フセクコトヲ爲シテ、則チ其ノ區區タルノ誠ニ逆ハン、故ニ行ハ廢ノ命ヲ以テ、之ヲ期ス、或ハ如シカルコト有ルハ救ハ不ズレトモ、大ニ救フナリ、

- (一) 「讒」、武内本作「讒」。
- (二) 「曰」、武内本作「云」。
- (三) 「絃」、武内本作「絃」。
- (四) 「者」下、武内本有「歟」字。
- (五) 「曰」、武内本作「云」。

【經】

子曰、賢者避世、

子ノ曰ク、賢者ハ世ヲ避ク、

【疏】

聖人磨而不磷、涅而不緇、無可無不可、故不以治亂爲隔、若賢者、去就順時、若天地閉塞則、賢人便隱、高蹈塵外、枕流漱石、天子不得而臣、諸侯不得而友、此謂避世之士也、

聖人ハ磨トケトモ磷ウスラカ不、涅クリニスレトモ緇クロマ不、可モ無ク不レ可モ無シ、故ニ治ハ亂ヲ以テ隔ナテヲ爲サ不、賢ハ者ノ若キンハ、去リ就時ニ順フ、若シ天ハ地閉リ塞スル則トハ、賢ハ人ハ便ズチハ隱テ、高ク塵ハ外ヲ蹈テ、流ニ枕シ石ニ漱スク、天ハ子モ得テ臣トセ不、諸侯モ得テ友ト不、此ヲ世ヲ避ルノ士ト謂フ、

【注】

孔安國曰、世主莫得而臣之也、

孔安國カ曰ク、世ハ主モ得テ臣トスルコト莫シ、

【經】

其次避地、

其ノ次ハ地ヲ避ク、

【疏】謂中賢也、未能高栖絶世、但擇地處、去亂就治、此是避地之士也、

中賢ヲ謂フ、未タ高ク栖テ世ヲ絶スルコト能ハ未、但タ地ヲ擇テ處ル、亂ヲ去テ治ニ就ク、此レハ是レ地ヲ避ルノ士ナリ、

【注】馬融曰、去亂國、適治邦也、

馬融カ曰ク、亂國ヲ去テ、治邦ニ適クソ、

【經】其次避色、

其ノ次ハ色ヲ避ク、

【疏】此次中之賢也、不能預擇治亂、但臨時觀君之顔色、顔色惡

則去、此謂避色之士也、

此レハ中ニ次ク賢ナリ、預メ治亂ヲ擇フコト能ハ不。但タ時ニ臨テ君ノ顔色ヲ觀ルニ、顔色惡シキ則ハ去ル、此ヲ色ヲ避ルノ士ト謂フ、

【注】孔安國曰、色斯舉也、

孔安國カ曰ク、色ノママニ斯ニ舉ス、

【經】其次避言、

其ノ次ハ言ヲ避ク、

【疏】此又次避色之賢者、不能觀色斯舉矣、唯但聽君言之是非、聞惡言則去、此謂避言也、

此レハ又タ色ヲ避ルニ次クノ賢者ナリ、色ヲ觀テ斯ニ舉スルコト能ハ不、唯タ但タ君ノ言ノ是非ヲ聽ク、惡言

ヲ聞ク則ハ去ル、此ヲ言ヲ避ルト謂フ、

【注】

孔安國曰、有惡言乃去也、

孔安國カ曰ク、惡言有ルトキハ乃シ去ル、

【經】

子曰、作者七人矣、

子ノ曰ク、作者七一人、

【疏】

引孔子言、證能避世已下、自古已來、作此行者、唯七人而已矣、

孔子ノ言ヲ引テ、能ク世ヲ避ルヨリ已下ヲ證ス、古自
リ已來、此ノ行ヲ作ス者、唯タ七一人而已、

【注】

苞氏曰、作爲也、爲之者凡七人、謂長沮桀溺丈人石門荷簣
儀封人楚狂接輿也、

苞氏カ曰ク、作ハ爲、之ヲ爲ス者凡テ七一人トハ、長沮桀
溺丈人石門荷簣儀封人楚ノ狂接輿ヲ謂フ、

【疏】

七人、是注中有七人也、王弼曰、七人伯夷叔齊虞仲夷逸朱
張柳下惠少連也、鄭康成曰、伯夷叔齊虞仲避世者、荷條長
沮桀溺避地者、柳下惠少連避色者、荷簣楚狂接輿避言者
也、七當爲十、字之誤也、

七一人トハ、是ノ注ノ中ニ七一人有リ、王弼カ曰ク、七一人
トハ伯夷叔齊虞仲夷逸朱張柳下惠少連ナリ、鄭康成カ曰
ク、伯夷叔齊虞仲ハ世ヲ避ル者ナリ、荷條長沮桀溺ハ地
ヲ避ル者ナリ、柳下惠少連ハ色ヲ避ル者ナリ、荷簣楚ノ狂
接輿ハ言ヲ避ル者ナリ、七八當二十二爲ル當シ、字ノ誤ナ
リ、

(一) 「枕流漱石」、武内本作「枕石漱流」。

(二) 「言」下、武内本有「之士」二字。

(三) 「曰」、武内本作「云」、下同。

(四) 「一條」、武内本作「篠」。

【經】

子路宿於石門、

子路石門ニ宿ス、

【疏】

石門地名也、子路行住石門宿也、云石門者、魯城門外也、

石門ハ地ノ名ナリ、子路行テ石門ニ住トトマツテ宿ス、石門ト云フコトハ、魯ノ城門ノ外ナリ、

【經】

石門晨門曰、奚自、

石門ノ晨門ノ曰ク、奚イレヨ自ヨリソ、

【疏】

晨門、守石門、晨昏開閉之吏也、魯人也、自從也、子路既在石門。守門之吏、朝早開見子路從石門行過、故問子路曰、汝將從何而來耶、

晨門トハ、石門ヲ守テ、晨昏ニ開閉之吏ナリ、魯人ナ

リ、自ハ從ナリ、子路既ニ石門ニ在リ。門ヲ守ルノ吏、朝早ニ開テ子路カ石門從リ行キ、過ルヲ見ル、故ニ子路ニ問テ曰ク、汝將何レ從なんぢハタリシテ來ル耶、

【注】

晨門者、闔人也、

晨門ハ、闔コ人ナリ、

【疏】

守昏晨者也、

昏ム晨モヲ守ル者ナリ、

【經】

子路曰、自孔氏、

子路カ曰ク、孔氏よ自ヨリス、

【疏】

子路答曰、我此行、從孔子處來也、

子路答テ曰ク、我カ此ノ行、孔子ノ處從リ來ル、

【經】

曰、是知其不可而爲之者與、

曰ク、是レ其ノ不可ナルコトヲ知テ之ヲ爲ル者與、

【疏】

晨門聞子路云從孔子、故知是孔子也、言孔子知世不可教化而強周流東西、是知其不可爲之、故問之、

晨門子路カ孔子從リト云フヲ聞ク、故ニ是レ孔子ヲ知ル、
言ハ孔子世ノ教化ス可ラナルコトヲ知テ而シテ強テ
東西ヲ周流ス、是レ其ノ不可ナルコトヲ知テ之ヲ爲ス、
故ニ之ヲ問フ、

【注】

荀氏曰、言孔子知世不可爲、而強爲之也、

荀氏カ曰ク、言ハ孔子世ノ爲ム可ラナルコトヲ知テ、
強テ之ヲ爲ム、

(二) 「曰」、武内本作「云」。

【經】

子擊磬於衛、

子磬ヲ衛ニ擊ツ、

【疏】

孔子時在衛、而自以槌擊磬而爲聲也、

孔子時ニ衛ニ在テ、自槌ヲ以テ磬ヲ擊ツテ聲ヲ爲ス、

【經】

有荷簣而過孔子之門者、

簣ヲ荷フテ孔子ノ門ヲ過クル者有リ、

【疏】

荷擔揚也、簣織草爲器、可貯物也、當孔子擊磬之時、有一人擔揚草器、而過孔子之門也、

荷ハ擔揚ナリ、簣ハ草ヲ織テ器ヲ爲ス、物ヲ貯フ可シ、

孔子磬ヲ擊ツノ時ニ當テ、一人有リ草器ヲ擔揚シテ、
而シテ孔子ノ門ヲ過ク、

【經】

曰、有心哉擊磬乎、

曰ク、心有ル哉磬ヲ擊ツコト、

【疏】

荷簣者、聞孔子磬聲、而云、非是平常之其聲乎、有別所
志、故云有心哉、

簣ヲ荷フ者、孔子ノ磬ノ聲聞テ、云ク、是レ平常ノ其ノ
聲ニ非ス、別ニ志ス所有リ、故ニ云ク心有ル哉、

【注】

簣草器也、有心謂契契然也、

簣ハ草ノ器ソ、心有トハ契契然タルヲ謂フ、

【疏】

契契、謂心別有所志、詩云、契契寢歎、

契契ハ、心ニ別ニ志ス所有ルヲ謂フ、詩ニ云ラク、契
契トシテ寢テ歎ス、

【經】

既而曰鄙哉、

既ニシテ曰ク鄙シイ哉、

【疏】

既而猶既畢也、荷簣既云有心、而察之、察之既畢、又云鄙
哉、言磬中之聲甚可鄙劣也、

既而ハ既畢ノ猶シ、荷簣既ニ心有ルカナト云テ、而シテ
之ヲ察ス、之ヲ察スルコト既ニ畢テ、又タ云ク鄙哉、
言ハ磬中ノ聲甚タ鄙劣ナル可シ、

【經】

徑徑乎莫已知也、

徑徑乎トシテ己ヲ知ルコト莫キコト、

【疏】

此鄙哉之事、言聲中硜硜有無知己之也、

此レハ鄙哉ノ事ナリ、言ハ聲中硜硜トシテ己ヲ知ルコト無キコト有リ、

【經】

斯己而已矣、

斯レ己而已ナリ、

【疏】

又言、孔子硜硜不肯隨世變、唯自信己而已矣、

又タ言ク、孔子硜硜トシテ肯テ世ノ變ニ隨ハ不、唯タ自己ヲ信スル而已、

【注】

此硜硜徒信己而已、言亦無益也、

此ノ硜硜ハ徒ニ己ヲ信スラク而已、言ハ亦益無シ、

【疏】

徒空也、時既不行、而猶空信己道、欲行之、是於教化、無所益也、

徒ハ空ナリ、時ニ既ニ行ハレ不、而シテ猶ヲ空ク己カ道ヲ信シテ、之ヲ行ハント欲、是レ教化ニ於テ、益スル所無シ、

【經】

深則厲、淺則揭、

深キ則ハ厲シ、淺キ則ハ揭ス、

【疏】

荷簣者、又引事爲譬、以諫孔子也、以衣涉水爲厲、褰衣涉水曰揭、言人之道化世、當隨世盛衰、如涉水也、若水深者、則不須揭衣、揭衣曾是無益、當合而厲之、水若淺者、涉當褰揭而度、譬如爲教、若世不可教、則行之如不揭也、若世可教、則行之如揭衣以涉水也、爾雅云、繇膝以下爲揭、繇膝以上爲厲、繇猶由也、

簣ヲ荷フ者、又事ヲ引テ譬ヲ爲シテ、孔子ヲ諫ム、衣ヲ以

テ水ヲ涉ルヲ厲ト爲、衣ヲ褰ケテ水ヲ涉ルヲ掲ト曰フ、
 言ハ人ノ道ヲ行ヒ世ヲ化スルコト、當ニ世ノ盛衰ニ隨
 フコト、水ヲ涉ルカ如ナル當シ、若シ水ニ深キ者ハ、則チ
 衣ヲ掲ク須ラ不、衣ヲ掲クルトキハ曾テ是レ益無シ、當ニ
 合ツテ之ヲ厲ス當、水若シ淺キ者ハ、涉ルコト褰ケテ掲
 テ度ル當シ、譬ハ教ヲ爲スカ如シ、若シ世教フ可ラ不ル、
 則ハ之ヲ行フコト掲ケ不ルカ如シ、若シ世教フ可キ、則
 ハ之ヲ行コト衣ヲ掲テ水ヲ涉ルカ如シ、爾雅ニ云ク、膝繇
 リ以下ヲ掲ト爲、膝繇リ以上ヲ厲ト爲、繇ハ由ノ猶シ、

【注】

苞氏曰、以衣涉水爲厲、掲掲衣、言隨世以行己、若遇水必
 以濟、知其不可則當不爲也、

苞氏カ曰ク、衣ヲ以テ水ヲ涉ルヲ厲ト爲、掲ハ衣ヲ掲クル
 ソ、言ハ世ニ隨テ己ヲ行フ、水ニ遇テ必ス以テ濟ルカ
 若シ、其ノ不可ナルコトヲ知ル則ハ當ニ爲不ル當シ、

【經】

子曰、果哉末之難矣、

子ノ曰ク、果ナルカナ難シトスルコト末キコト(末イコト

難イカナ)、

【疏】

孔子聞荷簣譏己、而發此言也、果者敢也、末無也、言彼未
 解我意、而便譏我、此則爲果敢之甚也、故曰果哉、但我道
 之深遠、彼是中人、豈能知我、若就彼中人、求無譏者、則
 爲難矣、玄風之攸在、賢聖相與、必有以也、夫相與於無相
 與、乃相與之至、相爲於無相爲、乃相爲之遠、苟各修本、
 奚其泥也、同自然之異也、雖然未有如荷簣之談、譏甚也、
 案文索義、全近則泥矣、其將遠則、通理、嘗試論之、武王
 從天應民、而夷齊叩馬謂之殺君、夫子疾固勤誨、而荷簣之
 聽、以爲磴磴、言其未達那、則彼皆賢也、達之先於衆矣、
 殆以聖人作而萬物都覩、非聖人則無以應萬方之求、救天下
 之弊、然救弊之迹、弊之所緣、勤誨之累、則焚書坑儒之禍
 起、革命之弊、則王莽趙高之釁成、不格擊其迹、則無振希
 聲之極致、故江熙曰、隱者之談夫子各致此出處不乎、

孔子荷簣カ己ヲ譏ルヲ聞テ、此ノ言ヲ發ス、果ハ敢ナ
 リ、末ハ無ナリ、言ハ彼未タ我カ意ヲ解ラ未シテ、我
 ヲ譏ル、此レ則チ果敢ノ甚シト爲、故ニ果ナルカト曰フ、
 但タ我カ道ハ之レ深遠ナリ、彼ハ是レ中人、豈ニ能ク
 我ヲ知シヤ、若シ彼ノ中人ニ就テ、譏コト無コトヲ求ル

コトハ、則チ難シト爲、玄風ノ在ル故、賢聖ノ相ヒ與
 カルコト（與ニスルコト）、必ス以有リ、夫レ相ヒ與ルコ
 ト無キニ相ヒ與ルハ、乃チ相ヒ與ルノ至ナリ、相ヒ爲
 ルコト無ニ相ヒ爲ルハ、乃シ相ヒ爲ルノ遠ナリ、苟ニ
 各本ヲ修メハ、奚ソ其レ泥マンヤ、同ク自然ノ異ナ
 リ、然ト雖未タ荷篋力談ノ如キハ、譏リノ甚シキコト
 有ラ未シヤ、文ヲ案シ義ヲ索ムルニ、近ニ全キ則ハ泥ム、
 其レ遠ヲ將フ則ハ、理ニ通ス、嘗テ試ニ之ヲ論セン、武
 王ハ天ニ從ヒ民ニ應ス、而ルヲ夷齊馬ヲ叩イテ之ヲ君ヲ殺
 スト謂フ、夫ニ固シキヲ疾ミ誨ヘヲ勤ム、而ヲ荷篋聽テ、
 以テ磔磔ト爲、言ハ其レ未タ達セ未ル那、則チ彼ハ
 皆賢ナリ、之二達スルコト衆ニ先ツ、殆ト以ルニ聖人
 作ツテ萬物都テ觀ル、聖人ニ非ンハ以テ萬方ノ求ニ應
 シ、天ト下ノ弊（弊エ）ヲ救コト無ン、然トモ弊ヲ救フノ
 迹、弊ノ縁ル所ナリ、誨ヘヲ勤ルノ累（累イ）、則チ書ヲ
 焚キ儒ヲ坑ニスルノ禍起ル、命ヲ革ムルノ弊、則チ王
 莽趙高カ變成ル、其ノ迹ヲ格シ撃タ不ンハ、則ハ希聲
 ノ極致ヲ振コト無ン、故ニ江熙カ曰ク、隱者ノ夫子ヲ
 談スルコト各此ノ出處ヲ致スヤ不ヤ、

【注】 未知己志、而便譏己、所以爲果也、未無也、無難者以其不
 能解己道也、

未タ己カ志ヲ知未、便チ己ヲ譏ル、果ト爲ル所以ナ
 リ、未ハ無、難トスルコト無トハ其ノ己カ道ヲ解スルコ
 ト能ハ不ルヲ以テナリ、

(一) 「寢」、武内本作「寤」。

(二) 「事」、武内本作「言」。

(三) 「曰」、武内本作「云」、下同。

【經】

子張曰、書云、高宗諒陰、三年不言何謂也、

子張カ曰ク、書ニ云ラク、高宗諒ニ陰シテ、三年言ハ
 不トハ何ント謂フコトソヤ、

【疏】

高宗殷中興王也、名武帝、殷家三十帝、水德王。六百二十
 九年、高宗是第二十二帝也、前帝小乙之子也、其武丁登位
 之時、殷祚已得三百四十三年、其德高而可宗、故謂爲高宗

也、諒信也、陰默也、尚書云、祚其即位、乃或亮陰三年不言、是武丁起、其即王位、則小乙死、乃有信默言、其孝行著、子張讀尚書、見之不曉、嫌與世異、故發問孔子何謂也、

高宗ハ殷ノ中興ノ王ナリ、名ハ武^一帝、殷家ハ三^一十一帝、水^一德ノ王。六^一百二^一十九年、高宗ハ是レ第二^一十二^一帝ナリ、前^一帝小乙ノ子ナリ、其ノ武丁登^一位ノ時、殷ノ祚^一(祚)已ニ三百四^一十三年ヲ得タリ、其ノ德高シテ宗フ可シ、故ニ謂テ高宗ト爲、諒ハ信ナリ、陰ハ默ナリ、尚書ニ云ク、祚トハ其ノ即^一位ソ、乃チ或ハ亮^一ニ陰シテ二^一二年言ハ不、是レ武丁起テ、其レ王^一位ニ即ク、則ハ小乙死ス、乃シ信^一默ノ言有リ、其ノ孝^一行著ル、子張尚書ヲ讀テ、之ヲ見テ曉ラ不、世與異ナルコトヲ嫌ウ(嫌フ)、故ニ發シテ孔子ニ問フ何ント^一謂フコトソヤト、

【注】

孔安國曰、高宗殷之中興王武丁也、諒信也、陰猶默也、

孔安國カ曰ク、高宗ハ殷ノ中興ノ王武丁ソ、諒ハ信、陰ハ默ノ猶シ、

【疏】

或呼倚廬爲諒陰、或呼爲梁闇、或呼梁庵、各隨義而言之、或ハ倚^一廬ヲ呼テ諒^一陰ト爲、或ハ呼テ梁^一闇ト爲、或ハ梁^一庵ト呼フ、各^一義ニ隨テ之ヲ言フ、

【經】

子曰、何必高宗、古之人皆然、

子曰ク、何ソ必シモ高宗ノミナラン、古ノ人皆^一然リ、

【疏】

孔子答子張古之人君也、言古之人君、有喪者、皆三年不言、何必獨美高宗耶、此言亦激時人也、

孔子子張ニ古ノ人^一君ヲ答フ、言^一ハ古ノ人^一君、喪有ル者ハ、皆三年言ハ不、何ソ^一必シモ獨リ高宗ヲ美メン耶、此ノ^一言亦時ノ人ヲ激マス、

【經】

君薨百官總^一已、

君「薨スルトキ二百一官己ニ總テ、

【疏】

説人君之喪、其子得不言之由、若君死則、群臣百官、不復
諮詢於君、而各總束己之事、故云總己、

人君ノ喪ニ、其ノ子言ハ不ルコトヲ得ルノ由ヲ説ク、若
シ君死スル一則ハ、群一臣百一官、復タ君ニ諮イ一詢ハ不、
各一己カ事ヲ總ヘ一束ヌ、故ニ己ニ總フト云フ、

【注】

馬融曰、己己百官也、

馬融カ曰ク、己トハ百一官ニ己ソ、

【疏】

己具己於百官、各自束己身也、

己トハ具ニ百一官ニ己ソ、各一自一己カ一身ヲ束ヌル
ソ、

【經】

以聽於冢宰三年、

冢宰ニ聽クコト三十年、

【疏】

冢宰上卿也、百官皆束己職、三年聽冢宰、故嗣君三年不言
也、

冢宰ハ上一卿ナリ、百一官皆己カ一職ヲ束テ、三一年冢一宰
ニ聽ク、故ニ嗣一君三一年言ハ不、

【注】

孔安國曰、冢宰天官卿佐王治者也、三年喪畢、然後王自聽
政之也、

孔安國カ曰ク、冢宰ハ天官ノ卿王ノ一治ヲ佐クル者ナリ、
三一年ノ喪一畢テ、然シテ後ニ王一自一政ヲ聽ク、

(一) 「興」下、武内本有「之」字。

(二) 「帝」、武内本作「丁」。

(三) 「三十」、武内本作「卅」。

(四) 「二十」、武内本作「廿」。

(五) 「位」、武内本作「祚」。

(六) 「己」下、武内本有「也」字。

(七) 「己」、武内本無此字。

【經】

子曰、上好禮則民易使也、

子ノ曰ク、上禮ヲ好ム則ハ民使ヒ易シ、

【注】

民莫敢不敬故易使、

民敢テ敬セ不トイフコト莫シ故ニ使ヒ易シ、

【疏】

禮以敬爲主。君既好禮、則民莫敢不敬、故易使之也、

禮ハ敬ヲ以テ主ト爲。君既ニ禮ヲ好ム、則ハ民敢テ敬セ
不トイフコト莫シ、故ニ之ヲ使ヒ易シ、

(一) 「使」下、武内本有「之」字。

(二) 「民莫敢不敬故易使」、武内本無此八字。

(三) 「之」、武内本無此字。

(四) 「也」下、武内本有「民莫敢不敬故易使之也」十
字。

【經】

子路問君子、

子路君一子ヲ問フ、

【疏】

問爲君子之法也、

君一子爲ルノ法ヲ問フ、

【經】

子曰。修己以敬人、

子ノ曰ク。己ヲ修メテ以テ人ヲ敬ス、

【疏】

身正則民從、故君子自修己身、而自敬也、

身ミツカラ正しんキ則すなはハ民たみ從したがフ、故ニ君きみ子こハ自ミツカラ己おのレカ身みヲ修しゆメテ、自ミツカラ敬けいス、

【注】

孔安國曰、敬其身也、

孔安國カ曰ク、其ノ身ヲ敬スルソ、

【經】

曰。如斯而已乎、

曰いはク。斯こゝろノ如ごとキ而して己み乎か、

【疏】

子路嫌其少、故重更諮問孔子、如此而已乎、斯此也、

子路其ノ少すくキナルコトヲ嫌きらフ、故ニ重かさねテ更またニ孔子ニ諮とヒと問とフ、此こゝろノ如ごとキ而して己み乎か、斯こゝろハ此こゝろナリ、

【經】

曰。修己以安人、

曰いはク。己おのレヲ修しゆメテ以もつテ人たヲ安やすンス、

【疏】

答子路、言當能先自修敬己、而後安人也、

子路ニ答こたフ、言いひハ當まさニ能あたク先まづ自みづから修しゆメ己おのレヲ敬けいテ、而しかシテ後のち二人ふたりヲ安やすス當あたシ、

【注】

孔安國曰、人謂朋友九族也、

孔安國カ曰ク、人トハ朋友九族ヲ謂いフ、

【經】

曰。如斯而已乎、

曰いはク。斯こゝろノ如ごとキ而して己み乎か、

【疏】

子路又嫌少也、

子路また又また少すくキナルコトヲ嫌きらフ、

【經】

曰。修己以安百姓、

曰ク、己ヲ修メテ百一姓ヲ安ンス、

【疏】

又答曰、先修敬己身、然後乃安於百姓也、

又タ答テ曰ク、先ツ己カ身ヲ修メ敬テ、然シテ後ニ乃シ百一姓ヲ安ス、

【經】

修己以安百姓、堯舜其猶病諸、

己ヲ修メテ以テ百一姓ヲ安スルコトハ、堯舜モ其レ猶ヲ病シトス、

【疏】

病難也、諸之也、言先能内自修己、而外安百姓、此事爲大難也、堯舜之聖、猶患此事、爲難、故云病諸也、衛瓘曰、此難事、而子路狹掠之、再云如斯而已乎、故云過此則、堯舜所病也、郭象曰、夫君子者、不能索足、故修己者、索

己、故修己者、僅可以内敬其身、外安同己之人耳、豈足安百姓哉、百姓百品、萬國殊風、以不治、治乃得其極、若欲修己以治之、雖堯舜必病、況君子乎、今堯舜非修之也、萬物自無爲而治、若天之自高、地之自厚、日月之明、雲行雨施而已、故能夷暢條達曲成不遺而無病也、

病ハ難ナリ、諸ハ之ナリ、言ハ先ツ能ク内ニ自己ヲ修メテ、外百一姓ヲ安ス、此ノ事大ニ難ト爲、堯舜ノ聖モ、猶ヲ此ノ事ヲ患テ、難シト爲、故ニ病フスト云フ、衛瓘カ曰ク、此レ難一事ナリ、而ヲ子路之ヲ狹掠シテ、再ヒ斯ノ如キ而己乎ト云フ、故ニ云ク此ニ過ルコトハ、堯舜モ病シトスル所ナリ、郭象カ曰ク、夫レ君子ハ、索メニ足ルコト能ハ不、故ニ己ヲ修ムル者ハ、己ニ索ム、故ニ己ヲ修ムル者ハ、僅ニ内ニ其ノ身ヲ敬シテ、外己ニ同キ人ヲ安ス可キ耳、豈ニ百一姓ヲ安スルニ足ンヤ、百一姓百一品、萬國風ヲ殊ニス、治メ不ルヲ以テ、治メハ乃チ其ノ極ヲ得ン、若シ己ヲ修テ之ヲ治メント欲ハ、堯舜ト雖モ必ス病シトス、況ヤ君子ヲヤ、今堯舜ハ之ヲ修ルニ非ス、萬一物自無爲ニシテ治ムルコト、天ノ自高ク、地ノ自厚ク、日月ノ明ニ、雲行キ雨施スカ若キ而己、故ニ能ク夷暢條達シ曲成シテ遺ラ不シテ病スルコト無シ、

【注】

孔安國曰、病猶難也、

孔安國カ曰ク、病ハ難ノ猶シ、

(一) 「人」、武内本無此字。

(二) 「曰」、武内本作「云」。

(三) 「曰」、武内本作「云」。

(四) 「曰」、武内本作「云」。

(五) 「治」下、武内本有「之」字。

(六) 「今」下、武内本有「見」字。

【經】

原壤夷俟、

原壤夷ウスイニシテマ俟ツ、

【疏】

原壤者方外之聖人也、不拘禮敬、與孔子爲朋友、夷踞也、俟待也、壤聞孔子來、而夷踞豎膝、以待孔子之來也、

原壤ハ方外ノ聖人ナリ、禮敬ニ拘カカワラス、孔子與朋友

爲リ、夷ハ踞ウスイ(踞ウスクマル)ナリ、俟ハ待ナリ、壤孔子ノ來ヲ聞テ、夷踞シテ膝ヒザヲ豎テ、孔子ノ來ヲ待ツ、

【注】

馬融曰、原壤魯人。孔子故舊也、夷踞也、俟待也、踞待孔子也、

馬融カ曰ク、原壤ハ魯人。孔子ノ故舊ナリ、夷ハ踞、俟ハ待、踞ニシテ孔子ヲ待ツ、

【經】

子曰、幼而不遜悌、長而無述焉、

子曰ク、幼ニシテ遜悌ナラス不、長シテ述ノフルコト無シ、

【疏】

孔子方内聖人、恆以禮教爲事、見壤之不敬、故歷數之、以訓門徒也、言壤少而不以遜悌自居、至於年長、猶自放恣、無所效述也、

孔子ハ方内ノ聖人ナリ、恆ニ禮教ヲ以テ事ト爲ス、壤カ

不敬ヲ見ル、故ニ之ヲ歴數ヘテ、以テ門徒ニ訓フ、
言ハ壤少而遜悌ナラ不シテ自居ル、年長ニ至テ、
猶ヲ自放（放）恣恣ニシテ、效イ述ル所無
シ、

【經】

老而不死、是爲賊、

老テ死セ不ルハ、是レ賊ト爲ルナリトイヒテ、

【疏】

言壤年已老、而未死、行不敬之事、所以賊害於德也、

言ハ壤カ年已ニ老テ、未タ死セ未、不敬ノ事ヲ行
テ、德ヲ賊害スル所以ナリ、

【注】

賊爲賊害也、

賊トハ賊害ヲ爲ルソ、

【經】

以杖叩其脛、

杖ヲ以テ其ノ脛ヲ叩ツ、

【疏】

脛脚脛也、膝上曰股、膝下曰脛、孔子歴數言之既竟、又以
杖叩擊壤脛、令其脛不夷踞也、

脛ハ脚脛ナリ、膝ノ上ヲ股ト曰ヒ、膝ノ下ヲ脛
ト曰フ、孔子歴數ヘテ之ヲ言フコト既ニ竟テ、又タ杖
ヲ以テ壤カ脛ヲ叩チ撃チテ、其ノ脛ヲ令テ夷踞セ不ラ
令ム、

【注】

孔安國曰、叩擊也、脛脚脛也、

孔安國カ曰ク、叩ハ撃、脛ハ脚脛、

(一) 「敬」、武内本作「教」。

(二) 「脛」下、武内本有「而」字。

【經】

闕黨童子將命矣、

闕黨ノ童子命ヲ將フ、

【疏】

五百家爲黨、此黨名闕、故云闕黨也、童子未冠者之稱、將命是傳賓主之辭、謂闕黨之中有一小兒、能傳賓主之辭、出入也、

五百一家ヲ黨ト爲ス、此ノ黨ヲ闕ト名ク、故ニ闕黨ト云フ、童子ハ未タ冠セ未ル者ノ稱ナリ、命ヲ將フトハ是レ賓主ノ辭ヲ傳ルソ、謂ル闕黨ノ中一リノ小兒有リ、能ク賓主ノ辭ヲ傳ヘテ、出入ス、

【注】

馬融曰、闕黨之童子將命者、傳賓主之語出入之也、

馬融カ曰ク、闕黨ノ童子命ヲ將トハ、賓主ノ語ヲ傳ヘ出入スルソ、

【經】

或問之曰、益者與、

或ヒト問テ曰ク、益者與、

【疏】

或見小兒傳辭、故問孔子云、此童子而傳辭、是自求進益之道也與、

或ヒト小兒ノ辭ヲ傳ルヲ見ル、故ニ孔子ニ問テ云ク、此レ童子ニシテ辭ヲ傳フ、是レ自進益ノ道ヲ求ムルカ、子曰、吾見其居於位也、

【經】

子曰、吾其ノ位ニ居ルヲ見ル、

【疏】

孔子答曰其非求益之事也、禮童子隅坐無有列位、而此童子不讓、乃與成人竝居位也、

孔子答テ其ノ益ヲ求ムルニ非ルノ事ヲ曰フ、禮ニ童子ハ

隅^{スミ}ニ坐シテ列^イ位有ルコト無シ、而ルヲ此ノ童子讓ラ不^ス、乃シ成人與^ト竝^ニ位二居ル、

【注】

童子隅坐無位、成人乃有位也、

童子隅^ニ坐シテ位無シ、成人ニシテ乃^イシ位有リ、

【疏】

隅角也、童子不合^合與成人竝位、但就^五席角而坐、是無位也矣、

隅八角ナリ、童子ハ成人與位ヲ竝^トフ合カラ不^ス、但夕^た席ノ角ニ就テ坐ス、是レ位無キナリ、

【經】

見其與先生竝^合行、

其ノ先^ト生與^ト竝^トヒ^レ行クヲ見ル、

【疏】

先生者、成人謂先己之生也、非謂師也、禮父之齒隨行、兄^七

之齒雁行、此童子行不讓於長、故云先生竝行也、

先^ト生トハ、成人ノ己^{おのレ}ニ先^{サキ}テ生スルヲ謂フ、師ヲ謂フニ非ス、禮ニ父ノ齒^{ヨハ}ニハ隨テ行ク、兄ノ齒ニハ雁^ト行ス、此ノ童子行クコト長^ニ讓ラ不^ス、故ニ云ク先^{ノたまは}生ト竝^トヒ行クト、

【經】

非求益者也、欲速成者也、

益ヲ求ムル者ニ非ス、速^ニ成ランコトヲ欲スル者ナリ、

【疏】

孔子又曰、此童子既居位、竝行則、非自求進益之道、正是欲速成人耳、違禮欲速成者、非是求益之道也、

孔子又曰ク、此ノ童子既ニ位ニ居、竝^トヒ^レ行ク則ハ、自^{ミづから}進^ト益ノ道ヲ求ムルニ非ス、正^ニ是レ速^ニ成^ト人ヲ欲スル耳、禮ニ違^カツテ速カニ成ラント欲スル者ハ、是レ益ヲ求ルノ道ニ非ス、

【注】

苞氏曰、先生成人也、竝行不差在後也、違禮欲速成人者也^(十)、則、非求益者之也、

(二) 「七」下、武内本有「經二千三百九十四字／注二千五百五十六字」十八字（小字雙行）。

苞氏カ曰ク、先^レ生ハ成^レ人ソ、竝^レヒ行クトハ差^レ後ニ在ラ^レ不^レルソ、禮ニ違テ速ニ人ト成ランコトヲ欲スル者ナル則^レハ、益ヲ求ムル者ニ非ス、

- (一) 「曰」、武内本作「云」。
- (二) 「列」、武内本作「別」。
- (三) 「成」、武内本作「或」。
- (四) 「合」、武内本作「令」。
- (五) 「席」、武内本作「席」。
- (六) 「行」下、武内本有「也」字。
- (七) 「兄」、武内本作「足」。
- (八) 「先」上、武内本有「與」字。
- (九) 「曰」、武内本作「云」。
- (十) 「人」、武内本無此字。

論語卷第七

(一) 「卷」、武内本作「義疏」。

論語義疏卷第八靈公ノ季氏^三 梁國子助教吳郡皇侃撰
衛靈公第十五^三 疏^四

- (一) 「靈公ノ季氏」、小字雙行。「靈」上、武内本有「衛」字。
- (二) 「衛」上、武内本有「論語」二字。
- (三) 「五」下、武内本有「何晏集解」四字、「凡卅章」三字（小字單行）。
- (四) 「疏」、武内本別行跳格。

【疏】

衛靈公者、衛國無道之君也、所以次前者、憲既問仕、故舉時不可仕之君、故以衛靈公次憲問也、

衛ノ靈公ハ、衛ノ國無道ノ君ナリ、前ニ次ツル所^{ゆゑん}以ハ、憲既ニ仕ヘンコトヲ問フ、故ニ時ノ仕フ可^{へからさ}不^らルノ君ヲ舉ク、故ニ衛ノ靈公ヲ以テ憲問ニ次ツ、

- (一) 「以」、武内本無此字。

【經】

衛靈公問陳於孔子、

衛ノ靈公陳ヲ孔子ニ問フ、

【疏】

孔子至衛欲行文教、而靈公不慕勝業、唯知問於軍陳之事也、

孔子衛ニ至テ文ヲ教ヲ行ハント欲ス、而ルヲ靈公勝業ヲ慕ハ^ス不、唯夕軍陳ノ事ヲ問フコトヲ知ル、

【注】

孔安國曰、軍陳行列之法也、

孔安國カ曰ク、軍陳行一列ノ法ソ、

【經】

孔子對曰、俎豆之事則嘗聞之矣、

孔子對ヘテ曰^{たまは}ク、俎^ソ豆ノ事ハ嘗テ之ヲ聞ケリ、

【疏】

俎豆禮器也、孔子武文自然兼能、今抑靈公、故云、唯嘗聞俎豆之事也、

俎^レ豆^ハ禮^ノ器^{ナリ}、孔子^ハ武^文自^レ然^ニ兼^ネ能^クス、今^靈公^ヲ抑^フ、故^ニ云^ク、唯^タ嘗^{ヨリ}俎^レ豆^ノ事^ヲ聞^キキ、

【注】

孔安國曰、俎豆禮器也、

孔安國カ曰ク、俎豆ハ禮ノ器ソ、

【經】

軍旅之事、未之學也、

軍旅ノ事ハ、未タ學ヒ未^ス、

【疏】

軍旅之事未知學也、拒之、故云不學軍旅也、鄭玄曰、萬二千五百人爲軍、五百人爲旅也、周禮小司徒職云、五人爲五、五五爲兩、四兩爲卒、五卒爲旅、五旅爲師、五師爲軍、

軍旅ノ事ハ未タ學コトヲ知ラ未トハ、之ヲ拒クナリ、故ニ云ク軍旅ヲ學ヒ不ト、鄭玄カ曰ク、萬二千五百人ヲ軍ト爲、五百人ヲ旅ト爲、周禮ノ小司徒職ニ云ク、

五人ヲ五ト爲、五五ヲ兩ト爲、四兩ヲ卒ト爲、五卒ヲ旅ト爲、五旅ヲ師ト爲、五師ヲ軍ト爲、

【注】

鄭玄曰、萬二千五百人爲軍、五百人爲旅也、軍旅未事、本未立則、不可教以未事也、

鄭玄カ曰ク、萬二千五百人ヲ軍ト爲、五百人ヲ旅ト爲、軍旅ハ未ノ事ナリ、本未タ立セ未^ル則^ハ、教ルニ未^ル事ヲ以テス可^ラ不^ス、

【疏】

本謂文教也、靈公未能文、故不教之武者也、

本トハ文^ノ教ヲ謂フ、靈公未タ文ヲ能クセ未^ス、故ニ武ヲ教ヘ^ズ不^ル者ナリ、

【經】

明日遂行、

明日ニ遂ニ行^ハス、

【疏】

孔子至衛、既爲問武、故其明日遂行不留衛國也、

孔子衛ニ至ル、既ニ武ヲ問ハント爲^ス、故ニ其ノ明日ニ遂ニ行ツテ衛國ニ留ラ不^ス、

【經】

在陳絕糧、

陳ニ在シテ糧ヲ絶ツ、

【疏】

明日遂行、初往曹、曹不容、又往宋、在陳遭匡人之圍、又往陳遇吳伐陳、陳大亂、故乏絶糧食矣也、

明日ニ遂ニ行ク、初メ曹ニ往ク、曹容レ不^ス、又宋ニ往ク、陳ニ在テ匡人ノ圍ニ遭フ、又陳ニ往ク吳ノ陳ヲ伐ツニ遇フ、陳大ニ亂ル、故ニ糧食ヲ乏^ホ絶ス、

【經】

從者病莫能興、

從者病テ能ク興ルコト莫シ、

【疏】

從者、謂諸弟子從孔子行在陳者也、病飢困也、興起也、既絶糧、故從行弟子皆餓困、莫能起者也、

從者トハ、諸弟子ノ孔子ニ從テ行テ陳ニ在ル者ヲ謂フ、病飢困ナリ、興ハ起ナリ、既ニ糧ヲ絶ス、故ニ從ヒ行ク弟子皆餓困シテ、能ク起クル者莫シ、

【注】

孔安國曰、從者弟子、興起也、孔子去衛如曹、曹不容、

孔安國カ曰ク、從者ハ弟子ソ、興ハ起、孔子衛ヲ去テ曹ニ如ク、曹容レ不^ス、

【疏】

如往也

如ハ往ナリ

【注】

又之宋、遭^(二三)匡人之難、

又宋ニ之ク、匡^一人ノ難ニ遭フ、

【疏】

之亦往也、

之ハ亦往ナリ、

【注】

又之陳、會吳伐陳、陳亂、故^(二三)乏食、

又夕陳ニ之ク、吳ノ陳ヲ伐ツニ會フ、陳^一亂タリ、故ニ食ニ乏シ、

【疏】

會猶遇也、

會ハ遇ノ猶シ、

【經】

子路慍見

子路慍^一見^{マミ}テ

【疏】

諸子皆病無能起者、唯子路剛強、獨能起也、心恨君子行道乃至如此困乏、故便慍色而見孔子也、

諸^一子皆^{ミナ}病^ミテ能ク起^ツ者無シ、唯夕子路剛^一強ニシテ、獨リ能ク起^キテ、心ニ君^一子ノ道ヲ行テ乃シ此ノ如クノ困^一乏ニ至ルコトヲ恨ム、故ニ便^一色ヲ慍^ミラシテ孔子ニ見ユ、

【經】

曰、君子亦有窮乎、

曰^一ク、君^一子モ亦夕窮スルコト有リヤ、

【疏】

此慍見之辭也、曾聞孔子云、學也祿在其中、則君子不應窮乏、今日如此、與孔子言乖、故問云、君子亦窮乎、

此レハ慍^{まひゆ}テ見ル^{まひゆ}ノ辭ナリ、曾テ孔子ニ聞テ云ク、學フ
トキハ祿^{とく}其ノ中ニ在リトイフ、則ハ君子ハ窮^{とぎん}乏ス應^{へか}ラ
不^ス、今日^ま此ノ如シ、孔子ノ言^{コト}與^{ソム}乖^{ソム}ク、故ニ問テ云ク、君
子モ亦窮^{また}スヤ、

【經】

子曰、君子固窮、小人窮斯濫矣、

子曰、君子ニシテ固^{マコト}ニ窮ス、小人窮シテハ斯^コレ濫^{ラシ}ス、

【疏】

孔子言此答、因抑^(二五)小人也、言君子之人、固窮亦有窮時耳、
若不^(二五)守窮、而爲濫溢、則是小人、故云、小人窮斯濫者矣、

孔子此ノ答ヲ言テ、因テ小人ヲ抑フ、言ハ君子ノ人
ハ、固^{マコト}ニ窮スルトハ亦窮スル時^{ノキ}有ル耳、若シ窮ヲ守ラ不^ス
シテ、濫溢ヲ爲スハ、則チ是レ小人ナリ、故ニ云ク、
小人窮スルトキハ斯^レ濫^{スト}、

【注】

濫溢也、君子固亦有窮時、但不如小人窮、則濫溢爲非也、

濫ハ溢^{ウツ}、君子固^{マコト}ニ亦窮スル時^{ノキ}有リ、但夕小人ノ窮スル
トキハ、濫溢非ヲ爲ルカ如クナラ不^ス、

(一) 「陳」、武内本作「陣」、下「軍陳」之「陳」同。

(二) 「云」、武内本無此字。

(三) 「之」、武内本無此字。

(四) 「軍旅之事未知學也」、武内本無此八字。

(五) 「不」下、武内本有「嘗」字。

(六) 「五」、武内本作「伍」。

(七) 「軍」下、武内本有「也」字。

(八) 「國」、武内本無此字。

(九) 「陳」、武内本作「宋」。

(一〇) 「也」、武内本無此字。

(一一) 「謂」、武内本無此字。

(一二) 「之」、武内本無此字。

(一三) 「食」下、武内本有「也」字。

(一四) 「有」、武内本無此字。

(一五) 「守」、武内本作「安」。

【經】

子曰、賜也汝以予爲多學而識之者與、

子ノ曰ク、賜汝なんぢ予レヲ以もテ多ク「學テ識レル者ト爲ル與、

【疏】

時人見孔子多學識、竝謂孔子多學世事而識之、故孔子問子貢而釋之也、

時ノ人孔子ノ多ク學「識スルヲ見ル、竝ニ孔子多ク世事ヲ學テ之ヲ識ルト謂フ、故ニ孔子子貢ニ問テ之ヲ釋ス、

【經】

對曰然、

對ヘテ曰ク、然しかり、

【疏】

然如此也、子貢答云、賜亦謂孔子多學、故如此多識之也、

然ハ如此、子貢答テ云ク、賜モ亦謂ラク孔子多ク「學フ、

故ニ此ノ如ク多ク之ヲ識ルト（賜モ亦孔子多ク「學フ、故ニ此ノ如ク多ク之ヲ識ルト謂ヘリ）、

【注】

孔安國曰、然者謂多學而識之也、

孔安國カ曰ク、然トハ謂ラク多ク學テ之ヲ識ルト（然トハ多ク學テ之ヲ識ルト謂ヘリ）、

【經】

非與

非ズスヤ

【疏】

子貢又嫌孔子非學而識、故更問定、云非與不定之辭、

子貢又孔子ノ學ニ非シテ識コトヲ嫌ウタガフ、故ニ更ニ問ヒ「定メテ、非ズス與ヤト云フハ定ラズ不レルノ辭ナリ、

【注】

孔安國曰、問今不然耶、

孔安國カ曰ク、問フ今然レ不レ耶、

【經】

曰。非也、

ノたまは
曰ク。非ス、

【疏】

孔子又答云、非也、言我定非多學而識之也、

孔子又答ヘテ云ク、非スト、言ハ我定メテ多ク學テ之ヲ識ルニ非ス、

【經】

予一以貫之、

予ハ一以テ貫セリ、

【疏】

貫猶穿也、既答云非也、故此更答所以不多學而識之由也、言我所以多識者、我以一善之理、貫穿萬事、而萬事自然可識、故得知之、故云、予一以貫之也、

貫ハ穿ノ猶シ、既ニ答テ云ク非スト、故ニ此ニ更ニ多ク

「學ハ不シテ之ヲ識ル所」以ノ由ヲ答フ、言ハ我多ク「識ル所」以ハ、我一善ノ理ヲ以テ、萬事ヲ貫穿ス、而シテ萬事自然ニ識ル可シ、故ニ之ヲ知ルコトヲ得、故ニ云ク、予ハ一以テ貫セリト、

【注】

善有元、事有會、

善ニ元メ有リ、事ニ會リ有リ、

【疏】

元猶始也、會猶終也、元者善之長、故云、善有元也、事各有終、故曰、事有會也、

元ハ始ノ猶シ、會ハ終ノ猶シ、元ハ善ノ長ナリ、故ニ云ク、善ニ元メ有リ、事ニ各終ル所有、故ニ曰ク、事ニ會リ有リ、

【注】

天下殊塗而同歸、

天ニ下塗ヲ殊ニシテ歸キラ同フス、

【疏】

解事有會也、事雖殊塗、而其要會、皆同有所歸也、

事ニ會リ有ルコトヲ解ス、事ハ塗ヲ殊ニスト雖、其ノ會リヲ要スルニ、皆同ク歸スル所有リ、

【注】

百慮而一致、

百慮ニシテ一一致ナリ、

【疏】

解善有元也、致極也、人慮乃百、其元極則、同起一善也、

善ニ元有ルコトヲ解ス、致ハ極ナリ、人慮乃百、其ノ元メヲ極ル、則ハ、同ク一善ヨリ起ル、

【注】

知其元、則衆善舉、矣。故不待多學、一以知之也、

其ノ元メヲ知ル、則ハ衆善舉ス、故ニ多ク學フコトヲ待タ不、一以テ之ヲ知レリ、

【疏】

是善長舉元則、衆善自舉、所以不須多學、而自能識之也、

是レ善ノ長元ヲ舉ル則ハ、衆善自舉ス、多ク學コトヲ須イ不シテ、自能ク之ヲ識ル所以ナリ、

(一) 「學」、武内本作「多」。

(二) 「與」下、武内本有「非與與」三字。

(三) 「之」、武内本無此字。

(四) 「辭」下、武内本有「也」字。

(五) 「云」、武内本作「曰」。

(六) 「我」、武内本無此字。

(七) 「非」下、武内本有「又」字。

(八) 「云」、武内本作「曰」。

(九) 「曰」、武内本作「云」。

(一〇) 「也」、武内本無此字。

【經】

子曰、由知德者鮮矣、

子曰ク、由德ヲ知レル者(德ヲ知ルコト)鮮ナシ、

【疏】

由子路也、呼子路、而語之也云、夫知德之人難得、故爲少也、

由ハ子路ナリ、子路ヲ呼テ、之ニ語テ云ク、夫レ德ヲ知レル人得ルコト難シ、故ニ少シト爲、

【注】

王肅曰、君子固窮、而子路慍見、故謂之少於知德者也、

王肅カ曰ク、君_レ子ハ、固ニ窮ス、而ルヲ子路慍テ見ユ、故ニ之レヲ德ヲ知レルコト少ナシト謂フ、

【疏】

按如註意、則孔子此語爲問絕糧、而譏發之也、

按スルニ註ノ意ノ如キンハ、孔子ノ此ノ語糧ヲ絶スルヲ問フカ爲ニカ、譏_レリ之ニ發ス、

- (一) 「而」、武内本無此字。
- (二) 「註」、武内本作「注」。
- (三) 「譏」、武内本無此字。

【經】

子曰、無爲而治者、其舜也與、

子ノ曰ク、無爲ニシテ治ムルハ其レ舜與、

【疏】

舜上受堯禪於己、己又下禪於禹、受授得人、故孔子歎舜無爲而能治、

舜ハ上堯ノ禪リヲ己ニ受テ、己又下禹ニ禪ル、受ケテ授ルコト人ヲ得タリ、故ニ孔子舜ノ無爲ニシテ能ク治ムルコトヲ歎ス、

【經】

夫何爲哉、恭己、正南面而已矣、

夫レ何ヲカ爲ルヤ(何ヲカ爲ン哉)、己ヲ恭シテ、正シク南_レ面スラク而已、

【疏】

既授受善得人、無勞於情慮、故云、夫何爲哉也、既垂拱而民自治、故所以自恭敬、而居天位、正南面而已也、

既ニ授ケ^レ受クルコト善ク人ヲ得タリ、情^レ慮ヲ勞スルコト無シ、故ニ云ク、夫レ何ヲカ^レ爲ン^ヤ哉ト、既ニ拱キヲ垂テ民^ヲ自^ラ治マル、故ニ自^ラ恭敬ニシテ、天^ノ位ニ居テ、正ク南^ニ面スル所^ヲ以^テ而^シ已^ス、

【注】

言任官得其人、故無爲而治也、

言^ハ官ニ任^スルコト其ノ^レ人ヲ得タリ、故ニ無^ク爲^ニシテ治マル、

【疏】

由授受皆聖、舉十六相在朝、故是任官得其人也、蔡謨曰、謨昔聞過庭之訓於先君、曰、堯不得無爲者、所承非聖也、禹不得無爲者、所授非聖也、今三聖相係、舜居其中、承堯授禹、又何爲乎、夫道同而治異者時也、自古以來承至治之世、接二聖之間、唯舜而已、故時稱之焉、

授ケ^レ受ルコト皆聖ニ由ル、十一^ニ相ヲ舉テ朝ニ在リ、故ニ是レ官ニ任スルニ其ノ^レ人ヲ得タリ、蔡謨カ曰ク、謨昔^ニ過^テ庭^ノ訓^ヲ先^ニ君^ニ聞^キキ、曰ク、堯ハ無^ク爲^テ得^ズルコトハ、承クル所^ヲ聖ニ非ス、禹ハ無^ク爲^テ得^ズルコトハ、授

ル所^ヲ聖ニ非ス、今三^ニ聖相ヒ^テ係ヒテ、舜其ノ^レ中ニ居テ、堯ニ承テ禹ニ授ク、又何ヲカ^レ爲ン^ヤ、夫レ道^ヲ同シテ治異ナルコトハ時ナリ、古^{ヨリ}自^ラ以^テ來^ニ至^リ治ノ世ヲ承テ、二^ニ聖ノ間ニ接ハルハ、唯^ニ舜^ニ而^シ已^スナリ、故ニ時ニ之ヲ稱ス、

(一) 「下」、武内本作「不」。

(二) 「治」下、武内本有「也」字。

(三) 「日」、武内本作「云」。

(四) 「時」、武内本作「特」。

【經】

子張問行、

子張^ヲ行^ハレ^ンコトヲ問フ

【疏】

問人立身居世修善、若爲事而其道事、可得行於世乎、

人ノ身ヲ立テテ世ニ居テ善ヲ修メンコトヲ問フ、若^シ爲ル^ル事カ^レ而モ其ノ^レ道ノ事、世ニ行ハルルコトヲ得可キヤ、

【經】

子曰、言忠信、行篤敬、

子ノ曰ク、言忠^{コト}信^{コト}アリ、行篤^{コト}敬^{コト}アラハ、

【疏】

答也、云、欲使道行於世者、出言必使忠信、立行必須篤厚恭敬也、

答ナリ、云ク、道ヲ使^シテ世ニ行ハ使メント欲^{ホツ}、言ヲ出スコト必ス忠信アラ使^シメテ、行ヲ立ルコト必ス須ク恭^{コト}敬^{コト}ヲ篤^{コト}厚^{コト}ス須^{コト}シ、

【經】

雖蠻貊之邦行矣、

蠻^{イマ}貊^{マク}ノ邦ト雖^{イマ}モ行ハレン、

【疏】

若身修前德、無論居處於華夏、假令居住蠻貊遠國、則己之道德無所不行也、

若シ身前ノ德ヲ修メハ、華夏ニ居リ處ルコトヲ論スルコト無シ、假令蠻貊ノ遠國ニ居住ストモ、則チ己カ道^{コト}徳行ハレ^ル所無ケン、

【經】

言不忠信、行不篤敬、雖州里、行乎哉、

言^{コト}忠^{コト}信^{コト}アラ不^ス、行^{コト}篤^{コト}敬^{コト}アラ不^スンハ、州^{コト}里^{コト}ト雖^{イマ}モ行ハレ^ル乎^ヤ哉^{コト}。

【疏】

又云、若不能修身前德、而身雖居中國州里之近、而所行亦皆不行從、故云行乎哉、言不行也、

又云ク、若シ身前ノ德ヲ修ムルコト能ハ^スンハ、而シテ身^{コト}中^{コト}國^{コト}州^{コト}里^{コト}ノ近ニ居ルト雖^{イマ}モ、行^{コト}フ所亦^{ミナ}タ皆^{コト}行^{コト}ヒ^ル從^{コト}ハ^ス不^ス、故ニ云ク行ハレン^ル乎^ヤ哉^{コト}、言^{コト}ハ行ハレ^ル不^ス、

【注】

鄭玄曰、萬二千五百家爲州、五家爲鄰、五鄰爲里、

鄭玄カ曰ク、萬二千五百一家ヲ州ト爲^ス、五家ヲ鄰ト爲^ス、

五ノ鄰ヲ里ト爲ス、

【疏】

此王畿遠郊内外民居地名也、

此レハ王畿遠郊内ノ外民ノ居ル地ノ名ナリ、

【注】

行乎哉、言不可行也、

行ハレン「乎」哉トハ、言ハ行ハル可不、

【經】

立則、見其參然於前也、

立テル則ハ、其ノ前ニ參然タルヲ見ル、

【疏】

參猶森也、言若敬德之道、行己立在世間則、自想見忠信篤

敬之事、森森滿互於己前也、

參ハ森ノ猶シ、言ハ德ヲ敬ムノ道、己ヲ行テ立テ世

間ニ在ル則ハ、自忠信篤敬ノ事ヲ想ヒ見ルコト、
森森トシテ己カ前ニ滿チ互ルカ若シ、

【經】

在輿、則見其倚於衡也、

輿ニ在ル、則ハ其ノ衡ニ倚ルヲ見ル、

【疏】

倚猶憑依也、衡車衡軛也、又若在車輿之中則、亦自想見忠
信篤敬之事、羅列憑依、滿於衡軛之上也、

倚ハ憑依ノ猶シ、衡ハ車ノ衡軛ソ、又車輿ノ中ニ在ル
則ハ、亦自忠信篤敬ノ事ヲ想ヒ見コト、羅列憑依
シテ、衡軛ノ上ニ滿ツルカ若シ、

【經】

夫然後行也、

夫レ然シテ後ニ行ハレン、

【疏】

若能行存想不忘、事事如前則此人身無往而不行、故云夫然後行也、

若シ能ク行存想シテ忘レ不ルコト、事事前ノ如キンハ此ノ人身往クトシテ行ハレ不トイフコト無ケン、故ニ云ク夫レ然シテ後ニ行ハレント、

【注】

荀氏曰、衡軛也、言思念忠信、立則常想見參然在前、在輿則若倚衡軛也、

荀氏カ曰ク、衡ハ軛、言ハ忠信ヲ思ヒ念テ、立テルトキハ常參然トシテ前ニ在ルコトヲ想ヒ見ル、輿ニ在ル則ハ衡軛ニ倚ルカ若シ、

【經】

子張書諸紳、

子張紳ニ書ス、

【疏】

紳大帶也、子張聞孔子之言可重、故書顯於己衣之大帶、欲日夜存録不忘也、

紳ハ大帶、子張孔子ノ言ノ重シク可キヲ聞ク、故ニ書シテ己カ衣ノ大帶ニ顯シテ、日夜存録シテ忘レ不ルコトヲ欲ス、

【注】

孔安國曰、紳大帶也、

孔安國カ曰ク、紳ハ大帶、

- (一) 「身」下、武内本有「自」字。
- (二) 「從」、武内本無此字。
- (三) 「顯」、武内本作「題」。
- (四) 「存」、武内本作「在」。

【經】

子曰、直哉史魚

子ノ曰ク、直ナル哉史魚

【疏】

美史魚之行正直也、

史魚カ行ノ正直ヲ美ム、

【注】

孔安國曰、衛大夫史鱣也、

孔安國カ曰ク、衛ノ大夫史鱣ソ、

【經】

邦有道如矢、邦無道如矢、

邦道有ルトキモ矢ノ如シ、邦道無キトキモ矢ノ如シ、

【疏】

證其爲直譬矢箭也、性唯直而不曲、言史魚之德恆直如箭、不以國有道無道爲變曲也、

其ノ直ヲ爲スコトヲ證シテ矢一箭ニ譬フ、性唯直ニシテ曲ラ不、言ハ史魚カ德恆ニ直キコト箭ノ如シ、國ノ有道無道ヲ以テ變曲ヲ爲ス、

【注】

孔安國曰、有道、無道、行直如矢不曲也、

孔安國カ曰ク、道有ルモ、道無キモ、行直キコト矢ノ如ニシテ曲ラ不、

【經】

君子哉、蘧伯玉

君子ナル哉、蘧伯玉

【疏】

又美蘧瑗也、進退隨時合時之變、故曰君子哉也、

又蘧瑗ヲ美ム、進退時ニ隨テ時ノ變ニ合フ、故ニ曰ク君子ナル哉ト、

【經】

邦有道則仕、

邦道有ル則ハ仕ヘ、

【疏】

出其君子之事也、國若有道則、肆其聰明、以佐時也、

其ノ君子ノ事ヲ出ス、國若シ道有ル則ハ、其ノ聰明ヲ
ホシイママ
肆ニシテ、時ヲ佐ク、

【經】

邦無道則可卷而懷之、

邦道無キ則ハ卷テ懷ニス可シ、

【疏】

國若無道則、韜光匿知、而懷藏以避世之害也、

國若シ無道ナル則ハ、光ヲ韜ミ知ヲ匿シテ、懷藏シテ
以テ世ノ害ヲ避ク、

【注】

荀氏曰、卷而懷、謂不與時政、柔順不忤於人也、

荀氏カ曰ク、卷テ懷ニストハ、時ノ政ニ與ラ不シテ、
柔順ニシテ人ニ忤カ(忤ワ)不ルヲ謂フ、

(一) 「子」、武内本作「民」。

(二) 「以」、武内本作「似」。

(三) 「韜」、武内本作「韞」。

(四) 「知」、武内本作「智」。

【經】

子曰、可與言、而不與言、失人、

子曰ク、與ニ言フ可クシテ、與ニ言ハ不ルハ、人ヲ失
ヘルナリ、

【疏】

謂此人可與共言、而已不可與之言、則此人不復見顧、故是
失於可言之人也、

謂ル此ノ人與ニ共ニ言フ可シテ、而ルヲ己之レ與言フ
可ラ不ル、則ハ此ノ人ニ復顧ミ見レ不、故ニ是レ言フ可
キノ人ヲ失ス、

【經】

不可與言、而與之言、失言、

與^{トモ}ニ言フ可^{ヘカ}ラ不^スシテ、與^{トモ}ニ言フハ、言^{コト}ヲ失ヘルナリ、

【疏】

言與不可言之人、共言、是失我之言者也、

言^{いふこと}ハ言フ可^{ヘカ}ラ不^スルノ人與^ト、共ニ言ハ、是レ我カ言^{コト}ヲ失スル者ナリ、

【經】

智者不失人、亦不失言、

智^チ者ハ人ヲモ失^ス不^ス、亦言^{コト}ヲモ失^ス不^ス、

【疏】

唯有智之士、則備照^ニ途、則人及言、竝無所失也、

唯^{コト}夕有智ノ士ハ、則^ツチ備^ツニ^ツ途ヲ照シテ、則^ツチ人^ト及^ヒ言、竝^ツニ失スル所無シ、

【注】

所言皆是、故無所失者也、

言フ所ハ皆^{ミナ}是ナリ、故ニ失スル所無キ者ナリ、

(一) 「可」、武内本無此字。

【經】

子曰、志士仁人、

子ノ曰ク、志^チ士仁^ニ人ハ、

【疏】

謂心有善志之士、及能行仁之人也、

心ニ善^チ志有ルノ士、及^ヒ能ク仁ヲ行フノ人ヲ謂フ、

【經】

無求生以害仁、

生ヲ求テ仁ヲ害スルコト無シ、

【疏】

既志善行仁、恆欲救物、故不自求我之生、以害於仁恩之理也、生而害仁則志士不爲也、

既ニ善ニ志シ仁ヲ行テ、恆ニ物ヲ救ント欲ス、故ニ自我カ生ヲ求メテ、仁恩ノ理ヲ害セ不_ス、生キテ仁ヲ害スルハ志士ハ爲_セ不_ス、

【經】

有殺身以成仁、

身ヲ殺シテモ仁ヲ成スコト有リ、

【疏】

若殺身、而仁事可成仁也、則志士仁人必殺身爲之、故云、有殺身我成仁也、殺身而成仁則、志士所不吝也、

若シ身ヲ殺シテモ、仁ノ事成ス可キハ仁ナル、則ハ志士仁人ハ必ス身ヲ殺シテモ之ヲ爲_ス、故ニ云ク、身ヲ殺シテモ我仁ヲ成スコト有リ、身ヲ殺シテモ仁ヲ成スハ、志士ノ吝マ不_ル所ナリ、

【注】

孔安國曰、無求生而害仁、死而後成仁、則志士仁人、不愛其身也、

孔安國カ曰ク、生ヲ求テ仁ヲ害スルコト無シトハ、死シテ而シテ後ニ仁ヲ成ス、則ハ志士仁人ハ、其ノ身ヲ愛セ不_ス、

【疏】

繆播云、仁居理足本無危亡、然賢而圖變、變則理窮、窮則任分、所以有殺身之義、故比干割心、孔子曰、殷有三仁也、

繆播カ云ク、仁ハ理ニ居テ本危亡無キニ足レリ、然トモ賢ニ而變ヲ圖ルニ、變スル則ハ理窮ル、窮ル則ハ分ニ任ス、身ヲ殺スノ義有ル所以ナリ、故ニ比干ハ心ヲ割カル、孔子ノ曰ク、殷ニ三仁有リ、

(一) 「仁也」、武内本無此二字。

(二) 「我」、武内本無此字。

【經】

子貢問爲仁、

子貢仁ヲ爲ムルコトヲ問フ、

【疏】

問爲仁人之法也、

仁ヲ爲ル人ノ法ヲ問フ、

【經】

子曰、工欲善其事、必先利其器、

子ノ曰ク、工其ノ事ヲ善クセント欲スルトキハ、必ス先ツ其ノ器ヲ利クス、

【疏】

將欲答於爲仁之術、故先爲誤譬也、工巧師也、器斧斤之類也、言巧師、雖巧藝若般輪、而作器不利則、巧事不成、如欲其所作事善、必先磨必利其器之也、

將ニ仁ヲ爲ルノ術ヲ答ヘント欲、故ニ先ツ爲ニ譬ヲ誤ク、工ハ巧師ナリ、器ハ斧斤ノ類ナリ、言ハ巧師、巧藝般輪カ若シト雖トモ、作器利ナラ不ル則ハ、巧事成ラ不、如シ其ノ作スル所ノ事ヲ善カラシメント欲スルトキハ、必ス先ツ磨イデ必ス其ノ器ヲ利クス、

【經】

居是邦也、事其大夫之賢者、友其士之仁者也、

是ノ邦ニ居テハ、其ノ大夫ノ賢者ニ事ヘ、其ノ士ノ仁者ヲ友トス、

【疏】

合譬成答也、是猶此也、言人雖有賢才美質、而居住此國、若不事賢、不友於仁則、其行不成、如工器之不利也、必欲行成、當事此國大夫之賢者、又友此國士之仁者也、大夫貴、故云事、士賤故云友也、大夫言賢、士云仁、互言之也、

譬ヲ合テ答ヲ成ス、是ハ此ノ猶シ、言ハ人賢才美質有ト雖、此ノ國（此國）ニ居住シテ、若シ賢ニ事ヘ不、仁ヲ友トセ不シハ、其ノ行成ラ不ルコト、工器ノ利ナラ不ルカ如シ、必ス行成サント欲ハ、當ニ此ノ國ノ大夫ノ賢者ニ事ヘテ、又此ノ國ノ士ノ仁者ヲ友トス當シ、大夫ハ貴シ、故ニ事ト云ヒ、士ハ賤シ故ニ友ト云フ、大夫ニ賢ト言ヒ、士ニ仁ト云フハ、互ヘテ之ヲ言フ、

【注】

孔安國曰、言工以利器爲用、人以賢友爲助也、

孔安國カ曰ク、言ハ工ハ利器ヲ以用ヲ爲ス、人ハ賢友ヲ以テ助ケト爲ス、

- (一) 「之」、武内本無此字。
- (二) 「誤」、武内本作「設」。
- (三) 「類」、武内本作「屬」。
- (四) 「必」、武内本無此字。
- (五) 「之」、武内本無此字。
- (六) 「於」、武内本無此字。
- (七) 「工」下、武内本有「欲」字。

【經】

顏淵問爲邦、

顏淵邦ヲ爲メンコトヲ問フ、

【疏】

爲猶治也、顏淵魯人、當時魯家禮亂、故問治魯國之法也、

爲ハ治ノ猶シ、顏淵ハ魯人ナリ、當時魯家禮亂ル、故ニ魯國ヲ治ムルノ法ヲ問フ、

【經】

子曰行夏之時、

子ノ曰ク夏ノ時ヲ行ヘ、

【疏】

孔子此答魯舊法、以爲答也、行夏之時、謂用夏家時節、以行事也、三王所尚、正朔服色也、雖異、而田獵、祭祀、播種、竝用夏時、夏時得天之正故也、魯家行事、亦用夏時、故云、行夏之時也、

孔子此ノ答ハ魯ノ舊法ヲ舉テ、答ト爲、夏ノ時ヲ行ヘトハ、夏家ノ時節ヲ用テ、事ヲ行フヲ謂フ、三王ノ尚フ所、正朔服色、異ナリト雖モ、田獵、祭祀、播種ハ、竝ニ夏ノ時ヲ用フ、夏ノ時ハ天ノ正ヲ得ル故ナリ、魯家事ヲ行コト、亦夏ノ時ヲ用フ、故ニ云ク、夏ノ時ヲ行ヘ、

【注】

據見萬物之生、以爲四時之始、取其易知也、

萬物ノ生レスルヲ據リ見テ、以テ四時ノ始ト爲、其ノ知リ易キニ取ル、

【疏】

解所以用夏時之義也、夏之春物出地、上和暖著見已、故易知之也、

夏ノ時ヲ用ル所以ノ義ヲ解ク、夏ノ春ハ物ノ地ヨリ出テテ、上カミ暖ニ和シテ著アラハレ見ユル已、故ニ之ヲ知り易シ、

【經】

乘殷之輅、

殷ノ輅ロニ乘ノレ、

【疏】

亦魯禮也、殷輅木輅也、周禮天子自有五輅、一曰玉輅、二曰金、三曰象、四曰革、五曰木、五輅竝多文飾、用玉輅、以郊祭。而殷家唯有三輅、一曰木輅、二曰先輅、三曰次

輅、而木輅最質素無飾、用以郊天、魯以周公之故、雖得郊天、而不得事事同王、故用木輅、以郊也、故郊特牲說魯郊云、乘素車貴其質也、旂十有二旒、旒龍章、而設日月、以象天也、鄭玄注云、設日月、畫於旂上也、素車殷輅也、魯公之郊用殷禮也、按如記注則、魯郊用殷之木輅也、

亦魯ノ禮ナリ、殷ノ輅ハ木輅ナリ、周ノ禮ニ天子ミツカラ自五輅ニ有リ、一ニ曰ク玉輅、二ニ曰ク金、三ニ曰ク象、四ニ曰ク革、五ニ曰ク木、五輅竝ニ文飾多シ、玉輅ヲ用テ、郊祭ス。而ルヲ殷家ハ唯タ三輅有リ、一ニ曰ク木輅、二ニ曰ク先輅、三ニ曰ク次輅、而ルヲ木輅ハ最モ質素ニシテ飾リ無シ、用テ以テ天ヲ郊ス、魯ハ周公ノ故ヲ以テ、天ヲ郊スルコトヲ得ルト雖モ、事王ニ同キコトヲ得ズ、故ニ木輅ヲ用テ、郊ス、故ニ郊特牲ニ魯ノ郊ヲ説テ云ク、素車ニ乗ル其ノ質ヲ貴テナリ、旂キ旂キ十一有二旒、旒ハ龍章アリキ、而シテ日月ヲ設テ、天ニ象ル、鄭玄カ注ニ云ク、日月ヲ設テ、旂キ旂キ上ニ畫ク、素車トハ殷ノ輅ナリ、魯公ノ郊ハ殷ノ禮ヲ用フ、按スルニ記ノ注ノ如シハ、魯ノ郊ニハ殷ノ木輅ヲ用フ、

【注】

馬融曰、殷車曰大輅、左傳曰、大輅越席也、照其儉也、

馬融カ曰ク、殷ノ車ヲ大輅ト曰フ、左傳ニ曰ク、大輅ニシテ越席ストハ、其ノ儉ヲ照カニスルソ、

【疏】

左傳之言、亦說魯禮也、

左傳ノ言モ、亦魯ノ禮ヲ説ク、

【經】

服周之冕、

周ノ冕ヲ服セヨ、

【疏】

亦魯郊也、周禮有六冕、一曰大裘冕、二曰裘、三曰黼、四曰毛毳、五曰絺、六曰玄、周王郊天以大裘而冕、魯雖郊不得用大裘、但用裘以郊也、郊特性云、祭之日、王被裘以象天、鄭玄注曰、謂有日月星辰之章也、此魯禮也、周禮王祀昊天上帝則、服大裘而冕、祀五帝亦如之、魯侯之服、自衾冕而下冕也、按此記注、即是魯郊用裘也、然魯廟亦衾、或問曰、魯既用周次冕、以郊、何不用周金輅、以郊耶。答曰、周郊乘玉輅、以示文、服用大裘以示質、但車不對神、

故亦示文、服以接天、故用質也、

亦魯ノ郊ナリ、周禮ニ六冕有リ、一二曰ク大裘冕、二曰ク裘、三二曰ク黼、四二曰ク毛毳、五二曰ク絺、六二曰ク玄、周王ハ天ヲ郊スルニ大裘ヲ以テ冕ス、魯郊スト雖モ大裘ヲ用コトヲ得不、但夕裘ヲ用テ以テ郊ス、郊特性ニ云ク、祭ノ日、王裘ヲ被テ天ニ象ル、鄭玄カ注ニ曰ク、日月星辰ノ章有ルヲ謂フ、此レハ魯ノ禮ナリ、周ノ禮ニ王昊天上帝ヲ祀ル則ハ、大裘ヲ服シテ冕ス、五帝ヲ祀ルモ亦之ノ如シ、魯侯ノ服ハ、衾冕自リシテ下ノ冕ナリ、此ノ記ノ注ヲ按スルニ、即チ是レ魯ノ郊ニハ裘ヲ用フ、然レハ魯ノ廟モ亦裘ナリ。或ヒト問テ曰ク、魯ニ既ニ周ノ次ノ冕ヲ用テ、郊ス、何ソ周ノ金輅ヲ用テ、郊セズルヤ。答テ曰ク、周ノ郊ニハ玉輅ニ乘リテ、文ヲ示シ、服ハ大裘ヲ用テ以テ質ヲ示ス、但夕車ハ神ニ對セ不、故ニ亦文ヲ示ス、服ハ天ニ接ハル、故ニ質ヲ用フ、

【注】

苞氏曰、冕禮冠也、周之禮文而備也、取其黻纁塞耳、不任視聽也、

苞氏カ曰ク、冕ハ禮ノ冠ソ、周ノ禮ハ文ニシテ備ハレリ、

其ノ黈^{トウ}纒^{ケン}ヲ耳^ニ塞^フイテ、視^シ聽^ク任^セ不^ルニ取^ル、

【疏】

周既文、民人多過、君上若任己視聽、見民犯罪者多、數用刑辟過、若見過而不治則、非謂人君之法、故服冕前後垂旒以亂眼、左右兩邊垂瑱以塞耳、示不任視聽也、黈黃色也、纒新綿也、當兩耳垂黃黃綿、綿下又係玉、名爲瑱也、

周ハ既ニ文ニシテ、民一人過チ多シ、君一上若シ己カ視聽ニ任スルトキハ、民ヲ見ルニ罪ヲ犯ス者多シ、數刑辟ヲ用ルトキハ過ク、若シ過ヲ見テ治メ不^ル則ハ、人君ノ法ト謂フニ非ス、故ニ冕ヲ服スルコト前後ニ旒ヲ垂テ眼ヲ亂リ、左^ニ右^ニ兩^ニ邊^ニ瑱ヲ垂レテ以テ耳ヲ塞ク、視聽ニ任セ不^ルコトヲ示ス、黈ハ黃色ナリ、纒ハ新綿ナリ、兩^ニ耳^ニ當^ニ黄^ニ黄^ニ綿ヲ垂ル。綿ノ下ニ又玉ヲ係ク、名ケテ瑱ト爲、

【經】

樂則韶舞、

樂ハ韶舞ヲセヨ、

【疏】

謂魯所用樂也、韶舞舜樂也、周用六代樂、一曰雲門、黃帝樂也、二曰咸池。堯樂也、三曰大韶、舜樂也、四曰大夏。夏禹樂也、五曰大武。殷湯樂也、六曰大武。周樂也、若餘諸侯則、唯用時王之樂、魯既得用天子之事、故賜四代禮樂。自虞而下、故云舜舞也、所以明堂位云、凡四代之服、器、官、魯兼用之、是故魯王禮也、而用四代、竝從有虞氏爲始也、又春秋魯襄公二十九年傳、吳公子季札聘魯請觀周樂、乃爲之舞自周以上、至見舞韶前者、曰、至夫哉大矣、如天之無不燾、如地之無不載也、雖甚盛德、其蔑以加於此矣、觀止矣、若有他樂、吾不敢請已也、杜注云、魯用四代之樂、故及韶削而季子知其終也、

魯ノ用ル所ノ樂ヲ謂フ、韶舞ハ舜ノ樂ナリ、周二六代ノ樂ヲ用フ、一ニ曰ク雲門、黃帝ノ樂ナリ、二ニ曰ク咸池、堯ノ樂ナリ、三ニ曰ク大韶、舜ノ樂ナリ、四ニ曰ク大夏、夏ノ禹ノ樂ナリ、五ニ曰ク大武、殷ノ湯ノ樂ナリ、六ニ曰ク大武、周ノ樂ナリ、餘諸侯ノ若キンハ、唯々時ノ王ノ樂ヲ用フ、魯ハ既ニ天子ノ事ヲ用ルコトヲ得、故ニ四代ノ禮樂、虞自リ下ヲ賜フ、故ニ云ク舜ノ舞ヲセヨト、所以ニ明堂位ニ云ク、凡ソ四代ノ服、器、官、魯ハ兼テ之ヲ用フ、是ノ故ニ魯ハ王禮ナリ、而ルヲ四代ヲ

用フルコトハ、竝ニ有虞氏從り始メト爲、又春秋ニ魯ノ襄公二十九年ノ傳ニ、呉ノ公子季札魯ニ聘シテ周ノ樂ヲ觀ント請フ、乃チ之カ爲ニ周自リ以テ上ヲ舞ス、韶ノ削ヲ舞ス者ヲ見ルニ至テ、曰ク、至レルカナ大ナルカナ、天ノ燾ハ不トイフコト無キカ如ク、地ノ載セ不トイフコト無キカ如シ、甚タ盛徳ト雖モ、其レ以テ此レニ加フ蔑ケン、觀ルコト止ム、若シ他ノ樂有リトモ、吾敢請ハ不シ已、杜カ注ニ云ク、魯ハ四代ノ樂ヲ用フ、故ニ韶削ニ及テ而シテ季子其ノ終コトヲ知ル、

【注】韶舜樂也、盡善盡美、故取之也、

韶ハ舜ノ樂、善ヲ盡シ美ヲ盡セリ、故ニ之ヲ取ル、

【疏】解魯所以極韶不取堯樂之義也、

魯韶ヲ極テ堯ノ樂ヲ取ラ不ル所以ノ義ヲ解ス、

【經】放鄭聲遠佞人、

鄭聲ヲ放テ佞人ヲ遠ケヨ、

【疏】

亦魯禮法也、每言禮法、亦因爲後教也。鄭聲淫也、魯禮無淫樂、故言放之也、佞人惡人也、惡人壞亂邦家、故黜遠之也、

亦魯ノ禮法ナリ、禮法ヲ言フ毎ニ、亦タ因テ後ノ教ヲ爲、鄭聲ハ淫ナリ、魯ノ禮淫樂無シ、故ニ言ク之ヲ放テト、佞人トハ惡人ナリ、惡人ハ邦家ヲ壞リ亂ル、故ニ之ヲ黜（黜）遠ス、

【經】

鄭聲淫、佞人殆、

鄭聲ハ淫ナリ、佞人ハ殆シ、

【疏】

出鄭聲佞人所以宜放遠之由也、鄭地聲淫、而佞人鬪亂、使國家爲危殆之也、

鄭聲佞人宜ク放チ遠ク宜キ所以ノ由ヲ出ス、鄭ノ地ハ

聲淫ナリ、而ルヲ佞人ハ鬪亂シテ、國家ヲ使テ危殆爲ラ使ム、

【注】

孔安國曰、鄭聲佞人亦俱能感人心、與雅樂賢人同、而使人淫亂危殆、故當放遠之、

孔安國カ曰ク、鄭聲佞人ハ亦俱ニ能ク人ノ心ヲ感スルコト、雅樂賢人與同シ、人ヲ使テ淫亂危殆ナラ使ム、故ニ當ニ放チ遠ク當シ、

【疏】

按樂記云、鄭音好敖放僻濫驕淫、志所以是淫也、

按スルニ樂記ニ云ク、鄭音ハ敖放ヲ好テ僻濫驕淫ス、志シノ是レ淫スル所_{ゆゑん}以ナリ、

(一) 「也」、武内本無此字。

(二) 「用」上、武内本有「周」字。

(三) 「輅」、武内本無此字。

(四) 「按」、武内本作「案」、下同。

(五) 「照」、武内本作「昭」。

(六) 「郊」、武内本作「禮」。

(七) 「裘」、武内本作「衰」、下同。

(八) 「鼈」、武内本作「驚」。

(九) 「辟」、武内本作「辭」。

(一〇) 「字」、武内本無此字。

(一一) 「服冕」、武内本作「冕服」。

(一二) 「黃黃綿綿下」、武内本作「黃綿纊綿之下」。

(一三) 大概本一字空格、武内本有「濩」字。

(一四) 「夫」、武内本作「矣」。

(一五) 「燾」、武内本作「幃」。

(一六) 「之」、武内本無此字。

(一七) 「之」、武内本無此字。

(一八) 「之」下、武内本有「也」字。

【經】

子曰、人而無遠慮、必有近憂、

子ノ曰ク、人トシテ遠キ慮リ無キトキハ、必ス近キ憂有リ、

【疏】

人生當思漸慮遠防於不然、則憂患之事、不得近至、若不爲

遠慮、則憂慮〇之來不朝則夕、故云、必有近憂也、

人レ生當ニ漸ク慮テ遠ク不レ然ヲ防クコトヲ思フ當キ、則トキハ憂患ノ事、近レ至スルコトヲ得不、若シ遠慮ヲ爲サヘズンハ、憂慮ノ來ランコト朝ニ不レシハ夕ナラン、故ニ云ク、必ス近キレ憂ヘ有リト、

【注】

王肅曰、君子當思慮而預防也、

王肅カ曰ク、君レ子ハ當ニ思ヒレ慮テ預メレ防ク當シ、

(一) 「慮」、武内本作「患」。

【經】

子曰、已矣吾未見、好德如好色者也、

子ノ曰ク、已ヤンヌルカ矣吾レ未ク見ス、德ヲ好ムコト色ヲ好ムカ如クスル者ヲ、

【疏】

既先云已矣、明久已〇不見也、疾時色興德廢、故起斯歎也、

此語亦是重出、亦孔子再時行教也、

既ニ先ツ云ノたまはク已ヤンヌルカ矣トハ、久ク已〇見不ルコトヲ明ス、時ニ色ヲ興リ德ヲ廢ルルコトヲ疾ム、故ニ斯ノレ歎ヲ起ス、此ノレ語亦タ是レ重テ出ツ、亦孔子再時ニ教ヲ行フカ、

(一) 「已」、武内本作「己」。

(二) 「歎」、武内本作「欲」。

【經】

子曰、臧文仲其竊位者與、

子ノ曰ク、臧文仲ハ其レ位ヲ竊メル者ト與、

【疏】

魯大夫也、竊盜也、臧文仲雖居位、居位不當、與盜位者同、故云竊位者歎也、

魯ノ大夫ナリ、竊ハ盜ナリ、臧文仲位ニ居ルト雖モ、位ニ居ルコト當ラズ不、位ヲ盜ム者ト與シ、故ニ云ク位ヲ竊ム者ト歎ト、

【經】

知柳下惠之賢、而不與立也、

柳下惠カ賢ナルコトヲ知テ、與ニ立テラ不^ス、

【疏】

此臧文仲竊位之由也、凡在位者、當助君舉賢才、以共匡佐、而文仲在位、知柳下惠之賢、而不薦之於君使與己同立公朝、所以是素飡盜位也、

此レハ臧文仲カ位ヲ竊ムノ由ナリ、凡ソ位ニ在ル者ハ、當ニ君ヲ助ケ賢才ヲ舉テ、共ニ匡シ^{タタ}佐ク當シ、而ルヲ文仲位ニ在テ、柳下惠カ賢ヲ知テ、之ヲ君ニ薦メテ^{おのレト}己與同ク公朝ニ立タ^シ使メ^ス不^ス、是レ素飡シテ位ヲ盜ム所以、

【注】

孔安國曰、柳下惠展禽也、知其賢而不舉、爲竊位也、

孔安國カ曰ク、柳下惠ハ展禽ソ、其ノ賢ナルコトヲ知テ舉ケ不^ス、位ヲ竊メリト爲^ス、

【經】

子曰、躬自厚、而薄責於人、則遠怨矣、

子ノ曰ク、躬自厚シテ、人ヲ責ムルニ薄キトキハ、怨ニ遠ル、

【疏】

躬身也、君子責己厚、小人責人厚、責人厚則、爲怨之府、責己厚、人不見怨、故云遠怨、

躬ハ身ナリ、君子ハ己ヲ責ムルコト厚シ、小人ハ人ヲ責ムルコト厚シ、人ヲ責ムルコト厚キ^ト則ハ、怨ノ府爲リ、己ヲ責ムルコト厚キトキハ、人ニ怨ミ見レ^ラ不^ス、故ニ云ク怨ニ遠ルト、

【注】

孔安國曰、自責己厚、責人薄、所以遠怨咎也、

孔安國カ曰ク、自^{ミづから}己ヲ責ムルニ厚シテ、人ヲ責ムルニ薄キハ、怨^ミ咎^ヲニ遠ル所以ナリ、

【疏】

蔡謨云、儒者之説、雖於義無違、而於名未安也、何者、以自厚者爲責己、文不辭矣、厚者謂厚其德也。而人又若己所未能、而責物以能、故人心不服。若自厚其德、而不求多於人、則怨路塞、責己之美雖存乎中、然自厚之義不施於責也、侃按蔡雖欲異孔而終不離孔辭、孔辭亦得爲蔡之釋也、

蔡謨カ云ク、儒者ノ説、義ニ於違フコト無シト雖モ、名ニ於テ未タ安ラ未、何者、自厚キ者ヲ以テ己ヲ責ルト爲、文辭ナラ不、厚キトハ其ノ德ヲ厚フスルヲ謂フ。而ルニ人又若シ己未タ能クセ未ル所アリテ、而シテ物ヲ責ムルニ能ヲ以テス、故二人ノ心服セ不。若シ自其ノ德ヲ厚シテ、多ヲ人ニ求不ル、則ハ怨路塞ル、己ヲ責ムルノ美中ニ存スト雖モ、然トモ自厚キノ義責ムルニ施サ不、侃按スルニ蔡孔ニ異ラント欲スト雖終ニ孔カ辭ヲ離レ不、孔カ辭モ亦蔡カ釋爲ルコトヲ得、

(一) 「按」、武内本作「案」。

【經】

子曰、不曰如之何、

子ノ曰ク、之ヲ如何ト曰ハ不シテ、

【疏】

不曰猶不謂也、如之何、謂事卒至非己力勢可奈何者也、言人生常當思慮卒有不可如何之事、逆而防之不使有起、若無慮而事歛起、是不曰如之何事也、李充云、謀之於其未兆、治之於其未亂、何當至於臨難而方曰如之何乎、

不曰ハ不謂ノ猶シ、之如何トハ、事卒ニ至テ己カ力勢奈何トモス可キニ非ル者ヲ謂フ、言ハ人生常ニ當ニ卒ニ如何トモス可ラ不ルコト有ルノ事ヲ思慮シテ逆メ之ヲ防テ起ルコト有ラ使メ不ル當シ、若シ慮ルコト無クシテ事歛ニ起ル、是レ之ヲ如何トモイフコトヲ曰ハ不ルノ事ナリ、李充カ云ク、之ヲ其ノ未タ兆サ未ルニ謀テ、之ヲ其ノ未タ亂レ未ルニ治ムヘシ、何ソ當ニ難ニ臨ムニ至テ方ニ(方メテ)之ヲ如何ト曰フ當ケンヤ、

【注】

孔安國曰、不曰如之何者、猶言不曰奈是也、

孔安國カ曰ク、不曰如之何トハ、猶シ不曰奈是何

ト言ハンカ猶シ、

(一) 「乎」、武内本作「也」。

【經】

如之何者、吾末如之何也已矣、

子曰、群居、終日言不及義、

之ヲ如何トイハハ、吾之如何トモスルコト末カラマク已、

子曰ク、群居シテ、終日ニ言ツテ義ニ及ハ不、

【疏】

若不先慮、而如之何之事、非唯凡人不能奈何矣、雖聖人亦無如之何也、故云、吾末如之何也已矣、

【疏】

三人以上爲群居、群居共聚、有所談說、終於日月、而未會有及義之事、

若シ先ツ慮ラ不シテ、之ヲ如何トイフノ事ハ、唯タ凡人ノ奈何トモスルコト能ハ不ルノミニ非ス、聖人雖モ亦之ヲ如何トモスルコト無ケン、故ニ云ク、吾之如何セントイフコト末カラマク已ト、

【經】

好行小惠、難矣哉、

【注】

孔安國曰、如之何者、言禍難已成、吾亦無如之何也、

好テ小惠ヲ行フ、難イ矣、

孔安國カ曰ク、之ヲ如何ト者、言ハ禍難已ニ成ンヌ

【疏】

小惠、小小才智也、若安陵調諛戲屬之也、以此處世、亦難爲成人也、

小惠トハ、小一ケイ小ノ才一智ナリ、安陵カ調一諱一戲ノ屬ノ若シ、此ヲ以テ世ニ處ルハ、亦成一人ト爲ルコト難シ、

【注】

鄭玄曰、小惠謂小小才智也、難矣哉、言終無成也、

鄭玄カ曰ク、小一惠トハ小一才一智ヲ謂フ、難イ一矣トハ、言一ハ終ニ成ルコト無ケン、

(一) 「談説」、武内本作「説談」。

(二) 「事」下、武内本有「也」字。

(三) 「戲屬之」、武内本作「之屬」。

(四) 「成」下、武内本有「功」字。

【經】

子曰、君子義以爲質、

子ノ曰ク、君一子ハ義一以テ質ト爲、

【疏】

義宜也、質本也、人識性不同、各以其所宜爲本、

義ハ宜ナリ、質ハ本ナリ、人ノ識一性同カラ不、各其ノ宜キ所ヲ以本ト爲、

【經】

禮以行之、

禮一以テ行フ、

【疏】

雖各以所宜、爲本、而行之皆須合禮也、

各宜シキ所ヲ以、本ト爲ト雖モ、之ヲ行コト皆禮ニ合フ須シ、

【經】

遜以出之、

遜一以テ出ツ、

【疏】

行之行及合禮、而言出之、必使遜順也、

之ヲ行フノ行禮ニ合ニ及テ、而シテ言之ヲ出スコト、必
ス遜順ナラ使ム、

【經】
信以成之、

信これをも以テ之成ル、

【疏】
行信合禮、而言遜順、而歲寒終須信以成之也、

信ヲ行ヒ禮ニ合テ、而シテ言遜順ニシテ、歲寒ニ終ニ
信ヲ須チテ之ヲ成ス、

【經】
君子哉、

君子ナル哉、

【疏】
如上義、可謂爲君子之行也、

上ノ義ノ如キンハ、謂テ君子ノ行ト爲可シ、

【注】
鄭玄曰、義以爲質、謂操行也、遜以出之、謂言語也、

鄭玄カ曰ク、義これをも以テ質ト爲トハ、操サ（操ミサツ）行ヲ謂フ、
遜これをも以テ出ツトハ、言ミサツ語ヲ謂フ、

（一）「行之」、武内本無此二字。

（二）「歲寒」、武内本作「出塞」。

【經】
子曰、君子病無能焉、不病人之不知也、

子曰ク、君子ハ能無キコト病ム、人ノ己ヲ知ラ不ルコ
トヲ病マ不、

【疏】
病猶患也、君子之人常患己無才能耳、不患己有才能、而人
不見知之也、

病ハ患ノ猶シ、君子ノ人ハ常ニ己カ才能無キコトヲ患

ル耳ミミ、己カ才シ能有テ、人ニ之ヲ知見シラレ不スルコトヲ患ヘ不、

【注】
苞氏曰〇、君子之人但病無聖人之道、不病人不知己也〇、

苞氏カ曰ク、君一子ノ人ハ但夕聖人ノ道無キコトヲ病ム、
人ノ己ヲ知ラ不スルコトヲ病マヌ、

(一) 「苞氏曰」、武内本無此三字。

(二) 「也」、武内本無此字。

【經】

子曰、君子疾沒世而名不稱焉、

子ノ曰ノたまはク、君一子ハ世ヲ沒ヲウルマテ名ノ稱レセラレ不スルコトヲ疾ヤム、

【疏】

沒世、謂身沒以後也、身沒而名譽不稱揚爲人所知、是君子所疾也、故江熙云、匠終年運斤不能成器、匠者病之、君子終年爲善、不能成名、亦君子病之也、

世ヲ沒レルトハ、身一沒シテノ以レ後ヲ謂フ、身一沒シテ名譽稱揚シテ人ノ爲ニ知ラ不スルハ、是レ君一子ノ疾ム所ナリ、故ニ江熙カ云ク、匠八年ヲ終ルマテ斤ヲ運ヲラシテ器ヲ成スコト能ハ不スルハ、匠者之ヲ病ム、君一子ハ年ヲ終マテ善ヲ爲ナシテ、名ヲ成スコト能ハ不スルハ、亦夕君一子之ヲ病ム、

【注】

疾猶病也、

疾ハ病ノ猶シ、

(一) 「斤」、武内本作「斧」。

【經】

子曰、君子求諸己、小人求諸人、

子ノ曰ノたまはク、君一子ハ己一ヲ求ム、小一人ハ人一ヲ求ム、

【疏】

求責也、君子自責己德行之不足、不責人也、小人不責己、而責人之也、

求ハ責ナリ、君子ハ自己カ徳ヲ行ノ足ラ不ルヲ責テ、人ヲ責メ不、小人ハ自己ヲ責メ不シテ、而シテ人ヲ責ム、

【注】

君子責己、小人責人、

君子ハ己ヲ責ム、小人ハ人ヲ責ム、

【經】

子曰、君子矜而不爭、

子ノ曰ク、君子ハ矜カニシテ争ハ不、

【疏】

矜矜莊也、君子自矜莊己身、而已不與人爭也、故江熙云、君子不使其身俛焉若不終日、自敬而已、非與人爭勝之也、

ケラ矜ハ矜莊ナリ、君子ハ自己カ身ヲ矜莊ニスレトモ、己人ト争ハ不、故ニ江熙カ云ク、君子ハ其ノ身ヲ使テ俛焉トシテ日ヲ終ヘ不ルカ若クナラ使メ不、自敬ム而已、人與勝ンコトヲ争フニ非ス、

【注】

荀氏曰、矜矜莊也、

荀氏カ曰ク、矜ハ矜莊ナリ、

【經】

群而不黨、

群スレトモ（群シテ）黨セ不、

【疏】

君子乃朋群義聚、而不相阿黨爲私也、江熙云、君子以道知相聚、聚則爲群、群則似黨、群居所以切磋成德、非於私也、

君子ハ乃チ朋群義聚シテ、相ヒ阿黨シテ私ヲ爲不、江熙カ云ク、君子ハ道ヲ以相ヒ聚ルコトヲ知ル、聚ル則ハ群ヲ爲ス、群スル則ハ黨ニ似タリ、群居ハ切磋シテ德ヲ成ス所以ナリ、私ニ非ス、

【注】

孔安國曰、黨助也、君子雖衆、不相私助、義之與比也、

孔安國カ曰ク、黨ハ助、君子ハ衆ナリト雖モ、相ヒ私ニ助ケ不^ス、義ト與ニ比ス、

- (一) 「江」上、武内本有「故」字。
- (二) 「曰」、武内本作「云」。

【經】

子曰、君子不以言舉人、

子ノ曰ク、君子ハ言ヲ以テ人ヲ舉ケ不^ス、

【疏】

舉人、必須知其德行、不可聽言而薦舉之、故君子不爲也、

人ヲ舉コト、必ス須ク其ノ徳ト行ヲ知ル須シ、言ヲ聽テ之ヲ薦ト舉ス可ラ不^ス、故ニ君子ハ爲^セ不^ス、

【注】

荀氏曰、有言者、不必有徳、故不可以言舉人、

荀氏カ曰ク、言有ル者ハ、必ス徳有ラ不^ス、故ニ言ヲ以テ人ヲ舉ク可ラ不^ス、

【經】

不以人廢言、

人ヲ以テ言ヲ廢テ不^ス、

【疏】

言又不可以彼人之卑賤、而廢其美言而不用也、故李充云、詢于芻蕘、不恥下問也、

言ハ又彼ノ人ノ卑ト賤ヲ以テ、其美ト言ヲ廢テ用ヒ不^ル可ラ不^ス、故ニ李充カ云ク、芻ト蕘ト二詢ツテ、下ト問ニ恥チ不^ス、

- (一) 「人」下、武内本有「也」字。

- (二) 「也」下、武内本有注文「(王肅曰、不可以無徳而廢善言也。)」十三字。

【經】

子貢問曰、有一言而可以終身行者乎、

子貢問テ曰ク、一ト言ニシテ身ヲ終ルマテ行フ可キ者有リヤ、

【疏】

問求善事、欲以終身奉行之也、

善事ヲ問ヒ「求テ、身ヲ終ルマテ之ヲ奉ケ」行ハント欲ス、

【經】

子曰、其恕乎、

子ノ曰ク、其レ恕カ（恕 ッテカ、
ヨモシハカ）、

【疏】

此是可終身行之一言也、恕謂内付己心、外以處物、言人在世、當終身行於恕也、故云其恕乎、

此レハ是レ身ヲ終ルマテ行フ可キノ一「言ナリ、恕トハ内（おのレ）己カ心ヲ付リテ、外物ニ處スルヲ謂フ、言ハ人世ニ在テハ、當ニ身ヲ終ルマテ恕ヲ行フ當シ、故ニ云ク其レ恕カ、

【經】

己所不欲勿施於人也、（己）

（おのレ）己カ欲セズル所ヲハ人ニ施スコト勿レ、

【疏】

此釋恕事也、夫事非己所欲者、不可施度與人也、既己所不欲、亦必人所不欲也、

此レハ恕ノ事ヲ釋ス、夫レ事己カ欲スル所ニ非ルヲハ、施シ度ツテ人ニ與フ可ラ不、既ニ「己カ欲セズル所ハ、亦必ス人ノ欲セズル所ナリ、

（一）「乎」下、武内本有「也」字。

（二）「也」、武内本無此字。

【經】

子曰、吾之於人、誰毀誰譽

子ノ曰ク、吾カ人ニ於ケルコト、誰ヲカ「毀リ誰ヲカ「譽メ

【疏】

孔子言、我之於世、平等如一、無有憎愛毀譽之心、故云誰毀誰譽之也、

孔子ノ言ク、我カ世ニ於ケルコト、平^一等如一ニシテ、憎^一愛毀譽ノ心有ルコト無シ、故ニ云ク誰ヲカ^一毀リ誰ヲカ^一譽メント、

【經】
如有可譽者、其有所試矣、

如シ譽ム可キ者有ルトキハ、其レ試ムル所有リ、

【疏】
既平等一心、不有毀譽、然君子掩惡揚善、善則宜揚、而我從來若有所稱譽者、皆不虛妄、必先試驗其德而後乃譽之耳、故云、其有所試矣、

既ニ平等一^一心ニシテ、毀譽有ラ不^ス、然トモ君子ハ惡ヲ掩テ善ヲ揚ク、善ナル則ハ宜ク揚ク宜シ、而ルヲ我レ從^レ來若シ稱譽スル所ノ者有ルハ、皆ナ虛妄ニ不^ス、必ス先ツ其ノ德ヲ試ミ^一、驗テ而シテ^一後ニ乃シ之ヲ譽ムラク耳、故ニ云ク、其レ試ムル所有リト、

【注】
荀氏曰、所譽輒試以事、不空譽而已矣、

荀氏カ曰ク、譽ムル所ヲハ輒チ試ムルニ事ヲ以テシテ、空ク譽メ不ラク而已、

【疏】
注意如向說。又通云、我乃無毀譽、若民人百姓有相稱譽者、則我亦不虛信而美之、其必以事試之也、

注ノ意ハ向ノ說ノ如シ。又通シテ云ク、我乃チ毀譽スルコト無シ、若シ民人百^一姓相ヒ稱譽スルコト有レトモ、則チ我亦タ虚ク信シテ之ヲ美メ不^ス、其レ^一必ス事ヲ以之ヲ試ム、

【經】
斯民也、三代之所以直道而行也、

民ヲ^{カク}スルハ、三代ノ直道トシテ行フ所以ナリ、

【疏】
斯民者、謂若此養民也、三代夏殷周也、言養民如此無私毀譽者、是三代聖王治天下、用直道而行之時也、郭象云、無心而付之天下者、直道也、有心而使天下從己者、曲法也、故直道而行者、毀譽不出於區區之身、善與不善、信之百姓、

故曰吾之於人、誰毀誰譽、如有所譽、必試、之斯民也、

民ヲかくのしやく斯スルトハ、此ノ若ク民ヲ養フヲ謂フ、三代トハ夏殷周ナリ、言ハ民ヲ養コト此ノ如シテ私ニ毀譽スルコト無キ者ナリ、是レ三代ノ聖王天下ヲ治テ、直道ヲ用テ行フノ時ナリ、郭象カ云ク、無心ニシテ之ヲ天下ニ付スルハ、直道ナリ、有心ニシテ天下ヲ使テ已ニ從ハ使ムルハ、曲法ナリ、故ニ道ヲ直シテ行フ者ハ、毀譽スルコト區區ノ身ヨリ出テ不、善ト不善與、之ヲ百姓ニ信ス、故ニ曰ク吾カ人ニ於ケルコト、誰ヲカ毀リ誰ヲカ譽メン、如シ譽ムル所有ルトキハ、必ス試ムト、之レ民ヲカクシ斯クスルナリ、

【注】

馬融曰、三代夏殷周也、用民如此、無所阿私、所以云直道而行也、

馬融カ曰ク、三代トハ夏殷周ナリ、民ヲ用ルコト此ノ如クシテ、阿アリ私シスル所無キハ、直道ト云テ行フ所以ナリ、

(一) 「言」、武内本作「曰」。

(二) 「法」下、武内本有「者也」二字。

(三) 「譽」、武内本作「與」。

【經】

子曰、吾猶及史之闕文也、

子ノ曰ク、吾猶わしなヲ史ノ闕文ニ及ヘリ、

【疏】

孔子此歎世澆流迅速、時異一時也、史者掌書之官也、古史爲書、若於字有不識者、則懸而闕之以俟知者、不敢擅造爲者也、孔子自云、己及見昔史有此時闕文也、

孔子此レハ世ノ澆流迅速ニシテ、時一時ニ異ナルコトヲ歎ス、史トハ書ヲツカサト掌ルノ官ナリ、古ノ史ハ書ヲ爲スコト、若シ字ニ於テ識ラさズル者有ル、則ハ懸テ之ヲ闕テ知者ヲ俟ツ、敢テ擅ホシイマニ造爲セさズル者ナリ、孔子自云、己昔ノ史ヲ見ルニ此ノ時闕文有ルニ及ヘリ、

【注】

苞氏曰、古之史於書字有疑、則闕之以待知者也、

苞氏カ曰ク、古ノ史ハ書一_レ字ニ於テ疑ハシキコト有レハ、之ヲ闕テ知_レ者ヲ待ツ、

【經】

有馬者、借人乘之、

馬有ル者ハ、人ニ借シテ乘ラシム、

【疏】

孔子又云、亦見此時之馬難調御者、不能調則、借人乘服之也、

孔子又タ云ク、亦此ノ時ノ馬ノ調御シ難キ者ヲハ、調ルコト能ハ_レ不_レル則ハ、人ニ借シテ乗服セシムルヲ見ル、

【經】

今則亡矣夫、

今ハ則チ亡イカナ、

【疏】

亡無也、當孔子末年時、史不識字、輒擅而不闕、有馬不

調、則恥之其不能、必自乘之以致傾覆、故云今亡也矣夫、

亡ハ無ナリ、孔子末一年ノ時ニ當テ、史字ヲ識ラ不_レトモ、輒ク擅ニシテ闕カ_レ不_レス、馬ノ調ラ_レ不_レル有_レル、則ハ之レ其ノ能クセ_レ不_レルヲ恥テ、必ス自之ニ乘テ傾覆ヲ致ス、故ニ云ク今ハ亡イカナト、

【注】

苞氏曰、有馬者不能調良、則借人使乘習之、孔子自謂及見其人如此、至今無有矣、言此者以俗多穿鑿也、

苞氏カ曰ク、馬有リ調良スルコト能ハ_レ不_レル、則ハ人ニ借シテ乘リ之ヲ習ハ使ム、孔子自謂ラク其ノ人ノ此ノ如クナルヲ見ルニ及ヘリト(其ノ人ノ此ノ如クナルヲ見ルニ及ヘリト謂ヘリ)、今ニ至テ有ルコト無シ、此ヲ言コトハ俗ノ穿鑿多キヲ以テナリ、

(一) 「史」上、武内本有「良」字。

(二) 「云」、武内本作「曰」。

(三) 「之」、武内本作「云」。

【經】
子曰、巧言亂德、

子ノ曰ク、巧言ハ徳ヲ亂ル、

【疏】
辭達而已、不須巧辯。巧辯文多、更於徳爲禮之也、

辭ハ達スル而已、巧辯ヲ須イ不。巧辯ハ文多シ、更ニ
徳ニ於テ之ヲ禮スコトヲ爲ス、

【經】
小不忍則亂大謀、

小ヲ忍ヒ不ルトキハ大謀ヲ亂ル、

【疏】
人須容忍則、大事乃成、若不敢忍小、則大事之謀亂也。又
一通云、凡爲人法當依事以斷、事無大小、皆便求了、若小
小不忍、有所慈爲則、大謀不成也、

人須ク容忍ス須キ則ハ、大事乃チ成ル、若シ敢テ小ヲ

忍ヒ不ル、則ハ大事ノ謀コト亂ル。又一通ニ云ク、凡
ソ人爲ルノ法當ニ事ニ依テ斷リテ、事大小ト無ク、皆便
チ求了ス當シ、若シ小ヲ忍ヒ不シテ慈爲スル所有ル
則ハ、大謀成ラ不、

【注】
孔安國曰、巧言利口則亂徳義、小不忍則亂大謀也、

孔安國カ曰ク、巧言利口ハ徳義ヲ亂ル、小ヲ忍ヒ不
則ハ大謀ヲ亂ル、

(一) 「禮」、武内本作「亂」。
(二) 「敢」、武内本作「能」。

【經】
子曰、衆惡之必察焉、

子ノ曰ク、衆ノ惡ミンスルヲモ必焉ヲ察ス、

【疏】
設有一人爲衆所憎惡者、必當察其徳、不可從衆雷同而惡之
也、所以然者、此人或特立不群、爲衆佞其所陷害、故必察

之也、

設ヒ一人衆ノ爲ニ憎レ惡セ所ルル者有ルモ、必ス當ニ其ノ德ヲ察ス當シ、衆ニ從テ雷ト同シテ之ヲ惡ム可ラ不、然カ所^{ゆゑん}以ハ、此ノ人或ハ特立シテ群セ^すンハ、衆^ヲ佞ノ爲ニ共ニ^ヲ陷レ^レ害セ所レン、故ニ必^{かならず}之ヲ察ス、

【經】

衆好之必察焉、

衆ノ好^{ヨミ}ンスルヲモ必ス^{これ}焉ヲ察ス、

【疏】

又設有一人爲衆所好愛者、亦當必察、不可隨衆而崇重之也、所以然者、或此人行惡爲群惡之所黨愛、故亦必察也、衛權云、賢不與俗爭則、莫不好愛也、俗人與時同好、亦則見好也、凶邪害善則、莫不惡之、行高志遠、與俗違忤、俗亦惡之、皆不可不察也、

又設ヒ一人衆ノ爲ニ好レ愛セ所ルル者有ルモ、亦當ニ必ス察ス當シ、衆ニ隨テ之ヲ崇レ重ス可ラ不、然カル所^{ゆゑん}以ハ、或ハ此ノ人惡ヲ行ハハ群レ惡ノ爲ニ黨愛セラ所^レン、故ニ亦

必ス察ス、衛權カ云ク。賢俗與爭ハ不^レル則ハ、好^レ愛セ不^レトイフコト莫シ、俗一人ニシテ時與好ヲ同セハ、亦則^ま子好セラ見^レン。凶邪善ヲ害スル則ハ、之ヲ惡^レ不^レトイフコト莫シ、行高ク志^{こころざ}シ遠クシテ、俗與違イ忤^{サカ}ワハ、俗亦之ヲ惡マン、皆察セ^レンハアル可ラ不、

【注】

王肅曰、或衆阿黨比周、或其人特立不群、故好惡不可不察也、

王肅カ曰ク、或ハ衆阿^レ黨比^レ周ス、或其ノ一人特立シテ群セ^レ不、故ニ好^レ惡^レ察セ^レンハアル可ラ不、

(一) 「賢」下、武内本有「人」字。

【經】

子曰、人能弘道、非道弘人也、

子ノ曰ク、人能ク道ヲ弘ム、道人ヲ弘ムルニ非ス、

【疏】

道者通物之妙也、通物之法、本通於可通、不通於不可通

也、若人才大則、道隨之而大、是人能弘道也、若人才小則、道小、不能使大、是非道弘人之也、

道ハ物ヲ通スルノ妙ナリ、物ヲ通スルノ法、本通ス可キヲ通ス、通ス可ラ不ルヲ通セ不、若シ人才大ナル則ハ、道之ニ隨テ大ナリ、是レ人能ク道ヲ弘ルナリ、若シ人才小ナル則ハ、道小ナリ、大ナラ使ムルコト能ハ不、是レ道人ヲ弘ムルニ非ルナリ、

【注】

材大者、道隨大、材小者、道隨小、故不能弘人也、

材大ナル者ハ、道隨テ大ナリ、材小シキナル者ハ、道隨テ小ナリ、故二人ヲ弘ムルコト能ハ不、

【疏】

故蔡謨云、道者寂然不動、行之由人、人可適道、故曰、人能弘道、道不適人、故云非道弘人之也、

故ニ蔡謨カ云ク、道ハ寂然トシテ不動ナリ、之ヲ行フハ人ニ由ル、人ハ道ニ適ク可シ、故ニ曰ク、人能ク道ヲ弘ムト、道ハ人ニ適カ不、故ニ云ク道ノ人ヲ弘ムルニ非

スト、

(一) 「也」、武内本無此字。

【經】

子曰、過而不改、是謂過矣、

子ノ曰ク、過テ改メ不ル、是ヲ過ト謂フ、

【疏】

人有過能改、如日蝕反明、人皆仰之、所以非過、遂而不改則、成過也、江熙云、一過容恕、又文則成罪也、

人過チ有テ能ク改ムルトキハ、日蝕ノ反テ明ナルカ如シ、人皆之ヲ仰ク、過ニ非ル所以ナリ、遂ケテ改メ不ル則ハ、過チト成ル、江熙カ云ク、一過ハ、容恕シ、又文ル則ハ罪ト成ル、

(一) 「蝕」、武内本作「食」。

(二) 「一」、武内本無此字。

【經】

子曰、吾嘗終日不食、終夜不寢、以思無益、不如學也、

子ノ曰ク、吾嘗テ（嘗）終日ニ食セ不、終夜寢ネ不シテ、以テ思フニ（思ヘトモ）益無カリキ、學ハンニハ如カ不、

【疏】

勸人學也、終猶竟也、寢眠也、言我嘗竟日終夕、不食不眠、以思天下之理、唯學益人、餘事皆無益、故云不如學也、郭象曰、聖人無詭教、而云不寢不食、以思者何、夫思而後通、習而後能者、百姓皆然也、聖人無事而不與百姓同事、事同則形同、是以見形、以爲己、唯故謂聖人亦必勤思而力學、此百姓之情也、故用其情、以教之、則聖人之教、因彼以教彼、安容詭哉、

人ヲ學ニ勸ム、終ハ竟ノ猶シ、寢ハ眠ナリ、言ハ嘗テ竟日終夕、食セ不眠ラ不シテ、天下ノ理ヲ思フニ、唯夕學人ヲ益ス、餘事ハ皆益無シ、故ニ云ク學ヒンニハ如カ不、郭象カ曰ク、聖人ハ詭（詭）教無シ、而ルヲ寢ネ不食セ不シテ、思ト云フコトハ何ソヤ、夫レ思テ而シテ後ニ通シ、習テ而シテ後ニ能スルハ、百姓モ皆然リ、

聖人ハ事トシテ百姓與事ヲ同フセ不トイフコト無シ、事

同キ則ハ形同シ、是ヲ以テ形ヲ見シテ、己ト爲、唯タ故ニ聖人モ亦思ヲ勤メ學ヲカムト謂フハ、此レ百姓ノ情ナリ、故ニ其ノ情ヲ用テ、以テ之ヲ教フ、則チ聖人ノ教、彼ニ因テ彼ヲ教フ、安ソ詭ウ容ケンヤ、

【經】

子曰、君子謀道不謀食、

子ノ曰ク、君子ハ道ヲ謀テ食ヲ謀ラ不、

【疏】

謀猶圖也、人非道不立、故必謀道也、自古皆有死、不食亦死、死而後已、而道不可遺、故謀道不謀食之也、

謀ハ圖ノ猶シ、人ハ道ニ非レハ立セ不、故ニ必ス道ヲ謀ル、古自リ皆死有リ、食セ不トモ亦死ス、死シテ而シテ後ニ已ム、而ルニ道ハ遺ル可ラ不、故ニ道ヲ謀テ食ヲ謀ラ不、

【經】

耕也餒在其中矣、

耕ストキハ餒其ノ中ニ在リ、

【疏】餒餓也、唯知耕、而不學、是無知之人也、雖有穀、必他人所奪、而不得自食、是餓在于其中也、

【經】餒ハ餓、唯夕耕コトヲ知テ、學ヒ不ルハ、是レ無知ノ人ナリ、穀有リト雖モ、必ス他人ニ奪ハ所テ、自食スルコトヲ得不、是レ餓ヘ其ノ中ニ在ルナリ、

【經】學也祿在其中矣、

學フトキハ祿其ノ中ニ在リ、

【疏】雖不耕、而學則昭識斯明、爲四方所重、縱不爲亂君之所祿、則門人亦共貢贍、故云祿在其中矣、故子路使門人爲臣、孔子曰、與其死於臣之手、無寧死二三子之手、是也、

耕サ不ト雖モ、學フ則ハ昭識斯明ニシテ、四方ノ爲ニ重所、縱ヒ亂君ノ爲ニ祿セ所レ不レトモ、則チ門

人亦タ共ニ貢贍（贍ニキリス）ス、故ニ云ク祿其ノ中ニ在リト、故ニ子路門人ヲ使テ臣爲ラ使ム、孔子ノ曰ク、其レ臣ノ手ニ死ナン與ハ、無寧二三子ノ手ニ死ナントイフ、是ナリ、

【經】君子憂道不憂貧、

君一子ハ道ヲ憂テ貧ヲ憂ヘ不、

【疏】學道必祿在其中、所以憂己無道而已也、若必有道、祿在其中、故不憂貧也、

道ヲ學必ス祿其ノ中ニ在リ、所以ニ己道無コトヲ憂ル而已、若シ必ス道有ルトキハ、祿其ノ中ニ在リ、故ニ貧コトヲ憂ヘ不、

【注】鄭玄曰、餒餓也、言人雖念耕、而與不學故飢餓、學則得祿、雖不耕而不飢餓、勸人學也、

鄭玄カ曰ク、餒ハ餓、言ハ人耕サンコトヲ念ト雖、與ニ學不ルカ故ニ飢餓ス、學フトキハ祿ヲ得、耕サ不ト雖飢餓セ不、人ヲ學ニ勸ルソ、

【疏】

江熙云、董仲舒云、遑遑求仁義、常患不能化民者、大人之意也、遑遑求財利、常恐匱乏者、小人之意也、此君子小人、謀之不同者也、慮匱乏、故勸耕、恐道闕、故勸學、耕未必無餓、學亦未必得祿、祿在其中、恆有之勢、是未必、君子且當存大而遺細、故憂道不憂於貧也、

江熙カ云ク、董仲舒カ云ク、遑遑トシテ仁義ヲ求テ、常ニ民ヲ化スルコト能ハ不ルヲ患ルハ、大人ノ意ナリ、遑遑トシテ財利ヲ求、常ニ匱乏ヲ恐レルハ、小人ノ意ナリ、此レ君子小人、之ヲ謀ルコト同シカラ不ル者ナリ、匱乏キコトヲ慮フ、故ニ耕ヲ勸ム、道ノ闕ケンコトヲ恐ル、故ニ學ヲ勸ム、耕ストキハ未タ必シモ餓ヘ無ンハアラ未、學トキハ亦未タ必スシモ祿ヲ得未、祿其ノ中ニ在リトハ、恆ニ有ルノ勢ナリ、是レ未必スト未、君子ハ且タ當ニ大ヲ存シテ細ヲ遺ル當シ、故ニ道ヲ憂テ貧コトヲ憂ヘ不、

- (一) 「與」、武内本無此字。
- (二) 「勸」上、武内本有「此」字。
- (三) 「勸」、武内本作「勤」、下同。
- (四) 「且」、武内本作「但」。

【經】

子曰、智及之、仁不能守之、

子曰ク、智及ヘトモ、仁守ルコト能ハ不ルトキハ、

【疏】

謂人有智識能仁、得及爲官位者、故云、智及之也、雖謀智能及、不能用仁守官、故云仁不能守之也、此皆謂中人不備德者也、

謂ル人ハ智識有テ仁ヲ能シテ、官位爲ルニ及コトヲ得ル者ナリ、故ニ云ク、智及フト、智ヲ謀コト能ク及フト雖モ、仁ヲ用テ官ヲ守ルコト能ハ不、故ニ云ク仁之ヲ守ルコト能ハ不ト、此レ皆中人ニシテ德ヲ備ヘ不ル者ヲ謂フ、

【經】

雖得之必失之、

得ルト雖^{いへとも}必ス之ヲ失フ、

【疏】

祿位雖由智而得爲之、無仁以持守之必失祿位也、

祿位智ニ由テ之ヲ爲ムルコトヲ得ルト雖モ、仁ノ以テ之ヲ持チ守ル無ンハ必ス祿位ヲ失フ、

【注】

荀氏曰、知能及治其官、而仁不能守、雖得之必失之也、

荀氏カ曰ク、知能ク其ノ官ヲ治ムルニ及ヘトモ、仁守ルコト能ハ不ルトキハ、得ルト雖モ必ス失フ、

【經】

知及之、仁能守之、不莊以莅之則、民不敬、

知及ヒ、仁能ク守レトモ、莊シフシテ莅マ不ル則ハ、民敬セ不ス、

【疏】

莅臨也、又言若雖能知及、仁守、爲臨民、不用莊嚴則、不爲民所敬、

莅ハ臨ナリ、又言ハ若シ能ク知及ヒ、仁守テ（雖）、民ニ臨コトヲ爲ルニ、莊嚴ヲ用ヒ不ル則ハ、民ノ爲ニ敬セ所レ不ス、

【注】

荀氏曰、不嚴以臨之則、民不敬從其上也、

荀氏カ曰ク、嚴シフシテ之レニ臨マ不ル則ハ、民其ノ上ニ敬從ハ不ス、

【經】

知及之、仁能守之、莊以莅之、動之不以禮未善也、

知及ヒ、仁能ク守リ、莊シフシテ莅メトモ、動クニ禮ヲ以テセ不レハ未タ善カラ未ス、

【疏】

雖智及仁守、莅莊而動靜必須禮以將之、若動靜不用禮、則

爲未盡善也、

智及ヒ仁^レ守リ、蒞^レムニ^レ 莊^レアリト^レ 雖^レ動^レ靜^レ必^レ須^レク禮^レ
コレをも以^レテ之ヲ將^レフ須^レシ、若^シ動^レ靜禮ヲ用^レ不^ル、則^レハ未^レタ
善ク盡サ未ト爲、

【注】

王肅曰、動必以禮、然後善也、

王肅カ曰ク、動クニ必ス禮ヲ以テシテ、然シテ^レ後ニ善ケ
ン、

【疏】

李充云、夫智及以智^五惠、其失也蕩、仁守以靜、其失也寬、
 莊蒞以威、其失也猛、故必須禮、然後和之、以禮制智則、
 精而不蕩、以禮輔仁則、溫而不寬、以禮御莊則、威而不
 猛、故安上治民、莫善於禮也、顏特進云、智以通其變、仁
 以安其性、莊以安其下、禮以安其情、化民之善、必備此四
 者也、

李充カ云ク、夫レ智^レ及フトハ智ノ惠ヲ以テスルソ、其ノ
 失ハ蕩ナリ、仁アリテ^レ守ルトハ靜ヲ以テスルソ、其ノ失

ハ寬ナリ、莊^レミアリテ蒞^レムトハ威ヲ以テスルソ、其ノ
 失ハ猛（猛）ナリ、故ニ必ス禮ヲ須^レテ、然シテ^レ後ニ之ヲ
 和ス、禮ヲ以智ヲ制スル則^レハ、精ニシテ蕩セ不^ス、禮ヲ以
 仁ヲ輔^レル則^レハ、溫ニシテ寬ナラ不^ス、禮ヲ以テ莊ヲ御^レムル
 則^レハ、威アリテ猛カラ不^ス、故ニ上ヲ安シ民ヲ治ムルニハ、
 禮ヨリ善キハ莫シ、顏特進カ云ク、智^レ以テ其ノ^レ變ニ通
コレをもシ、仁^レ以テ其ノ性ヲ安シ、莊^レ以テ其ノ下ヲ安シ、禮^レ
コレをも以テ其ノ情ヲ安ス、民ヲ化スルノ善、必ス此ノ四ノ者
 ヲ備ヘン、

(一) 「仁」、武内本作「任」。

(二) 「官」下、武内本有「位」字。

(三) 「待」、武内本作「恃」。

(四) 「知」、武内本作「智」、下同。

(五) 「智」、武内本無此字。

(六) 「云」、武内本作「曰」。

(七) 「下」、武内本作「慢」。

(八) 「也」下、武内本有「必有大成量也」六字。

【經】

子曰、君子不可小知、而可大受也、

子ノ曰ク、君子ハ小知ス可ラ不、大受ス可シ、

也、

【疏】

君子之道深遠、不與凡人可知、故云不可小知也、德能深潤物、物受之深、故云而可大受也。張憑云、謂之君子、必有大成之量、不必能爲小善也、故宜推誠聞信、虛以將受之、不可求備責以細行之、

【注】

君子之道深遠、不可以小了知、而可大受、小人之道淺近、可以小了知、而不可大受也、

君子ノ道ハ深遠ニシテ、凡人與リ知ル可ラ不、故ニ云ク小知ス可ラ不、德能ク深クシテ物ヲ潤ス、物ノ之ヲ受ルコト深シ、故ニ云ク而シテ大受ス可シ。張憑カ云ク、之ヲ君子ト謂フ、必ス大成ノ量有リ、必ス能ク小善ヲ爲不、故ニ宜ク誠ヲ推シ信ニ聞シテ、虚ニシテ之ヲ將受ス宜シ、備ヲ求メ責ルニ細行ヲ以テス可ラ不、

君子ノ道ハ深遠ナリ、小了ヲ以テ知ル可ラ不、而シテ大受ス可シ、小人ノ道ハ淺近ナリ、小了ヲ以テ知ル可シ、大受ス可ラ不、

【經】

小人不可大受、而可小知也、

【經】

子曰、民之於仁也、甚於水火、

子ノ曰ク、民ノ仁ニ於ケルコト、水ノ火ヨリモ甚シ、

【疏】

小人道淺、故云不可大受也、淺則易爲物所見、故可以小知

(一) 「之」下、武内本有「也」字。

(二) 「云」、武内本作「曰」。

(三) 「也」、武内本無此字。

【疏】

甚猶勝也、仁、水、火、三事皆民人所仰以生者也、水火是人朝夕所須、仁是萬行之首、故非水火則、無以食、非仁則、無有恩義、若無恩及飲食、則必死、無以立世、三者竝爲民人所急也、然就三事之中、仁最爲勝、故云甚於水火也、

甚ハ勝ノ猶シ、仁、水、火ノ、三事ハ皆民人ノ仰テ以テ生スル所ノ者ナリ、水、火ハ是レ人ノ朝夕須ユル所、仁ハ是レ萬行ノ首メナリ、故ニ水、火ニ非ンハ、以テ食スルコト無ケン、仁ニ非ンハ、恩義有ルコト無シ、若シ恩及ビ飲食無キ、則ハ必ス死ナン、世ニ立ツコト無ケン、三ノ者ハ竝ニ民人ノ爲ニ急トスル所ナリ、然トモ三事ノ中ニ就テ、仁最モ勝レタリト爲、故ニ云ク水、火ヨリ甚ト、

【注】

馬融曰、水火與仁、皆民所仰而生者也、仁最爲甚也、

馬融カ曰ク、水、火ト仁與ハ、皆民ノ仰テ生スル所ノ者ナリ、仁最モ甚シト爲、

【經】

水火吾見蹈而死者矣、未見蹈仁而死者也、

水、火ヲハ吾蹈ムテ死スル者ヲ見ル、未タ見未仁ヲ蹈テ死スル者ヲ、

【疏】

此明仁所以勝水火之事也、水火乃能治民人、民人若誤履蹈之、則必殺人、故云水火吾見蹈而死者也、而仁是恩愛、政行之、故宜爲美、若誤履蹈、而則未嘗殺人、故云、未見蹈仁而死者之也、

此レハ仁ノ水、火ニ勝レル所以ノ事ヲ明ス、水、火ハ乃シ能ク民人ヲ治ム、民人若シ誤テ之ヲ履ミ、蹈ム、則ハ必ス人ヲ殺ス、故ニ云ク水、火ヲハ吾蹈テ死スル者ヲ見ルト、而ルニ仁ハ是レ恩、愛ナリ、政ニ之ヲ行フ、故ニ宜ク美ト爲宜シ、若シ誤テ履ミ、蹈メトモ、而シテ則チ未タ嘗テ人ヲ殺サ未、故ニ云ク、未タ仁ヲ蹈テ死スル者ヲ見未ト、

【注】

馬融曰、蹈水火、或時殺人、蹈仁未嘗殺人者也

馬融カ曰ク、水^一火ヲ蹈テハ、或ハ時二人ヲ殺ス、仁ヲ蹈テハ未^いタ嘗^{じやう}テ人ヲ殺サ未^まル者ナリ

【疏】

王弼^四曰、民之遠於仁、甚於遠水火也、見有蹈水火死者、未^六嘗見蹈仁死者也、

王弼カ曰ク、民ノ仁ニ遠ルコト、水^一火ニ遠ルヨリ甚シ、水^一火ヲ蹈テ死スル者有ルヲ見ル、未^いタ嘗^{じやう}テ仁ヲ蹈テ死スル者ヲ見未^スス、

(一) 「之」、武内本無此字。

(二) 「而」、武内本無此字。

(三) 「之」、武内本無此字。

(四) 「曰」、武内本作「云」。

(五) 「死」、武内本無此字。

(六) 「未」、武内本作「不」。

(七) 「死」、武内本無此字。

【經】

子曰、當仁不讓於師、

子ノ曰ク、仁ニ當テハ師ニ讓ラ不^ス、

【疏】

仁者、周窮濟急之謂也、弟子每事則宜讓師、唯行仁宜急、不得讓師也、

仁ト者、窮ヲ周ハシ急ヲ濟フノ謂ナリ、弟子ハ事毎ニ則チ宜ク師ニ讓ル宜シ、唯タ仁ヲ行コトハ宜ク急ナル宜シ、師ニ讓ルコトヲ得不^ス、

【注】

孔安國曰、當行仁之事、不復讓於師、行仁急也、

孔安國カ曰ク、仁ヲ行フノ事ニ當テ、復タ師ニ讓ラ不ルコトハ、仁ヲ行コトノ急ナレハナリ、

【疏】

張憑云、先人後己、外身愛物、履謙處卑、所以爲仁、非不好讓、此道非所以讓也、

張憑カ云ク、人ヲ先シ己ヲ後ニシ、身ヲ外レテ物ヲ愛シ、謙ヲ履ンテ卑キニ處ルハ、仁ト爲ル所以ナリ、讓ヲ好マ

不^さルニハ非^{あら}ス、此ノ道讓^ゆル所^{まん}以^らニ非^{あら}ス、

【經】

子曰、君子貞而不諒、

子ノ曰ク、君^{マコト}子ハ貞ニシテ諒アラ（諒トセラレ）不^す、

【疏】

貞正也、諒信也、君子權變無常、若爲事苟合道、得理之正、君子爲之、不必存於小信自經溝瀆也、

貞ハ正ナリ、諒ハ信ナリ、君^{マコト}子ハ變ヲ權常^{つね}無シ、若シ事ヲ爲^スルトキハ苟^{マコト}ニ道ニ合^{かな}テ、理ノ正ヲ得、君^{マコト}子ハ之ヲ爲^ス、必ス小^ミ信ヲ存シテ自^{ミツ}溝瀆^{から}ニ經^ケレ不^ス、

【注】

孔安國曰、貞正也、諒信也、君子之人正其道耳、言不必有信也、

孔安國カ曰ク、貞ハ正、諒ハ信、君^{マコト}子ノ人ハ其ノ道ヲ正^{ただ}スル耳、言ハ必スシモ信有^あラ不^す、

【疏】

一通云、君子道無不正、不能使人信之也、

一、通ニ云ク、君^{マコト}子ノ道ハ正シカラ不^ストイフコト無シ、人ヲ使^シテ之ヲ信^しセ使^しルコト能^ハ不^ス、

(一) 「經」、武内本作「經於」。

【經】

子曰、事君敬其事、而後其食、

子ノ曰ク、君ニ事^{つかまつ}ルコトハ其ノ事ヲ敬シテ、而シテ其ノ食^シヲ後ニス、

【疏】

國家之事、知無不爲、是敬其事也、必有纏勳^こ乃受祿賞、是後其食也、江熙云、格居官次、以達其道、事君之意也、蓋傷時利祿以事君之也、

國^{クニ}家ノ事、知^チテ爲^セ不^すトイフコト無シ、是レ其ノ事ヲ敬ムナリ、必ス勳^{いさ}勤^こニ纏^たフコト有^あテ乃チ祿^{ろく}賞^{しょう}ヲ受ク、是レ其ノ食^シヲ後ニスルナリ、江熙カ云ク、格^{くわ}シク官^{くわん}次^じニ居^いテ、

其ノ道ニ達ス、君ニ事ルノ意ナリ、蓋シ時ニ祿ヲ利トシテ君ニ事コトヲ傷ンテナリ、

【注】

孔安國曰、先盡力、然後食祿也、

孔安國カ曰ク、先ツ力ヲ盡シテ、然シテ後ニ祿ヲ食ム、

(一) 「勸」、武内本作「績」。

【經】

子曰、有教無類、

子ノ曰ク、教ヘ有リ類無シ、

【疏】

人乃有貴賤、同宜資教、不可以其種類庶鄙而不教之也、教之則善、無本類之也、

人乃チ貴賤有リ、同ク宜ク教ヘニ資ル宜シ、其ノ種類庶鄙ヲ以テ教ヘ不ル可ラ不、之ヲ教ル則ハ善シ、本類無

シ、

【注】

馬融曰、言人在見教、無有種類、

馬融カ曰ク、言ハ人ハ教ヘ見ルルニ在リ、種類有ルコト無シ、

【疏】

繆播曰、世咸知斯言之崇教、未信斯理之諒深、生生之類、同稟一極、雖下愚不移、然化所遷者、其萬倍也、若生而聞道、長而見教、處之以仁道、養之以德、與道終始、爲乃非道者、余所不能論之也、

繆播カ曰ク、世咸ク斯ノ言ノ教ヲ崇フト知テ、未タ斯ノ理ノ諒ニ深コトヲ信セ未、生ノ生ノ類、同ク一極ヲ稟ク、下愚ニシテ移ラ不ト雖モ、然トモ化シテ遷ス所ハ、其レ萬倍ナリ、若シ生シテ道ヲ聞キ、長シテ教ヘ見ル、之二處ルニ、仁道ヲ以テシ、之ヲ養フニ德ヲ以テシテ、道與終始シテ、道ニ非ルコトヲ爲ル者ハ、余カ論スルコト能ハ不ル所ナリ、

- (一) 「也」、武内本無此字。
- (二) 「若」、武内本無此字。

【經】
子曰、道不同不相爲謀、

子ノ曰ク、道同カラ不ルトキハ相爲ニ謀ラ不、

【疏】

人之爲事、必須先謀、若道同者、共謀則、精審不誤、若道不同、而與共謀則、方圓義、鑿柄事、不成也、

人ノ事ヲ爲ルコト、必ス先謀ヲ須フ、若シ道同キ者ハ、共ニ謀ル則ハ、精審ニシテ誤ラ不、若シ道同カラ不シテ、與ニ共ニ謀ル則ハ、方圓ノ義、鑿柄ノ事、成ラ不ルナリ、

- (一) 「柄」、武内本作「柄」。

【經】

子曰、辭達而已矣、

子ノ曰ク、辭ハ達スラク而已、

【疏】

言語之法、使辭足、宜達其事而已、不須美奇其言以過事實也、

言ノ語ノ法、辭ヲ使テ足ラ使メテ、宜ク其ノ事ニ達ス宜キ而已、其ノ言ヲ美奇ニシテ事實ニ過ルコトヲ須イ不、

【注】

孔安國曰、凡事莫過於實足也、辭達則足矣、不煩文艷之辭也、

孔安國カ曰ク、凡ソ事實ニ過ルコト莫キトキハ足ヌ、辭ハ達スル則ハ足ヌ、文艷（艷）ノ辭ヲ煩ハサ不、

- (一) 「足」、武内本無此字。

【經】

師冕見、

師冕見ユ、

【疏】

師冕魯之樂師也、見來見孔子也、

師冕ハ魯ノ樂師ナリ、見トハ來テ孔子ニ見ルソ、

【注】

孔安國曰、師樂人盲者也、名冕也、

孔安國カ曰ク、師ハ樂人ノ盲タル者ナリ、名ハ冕、

【經】

及階、

階ニ及レリ、

【疏】

及至也、階孔子家堂階也、師冕來見、至孔子家階也、

及ハ至ナリ、階ハ孔子ノ家ノ堂ノ階ナリ、師冕來リ見テ、孔子ノ家ノ階ニ至ル、

【經】

子曰階也、

子ノ曰ク階ソ

【疏】

師冕盲、來見至階、孔子語之云、階也、使之知而登之也、

師冕盲ナリ、來リ見テ階ニ至ル、孔子之ニ語テ云ク、階ソト、之ヲ使テ知テ之ニ登ラ使ム、

【經】

及席也、

席ニ及レリ、

【疏】

冕已升階、至孔子堂上席也、

冕已ニ階ニ升テ、孔子ノ堂上ノ席ニ至ル、

【經】

子曰席也、皆坐、

子ノ曰ク席ソ、皆ニ坐ス、

【疏】

孔子又語之云至席令之登席而坐、皆俱也、孔子見瞽者必起、師既起則、弟子亦隨而起、冕至席已坐、故孔子亦坐、弟子竝坐、故云皆坐之也、

孔子又之ニ語テ席ニ至レト云テ之ヲ令テ席ニ登テ坐セ令ム、皆ハ俱ナリ、孔子瞽者ヲ見ルトキハ必ス起ツ、師既ニ起ツ則ハ、弟子モ亦隨テ起ツ、冕席ニ至テ已ニ坐ス、故ニ孔子亦坐ス、弟子モ竝ニ坐ス、故ニ云ク皆ニ坐スト、

【經】

子告之曰、某在斯、某在斯、

子告ケテ曰ク、某ハ斯ニ在リ、某ハ斯ニ在リ、

【疏】

某座中人也、冕無目、不識座上人、故孔子歷告之、以座上人之姓名也、既多人、故再云、某在斯、某在斯也、隨人百十、每一一告之云、子張在此、子貢在此也、

座中ノ人ニ某ソ、冕ハ目無シ、座上ノ人ヲ識ラ不、故ニ孔子歴ク之ニ告ルニ、座上ノ人ノ姓名ヲ以テス、既ニ人多シ、故ニ再ヒ云ク、某ハ斯ニ在リ、某ハ斯ニ在リ、隨ヘル人百十、每一一每ニ之ニ告テ云ク、子張ハ此ニ在リ、子貢ハ此ニ在リト、

【注】

孔安國曰、歷告、以坐中人姓字及所在處也、

孔安國カ曰ク、歴ク告クルニ、坐中ノ人ノ姓字及ヒ所在ノ處ヲ以テス、

【經】

師冕出、

師冕出テス、

【疏】

見孔子事畢、而出去也、

孔子ニ見ル事畢テ、出テ去ル、

【經】

子張問曰、與師言之道與、

子張問テ曰ク、師與言ツツルコト道與、

【疏】

道猶禮也、子張見孔子告之皆階、席、人姓名字、故冕出而問孔子而與師冕之言、是禮無不也、

道ハ禮ノ猶シ、子張孔子ノ之レニ皆階、席、人ノ姓名ノ字ヲ告クルヲ見ル、故ニ冕出テ而シテ孔子ニ問フ師冕與言フコトハ、是禮ナリヤ無不、

【經】

子曰然、

子ノ曰ク然ナリ、

【疏】

答曰、是禮者也

答テ曰ク、是レ禮ナル者ナリ

【經】

固相師之道也

固ニ師ヲ相クノ道ナリ

【疏】

又云冕既無目、故主人宜爲之導相所以歷告也

又云ク冕既ニ目無シ、故ニ主人宜ク之カ爲ニ導キ相テ歷ク告クル所以ナル宜シ

【注】

馬融曰、相導也、

馬融カ曰ク、相ハ導、

(一) 「又」、武内本無此字。

- (二) 「之」、武内本作「其」。
- (三) 「座」、武内本作「坐」、下同。
- (四) 「也」、武内本無此字。
- (五) 「皆」、武内本無此字。
- (六) 「而」、武内本作「向」。
- (七) 「之言」、武内本作「言之」。
- (八) 「無不」、武内本作「與」。